

福岡市  
ごみ減量・リサイクルに関する  
市民意識・事業所調査  
結果報告書

令和2年3月  
福岡市環境局



# 目次

A. 市民意識調査	1
I 調査の概要	1
II 調査結果	5
第1章 ごみの出し方について	5
1-1 家庭ごみの排出状況	5
1-2 ごみを出す量と世帯人数（同居している家族の人数）の変化	17
1-3 ごみ袋の販売金額	20
1-4 ごみ袋のサイズ	24
1-5 再利用できる不用になった家具や家電製品の処分方法	30
1-6 粗大ごみの排出状況	32
1-7 ごみ出しルールの遵守状況など	36
1-8 ごみ出しルールの確認方法	41
第2章 資源物の出し方について	43
2-1 資源ごみの処理方法	43
2-2 地域集団回収（廃品回収）実施状況など	70
2-3 資源物回収ボックスの認知度など	74
2-4 資源物回収ボックスの設置希望場所	77
第3章 3R（スリーアール）の取り組みなどについて	79
3-1 ごみ減量・リサイクルへの関心度など	79
3-2 「4R」の認知度	82
3-3 ごみ減量・リサイクル（3R）の取組状況など	84
3-4 ごみ減量・リサイクル（3R）の実践項目	89
3-5 買い物時におけるレジ袋の辞退状況など	93
3-6 レジ袋削減のために必要な取組内容	98
3-7 プラスチックごみの海への流出を減らすための実践内容	100
3-8 「食品ロス」の認知度	102
3-9 食べられる食品・食べられたはずの食品の廃棄状況など	104
3-10 「食品ロス」を削減するための工夫	107
3-11 「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」の認知度	110
3-12 「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」の実践度	112
第4章 分別方法への意向や、高齢者のごみ出しについて	116
4-1 ごみの4分別収集など	116
4-2 高齢者のごみ出しや資源物の持ち出しに対する意識	120
第5章 ごみ減量・リサイクルの施策や認知度等について	122
5-1 ごみ減量・リサイクル啓発や活動支援のための施設、制度の認知度	122
5-2 「ごみ」に関する情報の入手先	125

B. 事業所調査 .....	127
I 調査の概要 .....	127
II 調査結果 .....	134
第1章 ごみや資源物の排出と処理状況などについて .....	134
1-1 事業所のごみの分別状況 .....	134
1-2 資源物として分別しているもの .....	137
1-3 資源物を分別していない理由 .....	139
1-4 事業所のごみや資源物の排出量 .....	141
1-5 ごみや資源物の種類別排出量と処理方法 .....	150
1-6 ごみ処理（資源物を除く）にかかる費用の負担感 .....	173
1-7 ごみ（資源物を除く）の排出量の変化 .....	176
第2章 ごみの減量やリサイクルの取組状況について .....	180
2-1 ごみ減量・リサイクルに関する取組内容 .....	180
2-2 ごみ減量・リサイクルに関する情報の入手媒体 .....	182
2-3 従業員向けのごみ減量・リサイクルに関する研修会の実施状況 .....	184
2-4 地域の清掃活動やごみ減量活動への取組状況 .....	186
2-5 地域の清掃活動やごみ減量活動の具体的な取組内容 .....	189
2-6 地域の清掃活動やごみ減量活動に取り組んでいない理由 .....	191
第3章 古紙のリサイクルについて .....	193
3-1 古紙の分別・リサイクル状況 .....	193
3-2 分別している古紙の種類 .....	196
3-3 雑がみ類をリサイクルしていない理由 .....	198
3-4 雑がみ類のリサイクルを進めるために必要なこと .....	200
3-5 古紙分別義務化に向けての準備で必要だと考えること .....	202
3-6 古紙分別義務化による燃えるごみ排出量への影響 .....	204
第4章 食品廃棄物のリサイクルについて .....	207
4-1 食品廃棄物のリサイクル状況 .....	207
4-2 食品廃棄物のリサイクルを進めるために必要なこと .....	210
4-3 食品廃棄物を全てリサイクルした際の燃えるごみ排出量への影響 .....	212
第5章 プラスチックごみの削減について .....	215
5-1 プラスチックごみの削減に向けての取組内容 .....	215
第6章 福岡市における事業系ごみの処理、ごみ減量・リサイクルへの取組み及び 今後の施策について .....	217
6-1 事業系ごみの収集運搬方法の認知度 .....	217
6-2 委託契約金額の内訳の認知度 .....	220
6-3 福岡市が実施する事業系ごみの減量・リサイクル推進施策の認知度 .....	223
6-4 福岡市が発信する情報で受け取りやすい方法 .....	225
6-5 事業系ごみの減量・リサイクルを推進するために必要な情報 .....	227
6-6 事業系ごみの減量・リサイクルを推進するために導入すべきと考える施策 ...	229

第7章	【小売業】食品ロス削減の取組み・梱包材の再利用状況等について .....	231
7-1	食品の取扱い状況 .....	231
7-2	食品ロス削減のための工夫 .....	232
7-3	商品搬入時に使用されている梱包材の素材で最も多いもの .....	233
7-4	梱包材の繰り返し使用の状況 .....	234
第8章	【宿泊業】客室ごみの分別・利用客への環境配慮行動の促進について ....	235
8-1	客室のごみの分別・資源物のリサイクル状況 .....	235
8-2	利用客に対して環境へ配慮した行動を促す工夫 .....	236
第9章	【医療・福祉】食品廃棄物・使用済み紙おむつ削減の取組みについて ....	237
9-1	提供する食事の食べ残し状況 .....	237
9-2	食べ残しを減らすための工夫 .....	238
9-3	紙おむつ発生量の把握状況 .....	240
9-4	紙おむつの処理方法の検討状況 .....	241
9-5	紙おむつの処理方法を検討したが実施しなかった理由 .....	242
9-6	国土交通省による紙おむつの処理に関する実証実験検討の認知度 .....	243
9-7	新たな紙おむつのリサイクル手法の導入意向 .....	244
第10章	【飲食サービス業】食品ロス削減の取組みについて .....	245
10-1	食品ロス削減のための工夫 .....	245
10-2	「福岡エコ運動」の認知度 .....	246
10-3	食べ残しをなくすための工夫 .....	247
C.	参考資料 .....	249
	使用した調査票と全体結果（市民意識調査） .....	249
	使用した調査票と全体結果（事業所調査） .....	269



## A. 市民意識調査



# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、市民及び事業者のごみ減量・リサイクルに関する意識及び行動を把握することにより、「新循環のまち・ふくおか基本計画」の進捗状況等を確認するために実施した。

## 2. 調査項目

- ・ごみの出し方について
- ・資源物の出し方について
- ・3R（スリーアール）の取り組みなどについて
- ・分別方法への意向や、高齢者のごみ出しについて
- ・ごみ減量・リサイクルの施策や認知度等について

## 3. 調査概要

- |            |                         |
|------------|-------------------------|
| (1) 調査対象   | 福岡市内に居住する満18歳以上の男女      |
| (2) 調査対象数  | 5,000 サンプル              |
| (3) 抽出方法   | 住民基本台帳による無作為抽出法         |
| (4) 調査方法   | 郵送による配布・回収              |
| (5) 調査期間   | 令和元年10月25日（金）～11月15日（金） |
| (6) 回収（率）  | 2,572 サンプル（51.4%）       |
| (7) 調査主体   | 福岡市環境局 循環型社会推進部 計画課     |
| (8) 調査実施機関 | 株式会社 西日本リサーチ・センター       |

## 4. 調査結果利用上の注意

- (1) 集計は、原則として、少数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 1つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示す“n”は、標本数（比率算出上の基数）である。
- (4) 付問は、直前の設問で特定の選択肢について回答した者のみに続けて行った質問である。よって、この付問回答者数は、直前の設問で回答した者の内数となる。
- (5) 数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるので、詳細は巻末の調査票を参照のこと。
- (6) 本文中、選択肢は「 」、2つ以上の選択肢を合計して表す場合は『 』と表記した。
- (7) 問2の表中に示す「ごみを出す量」と「同居している家族の人数」は、数表、図表、文中では、それぞれ便宜的に「ごみ出し量」・「世帯人数」と表記している場合がある。
- (8) 数表、図表、文中に示す「世帯人数」は、「家族構成」と「回答者自身を含めた同居人数」に基づき算出している。

I 調査の概要

5. 標本の構成

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

	サンプル数	性別			年齢							
		男性	女性	無回答	18 ～ 29 歳	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 ～ 64 歳	65 ～ 74 歳	75 歳 以上	無回答
全体	100.0 2,572	37.1 955	61.3 1,577	1.6 40	8.7 225	12.8 329	17.6 453	17.0 437	8.2 212	19.2 493	14.2 366	2.2 57
性別		100.0	-	-	9.2	13.5	16.5	16.5	9.3	19.3	15.1	0.5
男性	955	100.0	-	-	9.2	13.5	16.5	16.5	9.3	19.3	15.1	0.5
女性	1,577	-	100.0	-	8.7	12.7	18.6	17.6	7.8	19.5	14.0	1.0
無回答	40	-	-	100.0	-	-	2.5	2.5	-	2.5	2.5	90.0
年齢別												
18～29歳	225	39.1	60.9	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
30歳代	329	39.2	60.8	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
40歳代	453	34.9	64.9	0.2	-	-	100.0	-	-	-	-	-
50歳代	437	36.2	63.6	0.2	-	-	-	100.0	-	-	-	-
60～64歳	212	42.0	58.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
65～74歳	493	37.3	62.5	0.2	-	-	-	-	-	100.0	-	-
75歳以上	366	39.3	60.4	0.3	-	-	-	-	-	-	100.0	-
無回答	57	8.8	28.1	63.2	-	-	-	-	-	-	-	100.0

	サンプル数	職業											無回答
		自営業 経営者	会社 等役員	家族 従業者	員 正社員・ 正職	イ 常勤 パート タ	遣 契約 社員・ 派	ル 臨時 雇い ・ ア	家 事 専 業	学 生	無 職	そ の 他	
全体	100.0 2,572	5.6 144	3.1 81	1.5 38	26.0 669	11.7 301	5.3 136	3.1 80	18.5 475	3.0 78	18.3 471	1.5 39	2.3 60
性別													
男性	955	10.4	5.5	0.7	39.7	2.9	5.3	2.7	0.4	3.1	26.2	2.0	0.9
女性	1,577	2.9	1.8	2.0	18.4	17.3	5.4	3.4	29.9	3.0	13.8	1.3	1.0
無回答	40	-	-	-	-	-	-	2.5	-	2.5	7.5	-	87.5
年齢別													
18～29歳	225	0.4	0.4	0.9	40.0	5.3	8.4	4.9	2.7	32.4	2.7	1.3	0.4
30歳代	329	5.2	3.0	0.9	50.8	11.6	6.4	2.7	12.5	0.6	4.6	1.2	0.6
40歳代	453	5.1	2.2	1.8	44.6	16.8	6.4	4.2	14.1	0.2	3.8	0.4	0.4
50歳代	437	6.6	4.6	2.5	35.0	19.5	6.6	2.5	17.2	-	3.7	1.8	-
60～64歳	212	9.4	9.0	0.5	15.6	17.9	9.9	5.2	18.9	-	12.3	0.9	0.5
65～74歳	493	8.1	2.6	1.8	3.9	9.7	3.0	2.8	31.0	-	31.8	2.8	2.2
75歳以上	366	3.6	2.2	1.1	0.3	0.8	-	0.8	25.4	-	62.6	1.6	1.6
無回答	57	1.8	-	-	7.0	1.8	3.5	3.5	5.3	3.5	8.8	-	64.9

	サンプル数	家族構成						無回答
		は単 身（ 同居 人）	ナ 夫 婦 の み パ ー ト	代 親 と 子 の 2 世	3 親 と 子 と 孫 の	兄 弟 姉 妹 の み	そ の 他	
全体	100.0 2,572	17.9 461	28.1 724	43.6 1,122	4.4 112	0.9 23	1.1 29	3.9 101
性別								
男性	955	18.1	31.5	42.8	4.0	0.5	0.8	2.2
女性	1,577	18.2	26.8	45.1	4.7	1.1	1.3	2.8
無回答	40	2.5	2.5	5.0	-	-	-	90.0
年齢別								
18～29歳	225	28.4	9.3	53.8	4.9	0.4	0.9	2.2
30歳代	329	17.0	17.3	58.7	2.4	0.6	1.8	2.1
40歳代	453	13.2	14.8	64.0	4.4	0.9	1.3	1.3
50歳代	437	12.6	26.8	55.8	2.7	0.2	0.7	1.1
60～64歳	212	16.5	39.6	35.4	5.7	-	1.4	1.4
65～74歳	493	20.7	47.1	22.1	4.9	1.6	0.6	3.0
75歳以上	366	23.0	38.5	23.0	6.8	1.9	1.4	5.5
無回答	57	8.8	8.8	10.5	-	-	1.8	70.2

	サンプル数	世帯人数						住居形態				
		1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人 以上	無 回 答	一 戸 建 て	（ ド ） 集 合 住 宅 （ ア パ ル ト 、 マ ン シ ョ ウ 、 ソ ン シ ョ ウ 、 ソ ノ 他	そ の 他	無 回 答
全体	100.0 2,572	17.9 461	34.3 881	22.2 572	14.9 382	5.0 129	2.1 55	3.6 92	36.7 944	61.0 1,569	0.7 17	1.6 42
性別												
男性	955	18.1	36.2	20.9	15.8	4.7	2.4	1.8	38.3	60.8	0.6	0.2
女性	1,577	18.2	33.8	23.5	14.6	5.3	2.0	2.5	36.5	62.5	0.7	0.3
無回答	40	2.5	5.0	2.5	-	-	-	90.0	5.0	7.5	-	87.5
年齢別												
18～29歳	225	28.4	16.9	24.4	19.1	7.6	1.8	1.8	22.7	77.3	-	-
30歳代	329	17.0	21.0	25.5	22.2	9.1	4.0	1.2	20.7	79.0	0.3	-
40歳代	453	13.2	19.6	25.8	26.7	9.3	3.5	1.8	29.8	69.5	0.4	0.2
50歳代	437	12.6	32.5	28.6	19.0	4.1	1.6	1.6	35.2	64.8	-	-
60～64歳	212	16.5	45.3	26.4	7.1	1.9	0.9	1.9	42.0	57.5	0.5	-
65～74歳	493	20.7	52.9	16.8	4.5	1.6	2.2	1.2	49.3	49.7	0.6	0.4
75歳以上	366	23.0	49.5	13.4	6.3	2.7	0.5	4.6	54.1	42.9	2.7	0.3
無回答	57	8.8	8.8	5.3	3.5	-	-	73.7	10.5	22.8	-	66.7

## 6. ごみを出す量と世帯人数（同居している家族の人数）との関係（問2より）

自然減少 6.6

数値：%

		世帯人数（同居している家族の人数）			
		減った	変わらない	増えた	
ごみを出す量	かなり減った	3.1	3.9	0.0	減少 17.2
	やや減った	3.5	11.8	0.2	
	変わらない	1.4	58.2	1.3	変化なし 58.2
	やや増えた	0.2	4.5	3.3	自然増加 4.5
	かなり増えた	0.0	0.5	1.2	
	わからない	0.2	1.4	0.1	増加 6.6

※無回答 4.9

わからない 1.7

ごみを出す量と世帯人数（同居している家族の人数）の変化についてたずねる設問（問2）では、上表のように、ごみを出す量別に6つのグループに分けてみた。

「減少」…世帯人数（同居している家族の人数）が変わらない、または増えたにもかかわらず、ごみを出す量が減った人のグループ

「自然減少」…世帯人数（同居している家族の人数）が減ったことに伴って、ごみを出す量も自然に減ったと考えられる人のグループ

「変化なし」…世帯人数（同居している家族の人数）もごみを出す量もともに変化がなかった人のグループ

「増加」…世帯人数（同居している家族の人数）が変わらない、または減ったにもかかわらず、ごみを出す量が増えた人のグループ

「自然増加」…世帯人数（同居している家族の人数）が増えたことに伴って、ごみを出す量も増えたと考えられる人のグループ

「わからない」

その結果、「変化なし」（58.2%）が約6割を占めて最も高く、次いで「減少」（17.2%）、「自然減少」（6.6%）となっており、これらを合わせた『減少』は23.8%となっている。

一方、「増加」（6.6%）、「自然増加」（4.5%）と答えた人の割合は低く、これらを合わせた『増加』は11.1%と1割となっている。

I 調査の概要

7. ごみ減量・リサイクルへの関心度（問 13 より）

数値（上段=% 下段=件数）

サンプル数	関心がある			関心がない			無回答
	関心がある	関心がある	どちらかといえば	関心がない	どちらかといえば	関心がない	
100.0	86.1	23.0	63.1	12.2	10.3	1.9	1.7
2,572	2,213	591	1,622	315	266	49	44

ごみ減量・リサイクルにどの程度関心があるかの設問（問 13）では、「どちらかといえば関心がある」（63.1%）が6割以上を占めて最も高く、次いで「関心がある」（23.0%）となっており、これらを合わせた『関心がある』（86.1%）は8割強を占め、「どちらかといえば関心がない」（10.3%）と「関心がない」（1.9%）を合わせた『関心がない』（12.2%）を大きく上回っている。

## II 調査結果

### 第1章 ごみの出し方について

#### 1-1 家庭ごみの排出状況

##### 1-1-1 燃えるごみ

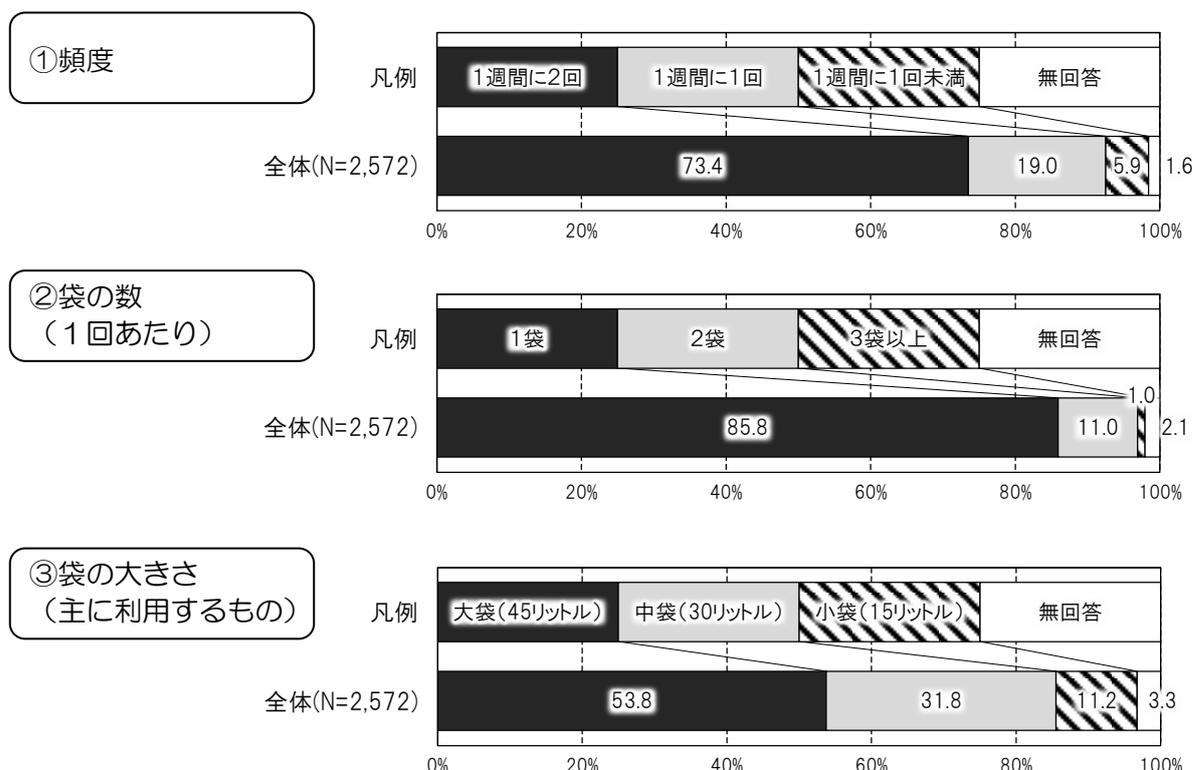
■燃えるごみの、ごみ出し頻度は「1週間に2回」(73.4%)、袋の数は「1袋」(85.8%)、袋の大きさは「大袋(45リットル)」(53.8%)が最多。

■傾向としては、

- ①年齢にかかわらず、「大袋(45リットル)」と答えた人が最も多いが、年齢が高くなると「中袋(30リットル)」、「小袋(15リットル)」の利用が増える傾向がある。
- ②世帯人数が増えるほど、ごみ出しの頻度、袋の数、大袋の使用は増えている。

問1(1). あなたのご家庭では、ごみを1週間に何回程度、1回に何袋くらい出していますか。また、ごみを出す時に利用するのは主にどの大きさのごみ袋ですか。①~③それぞれの項目についてあてはまるものを1つずつ選び、番号に〇を付けてください。

【図1-1-1】家庭ごみの排出状況(燃えるごみ)



## II 調査結果

### (1) 燃えるごみ

燃えるごみの排出状況に係るごみ出しの頻度ついてたずねたところ、「1週間に2回」(73.4%)と答えた人が7割以上を占めて最も高く、次いで「1週間に1回」(19.0%)、「1週間に1回未満」(5.9%)となっている。

次に、袋の数ついてたずねたところ、「1袋」(85.8%)と答えた人の割合が8割以上を超えて最も高く、次いで「2袋」(11.0%)となっている。また、「3袋以上」と答えた人の割合は1.0%であった。

また、袋の大きさついてたずねたところ、「大袋(45リットル)」(53.8%)と答えた人の割合が5割以上を超えて最も高く、次いで「中袋(30リットル)」(31.8%)、「小袋(15リットル)」(11.2%)となっている。

### ①頻度

年齢別にみると、

- ・年齢にかかわらず「1週間に2回」と答えた人の割合が最も高く、特に「60～64歳」(79.7%)は約8割を占めている。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数が多いほど「1週間に2回」と答えた人の割合が高くなり、特に「6人以上世帯」(98.2%)、「5人世帯」(93.8%)、「4人世帯」(91.1%)は9割以上、「3人世帯」(85.8%)は8割以上を占めている。
- ・一方、「1人世帯」では「1週間に1回」(42.1%)と答えた人の割合が最も高い。

住居形態別にみると、

- ・住居形態にかかわらず「1週間に2回」と答えた人の割合が最も高く、特に「一戸建て」(83.4%)は8割を超えている。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度にかかわらず「1週間に2回」と答えた人の割合が最も高い。
- ・一方、関心度が低いほど「1週間に1回」と答えた人の割合が高くなり、「関心がない」は「1週間に1回」(34.7%)が3割以上を占めている。

### ②袋の数(1回あたり)

年齢別では、特徴的な差はみられなかった。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数が少ないほど「1袋」と答えた人の割合が高くなり、「1人世帯」(95.0%)、「2人世帯」(91.6%)の割合が9割以上を占めている。
- ・一方、世帯人数が多いほど「2袋」と答えた人の割合が高くなり、特に「6人以上世帯」(49.1%)は約5割を占めている。

住居形態別にみると、

- ・住居形態にかかわらず「1袋」と答えた人の割合が最も高く、特に「集合住宅（アパート、マンション、社宅、寮など）」（91.6%）は9割を占めている。

ごみ減量・リサイクル関心度別では、特徴的な差はみられなかった。

### ③袋の大きさ（主に利用するもの）

年齢別にみると、

- ・年齢にかかわらず「大袋（45リットル）」と答えた人の割合が最も高いが、「75歳以上」は「大袋（45リットル）」（42.1%）、「中袋（30リットル）」（40.2%）と答えた人の割合が、ともに4割台で拮抗している。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数が多いほど「大袋（45リットル）」と答えた人の割合が高くなり、特に「6人以上世帯」（87.3%）は約9割、「5人世帯」（77.5%）、「4人世帯」（75.7%）は7割以上を占めている。
- ・一方、世帯人数が少ないほど「中袋（30リットル）」、「小袋（15リットル）」と答えた人の割合が高くなり、「1人世帯」では「中袋（30リットル）」（41.9%）が4割、「小袋（15リットル）」（29.5%）が約3割を占めている。

住居形態別にみると、

- ・住居形態にかかわらず、「大袋（45リットル）」と答えた人の割合が最も高く、特に「一戸建て」（64.1%）は6割以上を占めている。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度にかかわらず「大袋（45リットル）」と答えた人の割合が最も高いが、「関心がない」は「大袋（45リットル）」（49.0%）、「中袋（30リットル）」（46.9%）と答えた人の割合が、ともに4割台で拮抗している。

## II 調査結果

【表 1-1-1】家庭ごみの排出状況（燃えるごみ）

数値（全体：上段=％ 下段=件数，属性：％）

	サンプル数	ごみ出し頻度				袋の数（1回あたり）				袋の大きさ （主に利用するもの）				
		1週間に2回	1週間に1回	1週間に1回未満	無回答	1袋	2袋	3袋以上	無回答	（大袋 45リットル）	（中袋 30リットル）	（小袋 15リットル）	無回答	
全体	100.0 2,572	73.4 1,889	19.0 489	5.9 152	1.6 42	85.8 2,208	11.0 284	1.0 27	2.1 53	53.8 1,383	31.8 817	11.2 287	3.3 85	
年齢別	18～29歳	225	68.0	21.3	10.7	-	85.8	12.0	1.8	0.4	52.4	34.7	12.0	0.9
	30歳代	329	73.9	19.8	6.4	-	88.1	9.7	1.8	0.3	56.5	34.0	8.2	1.2
	40歳代	453	77.5	19.2	3.1	0.2	86.1	13.0	0.7	0.2	61.8	27.4	9.5	1.3
	50歳代	437	75.1	18.5	6.4	-	88.6	11.0	0.2	0.2	61.3	27.9	8.7	2.1
	60～64歳	212	79.7	17.5	2.8	-	84.9	12.7	0.5	1.9	53.3	33.0	12.3	1.4
	65～74歳	493	76.5	17.4	5.9	0.2	88.4	9.3	1.4	0.8	51.3	31.6	14.2	2.8
	75歳以上	366	69.4	21.0	7.4	2.2	85.2	11.2	1.4	2.2	42.1	40.2	13.7	4.1
	無回答	57	24.6	14.0	5.3	56.1	35.1	7.0	-	57.9	19.3	14.0	10.5	56.1
世帯人数別	1人	461	36.2	42.1	21.3	0.4	95.0	4.1	0.4	0.4	27.8	41.9	29.5	0.9
	2人	881	75.5	19.5	4.4	0.6	91.6	7.5	0.2	0.7	46.5	39.7	11.9	1.8
	3人	572	85.8	12.4	1.6	0.2	85.1	13.5	0.3	1.0	66.3	27.1	3.7	3.0
	4人	382	91.1	8.1	0.8	-	82.2	14.9	2.1	0.8	75.7	18.1	3.9	2.4
	5人	129	93.8	5.4	-	0.8	72.9	20.2	5.4	1.6	77.5	19.4	1.6	1.6
	6人以上	55	98.2	1.8	-	-	41.8	49.1	9.1	-	87.3	7.3	-	5.5
	無回答	92	46.7	14.1	3.3	35.9	48.9	13.0	1.1	37.0	31.5	22.8	8.7	37.0
住居形態別	一戸建て	944	83.4	12.4	3.7	0.5	79.1	17.7	1.6	1.6	64.1	26.7	6.0	3.2
	集合住宅（アパート、マンション、社宅、寮など）	1,569	69.3	23.1	7.4	0.3	91.6	7.4	0.7	0.3	49.0	35.4	14.1	1.4
	その他	17	58.8	29.4	5.9	5.9	82.4	5.9	5.9	5.9	41.2	17.6	35.3	5.9
	無回答	42	11.9	11.9	-	76.2	23.8	-	-	76.2	4.8	14.3	4.8	76.2
イ ク ル 減 量 心 度 別	関心がある	591	71.2	18.8	7.6	2.4	86.5	9.1	0.7	3.7	45.2	33.8	17.1	3.9
	どちらかといえば関心がある	1,622	74.8	18.5	5.3	1.4	85.9	11.4	1.0	1.6	56.4	31.3	9.2	3.0
	どちらかといえば関心がない	266	74.1	20.3	5.3	0.4	84.2	13.9	1.5	0.4	60.9	26.7	9.4	3.0
	関心がない	49	59.2	34.7	6.1	-	87.8	10.2	2.0	-	49.0	46.9	4.1	-
	無回答	44	65.9	15.9	9.1	9.1	81.8	6.8	2.3	9.1	34.1	34.1	20.5	11.4

### 1-1-2 燃えないごみ

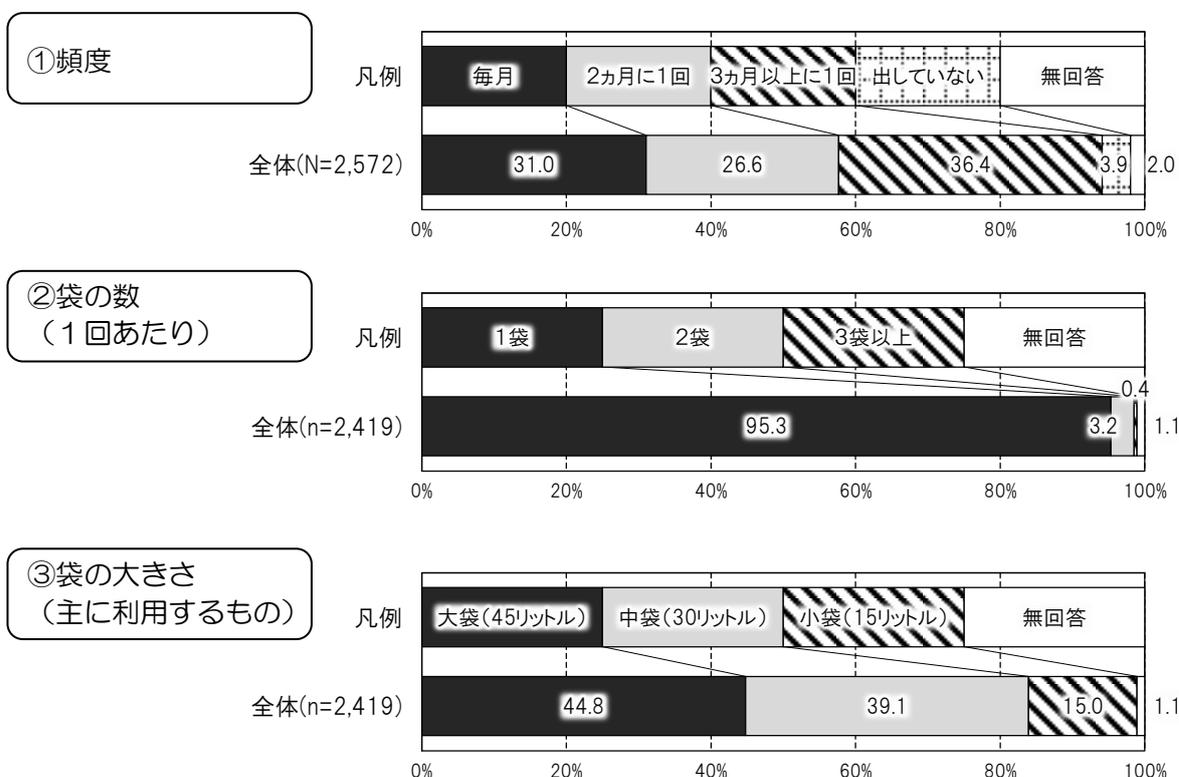
■燃えないごみの、ごみ出し頻度は「3ヶ月以上に1回」(36.4%)、袋の数は「1袋」、(95.3%)  
袋の大きさは「大袋(45リットル)」(44.8%)が最多。

■傾向としては、

- ①概ね、世帯人数が増えるほど、ごみ出しの頻度が増え、大袋の利用も増えている。
- ②概ね、ごみ減量・リサイクルの関心度が低い人ほど、ごみ出しの頻度が増え、大袋の使用が増えている。

問1(2). あなたのご家庭では、ごみを1週間に何回程度、1回に何袋くらい出していますか。また、ごみを出す時に利用するのは主にどの大きさのごみ袋ですか。①~③それぞれの項目についてあてはまるものを1つずつ選び、番号に○を付けてください。

【図1-1-2】家庭ごみの排出状況(燃えないごみ)



## II 調査結果

### (2) 燃えないごみ

燃えないごみの排出状況に係るごみ出しの頻度についてたずねたところ、「3ヶ月以上に1回」(36.4%)と答えた人の割合が3割強を占めて最も高く、次いで「毎月」(31.0%)、「2ヶ月に1回」(26.6%)となっている。また、「出していない」は3.9%であった。

次に、袋の数についてたずねたところ、ほとんどの人が「1袋」(95.3%)と答えており、その他は順に「2袋」(3.2%)、「3袋以上」(0.4%)であった。

また、袋の大きさについてたずねたところ、「大袋(45リットル)」(44.8%)と答えた人の割合が半数を占めて最も高く、次いで「中袋(30リットル)」(39.1%)、「小袋(15リットル)」(15.0%)となっている。

### ①頻度

年齢別にみると、

- ・「毎月」と答えた人は、「18～29歳」(33.3%)、「40歳代」(35.1%)、「60～64歳」(33.5%)で3割を超え高い。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数が多いほど「毎月」と答えた人の割合が高くなり、特に「6人以上世帯」(52.7%)は5割以上、「5人世帯」(41.1%)は4割を占めている。
- ・一方、世帯人数が少ないほど「3ヶ月以上に1回」と答えた人の割合が高くなる傾向がみられ、「1人世帯」では「3ヶ月以上に1回」(46.6%)と答えた人の割合が最も高い。
- ・特に、「1人世帯」では「出していない」(11.9%)と答えた人が1割である。

住居形態別にみると、

- ・「一戸建て」は「毎月」(36.2%)、「集合住宅(アパート、マンション、社宅、寮など)」は「3ヶ月以上に1回」(39.6%)と答えた人の割合が最も高い。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「3ヶ月以上に1回」と答えた人の割合が高い。
- ・一方、関心度が低いほどごみ出しの頻度が増える傾向がみられる。

### ②袋の数(1回あたり)

年齢別、世帯人数別、住居形態別とも、特徴的な差はみられなかった。

ごみ減量・リサイクル関心度別では、特徴的な差はみられなかった。

### ③袋の大きさ(主に利用するもの)

年齢別にみると、

- ・75歳以上以外は「大袋(45リットル)」と答えた人の割合が最も高いが、「75歳以上」は「中袋(30リットル)」(42.1%)と答えた人の割合が最も高い。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数が多いほど「大袋（45 リットル）」と答えた人の割合が高くなり、特に「6人以上世帯」（70.4%）は約7割を占めている。
- ・一方、世帯人数が少ないほど「中袋（30 リットル）」、「小袋（15 リットル）」と答えた人の割合が高くなる傾向がみられ、「1人世帯」では「中袋（30 リットル）」（42.7%）が4割、「小袋（15 リットル）」（28.0%）が約3割を占めている。

住居形態別にみると、

- ・「一戸建て」は「大袋（45 リットル）」（53.5%）、「集合住宅（アパート、マンション、社宅、寮など）」は「中袋（30 リットル）」（41.1%）と答えた人の割合が最も高い。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が低いほど「大袋（45 リットル）」と答えた人の割合が高い。
- ・一方、関心度が高いほど「中袋（30 リットル）」、「小袋（15 リットル）」と答えた人の割合が高くなる傾向がみられる。

## II 調査結果

【表 1-1-2】家庭ごみの排出状況（燃えないごみ）

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

	サンプル数	ごみ出し頻度					サンプル数	袋の数（1回あたり）				袋の大きさ （主に利用するもの）				
		毎月	2カ月に1回	3カ月以上に1回	出していない	無回答		1袋	2袋	3袋以上	無回答	大袋 （45リットル）	中袋 （30リットル）	小袋 （15リットル）	無回答	
全体	100.0 2,572	31.0 797	26.6 685	36.4 937	3.9 101	2.0 52	100.0 2,419	95.3 2,306	3.2 78	0.4 9	1.1 26	44.8 1,084	39.1 946	15.0 362	1.1 27	
年齢別	18～29歳	225	33.3	25.8	28.4	12.0	0.4	197	94.9	4.6	0.5	-	42.6	41.6	15.2	0.5
	30歳代	329	30.7	24.9	40.1	4.3	-	315	95.2	4.1	0.3	0.3	41.3	41.3	17.1	0.3
	40歳代	453	35.1	26.0	35.1	3.5	0.2	436	95.2	3.9	0.2	0.7	47.7	37.6	14.2	0.5
	50歳代	437	31.8	25.9	40.3	2.1	-	428	96.5	2.6	0.2	0.7	49.1	37.6	12.9	0.5
	60～64歳	212	33.5	33.5	31.6	1.4	-	209	95.7	3.3	-	1.0	51.7	31.6	15.8	1.0
	65～74歳	493	27.8	27.8	40.6	3.2	0.6	474	95.1	2.7	0.8	1.3	43.9	41.1	13.7	1.3
	75歳以上	366	28.1	27.9	36.1	4.1	3.8	337	94.4	2.4	0.3	3.0	37.4	42.1	16.6	3.9
	無回答	57	21.1	7.0	12.3	1.8	57.9	23	95.7	-	-	4.3	43.5	26.1	30.4	-
世帯人数別	1人	461	18.0	22.8	46.6	11.9	0.7	403	97.3	1.7	-	1.0	27.5	42.7	28.0	1.7
	2人	881	30.6	26.8	38.5	3.1	1.0	845	95.1	3.1	0.2	1.5	42.1	39.9	16.9	1.1
	3人	572	34.8	29.9	33.2	1.6	0.5	560	95.9	2.7	0.4	1.1	49.8	39.1	9.6	1.4
	4人	382	37.2	28.8	31.7	2.1	0.3	373	94.6	4.8	0.5	-	52.5	39.1	8.3	-
	5人	129	41.1	25.6	33.3	-	-	129	93.8	4.7	0.8	0.8	57.4	30.2	10.9	1.6
	6人以上	55	52.7	27.3	18.2	1.8	-	54	88.9	7.4	3.7	-	70.4	25.9	1.9	1.9
	無回答	92	22.8	16.3	20.7	1.1	39.1	55	92.7	3.6	-	3.6	54.5	34.5	10.9	-
住居形態別	一戸建て	944	36.2	28.5	32.5	1.7	1.1	918	93.8	4.2	0.5	1.4	53.5	36.5	8.5	1.5
	集合住宅(アパート、マンション、社宅、寮など)	1,569	28.4	26.3	39.6	5.1	0.5	1,481	96.4	2.6	0.2	0.7	39.5	41.1	18.6	0.8
	その他	17	35.3	-	35.3	23.5	5.9	12	83.3	-	8.3	8.3	33.3	8.3	50.0	8.3
	無回答	42	7.1	7.1	4.8	2.4	78.6	8	87.5	-	-	12.5	50.0	25.0	25.0	-
イごみ減 関量 心・ 度り 別サ	関心がある	591	25.4	24.9	42.3	4.4	3.0	547	96.2	2.4	0.4	1.1	37.7	43.1	17.9	1.3
	どちらかといえば関心がある	1,622	33.2	26.0	36.3	3.0	1.4	1,550	95.6	3.0	0.4	1.0	46.6	38.5	14.0	0.9
	どちらかといえば関心がない	266	31.6	31.6	29.7	6.4	0.8	247	92.7	5.7	0.4	1.2	48.6	35.6	15.0	0.8
	関心がない	49	32.7	30.6	22.4	12.2	2.0	42	90.5	9.5	-	-	54.8	38.1	7.1	-
	無回答	44	18.2	38.6	18.2	6.8	18.2	33	93.9	3.0	-	3.0	36.4	30.3	21.2	12.1

### 1-1-3 空きびん・ペットボトル

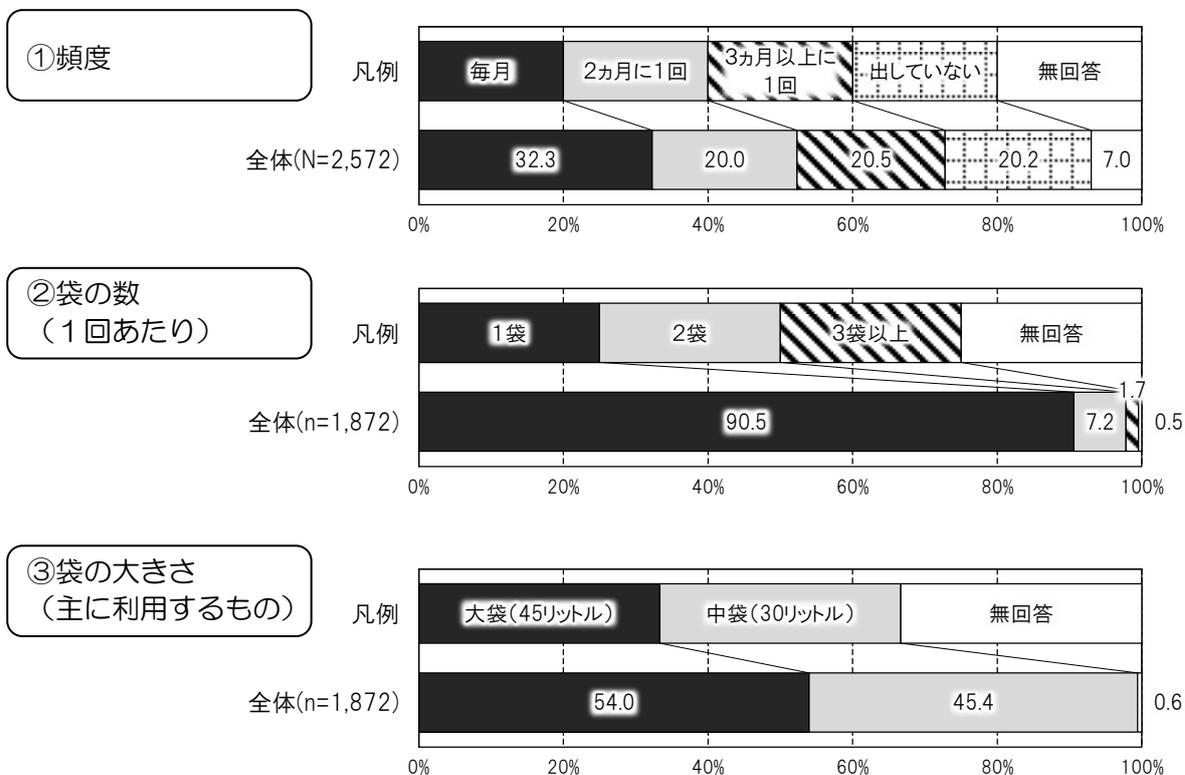
■空きびん・ペットボトルの、ごみ出し頻度は「毎月」(32.3%)、袋の数は「1袋」(90.5%)、袋の大きさは「大袋(45リットル)」(54.0%)が最多。

■傾向としては、

- ①概ね、世帯人数が増えるほど、ごみ出しの頻度が増え、大袋の利用も増えている。
- ②ごみ減量・リサイクルの関心度が高い人は、ごみ出しの頻度が低く、大袋より中袋の利用者が多い。

問1(3). あなたのご家庭では、ごみを1週間に何回程度、1回に何袋くらい出していますか。また、ごみを出す時に利用するのは主にどの大きさのごみ袋ですか。①~③それぞれの項目についてあてはまるものを1つずつ選び、番号に○を付けてください。

【図 1-1-3】家庭ごみの排出状況(空きびん・ペットボトル)



## II 調査結果

### (3) 空きびん・ペットボトル

空きびん・ペットボトルの排出状況に係るごみ出しの頻度についてたずねたところ、「毎月」(32.3%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「3ヶ月以上に1回」(20.5%)、「出していない」(20.2%)、「2ヶ月に1回」(20.0%)となっており、燃えるごみ・燃えないごみでみられた特徴的な差はなかった。

次に、袋の数についてたずねたところ、ほとんどの人が「1袋」(90.5%)と答えており、その他は順に「2袋」(7.2%)、「3袋以上」(1.7%)であった。

また、袋の大きさについてたずねたところ、「大袋(45リットル)」(54.0%)と答えた人の割合が5割以上を占めて最も高く、次いで「中袋(30リットル)」(45.4%)となっている。

#### ①頻度

年齢別にみると、

- ・75歳以上以外は「毎月」と答えた人の割合が最も高いが、「75歳以上」は「3ヶ月以上に1回」(25.7%)と答えた人の割合が最も高い。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数が多いほど「毎月」と答えた人の割合が高くなり、特に「6人以上世帯」(50.9%)は半数を占めている。
- ・一方、世帯人数が少ないほど「2ヶ月に1回」、「3ヶ月以上に1回」と答えた人の割合が高くなる傾向がみられ、「1人世帯」では「3ヶ月以上に1回」(29.5%)と答えた人の割合が他の世帯人数に比べ高い。

住居形態別では、特徴的な差はみられなかった。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・「どちらかといえば関心がある」、「どちらかといえば関心がない」、「関心がない」は、全体結果とほぼ同様の傾向を示しているが、「関心がある」は、「出していない」(23.7%)と答えた人の割合が最も高く、「毎月」(23.4%)と答えた人は2割程度となっている。

#### ②袋の数(1回あたり)

年齢別、住居形態別とも、特徴的な差はみられなかった。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数が少ないほど「1袋」と答えた人の割合が高い。
- ・一方、世帯人数が多いほど「2袋」と答えた人の割合が高くなり、特に「6人以上世帯」(22.7%)は2割以上を占めている。

ごみ減量・リサイクル関心度別では、特徴的な差はみられなかった。

### ③袋の大きさ（主に利用するもの）

年齢別にみると、

- ・75歳以上以外は「大袋（45リットル）」と答えた人の割合が最も高いが、「75歳以上」は「中袋（30リットル）」（54.2%）と答えた人の割合が最も高い。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数が多いほど「大袋（45リットル）」と答えた人の割合が高くなり、特に「6人以上世帯」（77.3%）は7割強、「5人世帯」（65.6%）、「4人世帯」（64.1%）、「3人世帯」（63.7%）は6割以上を占めている。
- ・一方、世帯人数が少ないほど「中袋（30リットル）」と答えた人の割合が高くなる傾向がみられ、「1人世帯」では「中袋（30リットル）」（62.1%）が6割以上を占めている。

住居形態別にみると、

- ・住居形態にかかわらず、「大袋（45リットル）」と答えた人の割合が最も高く、特に「一戸建て」（61.2%）は6割を占めている。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・「関心がある」は、「中袋（30リットル）」（56.9%）と答えた人の割合が6割を占めている。
- ・「どちらかといえば関心がない」は、「大袋（45リットル）」（63.2%）と答えた人の割合が6割以上を占めている。

II 調査結果

【表 1-1-3】家庭ごみの排出状況（空きびん・ペットボトル）

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

	サンプル数	ごみ出し頻度					サンプル数	袋の数（1回あたり）				袋の大きさ （主に利用するもの）			
		毎月	2 カ月に 1回	3 カ月に 以上に 1回	出 して い ない	無 回 答		1 袋	2 袋	3 袋 以 上	無 回 答	（大 4 5 リ ット ル）	（中 3 0 リ ット ル）	無 回 答	
全体	100.0 2,572	32.3 830	20.0 515	20.5 527	20.2 520	7.0 180	100.0 1,872	90.5 1,695	7.2 135	1.7 32	0.5 10	54.0 1,011	45.4 849	0.6 12	
年齢別	18～29歳	225	39.1	17.8	15.6	23.6	4.0	163	88.3	8.6	3.1	-	51.5	48.5	-
	30歳代	329	38.0	20.1	21.6	18.2	2.1	262	86.3	12.2	1.5	-	56.1	43.9	-
	40歳代	453	38.9	20.3	18.8	20.8	1.3	353	89.2	9.1	1.7	-	60.3	39.4	0.3
	50歳代	437	34.1	18.8	21.3	23.1	2.7	324	91.4	6.2	2.2	0.3	58.3	41.7	-
	60～64歳	212	32.1	23.1	17.5	21.2	6.1	154	92.2	4.5	3.2	-	56.5	43.5	-
	65～74歳	493	27.0	19.5	22.3	21.1	10.1	339	91.7	6.5	0.9	0.9	51.3	47.8	0.9
	75歳以上	366	22.7	22.7	25.7	15.3	13.7	260	94.2	3.1	0.8	1.9	42.7	54.2	3.1
	無回答	57	14.0	12.3	3.5	12.3	57.9	17	94.1	-	-	5.9	35.3	64.7	-
世帯人数別	1人	461	23.2	20.6	29.5	20.2	6.5	338	95.0	3.3	1.2	0.6	36.7	62.1	1.2
	2人	881	29.5	21.3	21.2	19.9	8.1	635	93.1	5.5	0.8	0.6	48.7	50.4	0.9
	3人	572	37.4	20.5	17.3	20.1	4.7	430	91.2	7.2	1.4	0.2	63.7	35.8	0.5
	4人	382	40.3	19.4	16.2	22.3	1.8	290	85.2	11.0	3.1	0.7	64.1	35.9	-
	5人	129	40.3	17.1	17.1	21.7	3.9	96	82.3	14.6	3.1	-	65.6	34.4	-
	6人以上	55	50.9	14.5	14.5	20.0	-	44	65.9	22.7	11.4	-	77.3	22.7	-
	無回答	92	16.3	12.0	14.1	14.1	43.5	39	92.3	5.1	-	2.6	53.8	46.2	-
住居形態別	一戸建て	944	32.4	18.8	18.4	23.2	7.2	657	88.4	8.4	2.6	0.6	61.2	38.2	0.6
	集合住宅(アパート、マンション、社宅、寮など)	1,569	32.9	21.3	22.1	18.8	4.9	1,197	91.7	6.6	1.2	0.5	50.1	49.3	0.6
	その他	17	29.4	5.9	35.3	17.6	11.8	12	83.3	8.3	8.3	-	50.0	41.7	8.3
	無回答	42	7.1	7.1	-	7.1	78.6	6	100.0	-	-	-	50.0	50.0	-
ごみ減量・リサイクルサ 関心度別	関心がある	591	23.4	20.1	23.2	23.7	9.6	394	93.9	4.8	0.5	0.8	42.1	56.9	1.0
	どちらかといえば関心がある	1,622	35.6	19.7	19.7	19.1	6.0	1,216	90.5	7.4	1.7	0.3	56.8	42.8	0.4
	どちらかといえば関心がない	266	32.3	22.2	21.1	19.9	4.5	201	85.1	10.9	4.0	-	63.2	36.8	-
	関心がない	49	32.7	20.4	20.4	18.4	8.2	36	94.4	2.8	2.8	-	50.0	50.0	-
	無回答	44	29.5	18.2	9.1	20.5	22.7	25	76.0	12.0	-	12.0	36.0	52.0	12.0

### 1-2 ごみを出す量と世帯人数（同居している家族の人数）の変化

- 「世帯人数 変化なし・ごみ出し量 変化なし」(58.2%) が約6割で最多。  
ごみ出し量で見ると、「変化なし」(60.9%) が6割、『減少』(22.5%) が2割、『増加』(9.7%) は1割。
- 傾向としては、  
①ごみ減量・リサイクルの関心度が高い人ほど、ごみ出し量は減少している。

問2. あなたのご家庭では、1年前と比べてごみを出す量は変わりましたか。また、1年前と比べて同居する家族の人数は変わりましたか。(1)～(2)についてあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

【表 1-2-1 ①】 ごみを出す量と世帯人数の変化

		世帯人数（同居している家族の人数）			数値：%
		減った	変わらない	増えた	
ごみを出す量	かなり減った	3.1	3.9	0.0	減少 17.2
	やや減った	3.5	11.8	0.2	
	変わらない	1.4	58.2	1.3	変化なし 58.2
	やや増えた	0.2	4.5	3.3	自然増加 4.5
	かなり増えた	0.0	0.5	1.2	
	わからない	0.2	1.4	0.1	増加 6.6
		※無回答 4.9			わからない 1.7

「減少」…世帯人数（同居している家族の人数）が変わらない、または増えたにもかかわらず、ごみを出す量が減った人のグループ

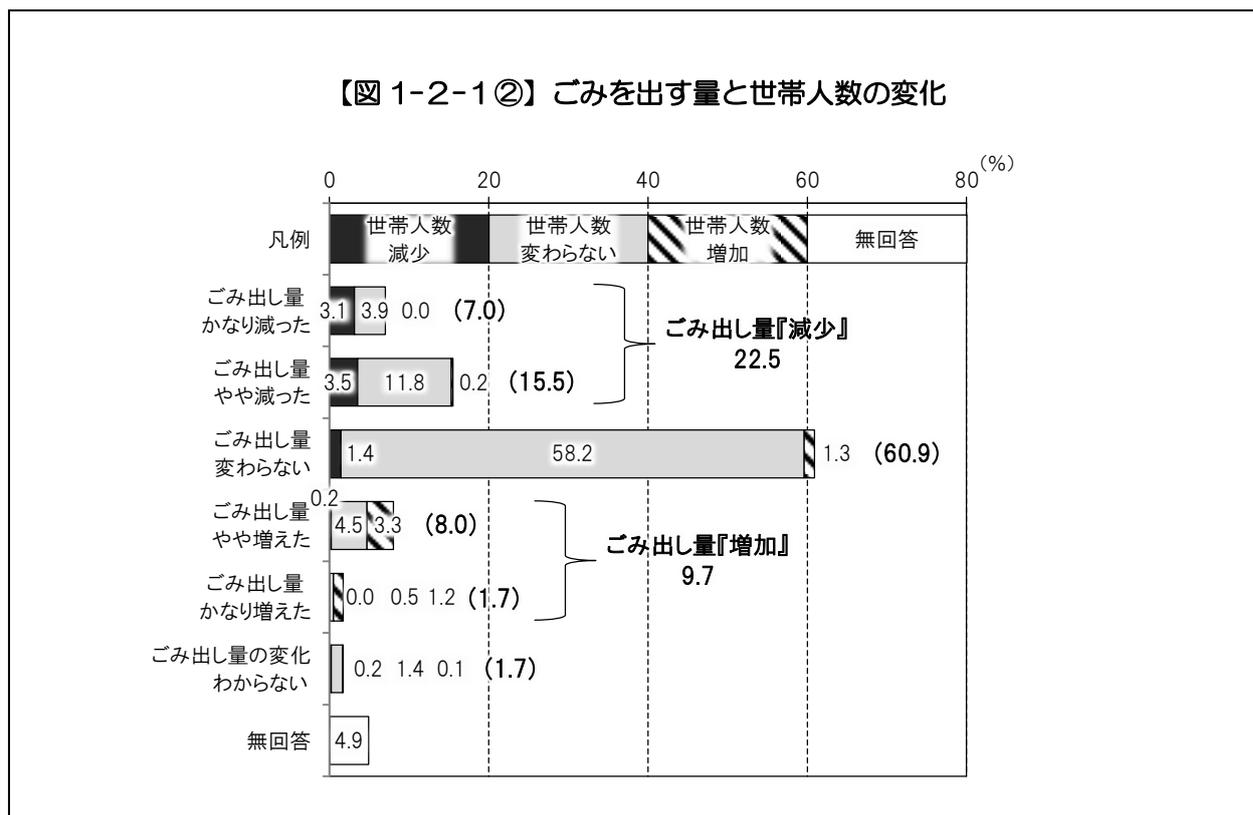
「自然減少」…世帯人数（同居している家族の人数）が減ったことに伴って、ごみを出す量も自然に減ったと考えられる人のグループ

「変化なし」…世帯人数（同居している家族の人数）もごみを出す量もともに変化がなかった人のグループ

「増加」…世帯人数（同居している家族の人数）が変わらない、または減ったにもかかわらず、ごみを出す量が増えた人のグループ

「自然増加」…世帯人数（同居している家族の人数）が増えたことに伴って、ごみを出す量も増えたと考えられる人のグループ

## II 調査結果



### (1) ごみを出す量と世帯人数の変化

最近1年間のごみを出す量と世帯人数（同居している家族の人数）の変化についてたずねたところ、「世帯人数 変化なし・ごみ出し量 変化なし」と答えた人の割合が 58.2%と約6割を占めて最も高い。次いで、「世帯人数 変化なし・ごみ出し量 やや減少」(11.8%)、「世帯人数 変化なし・ごみ出し量 やや増加」(4.5%)、「世帯人数 変化なし・ごみ出し量 かなり減少」(3.9%)となっており、世帯人数に変化がない場合、ごみ出し量は増加より減少した世帯が多い。

また、ごみ出しの量のみ注目してみると、「変化なし」(60.9%)が6割を超えて最も高く、次いで「やや減少」(15.5%)、「やや増加」(8.0%)となっている。

一方、「やや減少」と「かなり減少」を合わせた『減少』(22.5%)は2割を占めており、「やや増加」(8.0%)と「かなり増加」(1.7%)を合わせた『増加』(9.7%)を大きく上回っている。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・ごみ出し量は、関心度が高い人ほど『減少』割合も高くなっている。
- ・一方、『増加』している割合は「関心がない」(18.4%)が約2割を占めて高い。

【表 1-2-2】ごみを出す量と世帯人数の変化

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

	サンプル数	減少	減少		変わらない	増加	増加		わからない	無回答	
			かなり減った	やや減った			やや増えた	かなり増えた			
全体	100.0 2,572	23.1 595	7.3 189	15.8 406	62.1 1,596	9.9 255	8.2 210	1.7 45	1.9 48	3.0 78	
イご クみ ル減 量 関 心 度 リ 別 サ	関心がある	591	33.2	13.2	20.0	54.1	8.1	6.9	1.2	1.4	3.2
	どちらかといえば関心がある	1,622	20.9	5.7	15.2	64.5	10.5	8.6	1.9	1.5	2.7
	どちらかといえば関心がない	266	15.4	3.0	12.4	67.7	9.7	8.6	1.1	4.5	2.6
	関心がない	49	10.2	10.2	-	63.3	18.4	10.2	8.2	4.1	4.1
	無回答	44	34.1	13.6	20.5	40.9	4.5	4.5	-	4.5	15.9

## II 調査結果

### 1-3 ごみ袋の販売金額

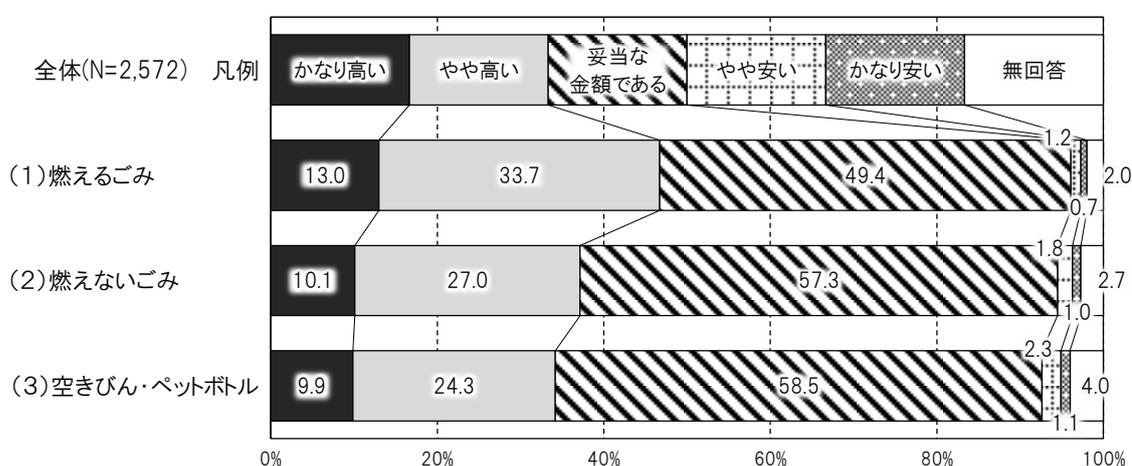
■ごみ袋の販売金額は「妥当」と感じている人は、〈燃えるごみ〉（49.4%）、〈燃えないごみ〉（57.3%）、〈空きびん・ペットボトル〉（58.5%）。

■傾向としては、

- ①「妥当な金額である」と回答する人は、〈燃えるごみ〉、〈燃えないごみ〉、〈空きびん・ペットボトル〉とも、ごみ減量・リサイクルの関心度が高い人。

問3. あなたは、「ごみ袋の金額」についてどのように感じていますか。(1)～(3)についてあてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

【図 1-3】 ごみ袋の販売金額



#### (1) 燃えるごみ

燃えるごみ用袋の販売金額についてたずねたところ、「妥当な金額である」（49.4%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「やや高い」（33.7%）、「かなり高い」（13.0%）となっており、これらを合わせた『高い』（46.7%）は4割強を占めている。

性別では、特徴的な差はみられなかった。

年齢別にみると、

- ・『高い』割合は、年齢が低いほど多く、「18～29歳」では『高い』（58.7%）が約6割を占めている。
- ・一方、年齢が高いほど「妥当な金額である」と答えた人の割合が高くなる傾向がみられる。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「妥当な金額である」と答えた人の割合が高い。

- ・一方、関心度が低い人ほど『高い』が多くみられる。

【表 1-3①】ごみ袋の販売金額（燃えるごみ）

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

	サンプル数	【燃えるごみ】							無回答	
		高い	やや高い		妥当な金額である	安い	やや安い			
			かなり高い	やや高い			かなり安い	やや安い		
全体	100.0 2,572	46.7 1,201	13.0 335	33.7 866	49.4 1,270	1.9 49	1.2 32	0.7 17	2.0 52	
性別	男性	955	44.1	12.3	31.8	51.8	2.0	1.4	0.6	2.1
	女性	1,577	48.2	13.5	34.7	48.0	1.9	1.2	0.7	1.9
	無回答	40	50.0	12.5	37.5	45.0	0.0	-	-	5.0
年齢別	18～29歳	225	58.7	16.0	42.7	39.1	0.8	0.4	0.4	1.3
	30歳代	329	55.6	17.9	37.7	41.6	1.8	1.5	0.3	0.9
	40歳代	453	49.2	12.8	36.4	48.1	1.6	0.7	0.9	1.1
	50歳代	437	55.4	15.1	40.3	42.6	1.3	0.2	1.1	0.7
	60～64歳	212	44.8	9.9	34.9	50.9	2.4	1.9	0.5	1.9
	65～74歳	493	36.5	10.5	26.0	56.8	3.2	2.6	0.6	3.4
	75歳以上	366	31.1	9.0	22.1	63.4	1.7	1.4	0.3	3.8
	無回答	57	56.1	17.5	38.6	36.8	1.8	-	1.8	5.3
ごみ減量・リサイクル関心度別	関心がある	591	36.9	11.5	25.4	56.5	3.6	1.9	1.7	3.0
	どちらかといえば関心がある	1,622	48.3	12.2	36.1	48.9	1.4	1.1	0.3	1.4
	どちらかといえば関心がない	266	56.8	17.7	39.1	41.4	0.4	0.4	-	1.5
	関心がない	49	57.2	28.6	28.6	32.7	6.1	2.0	4.1	4.1
	無回答	44	45.5	18.2	27.3	38.6	2.3	2.3	-	13.6

## （2）燃えないごみ

燃えないごみ用袋の販売金額についてたずねたところ、「妥当な金額である」（57.3%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「やや高い」（27.0%）、「かなり高い」（10.1%）となっており、これらを合わせた『高い』（37.1%）は3割強を占めている。

性別では、特徴的な差はみられなかった。

年齢別にみると、

- ・『高い』割合は、年齢が低いほど多く、「18～29歳」では『高い』（49.8%）が約5割を占めている。
- ・一方、年齢が高いほど「妥当な金額である」と答えた人の割合が高くなる傾向がみられる。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「妥当な金額である」と答えた人の割合が高い。
- ・一方、関心度が低い人ほど『高い』が多くみられる。

## II 調査結果

【表 1-3②】 ごみ袋の販売金額（燃えないごみ）

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

	サンプル数	【燃えないごみ】							無回答	
		高い	やや高い		妥当な金額である	安い	やや安い			
			かなり高い	やや高い			かなり安い	やや安い		
全体	100.0 2,572	37.1 955	10.1 261	27.0 694	57.3 1,474	2.8 73	1.8 46	1.0 27	2.7 70	
性別	男性	955	37.2	10.2	27.0	57.1	2.8	2.0	0.8	2.9
	女性	1,577	37.0	10.0	27.0	57.6	2.9	1.7	1.2	2.4
	無回答	40	40.0	15.0	25.0	50.0	-	-	-	10.0
年齢別	18～29歳	225	49.8	14.2	35.6	46.7	1.7	1.3	0.4	1.8
	30歳代	329	41.1	13.4	27.7	54.1	3.0	2.4	0.6	1.8
	40歳代	453	39.7	9.9	29.8	56.5	2.4	1.1	1.3	1.3
	50歳代	437	46.0	10.1	35.9	51.3	1.3	0.2	1.1	1.4
	60～64歳	212	34.9	9.0	25.9	59.0	3.8	1.9	1.9	2.4
	65～74歳	493	27.4	7.9	19.5	64.1	4.4	3.2	1.2	4.1
	75歳以上	366	24.8	7.9	16.9	66.9	3.0	2.5	0.5	5.2
	無回答	57	47.4	15.8	31.6	43.9	1.8	-	1.8	7.0
ごみ減量・リサイクル関心度別	関心がある	591	29.6	9.8	19.8	61.3	5.1	2.9	2.2	4.1
	どちらかといえば関心がある	1,622	38.1	9.2	28.9	57.7	2.2	1.5	0.7	2.0
	どちらかといえば関心がない	266	44.4	13.2	31.2	53.0	0.8	0.8	-	1.9
	関心がない	49	53.1	24.5	28.6	34.7	4.1	-	4.1	8.2
	無回答	44	40.9	15.9	25.0	40.9	6.8	6.8	-	11.4

### （3）空きびん・ペットボトル

空きびん・ペットボトル用袋の販売金額についてたずねたところ、「妥当な金額である」（58.5%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「やや高い」（24.3%）、「かなり高い」（9.9%）となっており、これらを合わせた『高い』（34.2%）は3割強を占めている。

性別では、特徴的な差はみられなかった。

年齢別にみると、

- ・『高い』割合は、年齢が低いほど多く、「18～29歳」では『高い』（46.6%）が4割強を占めている。
- ・一方、年齢が高いほど「妥当な金額である」と答えた人の割合が高くなる傾向がみられる。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「妥当な金額である」と答えた人の割合が高い。
- ・一方、関心度が低い人ほど『高い』が多くみられる。

【表 1-3③】 ごみ袋の販売金額（空きびん・ペットボトル）

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	【空きびん・ペットボトル】							無回答
			高い	かなり高い	やや高い	妥当な金額である	安い	やや安い	かなり安い	
全体		100.0 2,572	34.2 879	9.9 254	24.3 625	58.5 1,504	3.4 87	2.3 59	1.1 28	4.0 102
性別	男性	955	34.7	10.8	23.9	57.8	3.3	2.6	0.7	4.2
	女性	1,577	33.8	9.1	24.7	59.1	3.5	2.2	1.3	3.6
	無回答	40	37.5	17.5	20.0	50.0	-	-	-	12.5
年齢別	18～29歳	225	46.6	14.2	32.4	49.8	2.2	1.8	0.4	1.3
	30歳代	329	40.7	14.3	26.4	53.5	4.2	3.3	0.9	1.5
	40歳代	453	33.5	8.8	24.7	61.4	3.3	1.8	1.5	1.8
	50歳代	437	41.2	8.9	32.3	54.2	2.3	0.9	1.4	2.3
	60～64歳	212	35.4	9.0	26.4	59.4	2.8	1.9	0.9	2.4
	65～74歳	493	25.1	7.9	17.2	63.7	4.9	3.9	1.0	6.3
	75歳以上	366	23.5	7.7	15.8	64.2	3.0	2.2	0.8	9.3
	無回答	57	40.3	17.5	22.8	45.6	3.6	1.8	1.8	10.5
イごみ クみ ル減 関量 心度 リ 別サ	関心がある	591	28.9	9.3	19.6	59.9	5.6	3.4	2.2	5.6
	どちらかといえば関心がある	1,622	34.7	8.7	26.0	59.9	2.6	1.8	0.8	2.8
	どちらかといえば関心がない	266	38.7	14.3	24.4	54.9	2.3	2.3	-	4.1
	関心がない	49	55.1	28.6	26.5	32.7	4.1	-	4.1	8.2
	無回答	44	36.3	13.6	22.7	36.4	6.8	6.8	-	20.5

## II 調査結果

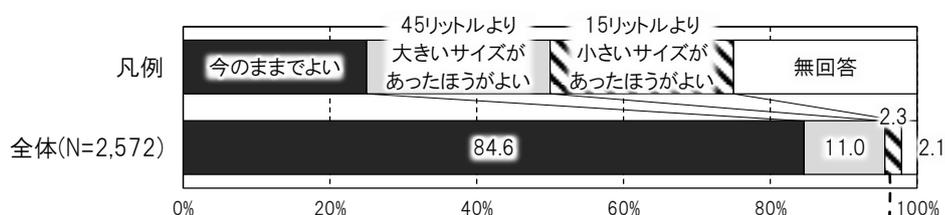
### 1-4 ごみ袋のサイズ

#### 1-4-1 燃えるごみ用袋

- 燃えるごみ用袋のサイズは、「今のままでよい」（84.6%）と答える人が8割以上を占める。
- 大きいサイズの希望者は11.0%、小さいサイズの希望者は2.3%。
- 傾向としては、
  - ①年齢が高いほど「今のままでよい」、年齢が低いほど「45リットルより大きいサイズがあったほうがよい」と答えた人の割合が高い。

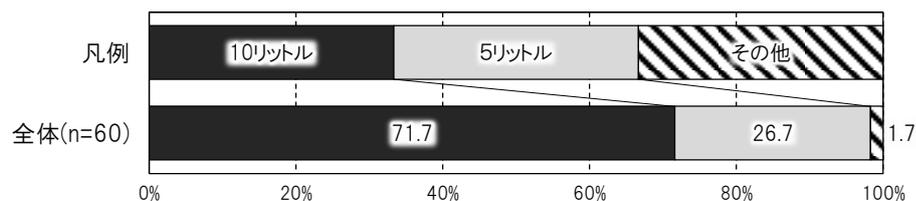
問4（1）. あなたは、「ごみ袋のサイズ」についてどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

【図 1-4-1 ①】 サイズの評価（燃えるごみ用袋）



付問4-1. 【問4（1）で「15リットルより小さいサイズがあったほうがよい」と答えた方へ】  
何リットのサイズがあればよいと思いますか。

【図 1-4-1 ②】 小さくてほしいサイズ（燃えるごみ用袋）



(1) サイズの評価（燃えるごみ用袋）

燃えるごみ用袋のサイズについてたずねたところ、「今のままでよい」（84.6%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「45 リットルより大きいサイズがあったほうがよい」（11.0%）、「15 リットルより小さいサイズがあったほうがよい」（2.3%）となっている。

性別では、特徴的な差はみられなかった。

年齢別にみると、

- ・年齢が高いほど「今のままでよい」、年齢が低いほど「45 リットルより大きいサイズがあったほうがよい」と答えた人の割合が高くなっている。

ごみ減量・リサイクル関心度別では、特徴的な差はみられなかった。

【表 1-4-1 ①】 サイズの評価（燃えるごみ用袋）

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	【燃えるごみ用袋】			
			今のままでよい	あつきほろがよい	あつきほろがよい	あつきほろがよい
全体		100.0 2,572	84.6 2,177	11.0 282	2.3 60	2.1 53
性別	男性	955	84.8	12.0	1.2	2.0
	女性	1,577	84.7	10.3	3.0	2.0
	無回答	40	80.0	12.5	2.5	5.0
年齢別	18～29歳	225	78.7	16.4	3.6	1.3
	30歳代	329	79.6	16.4	3.0	0.9
	40歳代	453	82.8	14.3	1.8	1.1
	50歳代	437	83.8	12.8	2.3	1.1
	60～64歳	212	85.4	9.4	3.3	1.9
	65～74歳	493	88.8	6.5	1.8	2.8
	75歳以上	366	90.7	3.3	1.6	4.4
	無回答	57	80.7	10.5	3.5	5.3
ごみ減量・リサイクル関心度別	関心がある	591	86.0	7.4	4.4	2.2
	どちらかといえば関心がある	1,622	85.3	11.5	1.4	1.8
	どちらかといえば関心がない	266	81.2	13.9	3.4	1.5
	関心がない	49	79.6	14.3	2.0	4.1
	無回答	44	68.2	15.9	4.5	11.4

(2) 小さくてほしいサイズ（燃えるごみ用袋）

「15 リットルより小さいサイズがあったほうがよい」と答えた人（60人）に、希望するサイズについてたずねたところ、「10 リットル」（71.7%）が7割、「5 リットル」（26.7%）が約3割となっている。

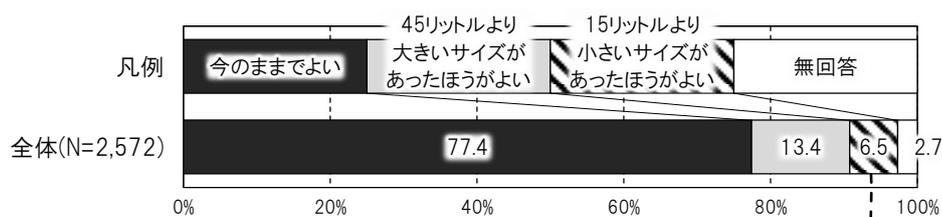
## II 調査結果

### 1-4-2 燃えないゴミ用袋

- 燃えないゴミ用袋のサイズは、「今のままでよい」（77.4%）と答える人が7割強を占める。
- 大きいサイズの希望者は13.4%、小さいサイズの希望者は6.5%。

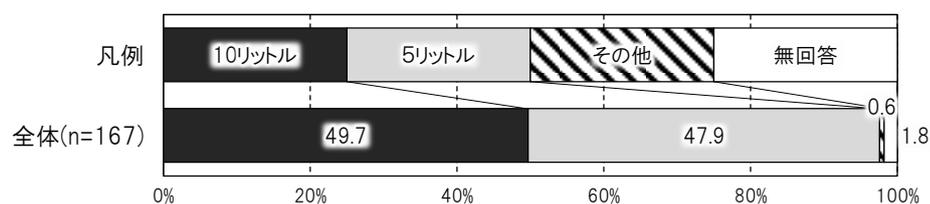
問4（2）. あなたは、「ゴミ袋のサイズ」についてどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

【図 1-4-2①】サイズの評価（燃えないゴミ用袋）



付問4-2. 【問4（2）で「15リットルより小さいサイズがあったほうがよい」と答えた方へ】  
何リットのサイズがあればよいと思いますか。

【図 1-4-2②】小さくてほしいサイズ（燃えないゴミ用袋）



(1) サイズの評価（燃えないごみ用袋）

燃えないごみ用袋のサイズについてたずねたところ、「今のままでよい」（77.4%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「45 リットルより大きいサイズがあったほうがよい」（13.4%）、「15 リットルより小さいサイズがあったほうがよい」（6.5%）となっている。

性別では、特徴的な差はみられなかった。

年齢別にみると、

- ・「今のままでよい」と答えた人は「18～29 歳」（85.8%）の割合が最も高い。

ごみ減量・リサイクル関心度別では、特徴的な差はみられなかった。

【表 1-4-2①】 サイズの評価（燃えないごみ用袋）

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	【燃えないごみ用袋】			
			今のままでよい	あつきほろがよい	あつきほろがよい	あつきほろがよい
全体		100.0 2,572	77.4 1,992	13.4 344	6.5 167	2.7 69
性別	男性	955	79.8	13.7	4.1	2.4
	女性	1,577	76.3	13.1	8.1	2.6
	無回答	40	67.5	17.5	2.5	12.5
年齢別	18～29歳	225	85.8	5.8	7.1	1.3
	30歳代	329	76.6	11.6	10.6	1.2
	40歳代	453	74.2	17.4	7.3	1.1
	50歳代	437	76.2	16.0	5.9	1.8
	60～64歳	212	71.7	19.3	6.6	2.4
	65～74歳	493	79.1	11.4	5.9	3.7
	75歳以上	366	80.9	10.7	3.3	5.2
	無回答	57	70.2	14.0	3.5	12.3
ごみ減量・リサイクル関心度別	関心がある	591	76.0	13.0	7.3	3.7
	どちらかといえば関心がある	1,622	78.5	13.8	5.9	1.8
	どちらかといえば関心がない	266	75.6	12.4	8.6	3.4
	関心がない	49	77.6	8.2	10.2	4.1
	無回答	44	70.5	13.6	2.3	13.6

(2) 小さくてほしいサイズ（燃えないごみ用袋）

「15 リットルより小さいサイズがあったほうがよい」と答えた人（167 人）に、希望するサイズについてたずねたところ、「10 リットル」（49.7%）と「5 リットル」（47.9%）が拮抗している。

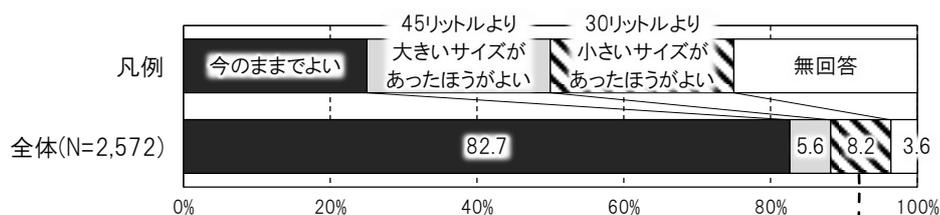
## II 調査結果

### 1-4-3 空きびん・ペットボトル用袋

■空きびん・ペットボトル用袋のサイズは、「今のままでよい」(82.7%)と答える人が8割以上を占める。

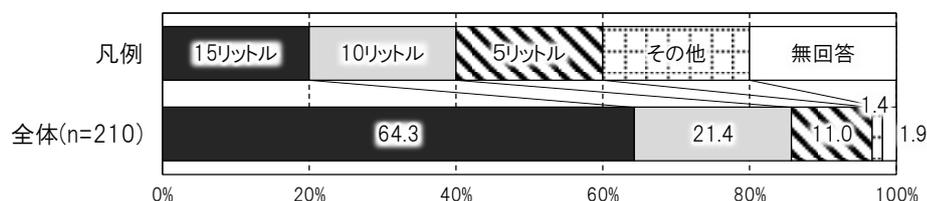
問4(3). あなたは、「ごみ袋のサイズ」についてどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

【図1-4-3①】サイズの評価(空きびん・ペットボトル用袋)



付問4-3. 【問4(3)で「30リットルより小さいサイズがあったほうがよい」と答えた方へ】何リットルのサイズがあればよいと思いますか。

【図1-4-3②】小さくてほしいサイズ(空きびん・ペットボトル用袋)



#### (1) サイズの評価(空きびん・ペットボトル用袋)

空きびん・ペットボトル用袋のサイズについてたずねたところ、「今のままでよい」(82.7%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「30リットルより小さいサイズがあったほうがよい」(8.2%)、「45リットルより大きいサイズがあったほうがよい」(5.6%)となっている。

性別、年齢別でも、特徴的な差はみられなかった。

ごみ減量・リサイクル関心度別では、特徴的な差はみられなかった。

【表 1-4-3①】サイズの評価（空きびん・ペットボトル用袋）

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	【空きびん・ペットボトル用袋】			
			今のままでよい	大きいほうがい	小さいほうがい	無回答
全体		100.0 2,572	82.7 2,126	5.6 144	8.2 210	3.6 92
性別	男性	955	83.7	6.8	5.8	3.8
	女性	1,577	82.2	4.9	9.6	3.2
	無回答	40	77.5	2.5	7.5	12.5
年齢別	18～29歳	225	81.8	5.8	11.1	1.3
	30歳代	329	80.2	7.3	11.2	1.2
	40歳代	453	81.5	8.8	8.4	1.3
	50歳代	437	83.5	6.6	8.0	1.8
	60～64歳	212	81.6	5.2	11.3	1.9
	65～74歳	493	84.2	3.2	5.9	6.7
	75歳以上	366	85.2	2.5	4.6	7.7
	無回答	57	77.2	3.5	8.8	10.5
ごみ減量・リサイクルサ	関心がある	591	79.9	5.1	9.3	5.8
	どちらかといえば関心がある	1,622	84.3	5.5	7.7	2.4
	どちらかといえば関心がない	266	82.0	6.0	8.6	3.4
	関心がない	49	81.6	8.2	6.1	4.1
	無回答	44	63.6	9.1	9.1	18.2

## （2）小さくてほしいサイズ（空きびん・ペットボトル用袋）

「30リットルより小さいサイズがあったほうがよい」と答えた人（210人）に、希望するサイズについてたずねたところ、「15リットル」（64.3%）が最も多く、次いで「10リットル」（21.4%）、「5リットル」（11.0%）となっている。

## II 調査結果

### 1-5 再利用できる不用になった家具や家電製品の処分方法

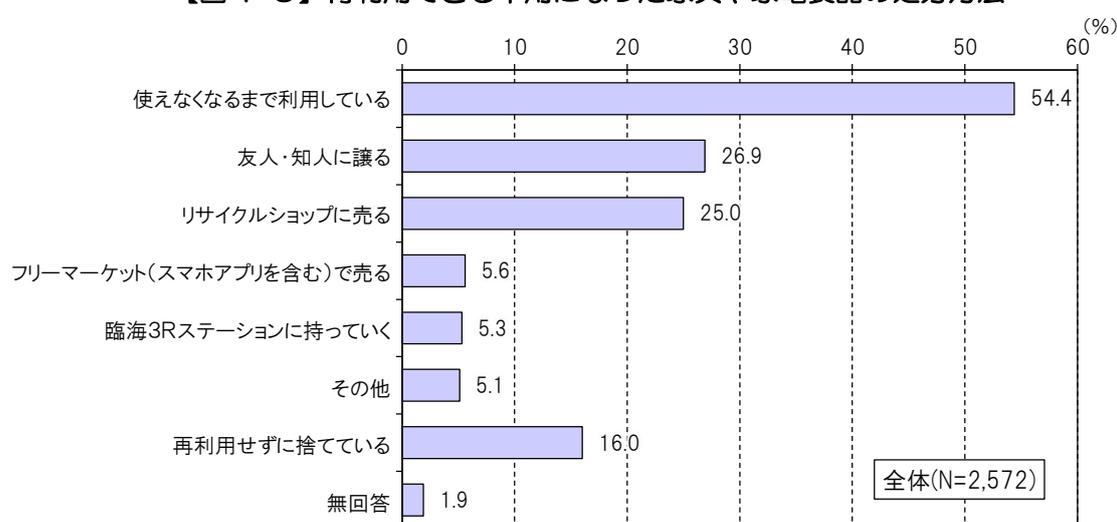
■不用になった家具等の処分方法は、「使えなくなるまで利用している」(54.4%)が最多。

■傾向としては、

- ①年齢が低く、世帯人数が増えるほど、「リサイクルショップに売る」の回答者が多い。
- ②ごみ減量・リサイクルの関心度が高い人ほど、「使えなくなるまで利用している」、「友人・知人に譲る」の回答者が多い。

問5. あなたのご家庭では、再利用できる不用になった家具や家電製品はどのようにしていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【図 1-5】再利用できる不用になった家具や家電製品の処分方法



#### (1) 再利用できる不用になった家具や家電製品の処分方法

再利用できる不用になった家具や家電製品の処分方法についてたずねたところ、「使えなくなるまで利用している」(54.4%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「友人・知人に譲る」(26.9%)、「リサイクルショップに売る」(25.0%)となっている。なお、「再利用せず捨てている」は16.0%である。

年齢別にみると、

- ・年齢が低いほど「リサイクルショップに売る」と答えた人の割合が高く、『50歳代以下』は3割以上を占めている。
- ・また、「友人・知人に譲る」と答えた人は「30歳代」(35.3%)で3割以上を占めている。
- ・なお、年齢が低いほど「再利用せずに捨てている」と答えた人の割合が低くなる傾向がみられる。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数が多いほど「リサイクルショップに売る」と答えた人の割合が高くなり、特に「4人世帯」(36.9%)、「6人以上世帯」(36.4%)は3割強を占めている。
- ・また、「友人・知人に譲る」と答えた人は「5人世帯」(36.4%)で3割強を占めている。

住居形態別では、特徴的な差はみられなかった。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「使えなくなるまで利用している」、「友人・知人に譲る」と答えた人の割合が高い。

【表 1-5】再利用できる不用になった家具や家電製品の処分方法

		数値(全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)									
		サンプル数	利用しなくなるまで	友人・知人に譲る	リサイクルショップに売る	含む(スマートフォン、タブレット)	フリマアプリを	くシヨクシヨク3Rに持ってい	その他	て再利用せずに捨てる	無回答
全体		100.0 2,572	54.4 1,398	26.9 692	25.0 644	5.6 145	5.3 137	5.1 131	16.0 411	1.9 48	
年齢別	18～29歳	225	55.6	29.3	35.1	10.7	4.4	3.1	11.1	-	
	30歳代	329	50.8	35.3	37.4	12.8	3.6	2.4	13.1	1.2	
	40歳代	453	52.1	30.2	35.1	7.7	6.6	3.1	15.0	0.2	
	50歳代	437	58.8	26.5	31.8	4.3	6.2	5.5	13.3	0.5	
	60～64歳	212	54.2	30.2	22.6	4.2	7.5	6.6	17.0	0.5	
	65～74歳	493	55.4	21.5	12.0	1.2	4.9	7.1	20.7	2.6	
	75歳以上	366	54.4	19.1	6.6	0.8	4.1	7.7	18.9	6.0	
	無回答	57	45.6	29.8	22.8	12.3	5.3	1.8	17.5	8.8	
世帯人数別	1人	461	50.3	26.5	18.0	4.6	3.0	6.1	19.1	2.0	
	2人	881	57.1	24.6	20.3	4.5	4.9	5.8	15.7	2.2	
	3人	572	55.4	28.3	28.7	5.4	5.2	5.1	15.2	0.9	
	4人	382	54.7	28.3	36.9	8.4	9.4	2.4	14.1	0.8	
	5人	129	50.4	36.4	30.2	7.8	4.7	7.8	13.2	0.8	
	6人以上	55	50.9	27.3	36.4	5.5	7.3	1.8	16.4	5.5	
		無回答	92	47.8	22.8	19.6	8.7	4.3	3.3	19.6	8.7
住居形態別	一戸建て	944	58.6	25.3	20.8	4.2	6.7	4.9	15.9	2.4	
	集合住宅(アパート、マンション、社宅、寮など)	1,569	52.0	27.7	27.9	6.4	4.5	5.3	16.0	1.2	
	その他	17	47.1	41.2	17.6	5.9	-	11.8	11.8	11.8	
		無回答	42	50.0	28.6	19.0	7.1	7.1	-	19.0	9.5
ごみ減量関心度別	関心がある	591	57.0	28.1	23.9	5.6	8.1	7.1	12.4	2.5	
	どちらかといえば関心がある	1,622	55.5	27.9	26.2	5.4	5.0	4.7	15.6	1.0	
	どちらかといえば関心がない	266	44.7	21.8	21.1	7.5	2.6	4.1	26.3	1.5	
	関心がない	49	36.7	16.3	28.6	8.2	2.0	4.1	22.4	2.0	
		無回答	44	54.5	18.2	18.2	2.3	-	-	9.1	25.0

## II 調査結果

### 1-6 粗大ごみの排出状況

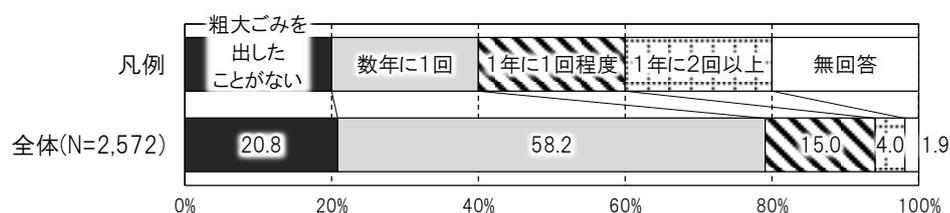
■粗大ごみの排出頻度は「数年に1回」(58.2%)、粗大ごみの排出時期は「壊れて使用できなくなった」(74.3%)が最多。

■傾向としては、

①世帯人数が少なく、ごみ減量・リサイクルの関心度が低い人ほど、「粗大ごみを出したことがない」の回答者が多い。

問6. あなたのご家庭では、粗大ごみを1年にどの程度出していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

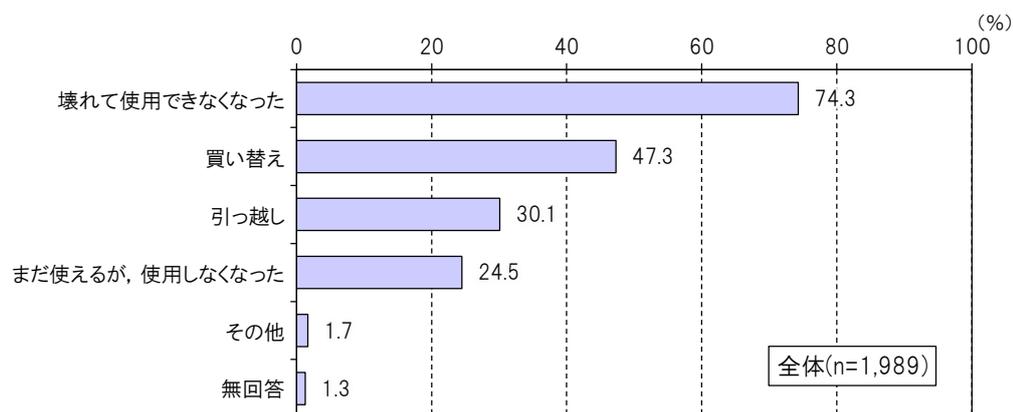
【図 1-6①】粗大ごみの排出頻度



付問6-1. 【問6で「数年に1回」「1年に1回程度」「1年に2回以上」と答えた方へ】

あなたのご家庭が粗大ごみを出すのはどのような時ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【図 1-6②】粗大ごみの排出時期



#### (1) 粗大ごみの排出頻度

粗大ごみの排出状況についてたずねたところ、「数年に1回」(58.2%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「1年に1回程度」(15.0%)、「1年に2回以上」(4.0%)となっている。なお、「粗大ごみを出したことがない」(20.8%)と答えた人は2割である。

年齢別にみると、

- ・「粗大ごみを出したことがない」と答えた人は「18～29歳」(31.1%)で3割以上を占めている。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数が少ないほど「粗大ごみを出したことがない」と答えた人の割合が高くなり、「1人世帯」(36.0%)は3割強を占めている。

住居形態別では、特徴的な差はみられなかった。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が低いほど「粗大ごみを出したことがない」と答えた人の割合が高く、「関心がない」は55.1%となっている。

【表 1-6①】粗大ごみの排出頻度

数値(全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)

		サンプル数	粗大ごみを出したことがない	数年に1回	1年に1回程度	1年に2回以上	無回答
全体		100.0 2,572	20.8 535	58.2 1,498	15.0 387	4.0 104	1.9 48
年齢別	18～29歳	225	31.1	49.8	15.1	4.0	-
	30歳代	329	19.5	59.9	13.4	6.1	1.2
	40歳代	453	17.0	62.9	15.5	4.0	0.7
	50歳代	437	15.6	60.9	18.5	4.1	0.9
	60～64歳	212	15.6	59.9	18.4	3.3	2.8
	65～74歳	493	22.1	58.6	14.4	3.7	1.2
	75歳以上	366	27.0	53.0	10.9	3.6	5.5
	無回答	57	26.3	49.1	14.0	1.8	8.8
世帯人数別	1人	461	36.0	50.3	10.2	0.9	2.6
	2人	881	21.3	58.3	14.1	4.2	2.0
	3人	572	15.4	62.1	17.7	3.8	1.0
	4人	382	13.4	62.8	16.5	6.5	0.8
	5人	129	8.5	66.7	19.4	5.4	-
	6人以上	55	16.4	54.5	20.0	7.3	1.8
	無回答	92	23.9	44.6	17.4	5.4	8.7
	住居形態別	一戸建て	944	16.9	58.3	16.4	5.7
集合住宅(アパート、マンション、社宅、寮など)		1,569	22.7	59.0	14.2	3.1	1.0
その他		17	35.3	41.2	11.8	-	11.8
無回答		42	31.0	38.1	16.7	2.4	11.9
ごみ減量・リサイクル関心度別	関心がある	591	19.1	57.5	14.7	4.9	3.7
	どちらかといえば関心がある	1,622	19.7	60.5	15.3	3.6	0.9
	どちらかといえば関心がない	266	25.2	52.3	16.5	4.9	1.1
	関心がない	49	55.1	32.7	8.2	4.1	-
	無回答	44	20.5	50.0	9.1	2.3	18.2

## II 調査結果

### (2) 粗大ごみの排出時期

粗大ごみを排出すると答えた人(1,989人)に、その時期についてたずねたところ、「壊れて使用できなくなった」(74.3%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「買い替え」(47.3%)、「引っ越し」(30.1%)、「まだ使えるが、使用しなくなった」(24.5%)となっている。

年齢別にみると、

- ・年齢が低いほど「引っ越し」と答えた人の割合が高く、「18～29歳」(45.2%)、「30歳代」(49.8%)は4割強を占めている。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数にかかわらず「壊れて使用できなくなった」と答えた人の割合が最も高く、世帯人数が多いほどその傾向が強い。

住居形態別では、

- ・「引っ越し」と答えた人は、「集合住宅(アパート、マンション、社宅、寮など)」(38.2%)で約4割以上を占めている。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・「関心がある」は、「まだ使えるが、使用しなくなった」(30.7%)と答えた割合が高く、関心度が低くなるほど「引っ越し」と答えた割合が高くなる傾向がみられる。

【表 1-6②】粗大ごみの排出時期

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	く壊れて使 なつた使用 できな	買い替 え	引越 し	用ま しな く使 えな くな つた が、 使	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 1,989	74.3 1,477	47.3 940	30.1 599	24.5 487	1.7 34	1.3 25
年齢別	18～29歳	155	72.9	48.4	45.2	20.6	-	0.6
	30歳代	261	73.9	54.0	49.8	18.8	-	1.5
	40歳代	373	77.2	50.4	34.9	20.6	1.3	0.8
	50歳代	365	78.6	47.7	28.2	23.3	2.5	0.5
	60～64歳	173	74.0	51.4	23.7	32.9	1.2	0.6
	65～74歳	378	72.5	44.4	19.8	28.8	3.2	0.8
	75歳以上	247	67.6	35.2	15.4	29.6	2.0	4.5
	無回答	37	73.0	48.6	32.4	13.5	2.7	-
世帯人数別	1人	283	65.7	39.2	35.3	24.0	2.5	2.5
	2人	675	74.2	45.5	27.9	27.3	2.1	1.0
	3人	478	76.2	51.9	32.2	25.1	0.6	1.3
	4人	328	78.4	51.5	34.1	18.0	1.5	0.6
	5人	118	80.5	45.8	19.5	28.8	1.7	1.7
	6人以上	45	80.0	51.1	22.2	11.1	2.2	-
	無回答	62	61.3	45.2	19.4	27.4	3.2	1.6
住居形態別	一戸建て	759	78.7	45.5	17.3	27.0	2.2	1.3
	集合住宅(アパート、マンション、社宅、寮など)	1,197	71.5	48.3	38.2	22.9	1.4	1.3
	その他	9	66.7	44.4	55.6	22.2	-	-
	無回答	24	75.0	54.2	25.0	25.0	-	-
イごみ減 量・リ サイクル 度別	関心がある	456	72.8	41.9	26.1	30.7	3.1	1.5
	どちらかといえば関心がある	1,288	75.6	48.6	30.4	22.4	1.5	1.2
	どちらかといえば関心がない	196	70.4	52.6	36.2	26.0	0.5	1.0
	関心がない	22	54.5	45.5	45.5	13.6	-	-
	無回答	27	77.8	37.0	25.9	18.5	-	3.7

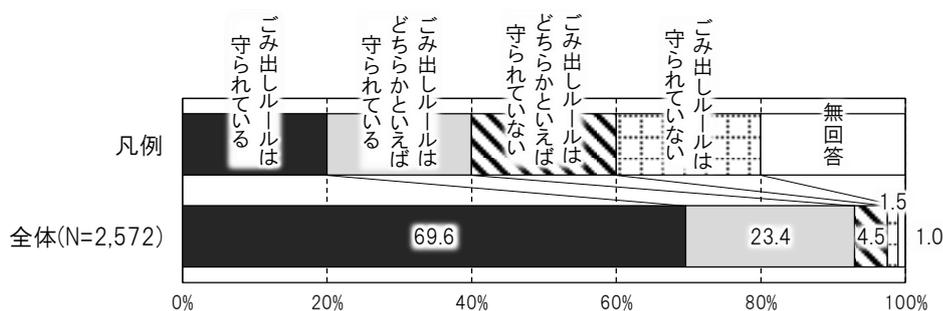
## II 調査結果

### 1-7 ごみ出しルールの遵守状況など

- ごみ出しルールは『守られている』(93.0%)と回答する人が大半を占める。
- ごみ出しルールの違反内容は、「早い時間帯」(54.7%)、「ごみ出し日以外の日」(53.4%)に特化。
- ごみ出しルールが守れない理由は、「ごみを出す日に出せない」(35.6%)が最多。

問7. あなたが住んでいる隣近所では、ごみ出しルールは守られていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

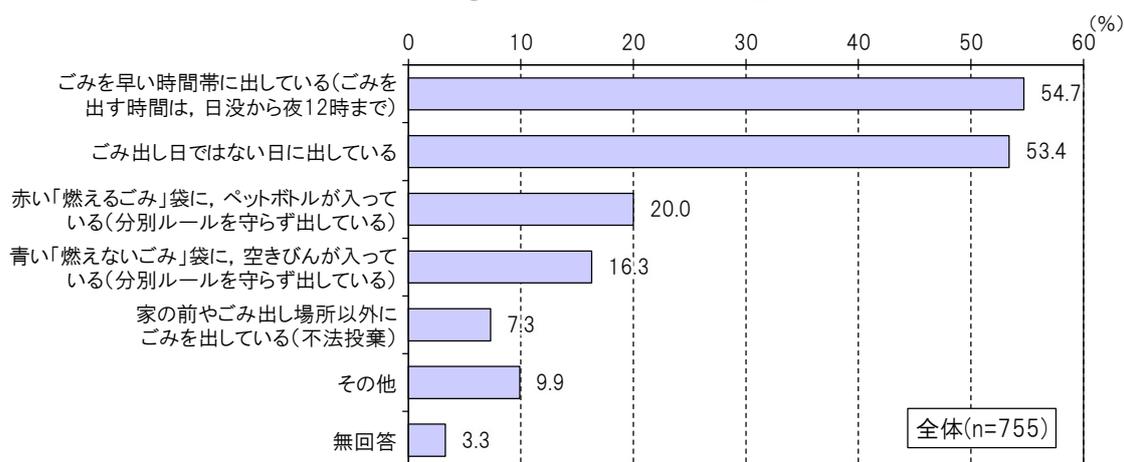
【図 1-7①】ごみ出しルールの遵守状況



付問7-1. 【問7で「ごみ出しルールはどちらかといえば守られている」「ごみ出しルールはどちらかといえば守られていない」「ごみ出しルールは守られていない」と答えた方へ】

どのようなルール違反が見られますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

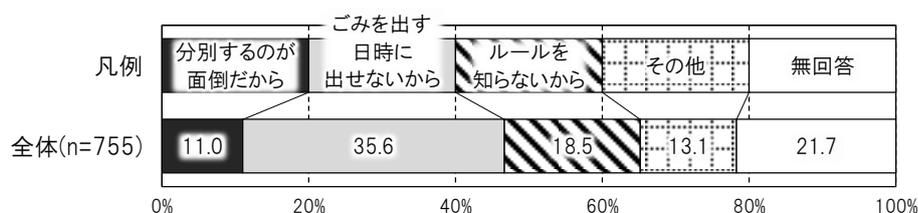
【図 1-7②】ごみ出しルールの違反内容



付問7-2.【問7で「ごみ出しルールはどちらかといえば守られている」「ごみ出しルールはどちらかといえば守られていない」「ごみ出しルールは守られていない」と答えた方へ】

隣近所でルールが守られない主な理由は何だと考えますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

【図 1-7③】ごみ出しルールが遵守されない理由



### (1) ごみ出しルールの遵守状況

隣近所がごみ出しルールを守っているかについてたずねたところ、「ごみ出しルールは守られている」と答えた人が 69.6%、「ごみ出しルールはどちらかといえば守られている」と答えた人が 23.4% となっており、これらを合わせて『守られている』は 93.0% を占める。一方、『守られていない』（「ごみ出しルールはどちらかといえば守られていない」と「ごみ出しルールは守られていない」の合計）と答えた人は 6.0% となっている。

性別、年齢別でも、特徴的な差はみられなかった。

ごみ減量・リサイクル関心度別では、特徴的な差はみられなかった。

## II 調査結果

【表 1-7①】 ごみ出しルールの遵守状況

		数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）					
		サ ン プ ル 数	守 ら れ て い る ル は	ど ち ら か し い と い え ば	ど ち ら か し い と い え ば	ど ち ら か し い と い え ば	無 回 答
全体		100.0 2,572	69.6 1,791	23.4 601	4.5 116	1.5 38	1.0 26
性別	男性	955	71.4	21.5	4.3	1.5	1.4
	女性	1,577	68.6	24.6	4.6	1.4	0.8
	無回答	40	67.5	20.0	5.0	5.0	2.5
年齢別	18～29歳	225	65.8	26.2	6.2	1.8	-
	30歳代	329	55.0	35.9	6.4	1.8	0.9
	40歳代	453	64.7	28.0	5.5	1.1	0.7
	50歳代	437	68.2	26.1	3.7	0.9	1.1
	60～64歳	212	73.6	19.8	5.2	0.9	0.5
	65～74歳	493	76.5	16.8	3.7	1.6	1.4
	75歳以上	366	81.7	12.6	2.5	1.6	1.6
	無回答	57	68.4	21.1	3.5	5.3	1.8
ごみ減量・リサイクル 関心度別	関心がある	591	72.4	19.6	4.7	2.0	1.2
	どちらかといえば関心がある	1,622	69.2	24.7	4.3	1.0	0.9
	どちらかといえば関心がない	266	65.4	26.3	4.9	3.0	0.4
	関心がない	49	69.4	20.4	8.2	2.0	-
	無回答	44	75.0	11.4	4.5	-	9.1

### （2）ごみ出しルールの違反内容

ごみ出しルールは守られているとは言えないと答えた人（755人）に、違反内容についてたずねたところ、「ごみを早い時間帯に出している（ごみを出す時間は、日没から夜12時まで）」（54.7%）、「ごみ出し日ではない日に出している」（53.4%）と答えた人の割合が高く、以下、「赤い「燃えるごみ」袋に、ペットボトルが入っている（分別ルールを守らず出している）」（20.0%）、「青い「燃えないごみ」袋に、空きびんが入っている（分別ルールを守らず出している）」（16.3%）、「家の前やごみ出し場所以外にごみを出している（不法投棄）」（7.3%）と続いている。

性別、年齢別でも、特徴的な差はみられなかった。

ごみ減量・リサイクル関心度別では、特徴的な差はみられなかった。

【表 1-7②】 ごみ出しルールの違反内容

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	夜（12時まで） ごみを出す時間	ごみ出し日ではない日に 出して	トボルトルが入っていない（分別）	赤い「燃えるごみ」袋に 入れる（分別）	青い「燃えないごみ」袋に 入れる（分別）	青い「燃えないごみ」袋に 入れる（分別）	家の前やごみ出し場所以外に 出す（不法投棄）	その他	無回答
全体		755	54.7 413	53.4 403	20.0 151	16.3 123	7.3 55	9.9 75	3.3 25		
性別	男性	260	55.8	50.0	18.8	15.0	5.4	7.3	3.1		
	女性	483	54.2	55.5	20.5	16.8	7.9	11.6	3.3		
	無回答	12	50.0	41.7	25.0	25.0	25.0	-	8.3		
年齢別	18～29歳	77	62.3	66.2	16.9	10.4	5.2	7.8	2.6		
	30歳代	145	64.1	61.4	20.7	13.8	9.0	13.1	1.4		
	40歳代	157	56.7	55.4	15.9	14.6	2.5	9.6	2.5		
	50歳代	134	50.7	48.5	15.7	13.4	8.2	12.7	3.0		
	60～64歳	55	41.8	54.5	29.1	27.3	5.5	10.9	1.8		
	65～74歳	109	49.5	42.2	23.9	22.0	7.3	9.2	6.4		
	75歳以上	61	49.2	44.3	24.6	19.7	14.8	3.3	6.6		
	無回答	17	47.1	47.1	29.4	17.6	17.6	-	5.9		
ごみ減量・リサイクル 関心度別	関心がある	156	52.6	52.6	21.2	19.9	12.8	13.5	3.2		
	どちらかといえば関心がある	486	54.9	52.5	19.5	15.6	6.0	9.5	3.1		
	どちらかといえば関心がない	91	57.1	61.5	18.7	12.1	6.6	6.6	3.3		
	関心がない	15	53.3	53.3	26.7	13.3	-	13.3	6.7		
	無回答	7	57.1	28.6	28.6	42.9	-	-	14.3		

（3）ごみ出しルールが遵守されない理由

ごみ出しルールは守られているとは言えないと答えた人（755人）に、ルールが守られない理由についてたずねたところ、「ごみを出す日時に出せないから」（35.6%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「ルールを知らないから」（18.5%）、「分別するのが面倒だから」（11.0%）となっている。

性別では、特徴的な差はみられなかった。

年齢別にみると、

- ・年齢が低いほど「ごみを出す日時に出せないから」、年齢が高いほど「ルールを知らないから」と答えた人の割合が高い。

ごみ減量・リサイクル関心度別では、特徴的な差はみられなかった。

II 調査結果

【表 1-7③】ごみ出しルールが遵守されない理由

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	だ か 分 別 ら す る の が 面 倒	出 ご せ み な い 出 か ら す 日 時 に	か ら ル ル を 知 ら な い	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 755	11.0 83	35.6 269	18.5 140	13.1 99	21.7 164
性別	男性	260	10.0	38.1	18.5	13.1	20.4
	女性	483	11.2	35.0	18.6	12.8	22.4
	無回答	12	25.0	8.3	16.7	25.0	25.0
年齢別	18～29歳	77	16.9	45.5	11.7	13.0	13.0
	30歳代	145	8.3	48.3	11.7	8.3	23.4
	40歳代	157	8.3	42.7	16.6	14.0	18.5
	50歳代	134	9.7	38.8	22.4	15.7	13.4
	60～64歳	55	18.2	20.0	23.6	18.2	20.0
	65～74歳	109	11.9	22.0	22.0	14.7	29.4
	75歳以上	61	8.2	11.5	29.5	8.2	42.6
	無回答	17	23.5	17.6	17.6	17.6	23.5
ごみ減量・リサイクル	関心がある	156	10.3	26.9	25.0	15.4	22.4
	どちらかといえば関心がある	486	10.3	38.1	17.5	11.9	22.2
	どちらかといえば関心がない	91	11.0	42.9	13.2	16.5	16.5
	関心がない	15	40.0	20.0	13.3	6.7	20.0
	無回答	7	14.3	-	28.6	14.3	42.9

### 1-8 ごみ出しルールの確認方法

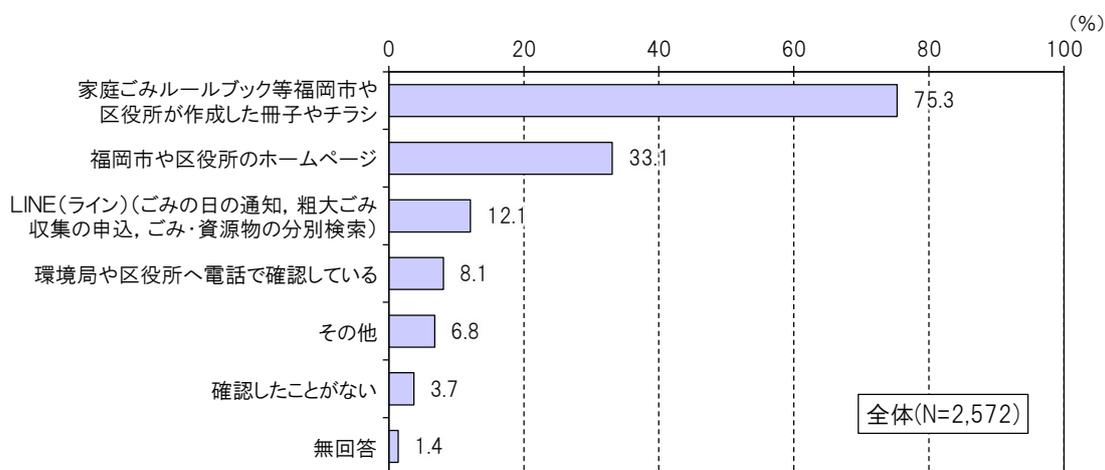
■ごみ出しルールの確認方法は、「家庭ごみルールブック等福岡市や区役所が作成した冊子やチラシ」（75.3%）が最多。

■傾向としては、

①年齢が高いほど「家庭ごみルールブック等福岡市や区役所が作成した冊子やチラシ」、年齢が低いほど「福岡市や区役所のホームページ」と答えた人の割合が高い。

問8. あなたは、ごみ出しルールをどこで確認しますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【図 1-8】 ごみ出しルールの確認方法



#### (1) ごみ出しルールの確認方法

ごみ出しルールの確認方法についてたずねたところ、「家庭ごみルールブック等福岡市や区役所が作成した冊子やチラシ」（75.3%）と答えた人の割合が圧倒的に高く、以下、「福岡市や区役所のホームページ」（33.1%）、「LINE（ライン）（ごみの日の通知，粗大ごみ収集の申込，ごみ・資源物の分別検索）」（12.1%）、「環境局や区役所へ電話で確認している」（8.1%）と続いている。

なお、「確認したことがない」（3.7%）と答えた人は少ない。

性別では、特徴的な差はみられなかった。

年齢別にみると、

- ・年齢が高いほど「家庭ごみルールブック等福岡市や区役所が作成した冊子やチラシ」と答えた人の割合が高く、『60歳代以上』は8割を占めている。
- ・一方、年齢が低いほど「福岡市や区役所のホームページ」と答えた人の割合が高く、「30歳代」（50.5%）は5割、「40歳代」（47.7%）、「50歳代」（44.2%）は4割以上を占めている。

## II 調査結果

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「家庭ごみルールブック等福岡市や区役所が作成した冊子やチラシ」と答えた人の割合が高く、特に「関心がある」は83.2%と8割以上を占めている。

【表 1-8】ごみ出しルールの確認方法

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	シヤ家 区庭 役所 が 作 成 し た 冊 子 等 福 岡 市	福 岡 市 や 区 役 所 の ホ ー ム ペ ー ジ	ご の み 通 知 資 源 の 分 別 検 索 （ 粗 大 ご み の 申 込 の 日 ）	LINE（ライン）（ごみの日）	環境局や区役所へ電話で確認している	その他	確認したことがない	無回答
全体		100.0 2,572	75.3 1,938	33.1 852	12.1 311	8.1 209	6.8 175	3.7 94	1.4 36	
性別	男性	955	74.6	33.2	9.6	7.4	7.5	4.4	1.6	
	女性	1,577	76.0	33.4	13.7	8.5	6.4	3.1	1.2	
	無回答	40	70.0	22.5	7.5	10.0	5.0	7.5	5.0	
年齢別	18～29歳	225	60.0	34.7	12.9	3.1	6.2	11.6	0.9	
	30歳代	329	60.8	50.5	20.1	2.7	8.2	4.0	0.9	
	40歳代	453	70.6	47.7	19.4	5.5	5.3	2.2	0.2	
	50歳代	437	77.6	44.2	11.4	8.0	5.9	2.3	1.1	
	60～64歳	212	84.9	26.9	10.8	6.6	10.4	1.4	0.9	
	65～74歳	493	86.2	14.8	6.1	14.2	7.1	2.6	1.2	
	75歳以上	366	81.4	13.9	5.2	12.0	6.0	4.4	4.1	
	無回答	57	71.9	31.6	10.5	8.8	8.8	5.3	3.5	
ごみ減量・リサイクル関心度別	関心がある	591	83.2	28.6	10.7	13.0	6.6	1.7	1.5	
	どちらかといえば関心がある	1,622	75.8	34.8	12.9	6.9	6.2	3.7	0.9	
	どちらかといえば関心がない	266	63.2	36.8	10.5	6.4	8.6	6.8	0.8	
	関心がない	49	42.9	30.6	12.2	2.0	16.3	8.2	4.1	
	無回答	44	63.6	11.4	9.1	4.5	11.4	4.5	20.5	

## 第2章 資源物の出し方について

### 2-1 資源ごみの処理方法

#### 2-1-1 紙類

■新聞紙・段ボール・雑誌は「地域の集団回収（資源物回収）」、紙パック・雑紙は「燃えるごみの日に出す」が最多。

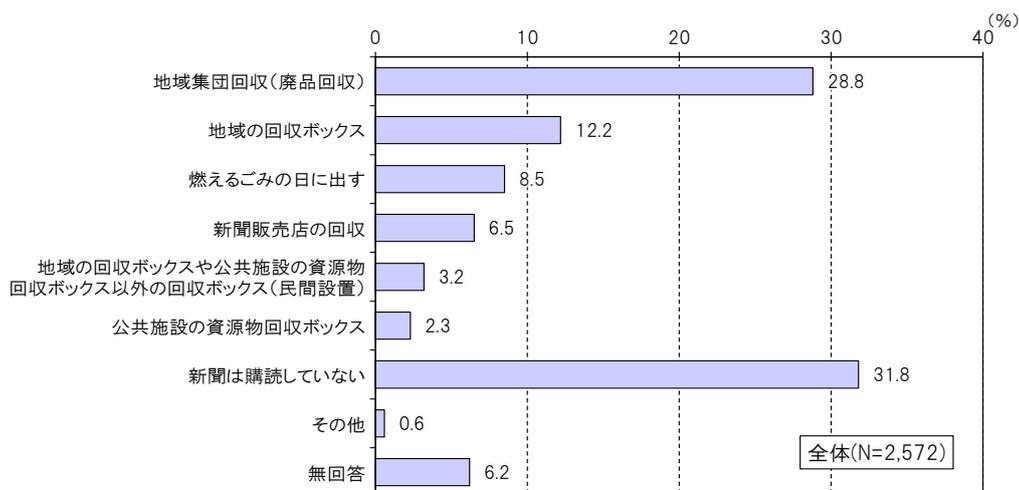
■傾向としては、

- ①新聞・段ボール・雑紙は、年齢が高い人ほど「地域の集団回収（資源物回収）」に出している。
- ②ごみ減量・リサイクルの関心度が高い人は「地域の集団回収（資源物回収）」に出しているが、関心度が低い人は「燃えるごみ」として出している。

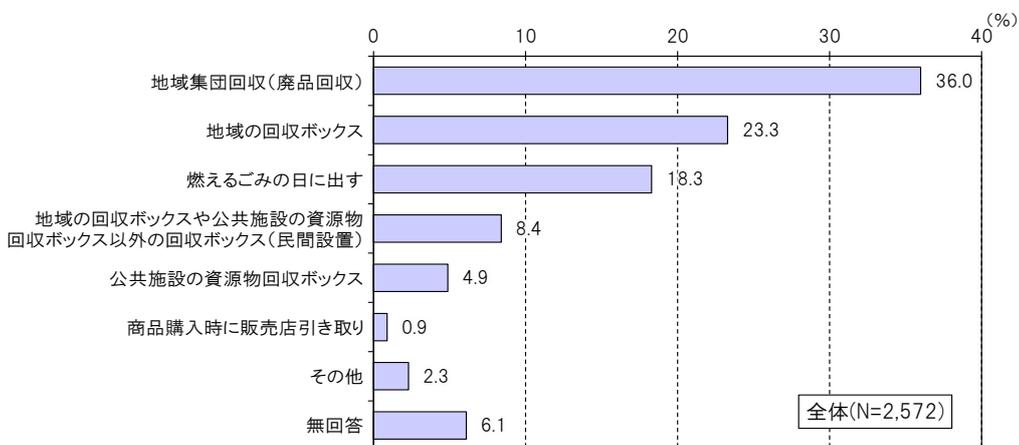
問9. あなたのご家庭では、次に掲げる（1）～（12）の品目について、どのように処理していますか。それぞれの項目ごとに主に当てはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

【図2-1-1①】資源ごみの処理方法（紙類）

#### （1）新聞（折り込みチラシ含む）



#### （2）段ボール

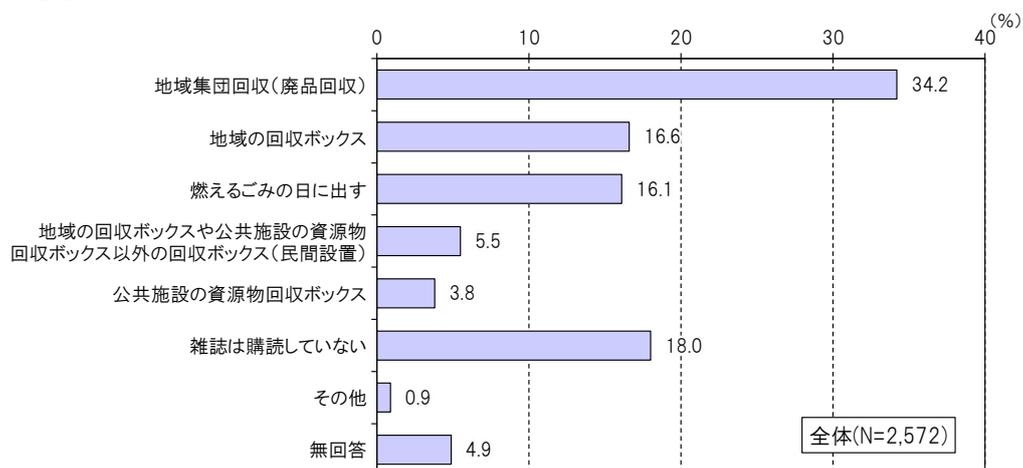


## II 調査結果

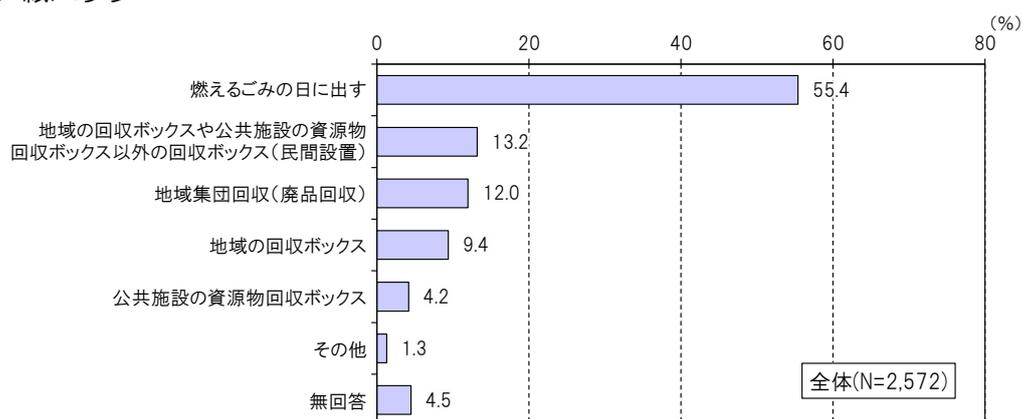
問9. あなたのご家庭では、次に掲げる(1)～(12)の品目について、どのように処理していますか。それぞれの項目ごとに主に当てはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

【図2-1-1②】資源ごみの処理方法（紙類）

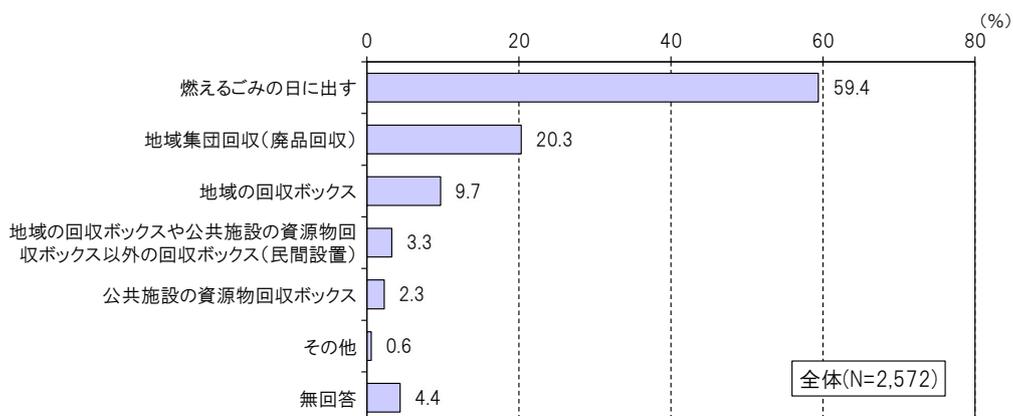
### (3) 雑誌



### (4) 紙パック



### (5) 雑がみ（雑誌・紙パックを除く。）



### (1) 新聞（折り込みチラシ含む）

新聞（折り込みチラシ含む）の処分方法についてたずねたところ、「地域集団回収（廃品回収）」（28.8%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「地域の回収ボックス」（12.2%）、「燃えるごみの日に出す」（8.5%）、「新聞販売店の回収」（6.5%）となっている。

なお、「新聞は購読していない」（31.8%）と答えた人は3割である。

年齢別にみると、

- ・年齢が高いほど「地域集団回収（廃品回収）」と答えた人が多く、特に「75歳以上」（44.0%）は4割以上、「60～64歳」（38.2%）、「65～74歳」（37.9%）は3割強を占めている。
- ・一方、年齢が低いほど「新聞は購読していない」と答えた人の割合が高く、「18～29歳」は56.0%、「30歳代」は56.5%、「40歳代」は46.4%となっている。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数にかかわらず「地域集団回収（廃品回収）」と答えた人が最も多く、全体結果とほぼ同様の傾向を示している。
- ・なお、「1人世帯」は「新聞は購読していない」（49.2%）が約5割を占めている。

住居形態別にみると、

- ・住居形態にかかわらず「地域集団回収（廃品回収）」と答えた人が最も多く、「一戸建て」（39.0%）は約4割を占めている。
- ・なお、「新聞は購読していない」と答えた人は、「集合住宅（アパート、マンション、社宅、寮など）」（40.8%）で4割を占めている。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「地域集団回収（廃品回収）」と答えた人の割合が高く、特に「関心がある」は39.9%と約4割を占めている。一方、「関心がない」は「燃えるごみの日に出す」（20.4%）と答えた人が最も多い。
- ・なお、関心度が低いほど「新聞は購読していない」と答えた人の割合が高く、「関心がない」は57.1%、「どちらかといえば関心がない」は42.5%となっている。

II 調査結果

【表2-1-1①】資源ごみの処理方法（紙類）\_①新聞（折り込みチラシ含む）

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

	サンプル数	新聞（折り込みチラシ含む）									
		地域集団回収（廃品回収）	地域の回収ボックス	燃えるごみの日に出す	新聞販売店の回収	地域の資源物回収ボックス（民間設置）	地域の回収ボックスや公共施設	公共施設の資源物回収ボックス	新聞は購読していない	その他	無回答
全体	100.0 2,572	28.8 740	12.2 314	8.5 218	6.5 167	3.2 82	2.3 58	31.8 819	0.6 15	6.2 159	
年齢別	18～29歳	225	17.8	12.0	5.3	2.7	0.9	1.3	56.0	0.4	3.6
	30歳代	329	10.6	10.0	10.6	2.4	2.7	3.0	56.5	0.6	3.3
	40歳代	453	23.0	10.6	6.8	4.0	3.1	1.8	46.4	0.4	4.0
	50歳代	437	27.2	13.5	9.8	6.6	6.4	2.1	27.7	1.4	5.3
	60～64歳	212	38.2	13.7	8.5	6.6	3.3	2.4	20.8	-	6.6
	65～74歳	493	37.9	14.0	8.7	8.1	2.8	2.4	17.6	0.6	7.7
	75歳以上	366	44.0	12.3	6.8	12.8	1.6	2.7	8.7	0.3	10.7
	無回答	57	22.8	7.0	19.3	8.8	3.5	1.8	22.8	-	14.0
世帯人数別	1人	461	18.0	9.1	9.8	4.3	1.7	2.0	49.2	0.2	5.6
	2人	881	32.2	12.8	8.3	8.9	3.1	1.9	25.0	0.7	7.2
	3人	572	32.0	12.2	9.3	5.1	3.5	2.6	30.2	0.7	4.4
	4人	382	27.0	14.7	6.5	5.2	3.9	2.6	33.5	0.8	5.8
	5人	129	31.8	14.0	4.7	7.0	4.7	2.3	27.1	0.8	7.8
	6人以上	55	36.4	14.5	5.5	5.5	5.5	-	27.3	-	5.5
	無回答	92	28.3	7.6	14.1	8.7	3.3	4.3	22.8	-	10.9
	住居形態別	一戸建て	944	39.0	14.3	5.0	9.2	3.4	2.4	17.5	0.6
集合住宅（アパート、マンション、社宅、寮など）		1,569	22.9	11.3	10.3	4.8	3.0	2.1	40.8	0.5	4.4
その他		17	17.6	-	17.6	5.9	5.9	5.9	29.4	5.9	11.8
無回答		42	23.8	4.8	16.7	9.5	4.8	2.4	21.4	-	16.7
ごみ減量・リサイクル意識別	関心がある	591	39.9	14.7	5.8	6.6	4.7	2.0	18.1	0.3	7.8
	どちらかといえば関心がある	1,622	27.1	11.8	8.2	6.5	2.8	2.6	34.8	0.7	5.5
	どちらかといえば関心がない	266	16.9	9.8	13.5	6.4	2.6	1.1	42.5	0.8	6.4
	関心がない	49	14.3	4.1	20.4	-	2.0	2.0	57.1	-	-
	無回答	44	27.3	15.9	11.4	13.6	2.3	-	13.6	-	15.9

## (2) 段ボール

段ボールの処分方法についてたずねたところ、「地域集団回収（廃品回収）」（36.0%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「地域の回収ボックス」（23.3%）、「燃えるごみの日に出す」（18.3%）、「地域の回収ボックスや公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス（民間設置）」（8.4%）となっている。

年齢別にみると、

- ・年齢が高いほど「地域集団回収（廃品回収）」と答えた人が多く、「75歳以上」（51.9%）は5割を占めている。
- ・一方、30歳代以下は「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、「18～29歳」は28.9%、「30歳代」は25.2%となっている。

世帯人数別にみると、

- ・ほとんどの世帯は「地域集団回収（廃品回収）」と答えた人が最も多いが、「1人世帯」は「燃えるごみの日に出す」（34.3%）と答えた人の割合が最も高い。

住居形態別にみると、

- ・「一戸建て」、「集合住宅（アパート、マンション、社宅、寮など）」ともに「地域集団回収（廃品回収）」と答えた人が最も多いが、「集合住宅（アパート、マンション、社宅、寮など）」は「燃えるごみの日に出す」と答えた人の割合も高い。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「地域集団回収（廃品回収）」と答えた人の割合が高く、特に「関心がある」は48.1%と約5割を占めている。
- ・「関心がない」、「どちらかといえば関心がない」は、「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、特に「関心がない」は42.9%と4割以上を占めている。

II 調査結果

【表2-1-1②】資源ごみの処理方法（紙類）\_②段ボール

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

	サンプル数	段ボール								
		地域集団回収（廃品回収）	地域の回収ボックス	燃えるごみの日に出す	地域の回収ボックスや公共施設の資源物回収ボックス（民間設置）	公共施設の資源物回収ボックス	商品購入時に販売店引き取り	その他	無回答	
全体	100.0 2,572	36.0 925	23.3 598	18.3 470	8.4 216	4.9 125	0.9 22	2.3 58	6.1 158	
年齢別	18～29歳	225	24.9	29.3	28.9	4.4	6.7	0.4	2.2	3.1
	30歳代	329	20.1	26.4	25.2	14.0	6.1	0.3	1.2	6.7
	40歳代	453	30.5	25.2	18.3	10.6	7.1	-	2.6	5.7
	50歳代	437	35.2	22.4	16.5	12.4	5.0	0.7	1.8	5.9
	60～64歳	212	42.9	25.0	14.6	6.1	2.8	0.9	1.9	5.7
	65～74歳	493	43.0	22.3	15.2	5.3	3.9	1.2	2.6	6.5
	75歳以上	366	51.9	16.7	13.9	4.1	2.5	1.9	2.2	6.8
無回答	57	31.6	15.8	17.5	7.0	3.5	3.5	7.0	14.0	
世帯人数別	1人	461	23.9	20.4	34.3	5.2	4.6	1.5	4.6	5.6
	2人	881	40.3	21.9	17.1	7.9	3.7	1.1	2.2	5.7
	3人	572	39.3	25.0	14.9	7.3	5.4	0.2	1.2	6.6
	4人	382	33.0	29.1	9.9	13.1	6.0	0.3	1.8	6.8
	5人	129	39.5	25.6	10.1	10.9	8.5	-	-	5.4
	6人以上	55	40.0	23.6	10.9	16.4	1.8	-	3.6	3.6
	無回答	92	39.1	12.0	20.7	7.6	5.4	3.3	2.2	9.8
住居形態別	一戸建て	944	42.4	24.7	8.1	10.2	4.4	1.0	1.4	7.9
	集合住宅（アパート、マンション、社宅、寮など）	1,569	32.1	22.9	24.5	7.3	5.0	0.7	2.6	4.8
	その他	17	29.4	-	11.8	11.8	11.8	-	23.5	11.8
	無回答	42	38.1	14.3	19.0	7.1	4.8	4.8	-	11.9
イごみ減量・リサイクル 関心度別	関心がある	591	48.1	20.6	10.7	7.3	4.1	1.2	1.5	6.6
	どちらかといえば関心がある	1,622	34.4	24.7	17.4	9.1	5.6	0.7	2.4	5.7
	どちらかといえば関心がない	266	21.4	22.6	37.6	7.1	2.6	0.4	2.3	6.0
	関心がない	49	22.4	12.2	42.9	8.2	6.1	-	4.1	4.1
	無回答	44	34.1	22.7	9.1	6.8	-	4.5	4.5	18.2

### (3) 雑誌

雑誌の処分方法についてたずねたところ、「地域集団回収（廃品回収）」（34.2%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「地域の回収ボックス」（16.6%）、「燃えるごみの日に出す」（16.1%）となっている。

なお、「雑誌は購読していない」（18.0%）と答えた人は約2割である。

年齢別にみると、

- ・年齢が高いほど「地域集団回収（廃品回収）」と答えた人が多く、特に「75歳以上」（49.7%）は約5割、「60～64歳」（44.3%）、「65～74歳」（41.0%）は4割以上を占めている。
- ・一方、年齢が低いほど「雑誌は購読していない」と答えた人の割合が高く、「18～29歳」は39.1%、「30歳代」は33.7%となっている。

世帯人数別にみると、

- ・1人世帯以外は「地域集団回収（廃品回収）」と答えた人が最も多いが、「1人世帯」は「燃えるごみの日に出す」（25.2%）と答えた人の割合が最も高い。
- ・なお、「1人世帯」は「新聞は購読していない」（29.7%）と答えた人の割合が高い。

住居形態別にみると、

- ・住居形態にかかわらず「地域集団回収（廃品回収）」と答えた人が最も多く、「一戸建て」（44.0%）は4割以上を占めている。
- ・なお、「集合住宅（アパート、マンション、社宅、寮など）」は、「雑誌は購読していない」（23.1%）と答えた人の割合が高い。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「地域集団回収（廃品回収）」と答えた人の割合が高く、特に「関心がある」は47.2%と4割強を占めている。
- ・「関心がない」、「どちらかといえば関心がない」は、「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、特に「関心がない」は38.8%と約4割を占めている。
- ・なお、関心度が低いほど「雑誌は購読していない」と答えた人の割合が高く、「関心がない」は36.7%、「どちらかといえば関心がない」は30.5%となっている。

II 調査結果

【表2-1-1③】資源ごみの処理方法（紙類）\_③雑誌

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

	サンプル数	雑誌								
		地域集団回収（廃品回収）	地域の回収ボックス	燃えるごみの日に出す	地域の回収ボックスや公共施設の資源物回収ボックス（民間設置）	公共施設の資源物回収ボックス	雑誌は購読していない	その他	無回答	
全体	100.0 2,572	34.2 879	16.6 426	16.1 415	5.5 141	3.8 97	18.0 464	0.9 24	4.9 126	
年齢別	18～29歳	225	23.1	16.0	12.9	1.3	4.0	39.1	0.4	3.1
	30歳代	329	16.1	14.3	21.6	7.0	2.7	33.7	1.5	3.0
	40歳代	453	29.4	17.7	18.1	6.6	4.2	18.5	0.7	4.9
	50歳代	437	34.6	19.2	16.5	9.2	4.8	11.2	0.9	3.7
	60～64歳	212	44.3	15.6	17.0	3.8	2.8	11.3	0.5	4.7
	65～74歳	493	41.0	17.4	14.8	4.3	4.5	10.3	1.6	6.1
	75歳以上	366	49.7	14.5	11.5	3.3	2.5	11.5	0.3	6.8
	無回答	57	21.1	12.3	17.5	7.0	3.5	26.3	1.8	10.5
世帯人数別	1人	461	21.9	13.7	25.2	2.8	2.8	29.7	0.4	3.5
	2人	881	37.3	15.9	15.0	5.6	3.4	16.3	1.4	5.1
	3人	572	36.9	16.6	16.4	5.9	4.5	14.2	0.9	4.5
	4人	382	35.3	22.3	9.2	7.6	4.2	14.7	0.5	6.3
	5人	129	38.0	19.4	11.6	4.7	5.4	14.7	0.8	5.4
	6人以上	55	41.8	20.0	10.9	9.1	-	12.7	1.8	3.6
	無回答	92	33.7	7.6	18.5	5.4	5.4	21.7	1.1	6.5
	住居形態別	一戸建て	944	44.0	19.5	10.4	6.6	3.9	8.7	0.5
集合住宅(アパート, マンション, 社宅, 寮など)		1,569	28.7	15.1	19.7	4.8	3.6	23.1	1.1	3.7
その他		17	17.6	-	5.9	5.9	5.9	47.1	-	17.6
無回答		42	23.8	11.9	16.7	4.8	4.8	26.2	2.4	9.5
イごみ減量・リサイクルサ 関心度別	関心がある	591	47.2	17.1	9.5	6.3	4.4	8.8	1.2	5.6
	どちらかといえば関心がある	1,622	32.8	17.4	16.0	5.5	4.0	18.9	0.9	4.5
	どちらかといえば関心がない	266	19.5	11.7	27.4	3.8	1.5	30.5	1.1	4.5
	関心がない	49	12.2	6.1	38.8	4.1	2.0	36.7	-	-
	無回答	44	22.7	18.2	18.2	6.8	2.3	13.6	-	18.2

#### (4) 紙パック

紙パックの処分方法についてたずねたところ、「燃えるごみの日に出す」(55.4%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「地域の回収ボックスや公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス(民間設置)」(13.2%)、「地域集団回収(廃品回収)」(12.0%)、「地域の回収ボックス」(9.4%)となっている。

年齢別にみると、

- ・年齢にかかわらず「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、年齢が低いほどその傾向も強い。特に「18～29歳」(70.2%)は7割以上、「30歳代」(63.8%)は6割以上を占めている。
- ・一方、75歳以上は「地域集団回収(廃品回収)」(26.0%)と答えた人も多くみられる。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数にかかわらず「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、世帯人数が少ないほどその傾向も強い。特に「1人世帯」(68.5%)は約7割を占めている。

住居形態別にみると、

- ・住居形態にかかわらず「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、「集合住宅(アパート、マンション、社宅、寮など)」(60.5%)は6割を占めている。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度にかかわらず「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、関心度が低いほどその傾向も強い。特に「どちらかといえば関心がない」(82.3%)、「関心がない」(81.6%)は8割以上を占めている。
- ・一方、「関心がある」は、「地域集団回収(廃品回収)」(21.0%)と答えた人も多くみられる。

II 調査結果

【表2-1-1④】資源ごみの処理方法（紙類）\_④紙パック

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

	サンプル数	紙パック							
		燃えるごみの日に出す	地域の資源物回収ボックス（民間設置）	地域の回収ボックスや公共施設	地域集団回収（廃品回収）	地域の回収ボックス	公共施設の資源物回収ボックス	その他	無回答
全体	100.0 2,572	55.4 1,425	13.2 339	12.0 308	9.4 242	4.2 109	1.3 34	4.5 115	
年齢別	18～29歳	225	70.2	8.4	4.9	5.8	8.0	0.9	1.8
	30歳代	329	63.8	14.6	4.0	8.2	4.9	2.1	2.4
	40歳代	453	57.6	16.8	8.6	8.4	4.6	0.9	3.1
	50歳代	437	50.3	21.3	9.6	8.7	3.4	2.3	4.3
	60～64歳	212	62.7	10.4	11.8	9.4	2.4	0.5	2.8
	65～74歳	493	50.7	11.6	15.4	11.6	3.9	1.4	5.5
	75歳以上	366	43.2	6.0	26.0	12.3	3.3	0.8	8.5
	無回答	57	61.4	3.5	12.3	7.0	5.3	-	10.5
世帯人数別	1人	461	68.5	6.1	7.6	9.1	3.3	1.5	3.9
	2人	881	53.6	12.8	14.2	9.8	3.1	1.5	5.1
	3人	572	54.7	15.6	11.2	10.5	3.7	0.5	3.8
	4人	382	48.2	19.1	11.5	8.1	7.3	1.8	3.9
	5人	129	48.1	17.8	13.2	8.5	6.2	3.1	3.1
	6人以上	55	50.9	18.2	10.9	9.1	7.3	-	3.6
	無回答	92	54.3	3.3	18.5	7.6	6.5	-	9.8
	住居形態別	一戸建て	944	46.6	13.8	17.6	11.1	4.1	1.1
集合住宅(アパート, マンション, 社宅, 寮など)		1,569	60.5	13.3	8.6	8.5	4.4	1.4	3.3
その他		17	70.6	-	5.9	-	-	11.8	11.8
無回答		42	57.1	2.4	14.3	7.1	2.4	-	16.7
ごみ減量・リサイクル意識別	関心がある	591	35.4	19.3	21.0	11.5	4.9	1.4	6.6
	どちらかといえば関心がある	1,622	57.8	12.8	10.4	9.6	4.4	1.4	3.6
	どちらかといえば関心がない	266	82.3	4.5	3.4	4.5	1.5	1.1	2.6
	関心がない	49	81.6	4.1	4.1	2.0	2.0	2.0	4.1
	無回答	44	43.2	9.1	11.4	11.4	6.8	-	18.2

### (5) 雑がみ（雑誌・紙パックを除く）

雑がみ（雑誌・紙パックを除く）の処分方法についてたずねたところ、「燃えるごみの日に出す」（59.4%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「地域集団回収（廃品回収）」（20.3%）、「地域の回収ボックス」（9.7%）、となっている。

年齢別にみると、

- ・年齢にかかわらず「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、年齢が低いほどその傾向も強い。特に「18～29歳」（71.6%）、「30歳代」（75.4%）は7割以上を占めている。
- ・一方、75歳以上は「地域集団回収（廃品回収）」（34.4%）と答えた人も多くみられる。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数にかかわらず「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、「1人世帯」（70.9%）は7割を占めている。

住居形態別にみると、

- ・住居形態にかかわらず「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、「集合住宅（アパート、マンション、社宅、寮など）」（65.6%）は6割以上を占めている。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度にかかわらず「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、関心度が低いほどその傾向も強い。特に「どちらかといえば関心がない」、「関心がない」（各々81.6%）は8割以上を占めている。
- ・一方、「関心がある」は、「地域集団回収（廃品回収）」（34.0%）と答えた人も多くみられる。

II 調査結果

【表2-1-1⑤】資源ごみの処理方法（紙類）\_⑤雑がみ（雑誌・紙パックを除く）

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

	サンプル数	雑がみ（雑誌・紙パックを除く）							
		燃えるごみの日に出す	地域集団回収（廃品回収）	地域の回収ボックス	地域の資源回収ボックス（民間設置）	地域の回収ボックスや公共施設	公共施設の資源物回収ボックス	その他	無回答
全体	100.0 2,572	59.4 1,528	20.3 521	9.7 249	3.3 86	2.3 60	0.6 16	4.4 112	
年齢別	18～29歳	225	71.6	12.0	8.9	1.8	2.7	0.9	2.2
	30歳代	329	75.4	10.3	5.8	3.0	2.7	0.3	2.4
	40歳代	453	62.9	17.4	9.9	4.2	2.2	-	3.3
	50歳代	437	58.8	17.4	10.1	6.4	3.0	0.7	3.7
	60～64歳	212	60.8	20.3	10.8	2.8	1.9	-	3.3
	65～74歳	493	52.9	25.4	11.2	2.0	2.6	1.4	4.5
	75歳以上	366	42.6	34.4	9.6	2.2	1.4	0.8	9.0
	無回答	57	54.4	19.3	14.0	1.8	-	-	10.5
世帯人数別	1人	461	70.9	13.4	8.0	1.7	2.0	0.7	3.3
	2人	881	57.4	21.6	10.3	3.4	1.6	0.9	4.8
	3人	572	60.5	19.9	8.9	3.7	2.8	0.2	4.0
	4人	382	51.6	23.3	12.0	4.7	3.1	0.8	4.5
	5人	129	56.6	21.7	11.6	1.6	3.9	0.8	3.9
	6人以上	55	61.8	21.8	5.5	7.3	1.8	-	1.8
	無回答	92	48.9	28.3	6.5	3.3	3.3	-	9.8
	住居形態別	一戸建て	944	49.2	27.0	11.1	4.3	2.2	0.5
集合住宅(アパート, マンション, 社宅, 寮など)		1,569	65.6	16.2	8.9	2.8	2.5	0.6	3.3
その他		17	76.5	5.9	-	-	-	5.9	11.8
無回答		42	50.0	26.2	9.5	2.4	-	-	11.9
ごみ減量・リサイクル意識別	関心がある	591	39.9	34.0	13.0	4.2	2.7	0.3	5.8
	どちらかといえば関心がある	1,622	62.8	17.9	9.3	3.1	2.5	0.6	3.8
	どちらかといえば関心がない	266	81.6	6.8	5.3	2.3	1.1	0.8	2.3
	関心がない	49	81.6	8.2	4.1	2.0	-	2.0	2.0
	無回答	44	36.4	18.2	11.4	6.8	2.3	2.3	22.7

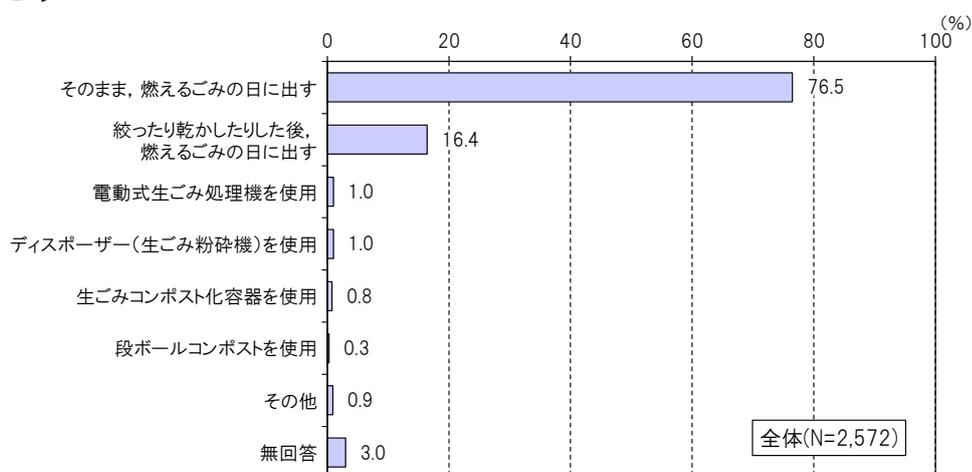
## 2-1-2 生ごみ

- 生ごみの処理方法は、「そのまま、燃えるごみの日に出す」(76.5%)が7割強。
- 傾向としては、
  - ①ごみ減量・リサイクルの関心度が高い人は、「絞ったり乾かした後、燃えるごみとして出す」がやや多くみられる。

問9. あなたのご家庭では、次に掲げる(1)～(12)の品目について、どのように処理していますか。それぞれの項目ごとに主に当てはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

【図2-1-2】資源ごみの処理方法

### (6) 生ごみ



### (6) 生ごみ

生ごみの処分方法についてたずねたところ、「そのまま、燃えるごみの日に出す」(76.5%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「絞ったり乾かしたりした後、燃えるごみの日に出す」(16.4%)となっている。

年齢別にみると、

- ・年齢にかかわらず「そのまま、燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数にかかわらず「そのまま、燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、「6人以上世帯」(85.5%)は8割強を占めている。

## II 調査結果

住居形態別にみると、

- ・住居形態にかかわらず「そのまま、燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度にかかわらず「そのまま、燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、「どちらかといえば関心がない」(85.3%)は8割強を占めている。

【表2-1-2】資源ごみの処理方法\_⑥生ごみ

数値(全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)

	サンプル数	生ごみ								
		ごそのま まの日に 出す	ごり絞 みした の日に 出す	絞った 後乾か した	電動機 を使用 し生ご み処理	生ごみ ポイザ ー(生ご み粉砕 機)	デイス ター 容器を 使用	生ごみ コンポ スト	トボ を使用 コンポ ス	その 他
全体	100.0 2,572	76.5 1,967	16.4 422	1.0 27	1.0 27	0.8 21	0.3 7	0.9 24	3.0 77	
年齢別	18～29歳	225	78.7	16.9	0.9	0.9	0.4	-	0.4	1.8
	30歳代	329	81.2	15.2	1.2	1.8	-	-	-	0.6
	40歳代	453	79.9	15.5	0.7	0.9	0.2	-	0.7	2.2
	50歳代	437	74.4	19.0	1.4	1.6	0.9	0.5	1.4	0.9
	60～64歳	212	77.8	14.6	1.4	1.4	0.9	0.5	0.5	2.8
	65～74歳	493	76.3	15.2	1.2	0.8	1.8	0.2	1.2	3.2
	75歳以上	366	69.4	17.8	0.8	0.3	1.1	0.8	1.9	7.9
	無回答	57	71.9	17.5	-	-	-	-	-	10.5
世帯人数別	1人	461	75.5	19.1	0.9	0.2	0.2	-	1.3	2.8
	2人	881	73.4	18.7	1.1	1.2	1.1	0.5	1.1	2.7
	3人	572	79.2	14.7	0.9	0.9	0.3	0.3	0.9	2.8
	4人	382	79.6	12.6	0.8	2.6	1.6	-	0.3	2.6
	5人	129	79.8	13.2	1.6	-	0.8	-	0.8	3.9
	6人以上	55	85.5	9.1	3.6	-	-	-	-	1.8
	無回答	92	70.7	16.3	1.1	-	1.1	1.1	1.1	8.7
住居形態別	一戸建て	944	77.1	14.2	0.7	0.4	1.7	0.6	1.5	3.7
	集合住宅(アパート、マンション、社宅、寮など)	1,569	76.3	17.8	1.3	1.5	0.3	0.1	0.5	2.2
	その他	17	70.6	5.9	-	-	-	-	11.8	11.8
	無回答	42	71.4	16.7	-	-	-	-	-	11.9
ごみ減量・リサイクル関心度別	関心がある	591	68.0	19.6	2.4	1.4	2.4	1.2	1.2	3.9
	どちらかといえば関心がある	1,622	78.7	16.2	0.6	1.0	0.4	-	0.7	2.4
	どちらかといえば関心がない	266	85.3	9.8	1.5	0.4	-	-	0.8	2.3
	関心がない	49	81.6	14.3	-	-	-	-	4.1	-
	無回答	44	50.0	25.0	-	2.3	-	-	2.3	20.5

## 2-1-3 白色トレイ

■白色トレイは、「燃えるごみの日に出す」(60.5%)が最多。

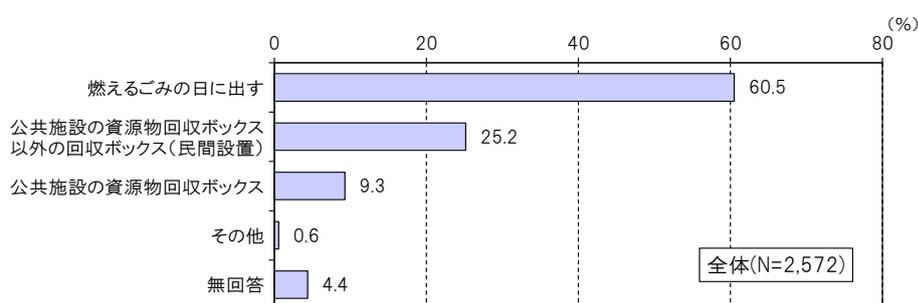
■傾向としては、

- ①「公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス(民間設置)」は、50歳代及びごみ減量・リサイクルの関心度が高い人ほど回答割合が高い。

問9. あなたのご家庭では、次に掲げる(1)～(12)の品目について、どのように処理していますか。それぞれの項目ごとに主に当てはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

【図2-1-3】資源ごみの処理方法

(7) 白色トレイ



(7) 白色トレイ

白色トレイの処分方法についてたずねたところ、「燃えるごみの日に出す」(60.5%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス(民間設置)」(25.2%)、「公共施設の資源物回収ボックス」(9.3%)となっている。

年齢別にみると、

- ・年齢にかかわらず「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、「30歳代」(71.4%)は7割を占めている。
- ・一方、50歳代は「公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス(民間設置)」(33.4%)と答えた人も多くみられる。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数にかかわらず「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、「1人世帯」(69.6%)は約7割を占めている。

住居形態別にみると、

- ・住居形態にかかわらず「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

## II 調査結果

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度にかかわらず「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多いが、「関心がある」は「公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス（民間設置）」（38.7%）と答えた人も多くみられる。

【表2-1-3】資源ごみの処理方法⑦白色トレイ

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	白色トレイ				無回答
			燃えるごみの日に出す	ボツクス（民間設置）	公共施設の資源物回収	公共施設の資源物回収	
全体		100.0 2,572	60.5 1,556	25.2 647	9.3 240	0.6 15	4.4 114
年齢別	18～29歳	225	69.3	12.9	15.1	-	2.7
	30歳代	329	71.4	20.1	6.4	0.6	1.5
	40歳代	453	61.6	26.9	9.3	0.2	2.0
	50歳代	437	56.5	33.4	6.4	0.5	3.2
	60～64歳	212	65.1	25.0	6.1	1.4	2.4
	65～74歳	493	57.0	27.4	10.8	0.2	4.7
	75歳以上	366	51.4	24.0	11.2	1.4	12.0
	無回答	57	56.1	14.0	14.0	1.8	14.0
世帯人数別	1人	461	69.6	15.2	8.9	1.7	4.6
	2人	881	55.4	28.3	10.3	0.6	5.4
	3人	572	63.1	26.7	6.8	0.2	3.1
	4人	382	58.9	28.5	8.9	0.3	3.4
	5人	129	56.6	30.2	10.9	-	2.3
	6人以上	55	63.6	21.8	12.7	-	1.8
	無回答	92	57.6	16.3	15.2	-	10.9
住居形態別	一戸建て	944	57.0	28.1	9.0	0.6	5.3
	集合住宅(アパート、マンション、社宅、寮など)	1,569	62.7	23.9	9.5	0.3	3.6
	その他	17	58.8	5.9	-	23.5	11.8
	無回答	42	57.1	14.3	14.3	-	14.3
ごみ減量・リサイクル関心度別	関心がある	591	42.1	38.7	12.5	0.3	6.3
	どちらかといえば関心がある	1,622	63.6	23.4	9.2	0.5	3.3
	どちらかといえば関心がない	266	82.0	7.9	4.9	1.1	4.1
	関心がない	49	79.6	8.2	4.1	4.1	4.1
	無回答	44	40.9	31.8	4.5	-	22.7

## 2-1-4 古着

■古着は、「燃えるごみの日に出す」(44.3%)が最多。

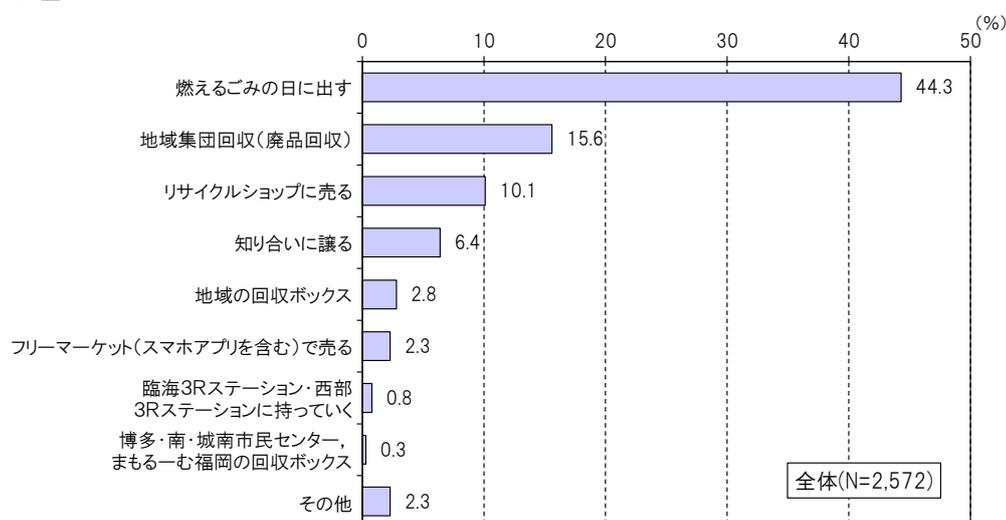
■傾向としては、

- ①「地域集団回収(廃品回収)」は、高年齢層及びごみ減量・リサイクルの関心度が高い人ほど回答割合が高い。

問9. あなたのご家庭では、次に掲げる(1)～(12)の品目について、どのように処理していますか。それぞれの項目ごとに主に当てはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

【図2-1-4】資源ごみの処理方法

(8) 古着



(8) 古着

古着の処分方法についてたずねたところ、「燃えるごみの日に出す」(44.3%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「地域集団回収(廃品回収)」(15.6%)、「リサイクルショップに売る」(10.1%)、「知り合いに譲る」(6.4%)となっている。

年齢別にみると、

- ・年齢にかかわらず「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多いが、年齢が低いほど「リサイクルショップに売る」と答えた人も多くみられる。
- ・また、「75歳以上」は「地域集団回収(廃品回収)」(26.5%)と答えた人も多くみられる。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数にかかわらず「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、「1人世帯」(56.2%)は5割強を占めている。

## II 調査結果

住居形態別にみると、

- ・住居形態にかかわらず「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多いが、「一戸建て」は「地域集団回収（廃品回収）」（23.1%）と答えた人も多くみられる。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度にかかわらず「燃えるごみの日に出す」と答えた人が最も多く、関心度が低いほどその傾向も強い。特に「関心がない」（67.3%）は6割強を占めている。
- ・一方、「関心がある」は、「地域集団回収（廃品回収）」（21.7%）と答えた人も多くみられる。

【表2-1-4】資源ごみの処理方法\_⑧古着

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

	サンプル数	古着													
		燃えるごみの日に出す	地域集団回収（廃品回収）	リサイクルショップに	知り合いに譲る	地域の回収ボックス	売る（フリマアプリを含む）	フリマアプリを	マホアブリを	フリースタイル	シン・西部3Rステーション	臨海3Rステーション	岡の回収ボックス	博多・南・城南市民センター	その他
全体	100.0 2,572	44.3 1,140	15.6 400	10.1 259	6.4 164	2.8 72	2.3 58	0.8 21	0.3 7	2.3 58	15.3 393				
年齢別	18～29歳	225	40.0	7.6	16.9	7.1	3.6	6.2	0.4	0.9	2.2	15.1			
	30歳代	329	44.1	5.5	16.1	7.6	2.1	6.7	0.6	0.3	1.2	15.8			
	40歳代	453	41.5	11.0	14.6	10.4	1.5	2.2	1.5	-	1.3	15.9			
	50歳代	437	43.7	16.5	11.4	5.0	2.7	1.6	1.8	0.2	3.4	13.5			
	60～64歳	212	46.2	22.6	8.0	2.8	3.3	0.9	-	0.5	2.8	12.7			
	65～74歳	493	51.3	18.9	4.3	4.9	2.8	0.4	0.2	0.4	2.0	14.8			
	75歳以上	366	43.2	26.5	1.6	4.6	4.4	-	0.3	-	2.7	16.7			
	無回答	57	29.8	8.8	14.0	12.3	1.8	1.8	1.8	-	3.5	26.3			
世帯人数別	1人	461	56.2	10.6	8.2	6.9	1.3	1.3	0.7	-	1.7	13.0			
	2人	881	45.4	16.7	8.1	4.4	3.5	1.6	0.3	0.3	3.0	16.7			
	3人	572	44.2	15.9	11.4	5.6	2.6	3.3	0.7	0.2	2.1	14.0			
	4人	382	33.0	17.5	12.6	10.2	4.2	2.9	1.3	0.8	1.8	15.7			
	5人	129	36.4	18.6	15.5	8.5	1.6	2.3	2.3	-	-	14.7			
	6人以上	55	41.8	16.4	9.1	7.3	-	1.8	3.6	-	1.8	18.2			
	無回答	92	34.8	14.1	13.0	7.6	2.2	4.3	1.1	-	4.3	18.5			
	住居形態別	一戸建て	944	39.2	23.1	7.6	5.8	2.8	1.8	1.4	0.4	1.9	16.0		
集合住宅（アパート、マンション、社宅、寮など）		1,569	47.7	11.3	11.3	6.6	2.9	2.6	0.4	0.2	2.5	14.4			
その他		17	52.9	5.9	-	11.8	-	-	-	-	-	29.4			
無回答		42	31.0	7.1	21.4	7.1	2.4	-	2.4	-	2.4	26.2			
ごみ減量・リサイクル関心度別	関心がある	591	32.8	21.7	10.3	5.9	4.4	1.5	1.7	0.5	3.6	17.6			
	どちらかといえば関心がある	1,622	45.6	15.1	10.5	6.7	2.5	2.2	0.7	0.2	2.0	14.5			
	どちらかといえば関心がない	266	58.3	6.8	6.0	6.8	0.8	4.5	-	-	1.1	15.8			
	関心がない	49	67.3	6.1	14.3	2.0	-	4.1	-	-	2.0	4.1			
	無回答	44	43.2	13.6	9.1	2.3	6.8	-	-	-	2.3	22.7			

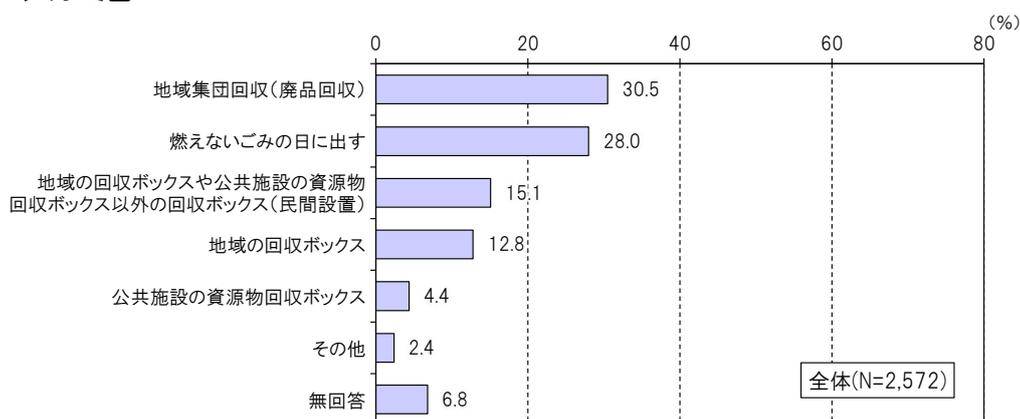
### 2-1-5 アルミ缶・びん・ペットボトル

- アルミ缶の処理方法は、「地域集団回収（廃品回収）」か「燃えないごみの日に出す」が中心。
- ビールびん・一升瓶・空きびん・ペットボトルの処理方法は、「空きびん・ペットボトルの日に出す」が最多。
- 傾向としては、
  - ①ごみ減量・リサイクルの関心度が高い人は、アルミ缶・ビールびん・一升瓶は「地域の集団回収（資源物回収）」、空きびん・ペットボトルは「地域の回収ボックスや公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス（民間設置）」に出している。

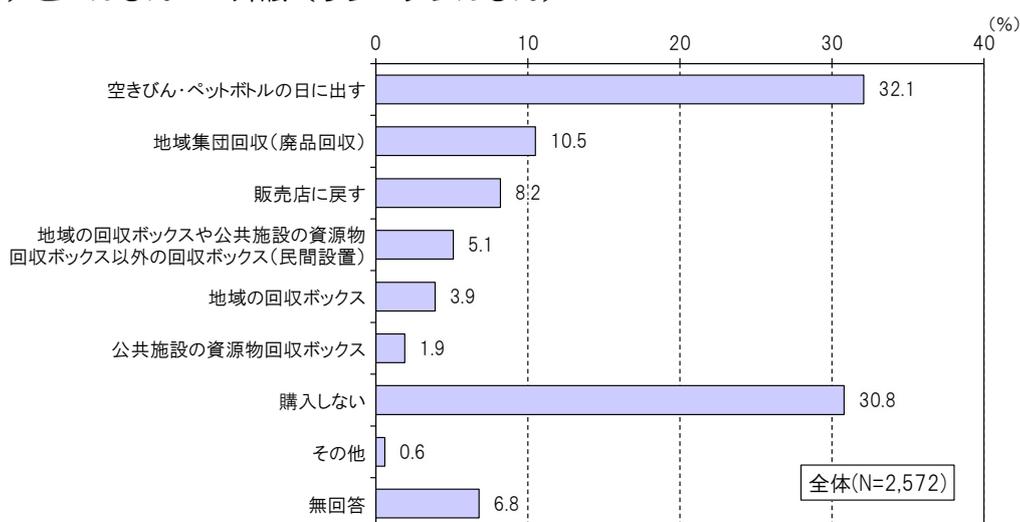
問9. あなたのご家庭では、次に掲げる（1）～（12）の品目について、どのように処理していますか。それぞれの項目ごとに主に当てはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

【図2-1-5①】資源ごみの処理方法

#### （9）アルミ缶



#### （10）ビールびん・一升瓶（リターナブルびん）

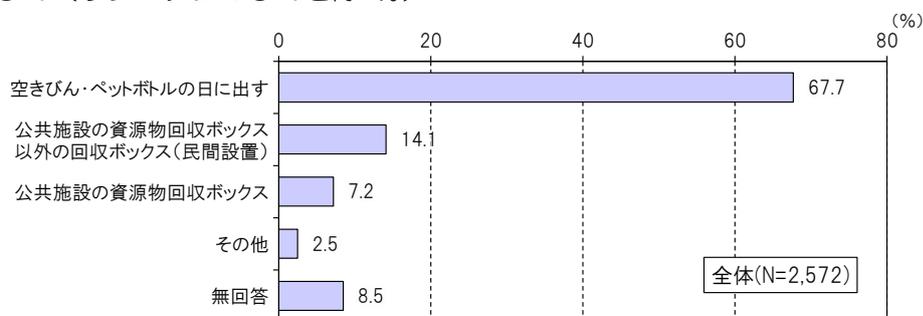


## II 調査結果

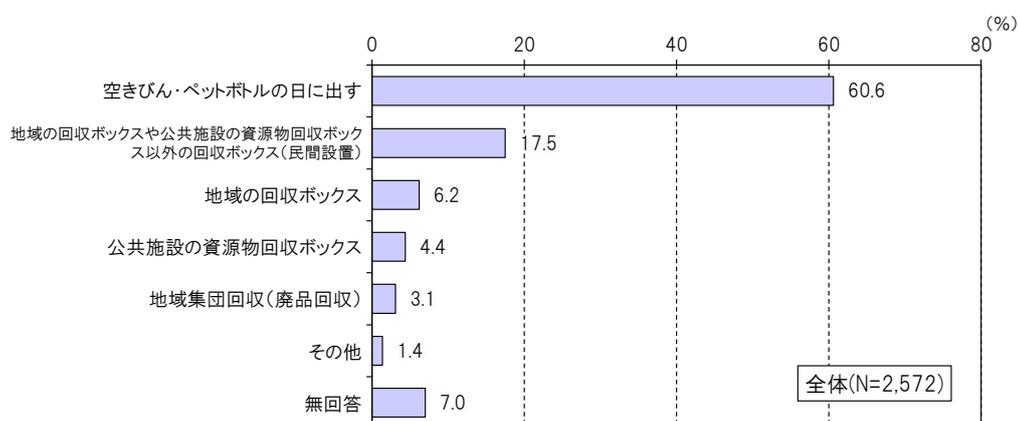
問9. あなたのご家庭では、次に掲げる(1)～(12)の品目について、どのように処理していますか。それぞれの項目ごとに主に当てはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

【図2-1-5②】資源ごみの処理方法

(11) 空きびん(リターナブルびんを除く。)



(12) ペットボトル



### (9) アルミ缶

アルミ缶の処分方法についてたずねたところ、「地域集団回収(廃品回収)」(30.5%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「燃えないごみの日に出す」(28.0%)、「地域の回収ボックスや公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス(民間設置)」(15.1%)、「地域の回収ボックス」(12.8%)となっている。

年齢別にみると、

- ・『40歳代以下』は「燃えないごみの日に出す」と答えた人が最も多く、「30歳代」(45.9%)は4割強を占めている。一方、『50歳代以上』は「地域集団回収(廃品回収)」と答えた人が多く、「75歳以上」(45.6%)は4割強を占めている。

世帯人数別にみると、

- ・1人世帯以外は「地域集団回収(廃品回収)」と答えた人が最も多いが、「1人世帯」は「燃えないごみの日に出す」(30.4%)と答えた人の割合が最も高い。

住居形態別にみると、

- ・「一戸建て」は「地域集団回収（廃品回収）」、「集合住宅（アパート、マンション、社宅、寮など）」は「燃えないごみの日に出す」と答えた人の割合が最も高い。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「地域集団回収（廃品回収）」と答えた人の割合が高く、特に「関心がある」は39.3%と約4割を占めている。
- ・「関心がない」、「どちらかといえば関心がない」は、「燃えないごみの日に出す」と答えた人が最も多く、特に「関心がない」は51.0%と5割を占めている。

【表2-1-5①】資源ごみの処理方法\_⑨アルミ缶

		数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）							
		サンプル数	アルミ缶						
			地域集団回収（廃品回収）	燃えないごみの日に出す	地域の資源回収ボックス（民間設置）	地域の回収ボックス	公共施設の資源物回収ボックス	その他	無回答
全体		100.0 2,572	30.5 784	28.0 721	15.1 389	12.8 328	4.4 113	2.4 62	6.8 175
年齢別	18～29歳	225	18.2	38.7	11.1	16.4	7.6	3.6	4.4
	30歳代	329	14.0	45.9	14.6	11.6	5.5	3.6	4.9
	40歳代	453	27.4	35.1	15.5	7.9	5.3	2.2	6.6
	50歳代	437	27.9	27.7	22.0	10.5	3.9	2.3	5.7
	60～64歳	212	34.4	25.0	17.5	12.7	3.8	4.2	2.4
	65～74歳	493	39.4	16.2	16.0	15.2	4.5	1.8	6.9
	75歳以上	366	45.6	14.5	7.7	17.5	1.1	0.8	12.8
	無回答	57	29.8	29.8	10.5	8.8	5.3	1.8	14.0
世帯人数別	1人	461	21.7	30.4	13.9	16.7	3.5	4.6	9.3
	2人	881	33.0	25.3	16.3	12.6	3.5	2.0	7.2
	3人	572	32.2	31.5	15.0	10.5	5.2	1.7	3.8
	4人	382	29.3	28.3	14.1	15.2	6.0	1.3	5.8
	5人	129	38.0	26.4	15.5	5.4	4.7	2.3	7.8
	6人以上	55	36.4	20.0	18.2	7.3	5.5	7.3	5.5
	無回答	92	30.4	27.2	12.0	12.0	4.3	1.1	13.0
住居形態別	一戸建て	944	40.4	20.7	14.7	12.1	3.9	2.0	6.3
	集合住宅（アパート、マンション、社宅、寮など）	1,569	24.5	32.6	15.6	13.2	4.7	2.6	6.8
	その他	17	29.4	11.8	5.9	11.8	5.9	11.8	23.5
	無回答	42	31.0	31.0	9.5	11.9	2.4	-	14.3
イごみ減量関心度別	関心がある	591	39.3	17.9	16.1	13.2	3.7	2.7	7.1
	どちらかといえば関心がある	1,622	29.4	28.5	16.1	12.9	5.0	2.2	5.9
	どちらかといえば関心がない	266	18.8	46.6	7.9	12.0	2.6	3.0	9.0
	関心がない	49	18.4	51.0	12.2	2.0	-	2.0	14.3
	無回答	44	36.4	6.8	13.6	18.2	6.8	2.3	15.9

## II 調査結果

### (10) ビールびん・一升瓶（リターナブルびん）

ビールびん・一升瓶（リターナブルびん）の処分方法についてたずねたところ、「空きびん・ペットボトルの日に出す」（32.1%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「地域集団回収（廃品回収）」（10.5%）、「販売店に戻す」（8.2%）、「地域の回収ボックスや公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス（民間設置）」（5.1%）となっている。

なお、「購入しない」（30.8%）と答えた人は3割である。

年齢別にみると、

- ・年齢にかかわらず「空きびん・ペットボトルの日に出す」と答えた人が最も多く、「30歳代」（41.6%）は4割を占めている。
- ・また、「75歳以上」は「地域集団回収（廃品回収）」（20.2%）と答えた人も多くみられる。
- ・なお、年齢が低いほど「購入しない」と答えた人の割合が高く、「18～29歳」は43.6%となっている。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数にかかわらず「空きびん・ペットボトルの日に出す」と答えた人が最も多く、全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

住居形態別にみると、

- ・住居形態にかかわらず「空きびん・ペットボトルの日に出す」と答えた人が最も多く、全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度にかかわらず「空きびん・ペットボトルの日に出す」と答えた人が最も多く、「関心がない」（44.9%）は4割以上を占めている。
- ・一方、「関心がある」は、「地域集団回収（廃品回収）」（16.8%）と答えた人も多くみられる。

【表2-1-5②】資源ごみの処理方法\_⑩ビールびん・一升瓶（リターナブルびん）

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

	サンプル数	ビールびん・一升瓶（リターナブルびん）									
		空きびん・ペットボトルの日に出す	地域集団回収（廃品回収）	販売店に戻す	地域の回収ボックス（民間設置）	地域の回収ボックスや公共施設	地域の回収ボックス	公共施設の資源物回収ボックス	購入しない	その他	無回答
全体	100.0 2,572	32.1 825	10.5 270	8.2 212	5.1 132	3.9 101	1.9 50	30.8 791	0.6 16	6.8 175	
年齢別	18～29歳	225	35.1	4.4	4.0	3.6	3.6	1.8	43.6	-	4.0
	30歳代	329	41.6	2.4	4.3	3.3	2.4	3.0	37.1	0.6	5.2
	40歳代	453	32.9	5.7	7.1	6.0	2.4	2.4	36.0	0.2	7.3
	50歳代	437	31.4	10.3	11.9	7.8	3.7	1.1	27.9	0.2	5.7
	60～64歳	212	29.2	14.6	10.8	3.3	2.4	1.4	33.0	0.9	4.2
	65～74歳	493	26.2	14.6	9.9	6.3	6.5	2.4	26.0	1.6	6.5
	75歳以上	366	29.2	20.2	8.2	3.3	5.2	1.1	20.2	0.3	12.3
	無回答	57	43.9	7.0	5.3	3.5	3.5	1.8	24.6	1.8	8.8
世帯人数別	1人	461	35.4	5.4	4.6	3.0	4.8	1.3	37.3	0.7	7.6
	2人	881	30.5	13.7	8.3	5.4	4.9	1.9	26.8	0.9	7.5
	3人	572	31.5	10.3	10.8	5.8	2.6	2.3	29.2	0.5	7.0
	4人	382	32.2	8.1	8.9	5.5	3.4	2.1	34.6	-	5.2
	5人	129	27.9	14.0	10.1	5.4	3.9	1.6	32.6	0.8	3.9
	6人以上	55	34.5	12.7	9.1	7.3	-	1.8	29.1	-	5.5
	無回答	92	38.0	9.8	4.3	5.4	3.3	3.3	28.3	1.1	6.5
	住居形態別	一戸建て	944	27.6	16.6	10.3	5.0	4.8	2.0	25.4	0.4
集合住宅(アパート、マンション、社宅、寮など)		1,569	34.3	6.9	7.1	5.4	3.5	1.8	34.2	0.6	6.1
その他		17	23.5	5.9	5.9	-	-	11.8	35.3	5.9	11.8
無回答		42	52.4	7.1	4.8	2.4	2.4	-	19.0	2.4	9.5
ごみ減量・リサイクル意識別	関心がある	591	25.0	16.8	11.8	4.6	6.6	2.7	25.2	0.7	6.6
	どちらかといえば関心がある	1,622	33.6	9.4	7.9	5.9	3.2	1.8	31.5	0.6	6.2
	どちらかといえば関心がない	266	36.1	4.5	4.1	1.9	3.0	1.5	38.7	0.8	9.4
	関心がない	49	44.9	6.1	-	4.1	-	-	40.8	2.0	2.0
	無回答	44	31.8	9.1	6.8	6.8	4.5	2.3	18.2	-	20.5

## II 調査結果

### (11) 空きびん（リターナブルびんを除く）

空きびん（リターナブルびんを除く）の処分方法についてたずねたところ、「空きびん・ペットボトルの日に出す」（67.7%）と答えた人の割合が圧倒的に高く、以下、「公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス（民間設置）」（14.1%）、「公共施設の資源物回収ボックス」（7.2%）と続いている。

年齢別にみると、

- ・年齢にかかわらず「空きびん・ペットボトルの日に出す」と答えた人が最も多く、「30歳代」（74.5%）は7割以上を占めている。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数にかかわらず「空きびん・ペットボトルの日に出す」と答えた人が最も多く、「6人以上世帯」（74.5%）は7割以上を占めている。

住居形態別にみると、

- ・住居形態にかかわらず「空きびん・ペットボトルの日に出す」と答えた人が最も多く、全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度にかかわらず「空きびん・ペットボトルの日に出す」と答えた人が最も多く、全体結果とほぼ同様の傾向を示している。
- ・一方、「関心がある」は、「公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス（民間設置）」（18.1%）と答えた人も多くみられる。

【表2-1-5③】資源ごみの処理方法 ⑪空きびん（リターナブルびんを除く）

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	空きびん（リターナブルびんを除く）				
			ル空の日に必ず出す	ボツクス（民間設置）	ポ公共施設の資源回収	ポ公共施設の資源回収	その他
全体		100.0 2,572	67.7 1,741	14.1 362	7.2 185	2.5 65	8.5 219
年齢別	18～29歳	225	68.9	10.2	9.3	2.7	8.9
	30歳代	329	74.5	8.5	7.6	2.7	6.7
	40歳代	453	70.4	14.1	7.1	1.8	6.6
	50歳代	437	67.5	19.7	6.4	0.9	5.5
	60～64歳	212	70.8	14.2	4.7	2.8	7.5
	65～74歳	493	61.5	16.8	9.1	3.7	8.9
	75歳以上	366	63.9	11.7	6.3	3.0	15.0
	無回答	57	70.2	8.8	1.8	5.3	14.0
世帯人数別	1人	461	68.3	9.1	7.6	3.9	11.1
	2人	881	66.1	16.1	6.7	2.5	8.6
	3人	572	69.1	13.6	7.3	2.4	7.5
	4人	382	67.8	16.2	8.1	0.5	7.3
	5人	129	69.0	17.1	7.0	3.1	3.9
	6人以上	55	74.5	9.1	5.5	1.8	9.1
	無回答	92	65.2	12.0	6.5	4.3	12.0
	住居形態別	一戸建て	944	64.3	15.9	8.3	2.1
集合住宅(アパート, マンション, 社宅, 寮など)		1,569	69.9	13.3	6.8	2.4	7.6
その他		17	41.2	5.9	5.9	29.4	17.6
無回答		42	73.8	4.8	-	4.8	16.7
イごみ減量関心・度別	関心がある	591	62.9	18.1	8.0	2.7	8.3
	どちらかといえば関心がある	1,622	69.1	13.6	7.5	2.1	7.8
	どちらかといえば関心がない	266	71.8	9.0	3.8	3.8	11.7
	関心がない	49	69.4	6.1	6.1	8.2	10.2
	無回答	44	54.5	15.9	9.1	2.3	18.2

## II 調査結果

### (12) ペットボトル

ペットボトルの処分方法についてたずねたところ、「空きびん・ペットボトルの日に出す」(60.6%)と答えた人の割合が圧倒的に高く、以下、「地域の回収ボックスや公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス(民間設置)」(17.5%)、「地域の回収ボックス」(6.2%)と続いている。

年齢別にみると、

- ・年齢にかかわらず「空きびん・ペットボトルの日に出す」と答えた人が最も多く、「30歳代」(69.9%)は約7割を占めている。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数にかかわらず「空きびん・ペットボトルの日に出す」と答えた人が最も多く、全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

住居形態別にみると、

- ・住居形態にかかわらず「空きびん・ペットボトルの日に出す」と答えた人が最も多く、全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度にかかわらず「空きびん・ペットボトルの日に出す」と答えた人が最も多く、全体結果とほぼ同様の傾向を示している。
- ・一方、「関心がある」は、「地域の回収ボックスや公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス(民間設置)」(21.7%)と答えた人も多くみられる。

【表2-1-5④】資源ごみの処理方法\_⑫ペットボトル

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

	サンプル数	ペットボトル							無回答
		の空きびんに出す	の設の地域の回収ボックス（民間設置）	の設の地域の回収ボックス（民間設置）	地域の回収ボックス	公共施設の資源物回収	地域集団回収（廃品回収）	その他	
全体	100.0 2,572	60.6 1,558	17.5 450	6.2 159	4.4 112	3.1 79	1.4 35	7.0 179	
年齢別	18～29歳	225	64.4	13.3	7.1	8.4	1.3	0.9	4.4
	30歳代	329	69.9	13.1	4.3	4.3	1.5	0.9	6.1
	40歳代	453	63.4	17.0	3.8	5.5	2.4	1.5	6.4
	50歳代	437	57.0	26.5	4.8	3.2	3.7	0.2	4.6
	60～64歳	212	58.5	17.9	9.0	2.4	3.3	1.4	7.5
	65～74歳	493	55.4	20.9	9.1	4.1	2.2	2.2	6.1
	75歳以上	366	59.3	9.6	6.8	3.3	6.8	1.9	12.3
	無回答	57	57.9	14.0	3.5	5.3	1.8	1.8	15.8
世帯人数別	1人	461	64.9	10.4	6.9	3.3	2.0	3.0	9.5
	2人	881	58.3	19.3	6.5	4.4	3.7	1.2	6.5
	3人	572	62.8	18.7	5.2	3.5	3.3	0.5	5.9
	4人	382	58.6	19.4	6.5	5.8	3.1	1.3	5.2
	5人	129	57.4	22.5	6.2	5.4	1.6	0.8	6.2
	6人以上	55	60.0	18.2	5.5	5.5	1.8	-	9.1
	無回答	92	59.8	13.0	4.3	6.5	3.3	1.1	12.0
	住居形態別	一戸建て	944	55.7	19.2	7.8	5.6	3.9	1.1
集合住宅（アパート、マンション、社宅、寮など）		1,569	63.7	16.7	5.4	3.7	2.5	1.2	6.8
その他		17	35.3	11.8	-	-	5.9	29.4	17.6
無回答		42	61.9	11.9	2.4	2.4	2.4	2.4	16.7
ごみ減量・リサイクルサ 関心・度別	関心がある	591	52.6	21.7	7.3	4.6	5.1	1.7	7.1
	どちらかといえば関心がある	1,622	62.3	17.7	6.0	4.6	2.7	1.0	5.7
	どちらかといえば関心がない	266	69.2	7.9	5.6	2.3	1.1	1.9	12.0
	関心がない	49	67.3	10.2	2.0	4.1	2.0	6.1	8.2
	無回答	44	45.5	20.5	6.8	4.5	4.5	-	18.2

## II 調査結果

### 2-2 地域集団回収（廃品回収）実施状況など

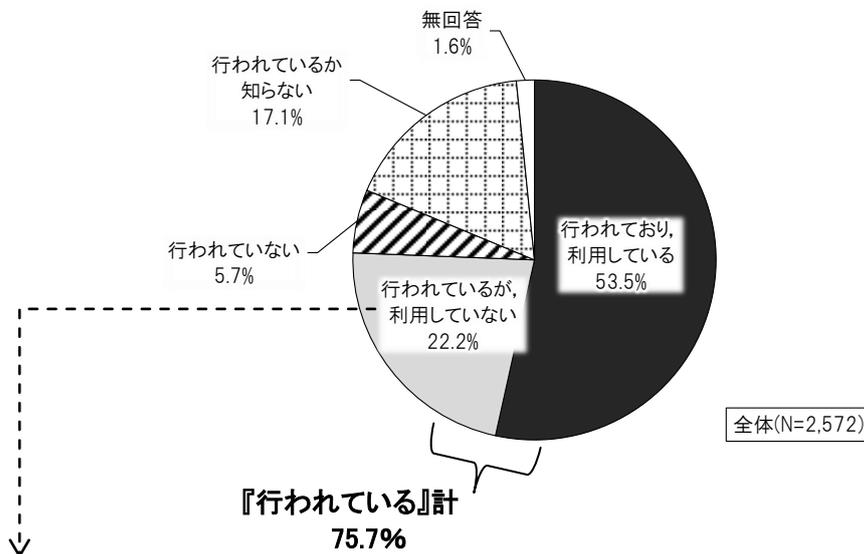
■古紙や空き缶などの地域集団回収が『行われている』は75.7%。そのうち、「行われており、利用している」(53.5%)は5割以上。また、地域集団回収を利用しない理由は「資源物の回収ボックス(地域,公共施設,民間設置)に出している」(38.6%)が最多。

■傾向としては、

- ①年齢が高く、世帯人数が多いほど「地域集団回収」を利用しているが、年齢が低く、世帯人数が少ないほど、地域集団回収が実施されていることを知らない。
- ②ごみ減量・リサイクルの関心度が高い人は「地域集団回収」を利用しているが、関心度が低い人は地域回収の実施を知らず、出していない人が多い。

問 10. あなたがお住まいの地域では、古紙や空き缶などの地域集団回収（廃品回収）は行われていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

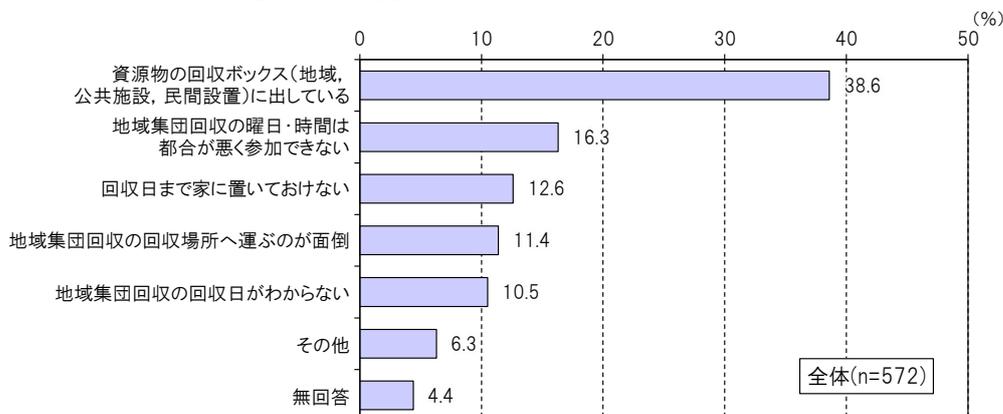
【図2-2①】地域集団回収（廃品回収）の実施状況



付問 10-1. 【問 10で「行われているが、利用していない」と答えた方へ】

地域集団回収を利用していない主な理由は何ですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

【図2-2②】地域集団回収を利用しない理由



### (1) 地域集団回収（廃品回収）の実施状況

古紙や空き缶などの地域集団回収（廃品回収）の実施状況についてたずねたところ、「行われており、利用している」と答えた人の割合が 53.5%、「行われているが、利用していない」と答えた人の割合が 22.2%となっており、これらを合わせて『行われている』は 75.7%を占める。

なお、「行われていない」は 5.7%、「行われているか知らない」は 17.1%となっている。

年齢別にみると、

- ・年齢にかかわらず「行われており、利用している」と答えた人が最も多く、年齢が高いほどその傾向も強い。特に「75歳以上」（71.0%）は7割を占めている。
- ・一方、年齢が低いほど「行われているか知らない」と答えた人の割合が高く、「18～29歳」は 34.7%、「30歳代」は 32.2%と3割以上を占めている。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数にかかわらず「行われており、利用している」と答えた人が最も多く、世帯人数が多いほどその傾向も強い。
- ・一方、世帯人数が少ないほど「行われているか知らない」と答えた人の割合が高く、「1人世帯」は 36.7%と3割以上を占めている。

住居形態別にみると、

- ・「行われており、利用している」と答えた人は、「一戸建て」（65.7%）が「集合住宅（アパート、マンション、社宅、寮など）」（46.3%）より多くみられる。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「行われており、利用している」と答えた人の割合が高く、「関心がある」は 66.2%となっている。
- ・一方、関心度が低いほど「行われているか知らない」と答えた人の割合が高く、「関心がない」（32.7%）は3割以上を占めている。

## II 調査結果

【表2-2①】地域集団回収（廃品回収）の実施状況

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サ ン プ ル 数	用 行 し わ て れ て い る お り ， 利	利 行 用 わ し れ て い い な る が ，	行 わ れ て い な い	ら 行 な わ れ て い る か 知	無 回 答
全体		100.0 2,572	53.5 1,375	22.2 572	5.7 146	17.1 439	1.6 40
年 齢 別	18～29歳	225	39.6	19.1	4.9	34.7	1.8
	30歳代	329	33.1	29.2	5.2	32.2	0.3
	40歳代	453	49.0	28.7	4.9	16.1	1.3
	50歳代	437	52.2	24.3	5.7	16.7	1.1
	60～64歳	212	59.9	20.8	6.1	12.7	0.5
	65～74歳	493	63.5	21.5	6.3	7.5	1.2
	75歳以上	366	71.0	10.1	5.7	8.7	4.4
	無回答	57	47.4	17.5	10.5	22.8	1.8
世 帯 人 数 別	1人	461	37.1	19.1	5.2	36.7	2.0
	2人	881	56.1	21.6	5.6	14.9	1.9
	3人	572	56.8	24.3	6.6	11.5	0.7
	4人	382	57.6	25.7	5.0	11.0	0.8
	5人	129	61.2	22.5	3.9	10.1	2.3
	6人以上	55	63.6	18.2	9.1	7.3	1.8
	無回答	92	55.4	19.6	6.5	15.2	3.3
	住 居 形 態 別	一戸建て	944	65.7	20.7	5.8	6.1
集合住宅(アパート、マンション、社宅、寮など)		1,569	46.3	23.3	5.4	23.6	1.4
その他		17	35.3	11.8	11.8	35.3	5.9
無回答		42	52.4	21.4	11.9	11.9	2.4
イ ご み 減 量 関 心 ・ 度 別	関心がある	591	66.2	17.8	4.6	10.3	1.2
	どちらかといえば関心がある	1,622	52.6	23.2	5.9	17.3	1.0
	どちらかといえば関心がない	266	32.3	29.3	4.9	28.9	4.5
	関心がない	49	38.8	12.2	14.3	32.7	2.0
	無回答	44	59.1	15.9	6.8	11.4	6.8

### （2）地域集団回収を利用しない理由

地域集団回収（廃品回収）が「行われているが、利用していない」と答えた人（572人）に、地域集団回収を利用しない理由についてたずねたところ、「資源物の回収ボックス（地域、公共施設、民間設置）に出している」（38.6%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「地域集団回収の曜日・時間は都合が悪く参加できない」（16.3%）、「回収日まで家に置いておけない」（12.6%）、「地域集団回収の回収場所へ運ぶのが面倒」（11.4%）、「地域集団回収の回収日がわからない」（10.5%）となっている。

また、「その他」の内容としては、「回収日を忘れてしまうから」、「業者に委託するから」、「利用するほど量が出ないから」などの意見があがっている。

年齢別、世帯人数別、住居形態別でも、特徴的な差はみられなかった。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・回答者数が少ない属性があるため一概には言えないが、関心度が高いほど「資源物の回収ボックス（地域、公共施設、民間設置）に出している」と答えた人の割合が高く、「関心がある」は51.4%となっている。

【表2-2②】地域集団回収を利用しない理由

数値（全体：上段=% 下段=件数, 属性：%）

		サンプル数	間（資源物の設置）, 公共施設, クラス	で時間ない都合が悪く参加	地域集団回収の曜日	お回収日までに置いて	所へ運ぶのが面倒	地域集団回収の回収日	その他	無回答
全体		100.0 572	38.6 221	16.3 93	12.6 72	11.4 65	10.5 60	6.3 36	4.4 25	
年齢別	18～29歳	43	25.6	14.0	11.6	11.6	20.9	4.7	11.6	
	30歳代	96	31.3	20.8	10.4	11.5	15.6	3.1	7.3	
	40歳代	130	42.3	18.5	10.0	9.2	11.5	5.4	3.1	
	50歳代	106	36.8	20.8	15.1	11.3	7.5	6.6	1.9	
	60～64歳	44	36.4	15.9	18.2	9.1	13.6	2.3	4.5	
	65～74歳	106	45.3	9.4	15.1	12.3	4.7	9.4	3.8	
	75歳以上	37	48.6	10.8	5.4	18.9	-	13.5	2.7	
	無回答	10	40.0	-	20.0	10.0	20.0	10.0	-	
世帯人数別	1人	88	33.0	17.0	11.4	12.5	14.8	6.8	4.5	
	2人	190	41.1	15.8	13.7	11.6	7.4	7.4	3.2	
	3人	139	36.7	13.7	12.2	10.8	12.9	9.4	4.3	
	4人	98	40.8	21.4	11.2	10.2	11.2	1.0	4.1	
	5人	29	41.4	17.2	10.3	13.8	6.9	3.4	6.9	
	6人以上	10	40.0	20.0	20.0	10.0	10.0	-	-	
	無回答	18	38.9	5.6	16.7	11.1	5.6	5.6	16.7	
住居形態別	一戸建て	195	43.1	12.3	10.8	14.4	6.2	9.2	4.1	
	集合住宅(アパート, マンション, 社宅, 寮など)	366	36.1	18.6	13.4	9.8	12.8	4.6	4.6	
	その他	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	
	無回答	9	44.4	-	22.2	11.1	11.1	11.1	-	
ごみ減量関心度別	関心がある	105	51.4	11.4	8.6	10.5	4.8	6.7	6.7	
	どちらかといえば関心がある	376	39.4	17.3	11.7	10.1	12.0	5.9	3.7	
	どちらかといえば関心がない	78	20.5	19.2	20.5	17.9	10.3	7.7	3.8	
	関心がない	6	-	16.7	-	33.3	33.3	16.7	-	
	無回答	7	42.9	-	42.9	-	-	-	14.3	

### 2-3 資源物回収ボックスの認知度など

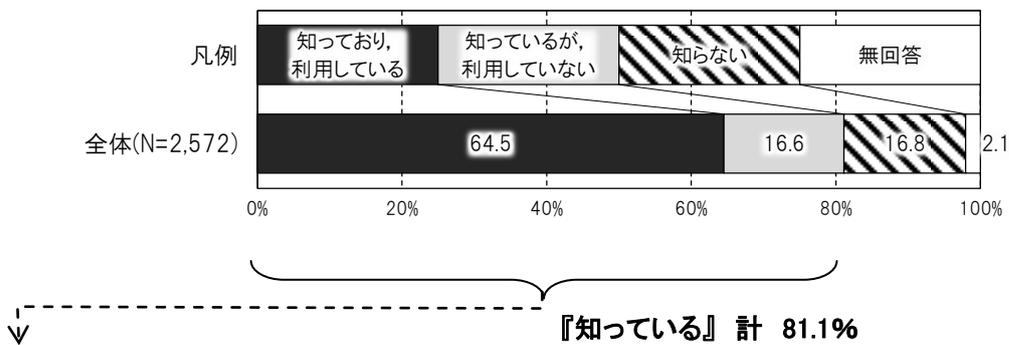
■資源物回収ボックスの場所を『知っている』は 81.1%。そのうち「知っており、利用している」(64.5%) が6割強。また、資源物回収ボックスを利用しない理由は「地域集団回収に出している」(38.6%) が最多。

■傾向としては、

- ①ごみ減量・リサイクルの関心度が高い人ほど「資源物回収ボックス」を利用しているが、関心度が低い人ほど「資源物回収ボックス」を知らない。
- ②資源物回収ボックスを利用しない理由として、年齢が高いほど「地域集団回収に出している」、年齢が低いほど「回収ボックスに持ち込むのが面倒」と回答する人が多い。

問 11. あなたは、資源物の回収ボックス（地域、公共施設、民間設置）の場所を知っていますか。  
あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

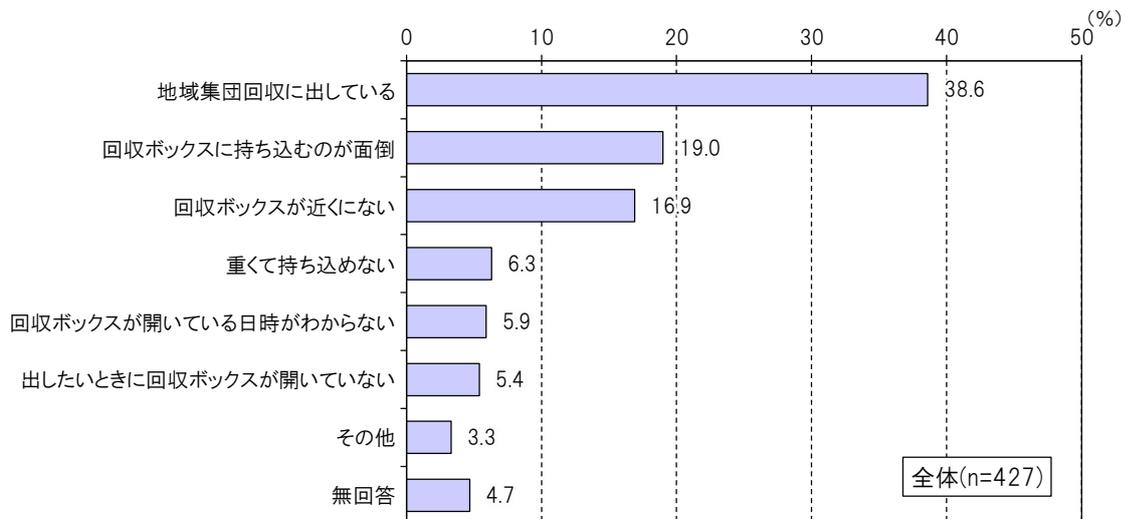
【図2-3①】資源物回収ボックスの認知度



付問 11-1. 【問 11 で「知っているが、利用していない」と答えた方へ】

資源物の回収ボックスを利用していない主な理由は何ですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

【図2-3②】資源物の回収ボックスを利用しない理由



(1) 資源物回収ボックスの認知度

資源物回収ボックスの場所についてたずねたところ、「知っており、利用している」と答えた人の割合が64.5%、「知っているが、利用していない」と答えた人の割合が16.6%となっており、これらを合わせて『知っている』は81.1%を占める。一方、「知らない」は16.8%となっている。

性別、年齢別では、特徴的な差はみられなかった。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「知っており、利用している」と答えた人の割合が高く、「関心がある」は72.4%となっている。
- ・一方、関心度が低いほど「知らない」と答えた人の割合が高く、「関心がない」(49.0%)は約5割を占めている。

【表2-3①】資源物回収ボックスの認知度

数値(全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)

		サンプル数	知っている	し知 つて いて るお り 、 利 用	用知 しつ てて いて るが 、 利	知らない	無回答
全体		100.0 2,572	81.1 2,087	64.5 1,660	16.6 427	16.8 431	2.1 54
性別	男性	955	79.8	65.3	14.5	18.1	2.1
	女性	1,577	82.5	64.4	18.1	15.5	2.1
	無回答	40	62.5	52.5	10.0	35.0	2.5
年齢別	18～29歳	225	77.4	62.7	14.7	20.9	1.8
	30歳代	329	77.2	64.1	13.1	21.6	1.2
	40歳代	453	82.7	66.4	16.3	15.7	1.5
	50歳代	437	84.0	66.4	17.6	14.9	1.1
	60～64歳	212	83.0	62.7	20.3	16.5	0.5
	65～74歳	493	84.1	66.9	17.2	14.0	1.8
	75歳以上	366	79.8	60.9	18.9	14.2	6.0
	無回答	57	59.7	54.4	5.3	36.8	3.5
ごみ減量 関心度別	関心がある	591	88.3	72.4	15.9	9.5	2.2
	どちらかといえば関心がある	1,622	81.9	64.9	17.0	16.6	1.5
	どちらかといえば関心がない	266	68.0	51.1	16.9	27.8	4.1
	関心がない	49	51.1	32.7	18.4	49.0	-
	無回答	44	72.7	63.6	9.1	15.9	11.4

## II 調査結果

### (2) 資源物回収ボックスを利用しない理由

資源物回収ボックスの場所は「知っているが、利用していない」と答えた人（427人）に、資源物回収ボックスを利用しない理由についてたずねたところ、「地域集団回収に出している」（38.6%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「回収ボックスに持ち込むのが面倒」（19.0%）、「回収ボックスが近くにない」（16.9%）となっている。

性別では、特徴的な差はみられなかった。

年齢別にみると、

- ・年齢が低いほど「回収ボックスに持ち込むのが面倒」と答えた人が多く、「30歳代」は34.9%となっている。一方、『60歳代以上』は「地域集団回収に出している」と答えた人が多く、特に「75歳以上」（53.6%）は5割以上を占めている。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・回答者数が少ない属性があるため一概には言えないが、関心がある人は「地域集団回収に出している」と答えた人の割合が高く、「関心がある」は48.9%となっている。
- ・一方、関心がない人は「回収ボックスに持ち込むのが面倒」と答えた人が最も多い。

【表2-3②】資源物回収ボックスを利用しない理由

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

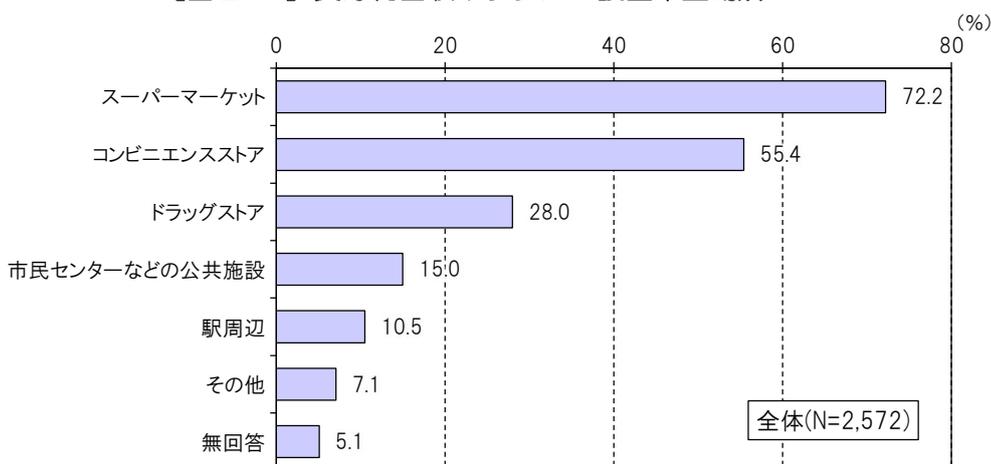
		サンプル数	地域集団回収に出している	回収ボックスに持ち込むのが面倒	回収ボックスが近くにない	重くて持ち込めない	回収ボックスがわさから開かない	出すときに開いていない	その他	無回答
全体		100.0 427	38.6 165	19.0 81	16.9 72	6.3 27	5.9 25	5.4 23	3.3 14	4.7 20
性別	男性	138	44.9	18.8	12.3	4.3	5.8	7.2	2.2	4.3
	女性	285	35.8	18.9	18.9	7.4	6.0	4.6	3.9	4.6
	無回答	4	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0
年齢別	18～29歳	33	18.2	24.2	18.2	9.1	3.0	6.1	3.0	18.2
	30歳代	43	18.6	34.9	9.3	7.0	14.0	11.6	2.3	2.3
	40歳代	74	37.8	25.7	14.9	4.1	5.4	6.8	4.1	1.4
	50歳代	77	33.8	23.4	14.3	6.5	5.2	9.1	5.2	2.6
	60～64歳	43	55.8	9.3	18.6	4.7	2.3	4.7	2.3	2.3
	65～74歳	85	41.2	15.3	18.8	7.1	5.9	1.2	3.5	7.1
	75歳以上	69	53.6	4.3	21.7	7.2	5.8	1.4	1.4	4.3
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-
ごみ減量・リサイクル関心度別	関心がある	94	48.9	14.9	8.5	6.4	6.4	4.3	5.3	5.3
	どちらかといえば関心がある	275	38.2	17.5	20.0	5.8	5.5	6.5	2.9	3.6
	どちらかといえば関心がない	45	24.4	35.6	13.3	11.1	6.7	2.2	-	6.7
	関心がない	9	11.1	33.3	22.2	-	-	-	11.1	22.2
	無回答	4	50.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-

## 2-4 資源物回収ボックスの設置希望場所

- 資源物回収ボックスの設置希望場所は、「スーパーマーケット」(72.2%)が最多。
- 傾向としては、
  - ①ごみ減量・リサイクルの関心度が高い人ほど「スーパーマーケット」と回答。

問 12. あなたは、今後、資源物の回収ボックスがどこにあると利用すると思いますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【図2-4】資源物回収ボックスの設置希望場所



### (1) 資源物回収ボックスの設置希望場所

資源物回収ボックスがどこにあれば利用したいかについてたずねたところ、「スーパーマーケット」(72.2%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「コンビニエンスストア」(55.4%)、「ドラッグストア」(28.0%)、「市民センターなどの公共施設」(15.0%)、「駅周辺」(10.5%)となっている。

性別、年齢別でも、特徴的な差はみられなかった。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「スーパーマーケット」と答えた人の割合が高くなっている。
- ・一方、「関心がない」は「コンビニエンスストア」と答えた人が最も多い。

II 調査結果

【表2-4】資源物回収ボックスの設置希望場所

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	スーパーマーケット	コンビニエンスストア	ドラッグストア	市民センターなどの公施設	駅周辺	その他	無回答
全体		100.0 2,572	72.2 1,857	55.4 1,425	28.0 721	15.0 387	10.5 270	7.1 182	5.1 130
性別	男性	955	68.3	52.6	24.5	17.3	9.9	7.2	6.2
	女性	1,577	74.8	57.2	30.4	13.8	10.9	7.0	4.3
	無回答	40	65.0	52.5	20.0	12.5	7.5	7.5	7.5
年齢別	18～29歳	225	71.1	54.7	27.1	15.6	21.3	8.4	2.7
	30歳代	329	70.5	67.5	35.3	16.7	19.5	8.2	1.5
	40歳代	453	74.0	55.0	34.4	16.1	11.5	8.4	2.9
	50歳代	437	72.1	58.8	30.2	20.4	9.8	6.6	2.1
	60～64歳	212	73.1	57.5	29.2	13.2	7.1	9.0	0.9
	65～74歳	493	75.9	54.2	24.7	11.6	5.9	5.5	5.9
	75歳以上	366	67.2	40.7	15.6	11.7	4.1	4.9	16.9
	無回答	57	70.2	63.2	26.3	12.3	7.0	8.8	7.0
イごみ減量 関心度別	関心がある	591	75.5	54.1	28.3	17.3	11.2	7.8	5.1
	どちらかといえば関心がある	1,622	74.8	56.0	29.2	15.0	10.5	6.0	4.1
	どちらかといえば関心がない	266	56.8	56.0	23.3	11.3	9.8	12.4	6.8
	関心がない	49	38.8	51.0	16.3	14.3	14.3	8.2	14.3
	無回答	44	63.6	50.0	22.7	11.4	2.3	2.3	20.5

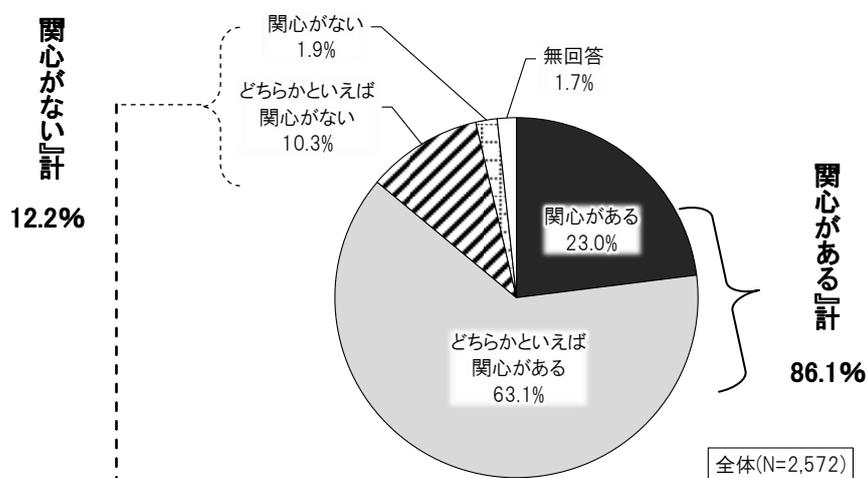
### 第3章 3R（スリーアール）の取り組みなどについて

#### 3-1 ごみ減量・リサイクルへの関心度など

- ごみ減量・リサイクルに『関心がある』（86.1%）は8割強。
- 『関心がない』（12.2%）の理由は、「ごみの減量やリサイクルは面倒」（46.0%）が最多。
- 傾向としては、
  - ①『関心がある』割合は、男女とも高年齢層ほど高い。

問 13. あなたは、ごみ減量・リサイクルにどの程度関心がありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

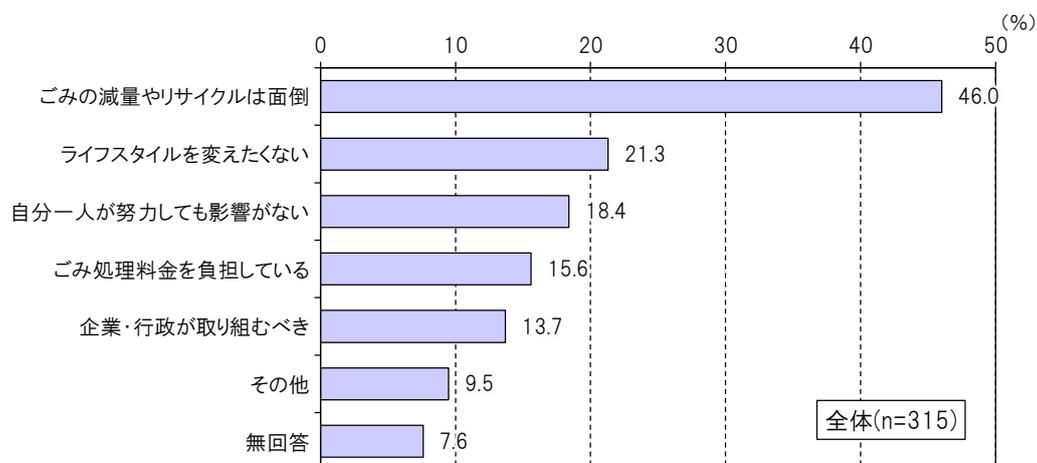
【図3-1①】ごみ減量・リサイクルへの関心度



付問 13-1. 【問 13で「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方へ】

「関心がない」理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【図3-1②】ごみ減量・リサイクルに関心がない理由



## II 調査結果

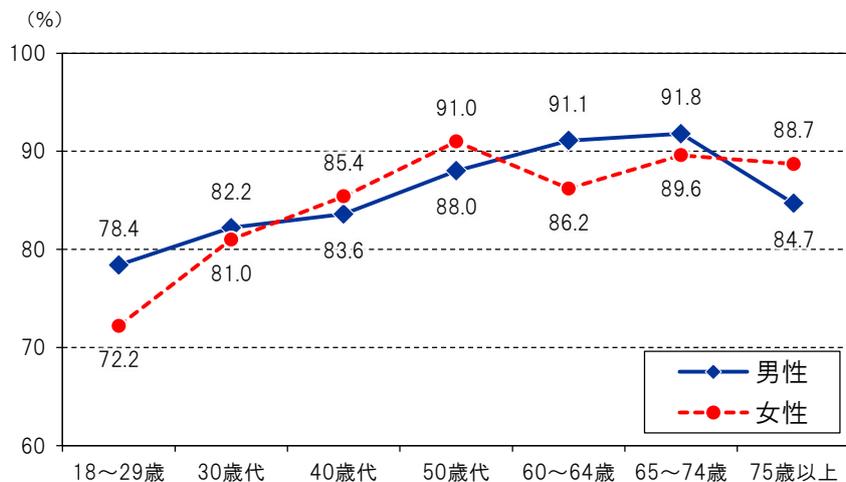
### (1) ごみ減量・リサイクルへの関心度

ごみ減量・リサイクルの関心度についてたずねたところ、「関心がある」と答えた人の割合が23.0%、「どちらかといえば関心がある」と答えた人の割合が63.1%となっており、これらを合わせて『関心がある』は86.1%となっている。一方、『関心がない』（「どちらかといえば関心がない」と「関心がない」の合計）は12.2%となっている。

性別・年齢別にみると、

- ・『関心がある』割合は、性別による差は大きくないものの、男女とも高年齢層ほど高い。中でも、男性の「60～64歳」（91.1%）、「65～74歳」（91.8%）、女性の「50歳代」（91.0%）は9割以上を占めている。

【図3-1③】性別・年齢別 ごみ減量・リサイクルに『関心がある』割合



【表3-1①】ごみ減量・リサイクルへの関心度

数値（全体：上段=% 下段=件数, 属性：%）

	サンプル数	関心がある			関心がない			無回答	
		関心がある	どちらかといえば関心がある	関心がない	どちらかといえば関心がない	関心がない			
全体	100.0 2,572	86.1 2,213	23.0 591	63.1 1,622	12.2 315	10.3 266	1.9 49	1.7 44	
性別	男性	955	86.1	23.0	63.1	12.1	9.2	2.9	1.7
	女性	1,577	85.9	22.6	63.3	12.5	11.2	1.3	1.6
	無回答	40	87.5	37.5	50.0	5.0	5.0	-	7.5
年齢別	18～29歳	225	74.7	13.8	60.9	24.0	19.6	4.4	1.3
	30歳代	329	81.5	15.5	66.0	17.3	14.3	3.0	1.2
	40歳代	453	84.6	16.8	67.8	14.6	12.8	1.8	0.9
	50歳代	437	89.9	22.4	67.5	9.4	7.1	2.3	0.7
	60～64歳	212	88.3	17.5	70.8	11.3	10.8	0.5	0.5
	65～74歳	493	90.5	28.4	62.1	7.5	6.5	1.0	2.0
	75歳以上	366	87.2	38.8	48.4	8.8	7.4	1.4	4.1
	無回答	57	86.0	28.1	57.9	7.0	7.0	-	7.0

(2) ごみ減量・リサイクルに関心がない理由

ごみ減量・リサイクルに「どちらかといえば関心がない」、「関心がない」と答えた人（315人）に、その理由についてたずねたところ、「ごみの減量やリサイクルは面倒」（46.0%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「ライフスタイルを変えたくない」（21.3%）、「自分一人が努力しても影響がない」（18.4%）、「ごみ処理料金を負担している」（15.6%）、「企業・行政が取り組むべき」（13.7%）となっている。

また、「その他」の内容としては、「ほとんどごみが出ないから」、「ごみ減量の重要性（緊急性）を知らないから」、「興味がない・意識したことがない」、「子育て前はリサイクル活動をしていたが、子ども産まれてからは気持ちに余裕が無くなってきた」などの意見や、「どうすればいいのかわからない」という疑問があがっている。

性別、年齢別でも、特徴的な差はみられなかった。

ごみ減量・リサイクル関心度別でも、特徴的な差はみられなかった。

【表3-1②】ごみ減量・リサイクルに関心がない理由

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	ごみ減量やリサイクルは面倒	ライフスタイルを変えたくない	自分一人が努力しても影響がない	ごみ処理料金を負担している	企業・行政が取り組むべき	その他	無回答
全体		100.0 315	46.0 145	21.3 67	18.4 58	15.6 49	13.7 43	9.5 30	7.6 24
性別	男性	116	42.2	18.1	19.0	17.2	19.0	12.1	7.8
	女性	197	48.7	22.8	18.3	14.7	10.2	8.1	7.6
	無回答	2	-	50.0	-	-	50.0	-	-
年齢別	18～29歳	54	51.9	25.9	20.4	20.4	11.1	11.1	5.6
	30歳代	57	35.1	29.8	21.1	5.3	7.0	12.3	8.8
	40歳代	66	59.1	22.7	10.6	7.6	13.6	7.6	7.6
	50歳代	41	48.8	14.6	19.5	26.8	14.6	12.2	4.9
	60～64歳	24	41.7	12.5	33.3	8.3	20.8	8.3	8.3
	65～74歳	37	32.4	16.2	21.6	27.0	18.9	8.1	5.4
	75歳以上	32	46.9	15.6	12.5	21.9	15.6	6.3	12.5
	無回答	4	25.0	25.0	-	-	25.0	-	25.0
ごみ減量・リサイクル関心度別	関心がある	0	-	-	-	-	-	-	-
	どちらかといえば関心がある	0	-	-	-	-	-	-	-
	どちらかといえば関心がない	266	47.4	22.2	17.7	14.7	13.5	8.3	7.5
	関心がない	49	38.8	16.3	22.4	20.4	14.3	16.3	8.2
	無回答	0	-	-	-	-	-	-	-

## II 調査結果

### 3-2 「4R」の認知度

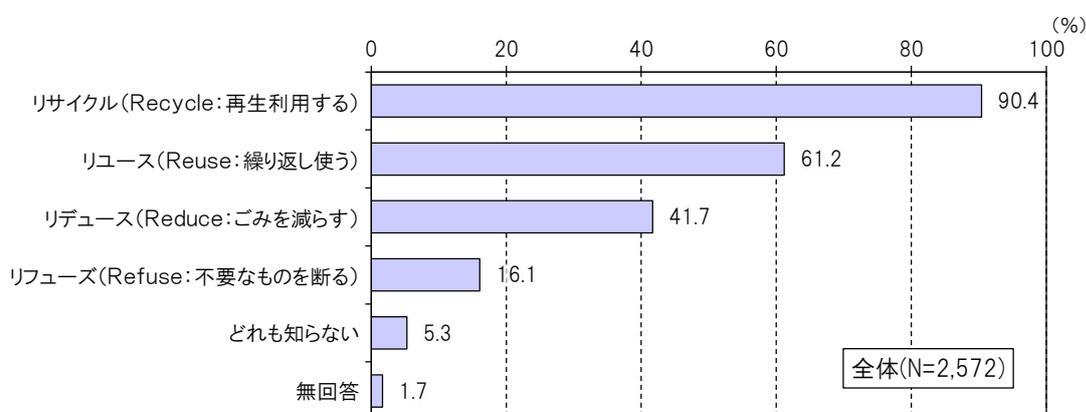
■ 4Rの認知度は、「リサイクル」が90.4%、「リユース」が61.2%、「リデュース」は41.7%、「リフューズ」が16.1%。

■ 傾向としては、

- ①年齢が低い人ほど認知度は高く、年齢が上がるほど「どれも知らない」と答えた人の割合が高い。
- ②ごみ減量・リサイクルの関心度が高い人ほど認知度は高く、関心度が低い人ほど「どれも知らなかった」と答えた人の割合が高い。

問 14. 「リデュース、リユース、リサイクル、リフューズ」の4つの言葉のうち、あなたが意味を知っていた言葉はどれですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【図3-2】3Rの認知度



#### (1) 4Rの認知度

「リデュース、リユース、リサイクル、リフューズ」という4つの言葉（4R）についてたずねたところ、「リサイクル（R e c y c l e : 再生利用する）」（90.4%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「リユース（R e u s e : 繰り返し使う）」（61.2%）、「リデュース（R e d u c e : ごみを減らす）」（41.7%）、「リフューズ（R e f u s e : 不要なものを断る）」（16.1%）となっている。

なお、「どれも知らない」（5.3%）は1割にも満たない。

性別では、特徴的な差はみられなかった。

年齢別にみると、

- ・年齢にかかわらず「リサイクル（R e c y c l e : 再生利用する）」の認知度は7割以上であり、その割合は最も高い。また、どの言葉も年齢が低いほど認知度が高くなる傾向がみられ、「18～29歳」は「リデュース（R e d u c e : ごみを減らす）」（63.1%）、「リフューズ（R e f u s e : 不要なものを断る）」（25.8%）の認知度が最も高い。
- ・一方、「75歳以上」は「どれも知らない」（13.1%）が1割以上みられる。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高い人ほど、どの言葉の認知度も高くなる傾向があり、「リサイクル (Recycle : 再生利用する)」の認知度は7割以上を占める。また、それ以外の言葉も「関心がある」の認知度が高くなっている。

【表3-2】4Rの認知度

数値 (全体 : 上段=% 下段=件数, 属性 : %)

		サンプル数	るcリ  サイ e:ク :再 生 利 用 す y	eリ :ユ  ス :繰 リ 返 し 使 う s	cリ eデ :ユ  ス :ご み を 減 ら す u	るsリ fユ :不 要 な も の を 断 u	ど れ も 知 ら な い	無 回 答
全体		100.0 2,572	90.4 2,324	61.2 1,573	41.7 1,073	16.1 414	5.3 136	1.7 43
性別	男性	955	89.8	63.0	45.5	16.5	5.3	1.6
	女性	1,577	91.1	60.3	39.6	16.0	5.0	1.6
	無回答	40	72.5	50.0	35.0	10.0	15.0	5.0
年齢別	18~29歳	225	93.8	76.9	63.1	25.8	2.7	1.3
	30歳代	329	93.6	77.8	41.9	14.3	4.6	0.6
	40歳代	453	94.7	76.4	45.7	18.5	3.8	0.7
	50歳代	437	96.1	75.3	44.2	19.2	0.9	0.7
	60~64歳	212	94.3	55.7	37.3	15.6	1.9	0.5
	65~74歳	493	88.0	42.2	35.3	12.8	6.7	2.4
	75歳以上	366	76.0	30.9	32.5	11.2	13.1	4.6
	無回答	57	77.2	52.6	36.8	7.0	15.8	3.5
ごみ減量・リサイクル関心度別	関心がある	591	91.5	64.0	50.9	22.7	3.0	1.4
	どちらかといえば関心がある	1,622	92.1	62.4	40.5	14.4	5.1	0.5
	どちらかといえば関心がない	266	88.7	54.9	34.6	13.2	9.4	0.4
	関心がない	49	77.6	57.1	30.6	14.3	18.4	-
	無回答	44	34.1	20.5	18.2	9.1	4.5	59.1

II 調査結果

3-3 ごみ減量・リサイクル（3R）の取組状況など

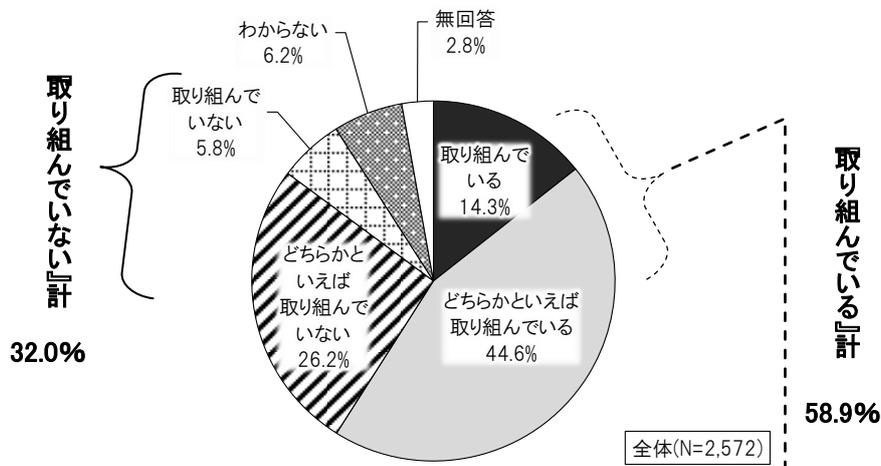
■ごみ減量・リサイクル（3R）に『取り組んでいる』は 58.9%。『取り組んでいる』理由は、「限りある資源の有効利用につながるから」が 69.2%と最多。

■傾向としては、

- ①『取り組んでいる』割合は、全体的に女性が男性に比べて高く、3Rの取り組み率が最も高いのは、女性が50歳代、男性が75歳以上。
- ②年齢が低い人ほど、『取り組んでいない』割合が高い。

問 15. 最近1年間、あなたのご家庭では、ごみ減量・リサイクル（3R）の取り組みはどうか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

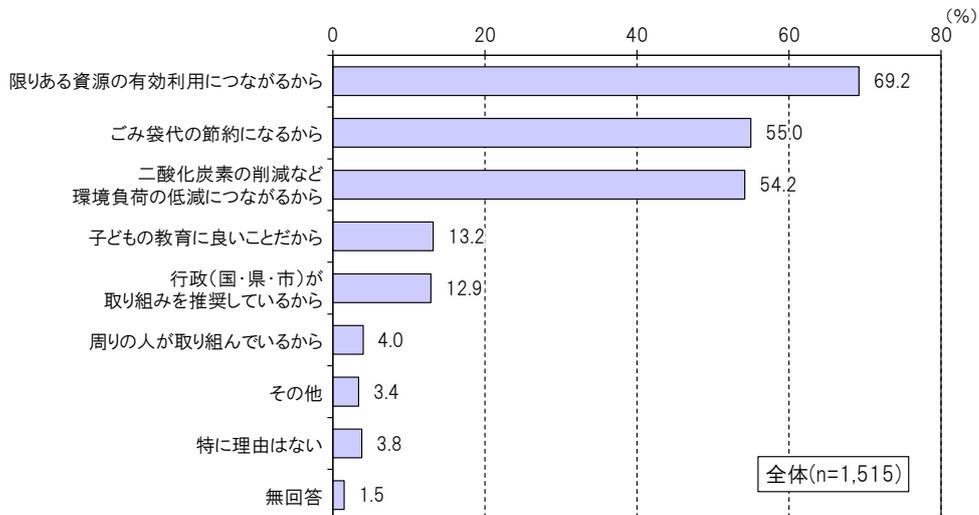
【図3-3①】3Rの取組み



付問 15-1. 【問 15で「取り組んでいる」「どちらかといえば取り組んでいる」と答えた方へ】

あなたのご家庭が3Rに取り組む理由は何ですか。あてはまるものすべてを選び、番号に○をつけてください。

【図3-3②】3Rに取り組む理由



### (1) ごみ減量・リサイクル(3R)の取組状況

最近1年間の家庭におけるごみ減量・リサイクル(3R)の取組みについてたずねたところ、

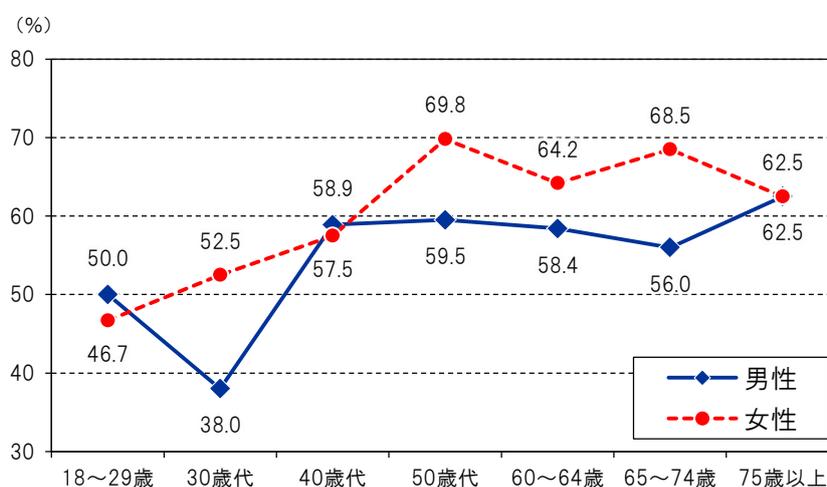
「取り組んでいる」と答えた人の割合が14.3%、「どちらかといえば取り組んでいる」と答えた人の割合が44.6%となっており、これらを合わせて『取り組んでいる』は58.9%となっている。

一方、「どちらかといえば取り組んでいない」と答えた人の割合が26.2%、「取り組んでいない」と答えた人の割合が5.8%となっており、これらを合わせて『取り組んでいない』は32.0%となっている。

性別・年齢別にみると、

- ・『取り組んでいる』割合は、全体的に「女性」が「男性」に比べ高く、特に50歳代の女性は69.8%と最も高い。
- ・男性は年齢が高くなるほど、緩やかではあるが徐々に取り組み率が上がっている。

【図3-3③】性別・年齢別 ごみ減量・リサイクル(3R)に『取り組んでいる』割合



年齢別にみると、

- ・『取り組んでいる』割合は、「50歳代」(66.1%)が最も高く、次いで「65~74歳」(63.7%)、「75歳以上」(62.3%)となっている。
- ・年齢が低くなるほど『取り組んでいない』割合が高く、特に、「30歳代」(45.9%)では4割強と高い。

世帯人数別にみると、

- ・『取り組んでいる』割合は、『2人以上世帯』ほどの世帯とも6割台であるが、「1人世帯」(48.1%)がやや低くなっている。

住居形態別にみると、

- ・『取り組んでいる』割合は、「一戸建て」(64.9%)が「集合住宅(アパート、マンション、社宅、寮など)」(55.7%)より高い。

## II 調査結果

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・『取り組んでいる』割合は、「関心がある」(82.4%)が8割以上と高い。
- ・関心度が低くなるほど『取り組んでいない』割合が高く、「関心がない」(67.4%)、「どちらかといえば関心がない」(67.3%)では6割強と高い。

【表3-3①】ごみ減量・リサイクル(3R)の取組状況

数値(全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)

	サンプル数	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいない			わからない	無回答	
			取り組んでいる	どちらかといえば	取り組んでいない	どちらかといえば	取り組んでいない			
全体	100.0 2,572	58.9 1,515	14.3 369	44.6 1,146	32.0 824	26.2 674	5.8 150	6.2 160	2.8 73	
年齢別	18～29歳	225	48.0	8.9	39.1	40.9	31.6	9.3	9.8	1.3
	30歳代	329	46.8	7.0	39.8	45.9	36.2	9.7	7.0	0.3
	40歳代	453	57.9	12.4	45.5	36.4	28.7	7.7	4.0	1.8
	50歳代	437	66.1	16.7	49.4	27.7	23.6	4.1	4.6	1.6
	60～64歳	212	61.8	12.7	49.1	30.1	25.9	4.2	5.7	2.4
	65～74歳	493	63.7	16.4	47.3	26.4	22.5	3.9	5.5	4.5
	75歳以上	366	62.3	21.6	40.7	22.7	19.1	3.6	7.9	7.1
	無回答	57	50.8	17.5	33.3	31.6	26.3	5.3	15.8	1.8
世帯人数別	1人	461	48.1	10.8	37.3	39.4	28.6	10.8	8.7	3.7
	2人	881	63.0	16.3	46.7	27.8	23.3	4.5	6.2	3.0
	3人	572	60.3	14.5	45.8	32.7	27.1	5.6	5.1	1.9
	4人	382	61.0	13.1	47.9	32.5	28.3	4.2	4.5	2.1
	5人	129	62.8	14.0	48.8	29.5	27.9	1.6	5.4	2.3
	6人以上	55	60.0	10.9	49.1	34.6	27.3	7.3	3.6	1.8
	無回答	92	50.0	19.6	30.4	31.5	25.0	6.5	10.9	7.6
	住居形態別	一戸建て	944	64.9	16.9	48.0	26.3	23.4	2.9	5.7
集合住宅(アパート、マンション、社宅、寮など)		1,569	55.7	12.6	43.1	35.4	27.8	7.6	6.2	2.7
その他		17	35.3	11.8	23.5	35.3	29.4	5.9	23.5	5.9
無回答		42	52.4	23.8	28.6	35.7	28.6	7.1	9.5	2.4
ごみ減量関心度別	関心がある	591	82.4	38.4	44.0	12.1	10.7	1.4	2.4	3.2
	どちらかといえば関心がある	1,622	59.2	8.0	51.2	33.3	29.2	4.1	5.9	1.7
	どちらかといえば関心がない	266	18.0	2.6	15.4	67.3	48.9	18.4	13.2	1.5
	関心がない	49	14.3	4.1	10.2	67.4	14.3	53.1	16.3	2.0
	無回答	44	29.5	6.8	22.7	4.6	2.3	2.3	15.9	50.0

## (2) ごみ減量・リサイクル(3R)に取り組む理由

3Rに「取り組んでいる」、「どちらかといえば取り組んでいる」と答えた人(1,515人)に、3Rに取り組む理由についてたずねたところ、「限りある資源の有効利用につながるから」(69.2%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「ごみ袋代の節約になるから」(55.0%)、「二酸化炭素の削減など環境負荷の低減につながるから」(54.2%)、「子どもの教育に良いことだから」(13.2%)、「行政(国・県・市)が取り組みを推奨しているから」(12.9%)となっている。

なお、「特に理由はない」(3.8%)は1割にも満たない。

年齢別にみると、

- ・30歳代は「ごみ袋代の節約になるから」と答えた人が最も多く、40歳代は「子どもの教育に良いことだから」と答えた人の割合が、他の年齢に比べ高い。

世帯人数別にみると、

- ・世帯人数が多くなるほど「子どもの教育に良いことだから」と答えた人の割合が高く、「6人以上世帯」(39.4%)は4割を占めている。
- ・また、「4人世帯」は「ごみ袋代の節約になるから」と答えた人が最も多い。

住居形態別では、特徴的な差はみられなかった。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・回答者数が少ない属性があるため一概には言えないが、関心度が高いほど「限りある資源の有効利用につながるから」、「二酸化炭素の削減など環境負荷の低減につながるから」と答えた人の割合が8割以上と高い。



### 3-4 ごみ減量・リサイクル（3R）の実践項目

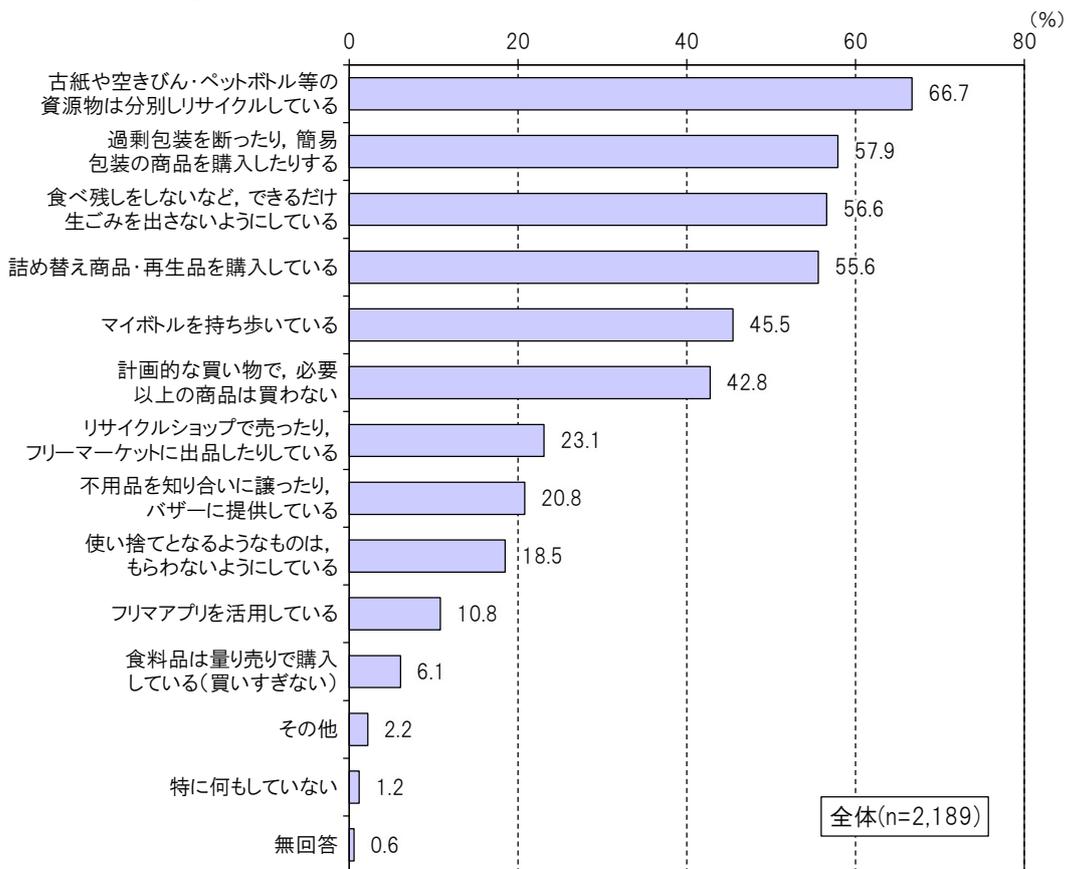
■家庭でのごみ減量・リサイクル（3R）の実践項目は、「古紙や空きびん・ペットボトル等の資源物は分別しリサイクルしている」（66.7%）が最多。

■傾向としては、

- ①ごみ減量・リサイクルの関心度が高い人は、実践度が高い。
- ②ごみ減量・リサイクルの関心度が低い人は、「特に何もしていない」と回答する人が多い。

問 16. あなたのご家庭では、ごみ減量・リサイクル（3R）のために実践していることは何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【図3-4①】ごみ減量・リサイクル（3R）の実践項目



#### (1) ごみ減量・リサイクル（3R）の実践項目

3Rに「取り組んでいる」、「どちらかといえば取り組んでいる」、「どちらかといえば取り組んでいない」と答えた人（2,189人）に、3Rの実践項目についてたずねたところ、「古紙や空きびん・ペットボトル等の資源物は分別しリサイクルしている」（66.7%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「過剰包装を断ったり、簡易包装の商品を購入したりしている」（57.9%）、「食べ残しをしないなど、できるだけ生ごみを出さないようにしている」（56.6%）、「詰め替え商品・再生品を購入している」（55.6%）、「マイボトルを持ち歩いている」（45.5%）、「計画的な買い物で、必要以上の商品は買わない」（42.8%）となっている。なお、「特に何もしていない」（1.2%）は1割にも満たない。

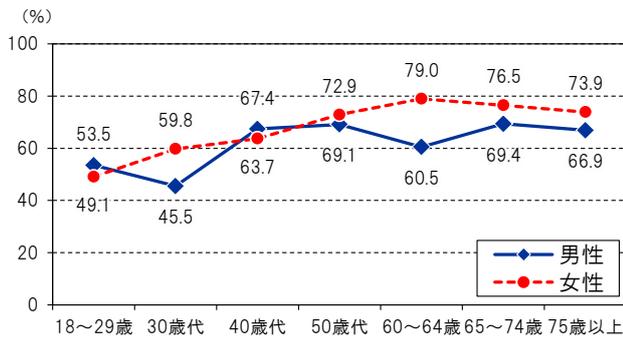
## II 調査結果

性別・年齢別にみると、

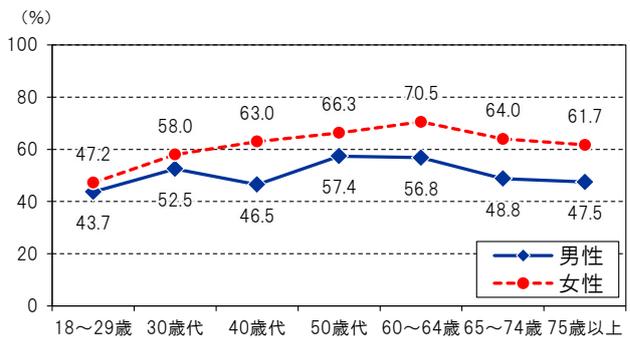
- ・「古紙や空きびん・ペットボトル等の資源物は分別しリサイクルしている」は、男女とも年齢が高くなるほど上昇している。
- ・「過剰包装を断ったり、簡易包装の商品を購入したりしている」、「マイボトルを持ち歩いている」は、各年代とも女性が男性の割合より高い。
- ・「詰め替え商品・再生品を購入している」、「リサイクルショップで売ったり、フリーマーケットに出品したりしている」、「フリマアプリを活用している」は、男女とも年齢が高くなるほど低下している。

【図3-4②】性別・年齢別 ごみ減量・リサイクル（3R）の実践度

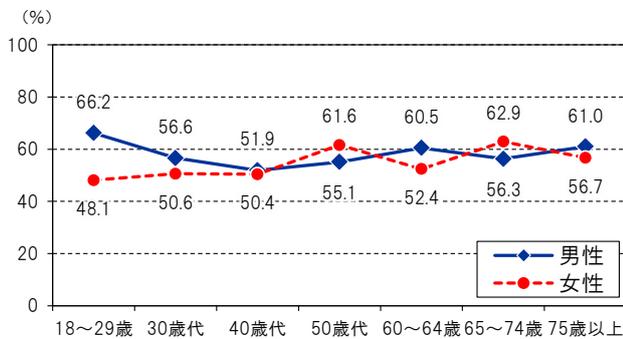
●古紙や空きびん・ペットボトル等の資源物は分別しリサイクルしている



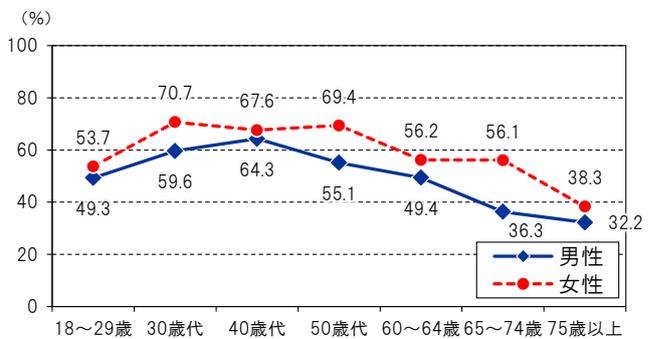
●過剰包装を断ったり、簡易包装の商品を購入したりする



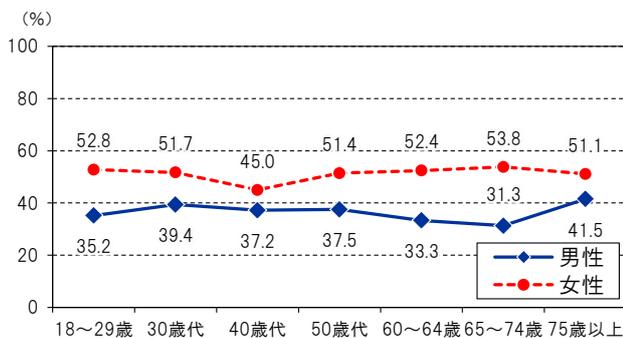
●食べ残しをしないなど、できるだけ生ごみを出さないようにしている



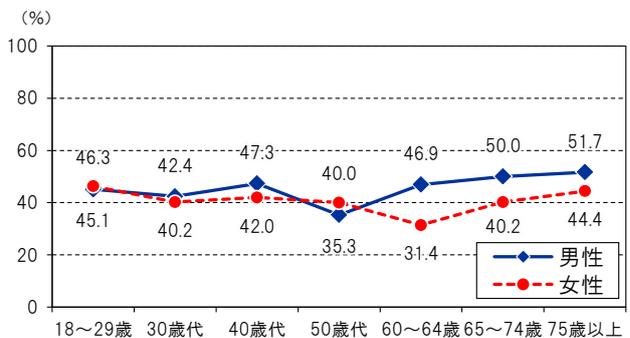
●詰め替え商品・再生品を購入している



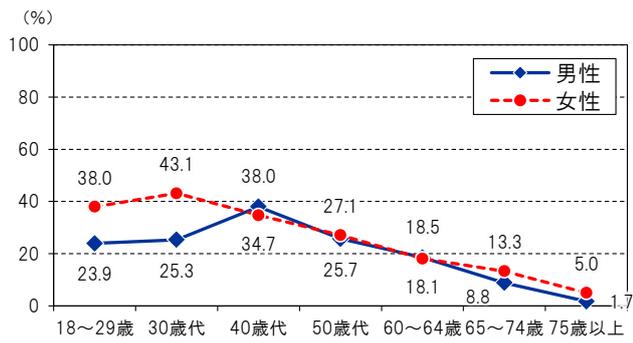
●マイボトルを持ち歩いている



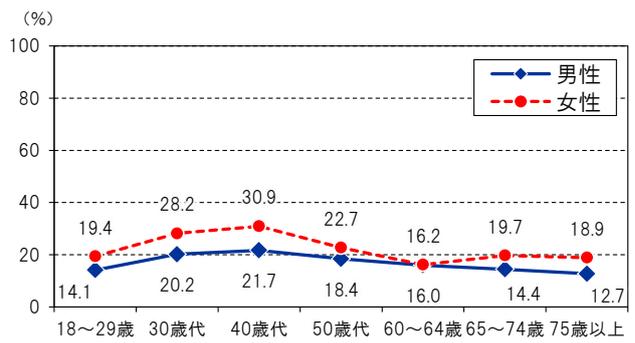
●計画的な買い物で、必要以上の商品は買わない



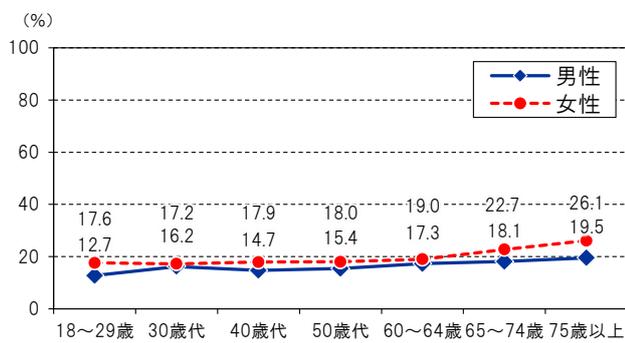
●リサイクルショップで売ったり、フリーマーケットに出品したりしている



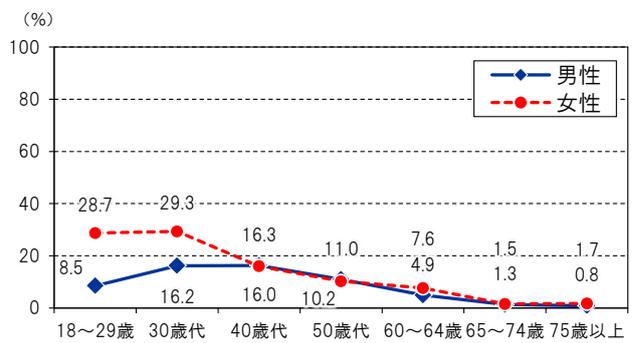
●不用品を知り合いに譲ったり、バザーに提供している



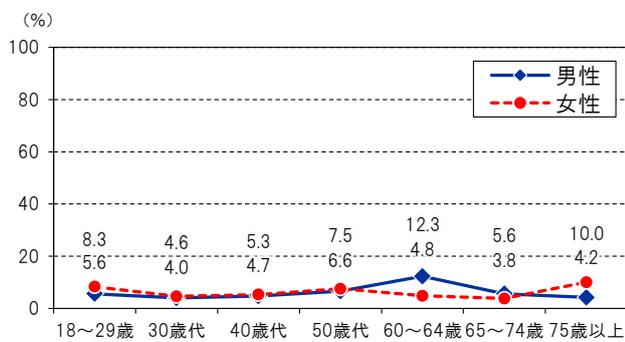
●使い捨てとなるようなものは、もらわないようにしている



●フリマアプリを活用している



●食料品は量り売りで購入している  
(買いすぎない)

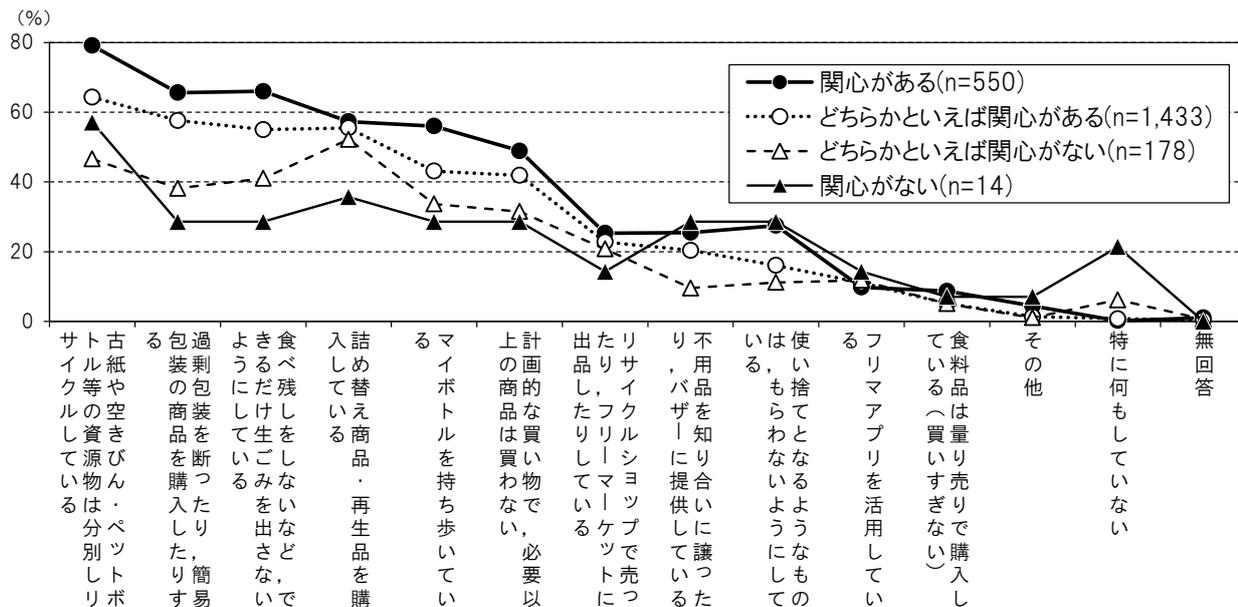


## II 調査結果

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高い人は、関心度が低い人よりも、全般的に実践度が高く、特に「古紙や空きびん・ペットボトル等の資源物は分別しリサイクルしている」、「過剰包装を断ったり、簡易包装の商品を購入したりしている」、「食べ残しをしないなど、できるだけ生ごみを出さないようにしている」という3項目で高い。
- ・一方、関心度が低い人ほど、「特に何もしていない」割合が高い。

【図3-4③】 ごみ減量・リサイクル（3R）における関心度と実践度との関係

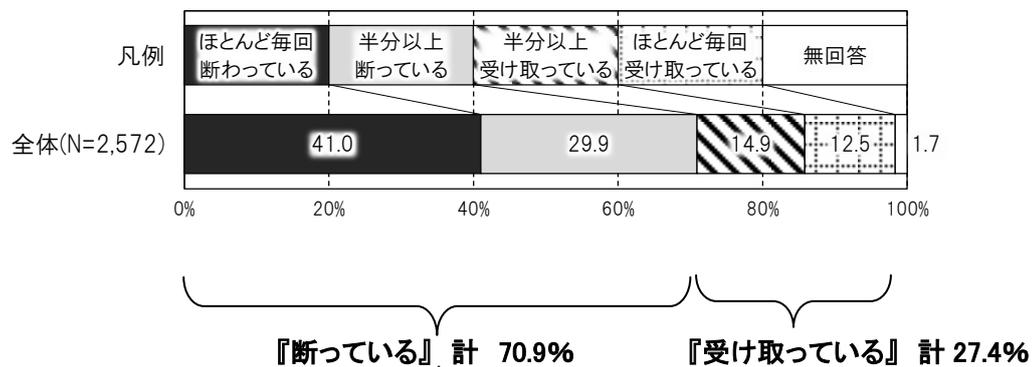


### 3-5 買い物時におけるレジ袋の辞退状況など

- レジ袋を『断っている』は70.9%、『受け取っている』は27.4%。  
 レジ袋を『断っている』理由は、「レジ袋が有料だから」(62.8%)が最多。
- 傾向としては、
  - ①『断っている』割合は、ごみ減量・リサイクルの関心度が高い人。
  - ②『受け取っている』割合は、ごみ減量・リサイクルの関心度が低い人。

問 17. あなたは、現在、買い物をするときレジ袋を断っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

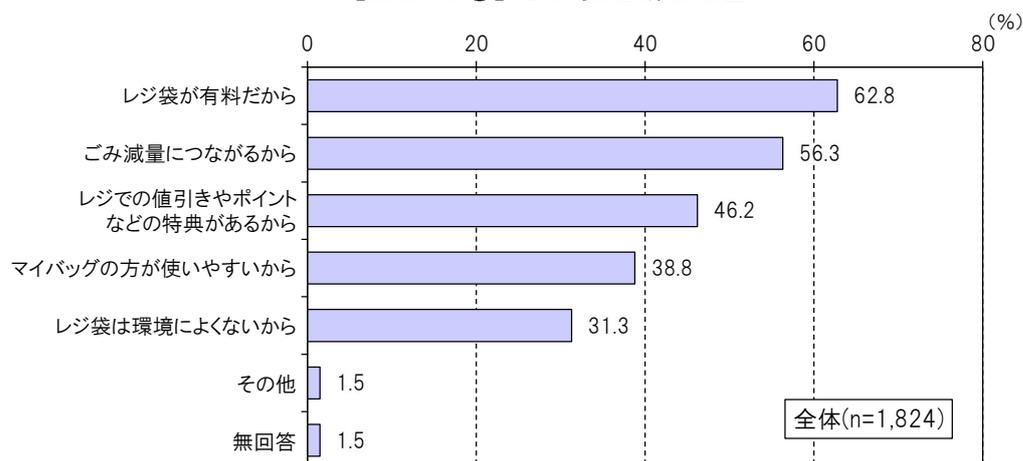
【図3-5①】買い物時におけるレジ袋の辞退状況



付問 17-1. 【問 17で1, 2と答えた方へ】

レジ袋を断る理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

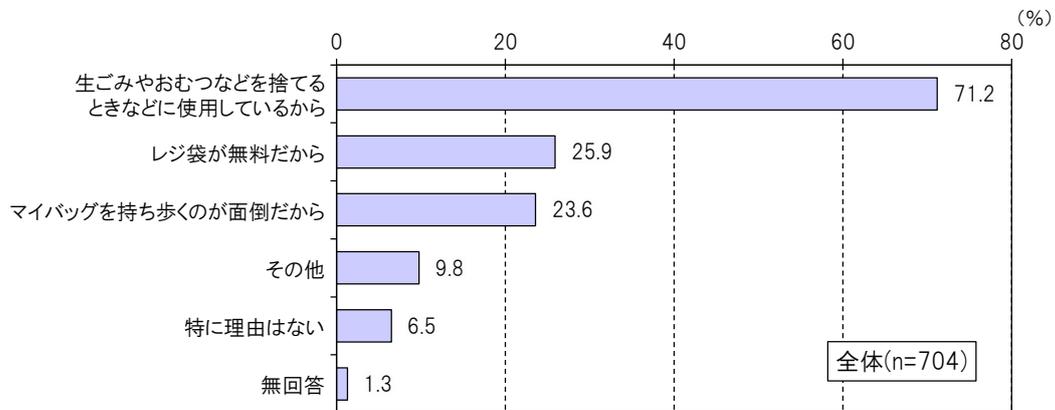
【図3-5②】レジ袋を断る理由



付問 17-2.【問 17で「半分以上受け取っている」「ほとんど毎回受け取っている」と答えた方へ】

レジ袋を受け取る理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【図3-5③】レジ袋を受け取っている理由



(1) 買い物時におけるレジ袋の辞退状況

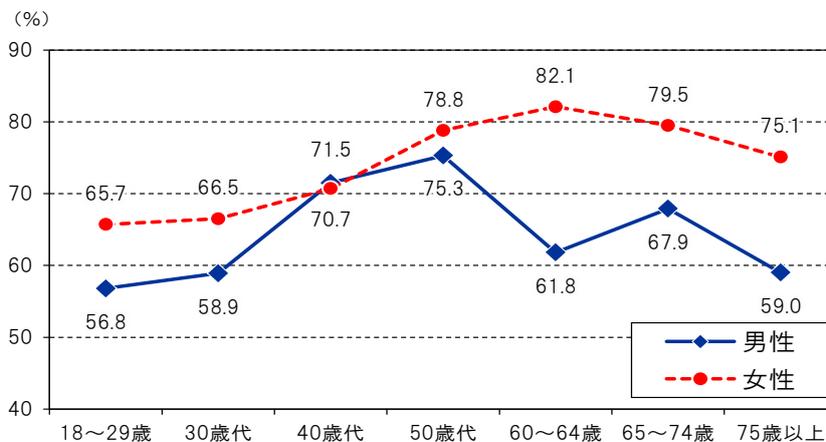
買い物をするときレジ袋を断っているかどうかについてたずねたところ、「ほとんど毎回断っている」と答えた人の割合が41.0%、「半分以上断っている」と答えた人の割合が29.9%となっており、これらを合わせて『断っている』は70.9%となっている。

一方、「半分以上受け取っている」と答えた人の割合が14.9%、「ほとんど毎回受け取っている」と答えた人の割合が12.5%となっており、これらを合わせて『受け取っている』は27.4%となっている。

性別・年齢別にみると、

- ・『断っている』割合は、全体的に「女性」が「男性」に比べて高く、特に『60歳以上』では男女間における『断っている』割合に大きな差がみられる。

【図3-5④】性別・年齢別 レジ袋を『断っている』割合



性別にみると、

- ・レジ袋を『断っている』割合は、男性（65.3%）に比べ女性（74.4%）が高い。

年齢別にみると、

- ・レジ袋を『断っている』割合は、「50歳代」（77.5%）が最も高い。
- ・レジ袋を『受け取っている』割合は、「18～29歳」（36.9%）、「30歳代」（36.2%）で高い。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高い人ほど『断っている』割合が、関心度が低い人ほど『受け取っている』割合が高くなっており、特に『受け取っている』割合は、「どちらかといえば関心がない」（45.1%）、「関心がない」（44.9%）で高い。

【表3-5①】買い物時におけるレジ袋の辞退状況

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

	サンプル数	断わっている	わほつとてんどる毎断			受け取っている	て半分以上受け取つてんどる毎受け		無回答
			わほつとてんどる毎断	る半分以上断つてい	て半分以上受け取つ		取ほつとてんどる毎受け		
全体	100.0 2,572	70.9 1,824	41.0 1,055	29.9 769	27.4 704	14.9 382	12.5 322	1.7 44	
性別	男性	955	65.3	35.8	29.5	32.8	16.0	16.8	1.9
	女性	1,577	74.4	44.6	29.8	24.1	14.3	9.8	1.5
	無回答	40	67.5	25.0	42.5	27.5	7.5	20.0	5.0
年齢別	18～29歳	225	62.2	28.9	33.3	36.9	19.1	17.8	0.9
	30歳代	329	63.6	28.3	35.3	36.2	24.0	12.2	0.3
	40歳代	453	71.1	38.2	32.9	28.7	13.2	15.5	0.2
	50歳代	437	77.5	49.4	28.1	21.5	12.1	9.4	0.9
	60～64歳	212	73.6	46.2	27.4	25.5	15.1	10.4	0.9
	65～74歳	493	75.3	47.1	28.2	23.1	13.0	10.1	1.6
	75歳以上	366	68.8	44.8	24.0	25.1	12.3	12.8	6.0
	無回答	57	61.4	24.6	36.8	31.6	10.5	21.1	7.0
イごみ減量関心度別	関心がある	591	83.4	55.3	28.1	14.9	8.1	6.8	1.7
	どちらかといえば関心がある	1,622	70.1	39.0	31.1	28.5	16.8	11.7	1.5
	どちらかといえば関心がない	266	53.8	23.3	30.5	45.1	18.8	26.3	1.1
	関心がない	49	51.0	24.5	26.5	44.9	6.1	38.8	4.1
	無回答	44	61.4	50.0	11.4	27.3	18.2	9.1	11.4

## II 調査結果

### (2) レジ袋を断る理由

レジ袋を「ほとんど毎回断っている」、「半分以上断っている」と答えた人（1,824人）に、ごみ袋を『断っている』理由をたずねたところ、「レジ袋が有料だから」（62.8%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「ごみ減量につながるから」（56.3%）、「レジでの値引きやポイントなどの特典があるから」（46.2%）、「マイバッグの方が使いやすいから」（38.8%）、「レジ袋は環境によくないから」（31.3%）となっている。

性別にみると、

- ・「レジでの値引きやポイントなどの特典があるから」と答える人の割合は、男性（37.2%）に比べ女性（50.8%）が高い。

年齢別にみると、

- ・年齢が低くなるほど「レジ袋が有料だから」と答えた人の割合は高い。
- ・また、「マイバッグの方が使いやすいから」と答えた人の割合は、「75歳以上」（52.4%）、「65～74歳」（46.9%）の高年齢層で高い。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「ごみ減量につながるから」、「マイバッグの方が使いやすいから」、「レジ袋は環境によくないから」と答えた人の割合が高く、関心度が低い人は「レジ袋が有料だから」と答えた人の割合が高い。

【表3-5②】レジ袋を断る理由

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	レジ袋が有料だから	らごみ減量につながるか	かんレジなどの値引きやポイントがあるイ	やマイバッグの方が使いやすい	いレジ袋は環境によくない	その他	無回答
全体		100.0 1,824	62.8 1,146	56.3 1,027	46.2 843	38.8 708	31.3 571	1.5 27	1.5 28
性別	男性	624	62.7	54.8	37.2	40.4	28.8	1.1	2.1
	女性	1,173	63.2	57.0	50.8	38.0	32.6	1.7	1.3
	無回答	27	51.9	59.3	55.6	37.0	33.3	-	-
年齢別	18～29歳	140	72.1	39.3	48.6	36.4	17.1	3.6	0.7
	30歳代	209	77.5	48.3	50.7	32.1	25.8	1.0	1.0
	40歳代	322	72.0	50.0	47.2	32.6	28.0	0.6	1.6
	50歳代	339	65.5	62.8	48.4	31.9	31.0	1.8	1.2
	60～64歳	156	58.3	59.0	44.2	35.3	35.3	1.3	1.9
	65～74歳	371	55.0	60.6	45.8	46.9	36.7	1.6	1.6
	75歳以上	252	45.2	63.5	37.3	52.4	38.1	1.6	2.8
	無回答	35	57.1	57.1	57.1	45.7	31.4	-	-
イごみ減量・リサイクル関心度別	関心がある	493	49.1	72.0	43.8	42.4	45.2	1.0	2.0
	どちらかといえば関心がある	1,136	66.9	54.2	48.0	39.0	28.3	1.7	1.3
	どちらかといえば関心がない	143	76.9	25.2	42.7	26.6	11.2	0.7	2.1
	関心がない	25	72.0	28.0	32.0	24.0	8.0	4.0	-
	無回答	27	59.3	48.1	48.1	44.4	33.3	3.7	-

### (3) レジ袋を受け取っている理由

レジ袋を「半分以上受け取っている」、「ほとんど毎回受け取っている」と答えた人（704人）に、ゴミ袋を『受け取っている』理由をたずねたところ、「生ゴミやおむつなどを捨てる時などに使用しているから」（71.2%）と答えた人の割合が7割を占め圧倒的に高く、以下、「レジ袋が無料だから」（25.9%）、「マイバッグを持ち歩くのが面倒だから」（23.6%）と続いている。

性別にみると、

- ・「生ゴミやおむつなどを捨てる時などに使用しているから」と答える人の割合は、男性（63.3%）に比べ女性（77.9%）が高い。一方、「マイバッグを持ち歩くのが面倒だから」と答える人の割合は、女性（16.8%）に比べ男性（31.9%）が高い。

年齢別では、特徴的な差はみられなかった。

ゴミ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「生ゴミやおむつなどを捨てる時などに使用しているから」と答えた人の割合が高く、関心度が低いほど「マイバッグを持ち歩くのが面倒だから」と答えた人の割合が高い。

【表3-5③】レジ袋を受け取っている理由

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	生ゴミやおむつなどを捨てる時などに使用するから	レジ袋が無料だから	マイバッグを持ち歩くのが面倒だから	その他	特に理由はない	無回答
全体		100.0 704	71.2 501	25.9 182	23.6 166	9.8 69	6.5 46	1.3 9
性別	男性	313	63.3	26.2	31.9	9.3	7.7	1.3
	女性	380	77.9	25.3	16.8	10.5	5.5	1.3
	無回答	11	63.6	36.4	18.2	-	9.1	-
年齢別	18～29歳	83	62.7	33.7	27.7	9.6	7.2	1.2
	30歳代	119	77.3	26.9	26.9	7.6	5.0	-
	40歳代	130	73.8	20.0	24.6	13.8	6.9	0.8
	50歳代	94	76.6	22.3	17.0	12.8	3.2	2.1
	60～64歳	54	72.2	35.2	35.2	9.3	1.9	-
	65～74歳	114	75.4	23.7	17.5	8.8	8.8	0.9
	75歳以上	92	57.6	26.1	20.7	6.5	9.8	4.3
	無回答	18	61.1	27.8	27.8	5.6	11.1	-
イごみ減量関心度別	関心がある	88	73.9	31.8	29.5	11.4	3.4	1.1
	どちらかといえば関心がある	462	72.7	22.9	19.5	10.6	6.7	1.3
	どちらかといえば関心がない	120	68.3	32.5	32.5	5.8	7.5	1.7
	関心がない	22	45.5	22.7	40.9	13.6	9.1	-
	無回答	12	66.7	33.3	16.7	-	8.3	-

## II 調査結果

### 3-6 レジ袋削減のために必要な取組内容

■レジ袋削減のための取組みについては、「レジ袋を無償で提供している販売店が、有料化やポイント還元等で消費者に行動を促す」(51.6%)が最多。

■一方、「レジ袋は必要なので現状のままでよい」(9.1%)は1割。

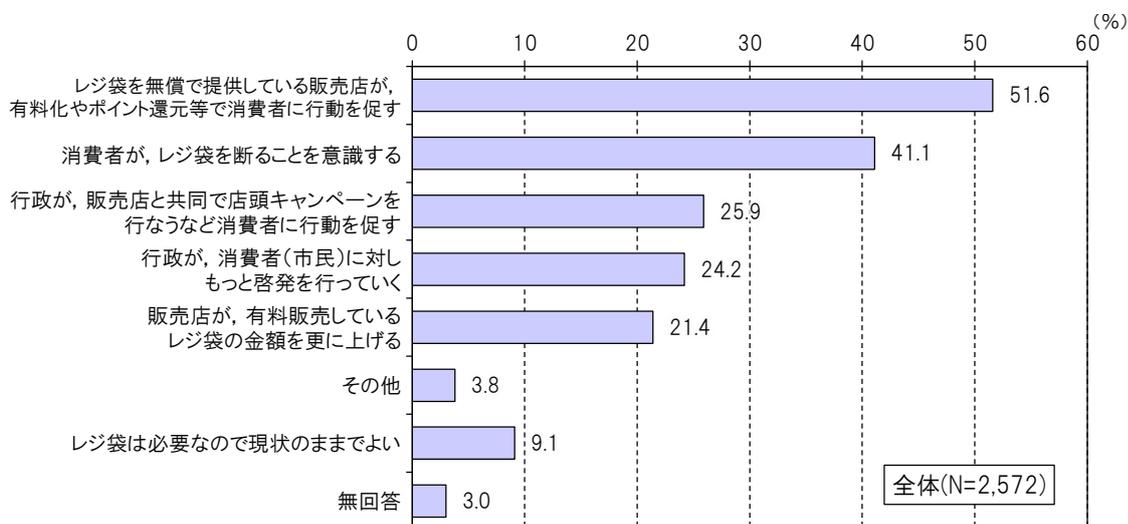
■傾向としては、

①ごみ減量・リサイクルの関心度が高い人ほど「レジ袋を無償で提供している販売店が、有料化やポイント還元等で消費者に行動を促す」など、取組内容に対する割合は高い。

②一方、関心度が低い人ほど「レジ袋は必要なので現状のままでよい」と答えた割合が高い。

問 18. あなたは、レジ袋の削減のためにどのような取組みが必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【図3-6】レジ袋削減のために必要な取組内容



#### (1) レジ袋削減のために必要な取組内容

レジ袋削減のために必要な取組みについてたずねたところ、「レジ袋を無償で提供している販売店が、有料化やポイント還元等で消費者に行動を促す」(51.6%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「消費者が、レジ袋を断ることを意識する」(41.1%)、「行政が、販売店と共同で店頭キャンペーンを行うなど消費者に行動を促す」(25.9%)、「行政が、消費者(市民)に対してもっと啓発を行っていく」(24.2%)、「販売店が、有料販売しているレジ袋の金額を更に上げる」(21.4%)となっている。なお、「レジ袋は必要なので現状のままでよい」(9.1%)と答える人の割合は約1割である。

性別にみると、

- ・男女とも「レジ袋を無償で提供している販売店が、有料化やポイント還元等で消費者に行動を促す」と答える人の割合が最も高いが、「消費者が、レジ袋を断ることを意識する」と答える人の割合は、男性(34.8%)に比べ女性(45.0%)が高い。

年齢別にみると、

- ・年齢が高くなるほど「行政が、消費者（市民）に対してもっと啓発を行っていく」、「消費者が、レジ袋を断ることを意識する」と答えた人の割合が、年齢が低くなるほど「販売店が、有料販売しているレジ袋の金額を更に上げる」と答えた人の割合が高い。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「レジ袋を無償で提供している販売店が、有料化やポイント還元等で消費者に行動を促す」、「消費者が、レジ袋を断ることを意識する」、「行政が、販売店と共同で店頭キャンペーンを行うなど消費者に行動を促す」、「行政が、消費者（市民）に対してもっと啓発を行っていく」と答えた人の割合が高い。
- ・一方で、関心度が低いほど「レジ袋は必要なので現状のままでよい」と答えた人の割合が高く、「関心がない」（40.8%）は4割を占めている。

【表3-6】レジ袋削減のために必要な取組内容

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

	サンプル数	還元等が消費を促す	レジ袋を無償で提供している	消費者が、レジ袋を断ることを意識する	消費者が、レジ袋を断ることを意識する	行政が、販売店と共同で店頭キャンペーンを行うなど消費者に行動を促す	行政が、消費者（市民）に対してもっと啓発を行っていく	販売店が、有料販売しているレジ袋の金額を更に上げる	その他	レジ袋は必要なので現状のままでよい	無回答
全体	100.0 2,572	51.6 1,327	41.1 1,058	25.9 665	24.2 623	21.4 551	3.8 99	9.1 235	3.0 77		
性別	男性	955	52.1	34.8	23.9	25.4	23.5	2.9	9.9	3.1	
	女性	1,577	51.4	45.0	27.1	23.5	20.5	4.5	8.2	2.9	
	無回答	40	45.0	40.0	25.0	22.5	10.0	-	27.5	5.0	
年齢別	18～29歳	225	48.9	36.0	25.3	16.9	23.6	4.4	12.0	1.8	
	30歳代	329	56.5	36.5	27.7	18.8	27.1	4.0	10.9	1.8	
	40歳代	453	49.9	37.5	25.8	19.6	28.5	6.2	10.8	1.5	
	50歳代	437	59.5	39.4	24.7	21.1	21.1	4.1	6.9	1.8	
	60～64歳	212	58.5	43.4	27.4	25.0	16.5	4.2	8.0	1.4	
	65～74歳	493	49.1	45.2	28.0	32.7	19.3	2.2	6.9	2.6	
	75歳以上	366	41.5	48.6	22.7	31.4	14.2	2.2	8.7	8.5	
無回答	57	47.4	38.6	22.8	22.8	10.5	3.5	17.5	8.8		
ごみ減量関心度別	関心がある	591	54.8	50.1	31.5	34.7	25.5	4.2	3.9	3.7	
	どちらかといえば関心がある	1,622	53.2	40.5	26.0	22.9	19.9	3.5	8.4	2.2	
	どちらかといえば関心がない	266	41.4	31.2	17.7	12.8	22.6	4.9	18.4	3.4	
	関心がない	49	32.7	8.2	10.2	10.2	28.6	6.1	40.8	-	
無回答	44	31.8	40.9	13.6	15.9	9.1	2.3	15.9	22.7		

## II 調査結果

### 3-7 プラスチックごみの海への流出を減らすための実践内容

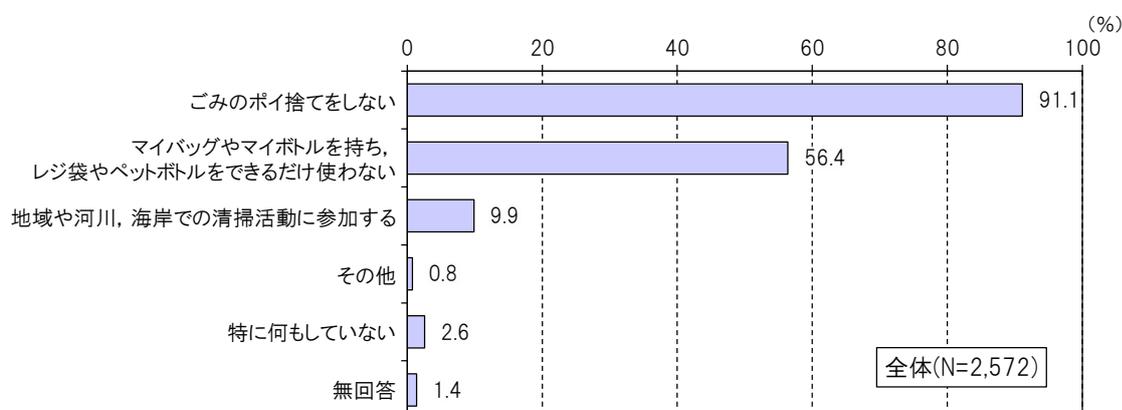
■プラスチックごみの海への流出を減らすための実践内容としては、「ごみのポイ捨てをしない」(91.1%)が最多。

■傾向としては、

- ①ごみ減量・リサイクルの関心度が高いほど「ごみのポイ捨てをしない」、「マイバッグやマイボトルを持ち、レジ袋やペットボトルをできるだけ使わない」と答えた人の割合が高い。
- ②一方、関心度が低いほど「特に何もしていない」と答えた人の割合が高い。

問 19. 現在、海洋プラスチックごみが世界的な課題となっていますが、あなたは、プラスチックごみの海への流出を減らすために実践していることはありますか。あてはまるものすべてを選び、番号に○をつけてください。

【図3-7】プラスチックごみの海への流出を減らすための実践内容



#### (1) プラスチックごみの海への流出を減らすための実践内容

プラスチックごみの海への流出を減らすために実施している内容についてたずねたところ、「ごみのポイ捨てをしない」(91.1%)と答えた人の割合が9割を占め最も高く、以下、「マイバッグやマイボトルを持ち、レジ袋やペットボトルをできるだけ使わない」(56.4%)、「地域や河川、海岸での清掃活動に参加する」(9.9%)となっている。

なお、「特に何もしていない」(2.6%)と答える人は1割にも満たない。

性別にみると、

- ・男女とも「ごみのポイ捨てをしない」と答える人の割合が圧倒的に高いが、「マイバッグやマイボトルを持ち、レジ袋やペットボトルをできるだけ使わない」と答える人の割合は、男性(47.5%)に比べ女性(62.0%)が高い。

年齢別にみると、

- ・年齢が高くなるほど「地域や河川、海岸での清掃活動に参加する」と答えた人の割合は高い。
- ・また、「マイバッグやマイボトルを持ち、レジ袋やペットボトルをできるだけ使わない」と答えた人の割合は、『50歳代以上』の高年齢層で高い。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「ごみのポイ捨てをしない」、「マイバッグやマイボトルを持ち、レジ袋やペットボトルをできるだけ使わない」と答えた人の割合が高い。
- ・一方で、関心度が低いほど「特に何もしていない」と答えた人の割合が高く、「関心がない」(20.4%)は2割を占めている。

【表3-7】プラスチックごみの海への流出を減らすための実践内容

数値(全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)

		サンプル数	ごみのポイ捨てをしない	マイバッグやマイボトルを持ち、レジ袋やペットボトルを使わない	地域や河川、海岸での清掃活動に参加する	その他	特に何もしていない	無回答
全体		100.0 2,572	91.1 2,344	56.4 1,450	9.9 254	0.8 21	2.6 67	1.4 35
性別	男性	955	89.8	47.5	11.3	0.5	4.0	1.7
	女性	1,577	91.9	62.0	8.9	1.0	1.8	1.2
	無回答	40	90.0	47.5	12.5	-	2.5	-
年齢別	18～29歳	225	87.1	50.2	7.1	0.4	4.9	0.9
	30歳代	329	91.8	49.5	9.1	0.6	3.0	0.6
	40歳代	453	94.0	48.6	7.9	1.5	2.2	0.2
	50歳代	437	92.0	60.6	8.7	1.1	1.4	0.9
	60～64歳	212	92.5	61.3	8.0	0.9	1.4	-
	65～74歳	493	92.1	63.3	12.2	0.8	2.0	1.4
	75歳以上	366	86.6	59.8	13.7	-	4.1	4.9
	無回答	57	89.5	49.1	12.3	-	3.5	1.8
ごみ減量・リサイクル関心度別	関心がある	591	92.7	73.1	14.4	1.9	0.8	0.8
	どちらかといえば関心がある	1,622	91.9	55.4	8.9	0.6	2.2	1.0
	どちらかといえば関心がない	266	87.6	33.1	4.5	0.4	6.0	1.9
	関心がない	49	75.5	18.4	12.2	-	20.4	2.0
	無回答	44	79.5	50.0	13.6	-	-	15.9

## II 調査結果

### 3-8 「食品ロス」の認知度

■食品ロスという言葉を知っているが79.5%、「聞いたことはあるがどういうものかは知らない」が11.5%、「知らない」が7.4%。

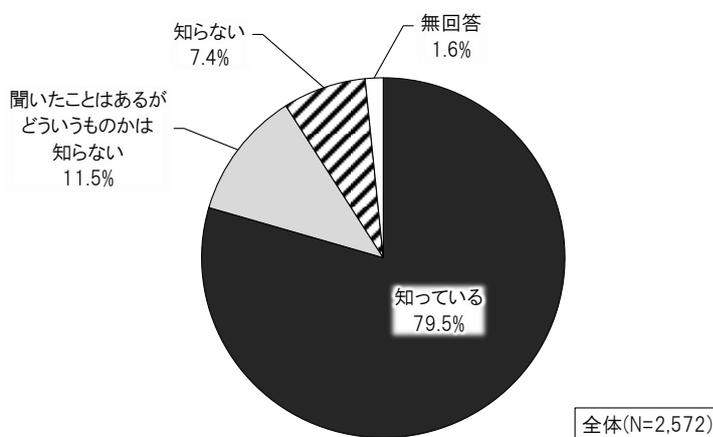
■傾向としては、

①「知っている」は、年齢が高く、ごみ減量・リサイクルの関心度が高い人。

②「知らない」は、年齢が低く、ごみ減量・リサイクルの関心度が低い人。

問 20. 今年の10月に施行された「食品ロスの削減の推進に関する法律」で、国は、まだ食べることができる食品が廃棄されないようにするための社会的な取り組みを進めていくことを打ち出しました。あなたは、「食品ロス」という言葉を知っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

【図3-8】「食品ロス」の認知度



#### (1) 「食品ロス」の認知度

「食品ロス」という言葉を知っているかたずねたところ、「知っている」と答えた人の割合が79.5%と8割を占め、「聞いたことはあるがどういうものかは知らない」は11.5%、「知らない」は7.4%となっている。

性別では、特徴的な差はみられなかった。

年齢別にみると、

- ・年齢が高いほど「知っている」と答えた人の割合が高くなる傾向がみられるが、年齢が低いほど「知らない」と答えた人が多く、特に「18～29歳」(21.8%)は2割を占めている。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「知っている」と答えた人の割合が高く、関心度が低いほど「知らない」と答えた人が多く、「関心がない」(28.6%)は約3割を占めている。

【表3-8】「食品ロス」の認知度

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

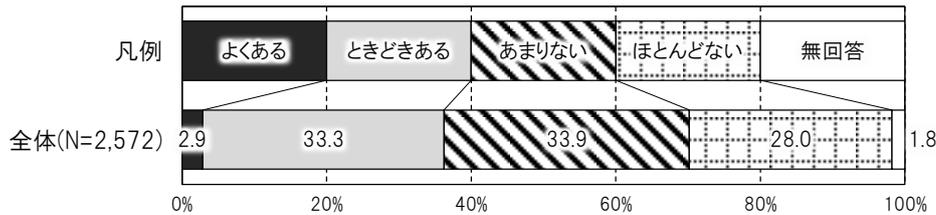
		サンプル数	知っている	聞いたこと はあ るが な ど	知らない	無回答
全体		100.0 2,572	79.5 2,046	11.5 296	7.4 190	1.6 40
性別	男性	955	79.4	11.5	7.5	1.6
	女性	1,577	79.8	11.4	7.2	1.6
	無回答	40	75.0	15.0	10.0	-
年齢別	18～29歳	225	62.7	14.7	21.8	0.9
	30歳代	329	72.6	14.0	13.1	0.3
	40歳代	453	80.6	13.0	6.2	0.2
	50歳代	437	84.4	10.8	3.4	1.4
	60～64歳	212	87.3	8.0	4.2	0.5
	65～74歳	493	86.4	8.7	3.7	1.2
	75歳以上	366	76.8	11.2	6.0	6.0
	無回答	57	70.2	17.5	10.5	1.8
ごみ減量・リサイクル 関心度別	関心がある	591	88.2	6.3	4.6	1.0
	どちらかといえば関心がある	1,622	80.1	12.8	5.7	1.4
	どちらかといえば関心がない	266	63.5	15.8	18.8	1.9
	関心がない	49	61.2	10.2	28.6	-
	無回答	44	61.4	9.1	13.6	15.9

### 3-9 食べられる食品・食べられなかった食品の廃棄状況など

■食べられる食品・食べられなかった食品の廃棄したことが『ある』は36.2%。その理由は「消費期限を過ぎたから」(66.9%)が最多。次いで「保管中に傷んでしまったから」(58.6%)。

問 21. あなたのご家庭では、まだ食べられる食品や本来は食べられなかった食品を捨ててしまうことがありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

【図3-9①】食べられる食品・食べられなかった食品の廃棄状況

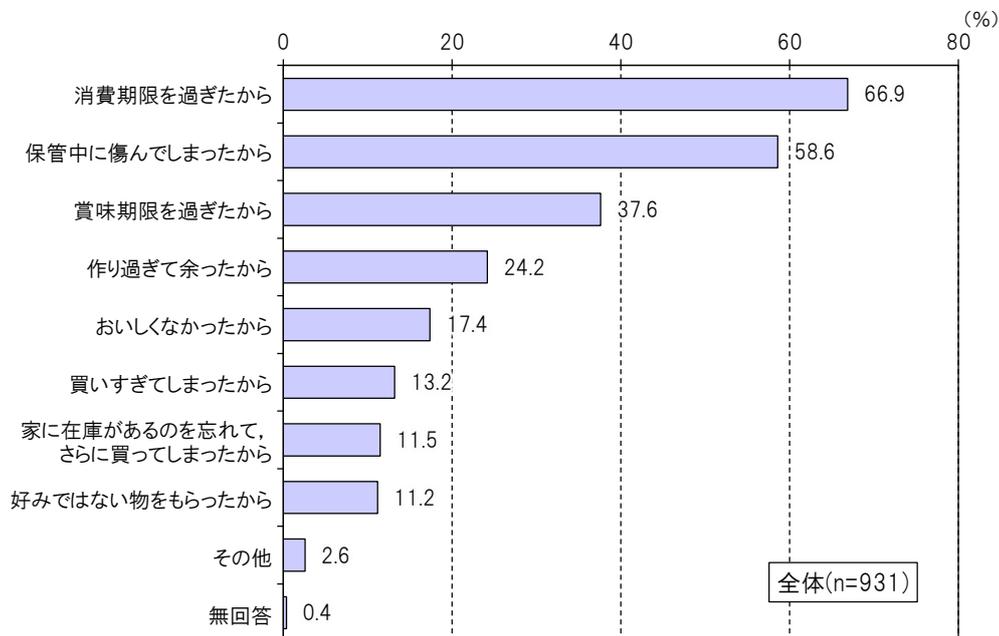


↓ 『ある』計 36.2%

付問 21-1. 【問 21 で「よくある」「ときどきある」と答えた方へ】

あなたのご家庭では、まだ食べられる食品や本来は食べられなかった食品を捨ててしまう理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【図3-9②】食べられる食品・食べられなかった食品を廃棄する理由



(1) 食べられる食品・食べられたはずの食品の廃棄状況

まだ食べられる食品や本来は食べるはずの食品を捨てることについてたずねたところ、「よくある」と答えた人の割合が2.9%、「ときどきある」と答えた人の割合が33.3%と、これらを合わせて『ある』は36.2%となっている。一方、「あまりない」と答えた人の割合が33.9%、「ほとんどない」と答えた人の割合が28.0%となっている。

年齢別にみると、

- ・年齢が低くなるほど『ある』割合が高く、特に「30歳代」(47.4%)、「18～29歳」(43.5%)では4割以上を占める。

世帯人数別、住居形態別では、特徴的な差はみられなかった。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が低い人ほど『ある』割合が高く、特に「どちらかといえば関心がない」(44.0%)では4割以上を占める。

【表3-9①】食べられる食品・食べられたはずの食品の廃棄状況

数値(全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)

	サンプル数	ある	よくある		ない	ほとんどない		無回答	
			よくある	ときどきある		あまりない	ほとんどない		
全体	100.0 2,572	36.2 931	2.9 75	33.3 856	61.9 1,594	33.9 873	28.0 721	1.8 47	
年齢別	18～29歳	225	43.5	3.1	40.4	54.7	29.8	24.9	1.8
	30歳代	329	47.4	5.5	41.9	52.0	29.2	22.8	0.6
	40歳代	453	40.2	2.2	38.0	58.5	30.7	27.8	1.3
	50歳代	437	33.4	2.5	30.9	65.4	38.4	27.0	1.1
	60～64歳	212	34.9	2.4	32.5	64.1	35.8	28.3	0.9
	65～74歳	493	30.6	2.0	28.6	67.7	38.5	29.2	1.6
	75歳以上	366	28.4	3.0	25.4	66.4	31.7	34.7	5.2
	無回答	57	35.1	5.3	29.8	63.1	36.8	26.3	1.8
世帯人数別	1人	461	33.5	3.3	30.2	64.5	31.7	32.8	2.2
	2人	881	33.1	2.7	30.4	64.9	35.2	29.7	1.9
	3人	572	36.5	2.1	34.4	61.8	33.7	28.1	1.6
	4人	382	44.0	3.4	40.6	55.5	34.0	21.5	0.5
	5人	129	45.8	4.7	41.1	52.0	29.5	22.5	2.3
	6人以上	55	38.1	3.6	34.5	60.0	43.6	16.4	1.8
	無回答	92	30.5	3.3	27.2	64.1	34.8	29.3	5.4
住居形態別	一戸建て	944	34.8	3.0	31.8	63.5	35.5	28.0	1.8
	集合住宅(アパート, マンション, 社宅, 寮など)	1,569	37.2	2.8	34.4	61.1	33.0	28.1	1.7
	その他	17	41.2	5.9	35.3	47.1	11.8	35.3	11.8
	無回答	42	28.6	4.8	23.8	69.0	45.2	23.8	2.4
ごみ減量・リサイクル関心度別	関心がある	591	26.8	1.9	24.9	71.7	35.7	36.0	1.5
	どちらかといえば関心がある	1,622	38.9	2.7	36.2	59.5	33.9	25.6	1.6
	どちらかといえば関心がない	266	44.0	6.4	37.6	54.5	31.2	23.3	1.5
	関心がない	49	30.6	4.1	26.5	65.3	34.7	30.6	4.1
	無回答	44	25.0	4.5	20.5	61.4	27.3	34.1	13.6

## II 調査結果

### (2) 食べられる食品・食べられなかった食品を廃棄する理由

まだ食べられる食品などを捨てることが「よくある」、「ときどきある」と答えた人（931人）に、廃棄する理由についてたずねたところ、「消費期限を過ぎたから」（66.9%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「保管中に傷んでしまったから」（58.6%）、「賞味期限を過ぎたから」（37.6%）、「作り過ぎて余ったから」（24.2%）、「おいしくなかったから」（17.4%）となっている。

年齢別、世帯人数別、住居形態別でも、特徴的な差はみられなかった。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・回答者数が少ない属性があるため一概には言えないが、関心度が低いほど「消費期限を過ぎたから」と答えた人の割合が高い。

【表3-9②】 食べられる食品・食べられなかった食品を廃棄する理由

		数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）											
		サンプル数	ら消費期限を過ぎたか	ま保管中に傷んでしまったか	ら賞味期限を過ぎたか	ら作り過ぎて余ったか	らおいしくなかったか	か買いたくなくて捨てたか	て忘れてしまったか	家在庫があるのに捨てたか	ら好みではない物をもったか	その他	無回答
全体		100.0 931	66.9 623	58.6 546	37.6 350	24.2 225	17.4 162	13.2 123	11.5 107	11.2 104	2.6 24	0.4 4	
年齢別	18～29歳	98	64.3	63.3	42.9	26.5	17.3	20.4	11.2	5.1	2.0	-	
	30歳代	156	64.1	64.7	37.2	19.9	17.9	7.7	8.3	14.1	3.2	0.6	
	40歳代	182	68.1	61.0	33.0	23.1	16.5	13.2	7.1	10.4	1.6	-	
	50歳代	146	69.9	61.6	33.6	19.2	16.4	11.6	7.5	13.7	4.1	0.7	
	60～64歳	74	73.0	67.6	32.4	24.3	18.9	13.5	14.9	9.5	4.1	-	
	65～74歳	151	64.9	51.7	40.4	28.5	17.2	13.2	18.5	13.2	2.6	-	
	75歳以上	104	64.4	43.3	42.3	31.7	18.3	17.3	16.3	9.6	1.0	1.9	
	無回答	20	75.0	45.0	60.0	20.0	20.0	10.0	15.0	5.0	-	-	
世帯人数別	1人	154	69.5	56.5	37.0	16.9	22.7	15.6	13.6	9.7	1.9	-	
	2人	292	65.1	57.2	40.4	24.0	18.5	14.7	13.0	11.0	2.7	0.7	
	3人	209	74.2	57.4	40.2	27.3	18.2	11.5	11.5	14.4	1.0	-	
	4人	168	63.7	61.3	29.2	20.2	13.7	11.3	7.7	11.3	3.6	-	
	5人	59	57.6	72.9	30.5	37.3	13.6	6.8	8.5	6.8	6.8	-	
	6人以上	21	71.4	61.9	42.9	33.3	4.8	14.3	4.8	9.5	4.8	-	
	無回答	28	53.6	46.4	53.6	32.1	10.7	21.4	17.9	7.1	-	7.1	
住居形態別	一戸建て	328	67.4	54.9	33.8	27.4	13.7	13.1	13.1	11.3	3.4	0.9	
	集合住宅(アパート、マンション、社宅、寮など)	584	66.4	61.5	39.4	22.3	19.5	13.4	10.6	11.3	2.2	0.2	
	その他	7	85.7	42.9	14.3	42.9	14.3	-	-	-	-	-	
	無回答	12	66.7	33.3	66.7	16.7	16.7	16.7	16.7	8.3	-	-	
イ ご ク ル 減 量 関 心 度 リ 別 サ	関心がある	158	61.4	58.2	31.6	24.1	19.6	14.6	12.7	9.5	5.1	1.3	
	どちらかといえば関心がある	630	69.0	61.3	36.2	23.0	14.8	12.9	11.9	11.6	1.7	0.2	
	どちらかといえば関心がない	117	67.5	47.9	49.6	29.9	29.1	15.4	6.0	12.8	3.4	-	
	関心がない	15	46.7	40.0	60.0	26.7	13.3	6.7	6.7	6.7	6.7	-	
	無回答	11	45.5	54.5	45.5	27.3	18.2	-	36.4	-	-	9.1	

## 3-10 「食品ロス」を削減するための工夫

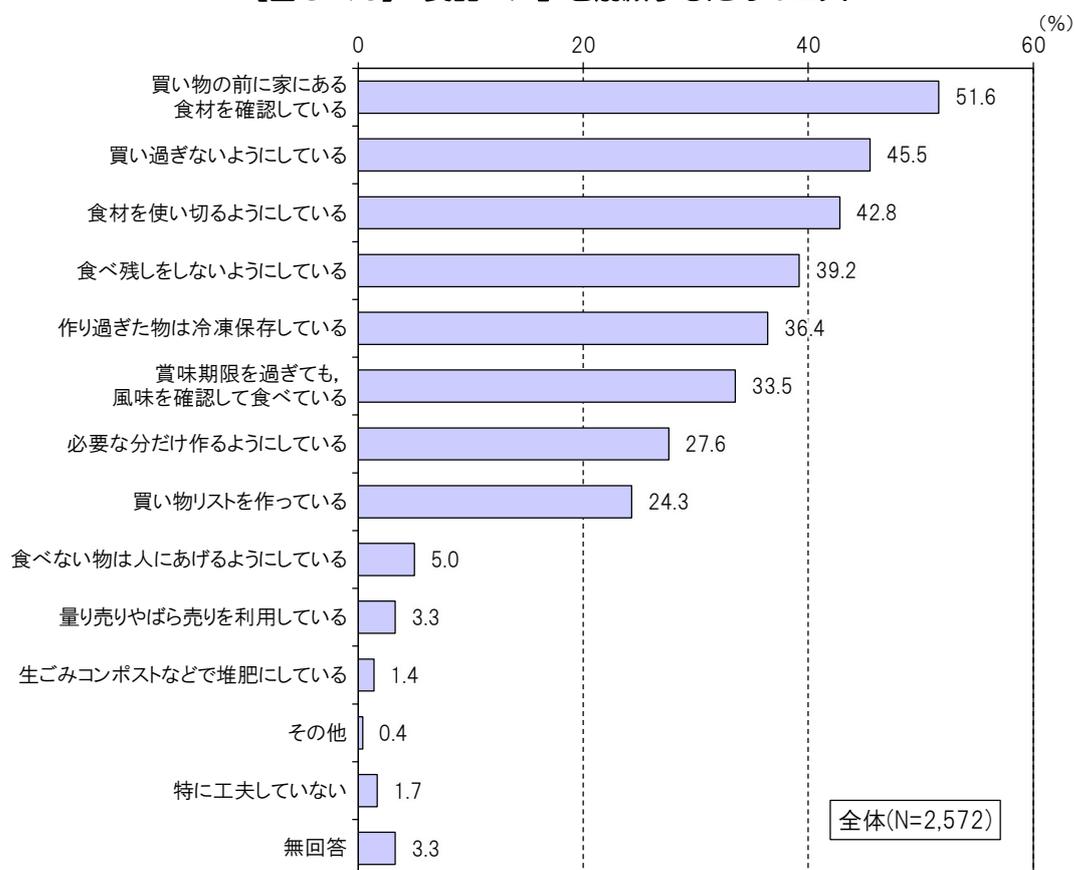
■「食品ロス」を減らすための工夫は、「買い物の前に家にある食材を確認している」(51.6%)が最多。次いで、「買い過ぎないようにしている」(45.5%)、「食材を使い切るようにしている」(42.8%)、「食べ残しをしないようにしている」(39.2%)。

■傾向としては、

- ①ごみ減量・リサイクルの関心度が高いほど「買い物の前に家にある食材を確認している」、「買い過ぎないようにしている」、「食材を使い切るようにしている」、「作り過ぎた物は冷凍保存している」と答えた人の割合が高い。

問 22. あなたのご家庭では、「食品ロス」を減らすためにどのような工夫をしていますか。特にあてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

【図3-10】「食品ロス」を削減するための工夫



### (1) 「食品ロス」を削減するための工夫

「食品ロス」を減らすための工夫についてたずねたところ、「買い物の前に家にある食材を確認している」(51.6%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「買い過ぎないようにしている」(45.5%)、「食材を使い切るようにしている」(42.8%)、「食べ残しをしないようにしている」(39.2%)、「作り過ぎた物は冷凍保存している」(36.4%)、「賞味期限を過ぎても、風味を確認して食べている」(33.5%)、「必要な分だけ作るようにしている」(27.6%)、「買い物リストを作っている」(24.3%)となっている。なお、「特に工夫していない」(1.7%)と答える人は1割にも満たない。

## II 調査結果

年齢別にみると、

- ・全体結果とほぼ同様の傾向を示しているが、「18～29 歳」では「食べ残しをしないようにしている」(46.2%)、「50 歳代」では「食材を使い切るようにしている」(53.8%) と答える人の割合が他の年齢に比べ高い。

世帯人数別にみると、

- ・全体結果とほぼ同様の傾向を示しているが、「1 人世帯」では「買い過ぎないようにしている」(51.4%)、2 人世帯では「買い物の前に家にある食材を確認している」(57.3%) と答える人の割合が他の世帯に比べ高い。

住居形態別では、特徴的な差はみられなかった。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「買い物の前に家にある食材を確認している」、「買い過ぎないようにしている」、「食材を使い切るようにしている」、「作り過ぎた物は冷凍保存している」と答えた人の割合が高い。
- ・一方で、「特に工夫していない」と答えた人は、「関心がない」(20.4%) で2割を占めている。

【表3-10】「食品ロス」を削減するための工夫

		数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）														
	サンプル数	買い物を確認している	買い過ぎないようになっている	食材を使い切るようにしている	食べ残しをしないようにしている	作り過ぎた物は冷凍保存している	賞味期限を過ぎていても、風味を確認して食べている	必要な分だけ作るようにしている	買い物リストを作っている	食べない物は人にあげるようにしている	量り売りやばら売りを利用している	生ごみコンポストなどでの堆肥にしている	その他	特に工夫していない	無回答	
全体	100.0 2,572	51.6 1,326	45.5 1,169	42.8 1,101	39.2 1,007	36.4 937	33.5 862	27.6 709	24.3 624	5.0 128	3.3 86	1.4 37	0.4 10	1.7 43	3.3 85	
年齢別	18～29歳	225	42.7	42.2	39.1	46.2	33.3	28.9	27.6	4.4	3.1	0.4	-	4.0	4.0	
	30歳代	329	47.1	45.0	45.3	45.0	35.3	39.2	24.9	23.7	4.0	2.1	-	0.3	2.4	4.9
	40歳代	453	46.1	44.6	46.1	42.2	34.7	38.4	25.2	25.8	6.2	4.9	0.4	1.1	1.8	2.4
	50歳代	437	49.9	47.6	53.8	42.8	33.2	33.6	25.9	23.8	5.0	3.0	1.4	0.2	0.9	2.1
	60～64歳	212	51.4	49.5	43.9	36.3	38.7	33.5	26.9	23.6	4.7	2.4	1.4	0.9	0.5	1.4
	65～74歳	493	60.0	43.8	42.6	32.7	40.0	31.2	31.0	24.7	3.9	2.6	2.8	0.2	1.2	3.2
	75歳以上	366	58.5	45.4	26.5	31.1	39.3	27.0	29.0	21.3	6.3	4.4	3.0	-	1.4	5.5
	無回答	57	50.9	50.9	35.1	43.9	36.8	40.4	33.3	22.8	5.3	5.3	-	-	3.5	1.8
世帯人数別	1人	461	44.0	51.4	42.1	42.5	34.9	30.6	24.5	16.7	3.5	3.9	0.9	-	0.9	3.0
	2人	881	57.3	45.2	44.8	34.8	40.3	32.5	29.9	25.3	5.7	3.6	1.9	0.5	1.5	3.3
	3人	572	52.4	42.8	43.2	39.9	35.0	34.3	26.9	28.8	4.2	2.3	1.6	0.7	1.9	3.1
	4人	382	48.4	41.6	40.8	43.2	33.5	35.9	28.0	24.3	5.0	3.1	0.8	0.5	2.4	2.9
	5人	129	45.0	48.1	42.6	47.3	31.0	39.5	21.7	23.3	10.1	3.1	2.3	-	2.3	2.3
	6人以上	55	49.1	47.3	41.8	36.4	30.9	32.7	32.7	23.6	-	5.5	1.8	-	-	7.3
	無回答	92	52.2	45.7	33.7	32.6	39.1	35.9	28.3	25.0	6.5	4.3	-	-	3.3	6.5
	住居形態別	一戸建て	944	52.4	45.3	40.5	37.7	39.8	35.4	27.0	23.6	6.4	2.4	3.2	0.4	1.4
集合住宅(アパート、マンション、社宅、寮など)		1,569	51.1	45.5	44.7	39.9	34.4	32.0	27.8	24.7	4.1	3.6	0.4	0.4	1.8	3.2
その他		17	52.9	35.3	17.6	41.2	23.5	41.2	11.8	11.8	17.6	5.9	-	-	5.9	5.9
無回答		42	47.6	50.0	35.7	42.9	42.9	45.2	38.1	28.6	2.4	11.9	-	-	2.4	2.4
イごみ減 関量 心度 り別	関心がある	591	56.3	46.4	45.2	39.6	42.0	35.5	27.4	27.1	5.8	3.9	3.6	0.5	0.2	3.6
	どちらかといえば関心がある	1,622	51.1	46.4	43.3	39.8	35.9	34.2	27.3	23.7	4.9	3.1	0.9	0.3	1.4	2.8
	どちらかといえば関心がない	266	47.0	40.2	37.6	36.8	31.6	27.4	33.1	23.3	4.5	3.4	0.8	0.4	3.4	4.1
	関心がない	49	32.7	34.7	28.6	34.7	22.4	30.6	16.3	18.4	-	4.1	-	-	20.4	2.0
	無回答	44	52.3	40.9	38.6	29.5	27.3	20.5	18.2	20.5	4.5	2.3	-	2.3	-	15.9

## II 調査結果

### 3-11 「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」の認知度

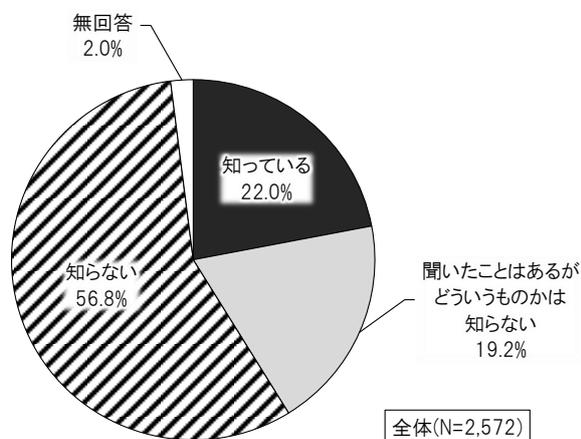
■「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」を「知っている」が22.0%、「聞いたことはあるがどういうものかは知らない」が19.2%、「知らない」が56.8%。

■傾向としては、

- ①「知っている」は、年齢が高い人。
- ②「知らない」は、年齢が低く、ごみ減量・リサイクルの関心度が低い人。

問 23. 福岡市では、飲食店での食べ残しをなくすために、「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」を展開しており、宴会や外食時に実践していただきたい3項目を飲食店等で呼びかけています。あなたは、この運動を知っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

【図3-11】「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」の認知度



#### (1) 「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」の認知度

「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」を知っているかたずねたところ、「知っている」と答えた人の割合が22.0%、「聞いたことはあるがどういうものかは知らない」は19.2%、「知らない」は56.8%となっている。

性別では、特徴的な差はみられなかった。

年齢別にみると、

- ・年齢が高いほど「知っている」と答えた人の割合が高い。
- ・一方、年齢が低いほど「知らない」と答えた人の割合が高く、「30歳代」(71.7%)は7割、「18～29歳」(66.2%)、「40歳代」(64.7%)は6割以上を占めている。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「聞いたことはあるがどういうものかは知らない」と答えた人の割合が高く、関心度が低いほど「知らない」と答えた人の割合が高い。

【表3-11】「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」の認知度

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	知っている	はが聞 知ど ら ない こ う の も は あ か る	知らない	無回答
全体		100.0 2,572	22.0 565	19.2 495	56.8 1,461	2.0 51
性別	男性	955	21.4	20.7	56.0	1.9
	女性	1,577	22.3	18.5	57.4	1.9
	無回答	40	25.0	15.0	52.5	7.5
年齢別	18～29歳	225	14.2	18.7	66.2	0.9
	30歳代	329	17.6	9.4	71.7	1.2
	40歳代	453	18.3	15.9	64.7	1.1
	50歳代	437	21.1	20.1	57.9	0.9
	60～64歳	212	22.6	22.2	54.2	0.9
	65～74歳	493	28.8	22.7	46.2	2.2
	75歳以上	366	27.0	25.7	41.8	5.5
	無回答	57	19.3	15.8	59.6	5.3
ごみ減量関心度別	関心がある	591	29.4	19.5	47.5	3.6
	どちらかといえば関心がある	1,622	20.5	20.2	58.1	1.2
	どちらかといえば関心がない	266	13.2	16.9	68.8	1.1
	関心がない	49	24.5	8.2	65.3	2.0
	無回答	44	25.0	6.8	52.3	15.9

## II 調査結果

### 3-12 「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」の実践度

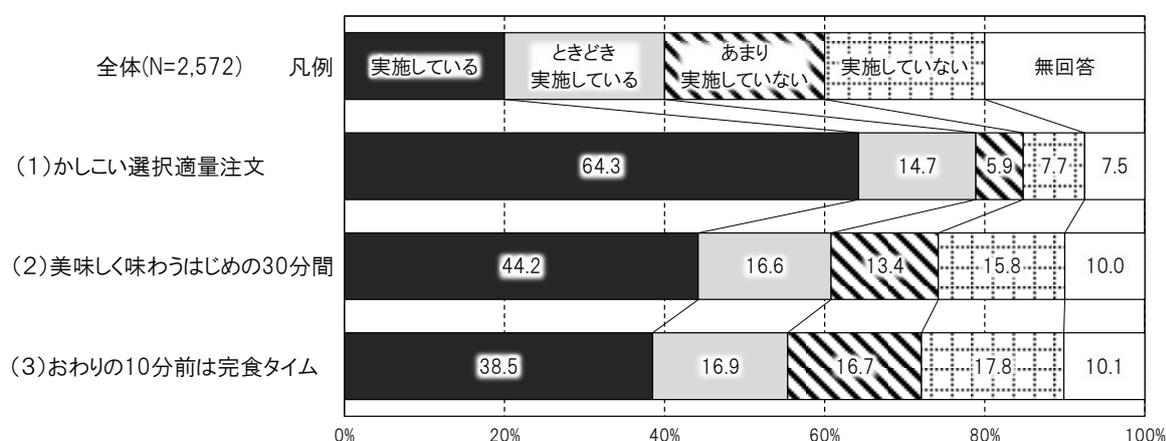
■<かしこい選択適量注文>の実践度は79.0%、<美味しく味わうはじめの30分間>の実践度は60.8%、<おわりの10分前は完食タイム>の実践度は55.4%。

■傾向としては、

①3項目すべて実践度が高いのは、「男性」より「女性」、ごみ減量・リサイクルの関心度が高い人。

問24. あなたは、「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」実践3項目について、それぞれどの程度実践していますか。次の(1)～(3)の項目ごとにあてはまるものを1つずつ選び、番号に○を付けてください。

【図3-12】「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」の実践度



#### (1) かしこい選択適量注文

「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」実践3項目のうち、<かしこい選択適量注文>を実践しているかたずねたところ、「実施している」と答えた人の割合が64.3%、「ときどき実施している」と答えた人の割合が14.7%と、これらを合わせて『実施している』(79.0%)は約8割を占めている。一方、「あまり実施していない」と答えた人の割合が5.9%、「実施していない」と答えた人の割合が7.7%と、これらを合わせた『実施していない』は13.6%となっている。

性別にみると、

- ・『実施している』割合は、「女性」(82.3%)が「男性」(74.0%)に比べ高い。

年齢別にみると、

- ・『実施している』割合は、「60～64歳」(84.4%)が最も高い。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高い人ほど『実施している』割合は高い。

【表 3-12-1】「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」の実践度  
(かしこい選択適量注文)

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	【かしこい選択適量注文】						無回答
			実施している	実施している	しときどき実施	実施していない	あまり実施していない	い実施していない	
全体		100.0 2,572	2,032	1,654	378	348	151	197	7.5 192
性別	男性	955	74.0	59.0	15.0	19.0	8.3	10.7	7.1
	女性	1,577	82.3	68.0	14.3	10.0	4.3	5.7	7.7
	無回答	40	70.0	47.5	22.5	22.5	10.0	12.5	7.5
年齢別	18～29歳	225	81.4	59.6	21.8	15.1	5.3	9.8	3.6
	30歳代	329	83.0	66.9	16.1	14.3	5.5	8.8	2.7
	40歳代	453	81.9	68.2	13.7	15.7	6.4	9.3	2.4
	50歳代	437	82.9	69.6	13.3	14.5	6.9	7.6	2.7
	60～64歳	212	84.4	66.5	17.9	9.4	6.1	3.3	6.1
	65～74歳	493	76.7	64.1	12.6	12.2	5.7	6.5	11.2
	75歳以上	366	67.0	54.4	12.6	11.2	4.4	6.8	21.9
	無回答	57	71.9	54.4	17.5	21.1	8.8	12.3	7.0
イごみ減量関心度別	関心がある	591	80.4	70.4	10.0	8.0	4.1	3.9	11.7
	どちらかといえば関心がある	1,622	80.7	64.7	16.0	13.8	6.2	7.6	5.5
	どちらかといえば関心がない	266	72.6	53.8	18.8	21.8	8.6	13.2	5.6
	関心がない	49	57.1	46.9	10.2	38.8	8.2	30.6	4.1
	無回答	44	61.4	52.3	9.1	2.3	-	2.3	36.4

## (2) 美味しく味わうはじめの30分間

「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」実践3項目のうち、＜美味しく味わうはじめの30分間＞を実践しているかたずねたところ、「実施している」と答えた人の割合が44.2%、「ときどき実施している」と答えた人の割合が16.6%と、これらを合わせて『実施している』は60.8%となっている。一方、「あまり実施していない」と答えた人の割合が13.4%、「実施していない」と答えた人の割合が15.8%と、これらを合わせて『実施していない』は29.2%となっている。

性別にみると、

- ・『実施している』割合は、「女性」(65.1%)が「男性」(54.1%)に比べ高い。

年齢別にみると、

- ・『実施している』割合は、「60～64歳」(67.4%)が最も高い。

## II 調査結果

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高い人ほど『実施している』割合は高い。

【表 3-12-2】「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」の実践度  
(美味しく味わうはじめの30分間)

数値(全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)

		サンプル数	【美味しく味わうはじめの30分間】						無回答
			実施している	実施している	ときどき実施している	実施していない	あまり実施していない	実施していない	
全体		100.0 2,572	60.8 1,564	44.2 1,137	16.6 427	29.2 752	13.4 345	15.8 407	10.0 256
性別	男性	955	54.1	36.6	17.5	36.4	17.2	19.2	9.5
	女性	1,577	65.1	49.1	16.0	24.8	11.0	13.8	10.0
	無回答	40	47.5	30.0	17.5	35.0	17.5	17.5	17.5
年齢別	18～29歳	225	60.4	41.3	19.1	35.5	18.2	17.3	4.0
	30歳代	329	60.2	45.0	15.2	35.9	15.8	20.1	4.0
	40歳代	453	62.3	49.9	12.4	34.6	15.0	19.6	3.1
	50歳代	437	64.3	49.7	14.6	31.8	14.4	17.4	3.9
	60～64歳	212	67.4	44.8	22.6	24.5	16.0	8.5	8.0
	65～74歳	493	61.9	43.0	18.9	22.7	9.9	12.8	15.4
	75歳以上	366	51.4	33.9	17.5	21.0	7.9	13.1	27.6
	無回答	57	54.4	38.6	15.8	29.8	15.8	14.0	15.8
ごみ減量関心度別	関心がある	591	64.7	49.1	15.6	19.6	10.3	9.3	15.7
	どちらかといえば関心がある	1,622	62.4	44.5	17.9	30.1	13.9	16.2	7.5
	どちらかといえば関心がない	266	48.2	35.0	13.2	44.4	19.2	25.2	7.5
	関心がない	49	46.9	34.7	12.2	46.9	10.2	36.7	6.1
	無回答	44	43.2	34.1	9.1	15.9	6.8	9.1	40.9

### (3) おわりの10分前は完食タイム

「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」実践3項目のうち、〈おわりの10分前は完食タイム〉を実践しているかたずねたところ、「実施している」と答えた人の割合が38.5%、「ときどき実施している」と答えた人の割合が16.9%と、これらを合わせて『実施している』は55.4%となっている。一方、「あまり実施していない」と答えた人の割合が16.7%、「実施していない」と答えた人の割合が17.8%と、これらを合わせて『実施していない』は34.5%となっている。

性別にみると、

- ・『実施している』割合は、「女性」(59.4%)が「男性」(49.5%)に比べ高い。

年齢別にみると、

- ・『実施している』割合は、「60～64歳」(67.0%)が最も高い。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高い人ほど『実施している』割合は高い。

【表 3-12-3】「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」の実践度  
(おわりの10分前は完食タイム)

数値(全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)

		サンプル数	【おわりの10分前は完食タイム】						無回答
			実施している	実施している	していきどき実施	実施していない	てあまり実施しない	い実施していない	
全体		100.0 2,572	55.4 1,425	38.5 991	16.9 434	34.5 887	16.7 430	17.8 457	10.1 260
性別	男性	955	49.5	32.5	17.0	41.0	19.2	21.8	9.6
	女性	1,577	59.4	42.4	17.0	30.4	15.3	15.1	10.3
	無回答	40	42.5	32.5	10.0	42.5	15.0	27.5	15.0
年齢別	18～29歳	225	56.0	35.1	20.9	40.0	19.6	20.4	4.0
	30歳代	329	52.9	36.2	16.7	43.2	20.7	22.5	4.0
	40歳代	453	56.1	38.2	17.9	40.9	18.8	22.1	3.1
	50歳代	437	58.6	42.1	16.5	37.3	17.8	19.5	4.1
	60～64歳	212	67.0	46.2	20.8	25.0	13.2	11.8	8.0
	65～74歳	493	55.0	40.2	14.8	29.0	15.4	13.6	16.0
	75歳以上	366	48.1	33.3	14.8	24.3	11.5	12.8	27.6
	無回答	57	45.6	31.6	14.0	38.6	15.8	22.8	15.8
ごみ減量関心度別	関心がある	591	59.8	45.9	13.9	23.9	12.2	11.7	16.4
	どちらかといえば関心がある	1,622	56.6	38.0	18.6	36.0	18.2	17.8	7.5
	どちらかといえば関心がない	266	44.4	28.6	15.8	48.5	20.3	28.2	7.1
	関心がない	49	36.7	24.5	12.2	57.1	16.3	40.8	6.1
	無回答	44	43.2	36.4	6.8	13.7	2.3	11.4	43.2

## II 調査結果

### 第4章 分別方法への意向や、高齢者のごみ出しについて

#### 4-1 ごみの4分別収集など

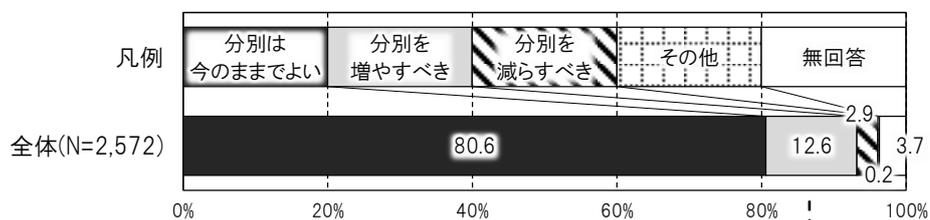
■ごみを4分別収集することについて、「分別は今のままでよい」(80.6%)が8割、「分別を増やすべきだ」(12.6%)は1割。

■傾向としては、

- ①ごみ減量・リサイクルの関心度が高いほど「分別を増やすべきだ」、関心度が低いほど「分別を減らすべきだ」と答えた人の割合が高い。

問 25. ごみを4分別で収集することについて、あなたはどのように考えますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

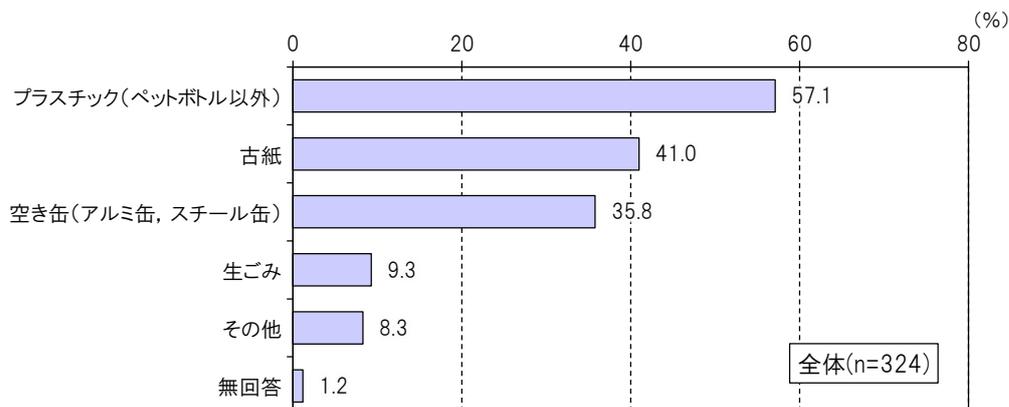
【図4-1①】ごみの4分別収集



付問 25-1. 【問 25 で「分別を増やすべき」と答えた方へ】

分別を増やすとすれば、何を分別収集すべきと考えますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

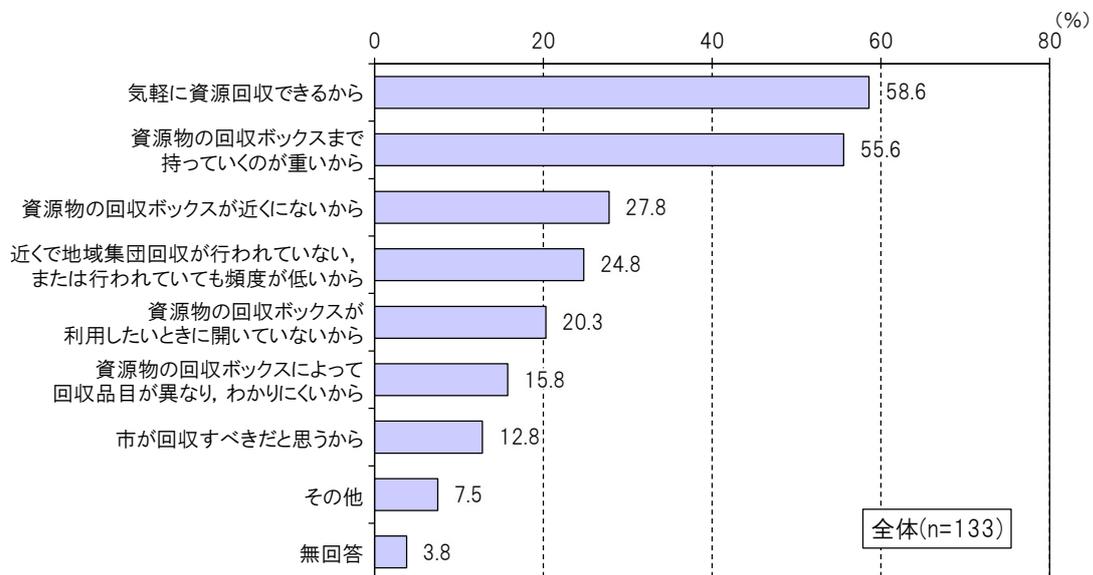
【図4-1②】分別収集すべきもの



付問 25-2. 【問 25-1 で「古紙」と答えた方へ】

古紙の分別を増やした方が良い理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【図 4-1 ③】古紙の分別を増やした方がよい理由



(1) ごみの4分別収集

ごみを4分割収集することについてたずねたところ、「分別は今のままでよい」(80.6%)と答えた人の割合が8割を占め最も高く、次いで「分別を増やすべきだ」(12.6%)、「分別を減らすべきだ」(2.9%)となっている。

性別、年齢別でも、特徴的な差はみられなかった。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「分別を増やすべきだ」と答えた人の割合が高く、特に「関心がある」(19.5%)は2割を占めている。
- ・一方、関心度が低いほど「分別を減らすべきだ」答えた人の割合が高く、特に「関心がない」(22.4%)は2割以上を占める。

【表4-1①】ごみの4分別収集

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	よ分別は今のままで	分別を増やすべき	分別を減らすべき	その他	無回答
全体		100.0 2,572	80.6 2,073	12.6 324	2.9 74	0.2 6	3.7 95
性別	男性	955	81.3	10.8	4.1	0.2	3.7
	女性	1,577	80.4	14.0	2.0	0.3	3.4
	無回答	40	72.5	2.5	10.0	-	15.0
年齢別	18～29歳	225	81.8	10.2	5.8	-	2.2
	30歳代	329	77.5	15.8	4.3	0.3	2.1
	40歳代	453	79.2	15.9	3.1	0.7	1.1
	50歳代	437	83.8	12.8	1.4	-	2.1
	60～64歳	212	77.4	14.2	3.8	-	4.7
	65～74歳	493	83.0	11.6	1.0	0.2	4.3
	75歳以上	366	81.7	7.7	2.7	0.3	7.7
	無回答	57	64.9	10.5	7.0	-	17.5
イごみ減量・リサイクル別	関心がある	591	73.6	19.5	1.9	0.5	4.6
	どちらかといえば関心がある	1,622	83.4	11.5	2.1	0.1	2.8
	どちらかといえば関心がない	266	83.8	5.6	6.0	0.4	4.1
	関心がない	49	65.3	8.2	22.4	-	4.1
	無回答	44	68.2	6.8	4.5	-	20.5

(2) 分別収集すべきもの

「分別を増やすべきだ」と答えた人（324人）に、何を分別収集すべきかについてたずねたところ、「プラスチック（ペットボトル以外）」（57.1%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「古紙」（41.0%）、「空き缶（アルミ缶、スチール缶）」（35.8%）、「生ごみ」（9.3%）となっている。

また、「その他」の内容としては、「電池・電球・蛍光灯」、「古布、古着」、「オムツ・尿漏れパンツ」、「スプレー缶」、「金属（鉄、銅製品）」などがあがっている。

性別にみると、

- ・男女とも「プラスチック（ペットボトル以外）」と答えた人の割合が最も高いが、2番目として「女性」は「古紙」（45.9%）、「男性」は「空き缶（アルミ缶、スチール缶）」（45.7%）が特徴的である。

年齢別にみると、

- ・回答者数が少ない属性があるため一概には言えないが、年齢が低いほど「古紙」と答えた人の割合が高い。

ごみ減量・リサイクル関心度別では、回答者数が少ないためコメントは省略する。

【表4-1②】分別収集すべきもの

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	外（プラスチックボトル以）	古紙	缶空，空き缶（アルミ）	生ごみ	その他	無回答
全体		100.0 324	57.1 185	41.0 133	35.8 116	9.3 30	8.3 27	1.2 4
性別	男性	103	61.2	31.1	45.6	12.6	9.7	1.9
	女性	220	55.0	45.9	31.4	7.3	7.7	0.9
	無回答	1	100.0	-	-	100.0	-	-
年齢別	18～29歳	23	65.2	47.8	56.5	13.0	4.3	-
	30歳代	52	57.7	53.8	34.6	15.4	9.6	-
	40歳代	72	55.6	43.1	31.9	4.2	9.7	1.4
	50歳代	56	57.1	37.5	41.1	7.1	8.9	-
	60～64歳	30	56.7	33.3	30.0	3.3	3.3	3.3
	65～74歳	57	56.1	38.6	33.3	8.8	10.5	1.8
	75歳以上	28	57.1	25.0	35.7	17.9	7.1	3.6
	無回答	6	50.0	50.0	16.7	16.7	-	-
イごみ減量・心度別	関心がある	115	59.1	39.1	33.0	12.2	12.2	-
	どちらかといえば関心がある	187	57.2	39.6	36.4	7.0	5.9	1.6
	どちらかといえば関心がない	15	33.3	66.7	33.3	6.7	13.3	6.7
	関心がない	4	100.0	50.0	75.0	25.0	-	-
	無回答	3	33.3	66.7	66.7	33.3	-	-

### （3）古紙の分別を増やした方がよい理由

「古紙」の分別を増やした方がよいと答えた人（133人）に、その理由についてたずねたところ、「気軽に資源回収できるから」（58.6%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「資源物の回収ボックスまで持って行くのが重いから」（55.6%）、「資源物の回収ボックスが近くにないから」（27.8%）、「近くで地域集団回収が行われていない，または行われていても頻度が低いから」（24.8%）、「資源物の回収ボックスが利用したいときに開いていないから」（20.3%）となっている。

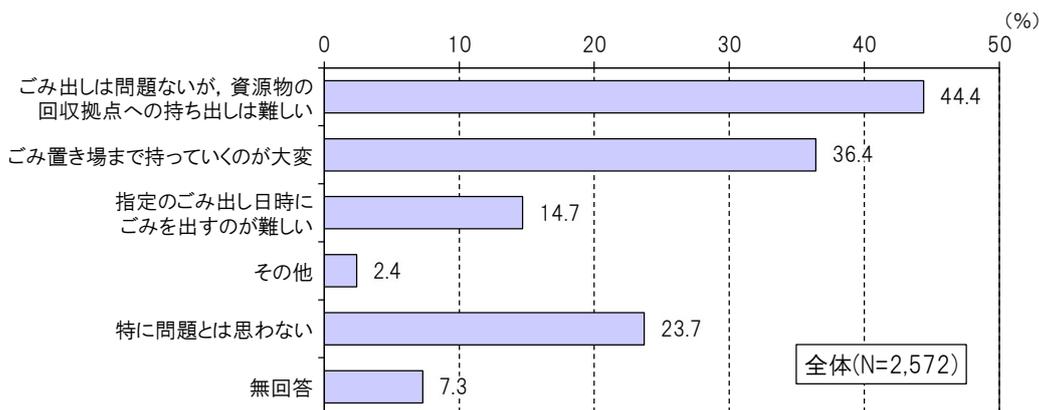
## II 調査結果

### 4-2 高齢者のごみ出しや資源物の持ち出しに対する意識

■高齢者のごみ出しや資源物の持ち出しは、「ごみ出しは問題ないが、資源物の回収拠点への持ち出しは難しい」（44.4%）が最多で、「特に問題とは思わない」（23.7%）と答える人は2割。

問 26. ご高齢の方のごみ出しや資源物の持ち出しについて、あなたはどのように感じていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【図4-2】高齢者のごみ出しや資源物の持ち出しについて対する意識



#### （1）高齢者のごみ出しや資源物の持ち出しに対する意識

高齢者のごみ出しや資源物の持ち出しについてたずねたところ、「ごみ出しは問題ないが、資源物の回収拠点への持ち出しは難しい」（44.4%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「ごみ置き場まで持っていくのが大変」（36.4%）、「指定のごみ出し日時にごみを出すのが難しい」（14.7%）となっている。なお、「特に問題とは思わない」（23.7%）と答える人は2割以上を占める。

性別では、特徴的な差はみられなかった。

年齢別にみると、

- ・「特に問題とは思わない」と答えた人の割合は、「65～74歳」（37.9%）で3割強、「75歳以上」（41.8%）で4割を占めている。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・「関心がない」とそれ以外の層で回答傾向が異なり、特に「関心がない」で「特に問題とは思わない」（42.9%）と答えた人の割合は4割以上を占めている。

【表4-2】高齢者のごみ出しや資源物の持ち出しに対する意識

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

		サンプル数	の、ご 持資 ち源 出出 しし は回 難取 し扱 い点 へが	いく の置 が場 大ま 変で 持つ て	ご指 み定 をの 出ご すみ すの 出し がし 難日 し時 いに	そ の 他	特 に 問 題 と は 思 わ な い	無 回 答
全体		100.0 2,572	44.4 1,141	36.4 936	14.7 377	2.4 61	23.7 609	7.3 188
性別	男性	955	42.6	35.2	15.1	1.7	25.7	7.0
	女性	1,577	45.8	37.2	14.4	2.8	22.3	7.4
	無回答	40	27.5	35.0	15.0	2.5	32.5	12.5
年齢別	18～29歳	225	45.8	43.6	15.6	0.9	17.8	5.3
	30歳代	329	47.4	47.7	17.6	1.8	14.9	5.8
	40歳代	453	51.0	45.3	18.8	2.6	12.4	5.7
	50歳代	437	50.6	48.1	17.4	3.2	14.9	4.1
	60～64歳	212	49.1	35.8	18.9	1.9	20.3	6.6
	65～74歳	493	40.0	20.7	9.1	2.6	37.9	8.9
	75歳以上	366	29.5	18.6	7.9	2.5	41.8	13.1
	無回答	57	36.8	35.1	15.8	1.8	28.1	12.3
ごみ減 量・ リサ イクル 別	関心がある	591	41.3	32.8	13.5	4.2	27.6	9.5
	どちらかといえば関心がある	1,622	47.0	38.3	14.7	1.8	22.1	5.7
	どちらかといえば関心がない	266	42.1	37.2	16.9	2.3	21.8	7.9
	関心がない	49	20.4	28.6	20.4	-	42.9	8.2
	無回答	44	29.5	18.2	9.1	-	20.5	31.8

## II 調査結果

### 第5章 ごみ減量・リサイクルの施策や認知度等について

#### 5-1 ごみ減量・リサイクル啓発や活動支援のための施設、制度の認知度

■「3Rステーション（臨海・西部）」（44.8%）は4割以上、「LINE（ライン）（ごみの日の通知，粗大ごみ収集の申込，ごみ・資源物の分別検索）」（22.9%）は2割以上だが、「どれも知らない」（25.2%）も2割強を占める。

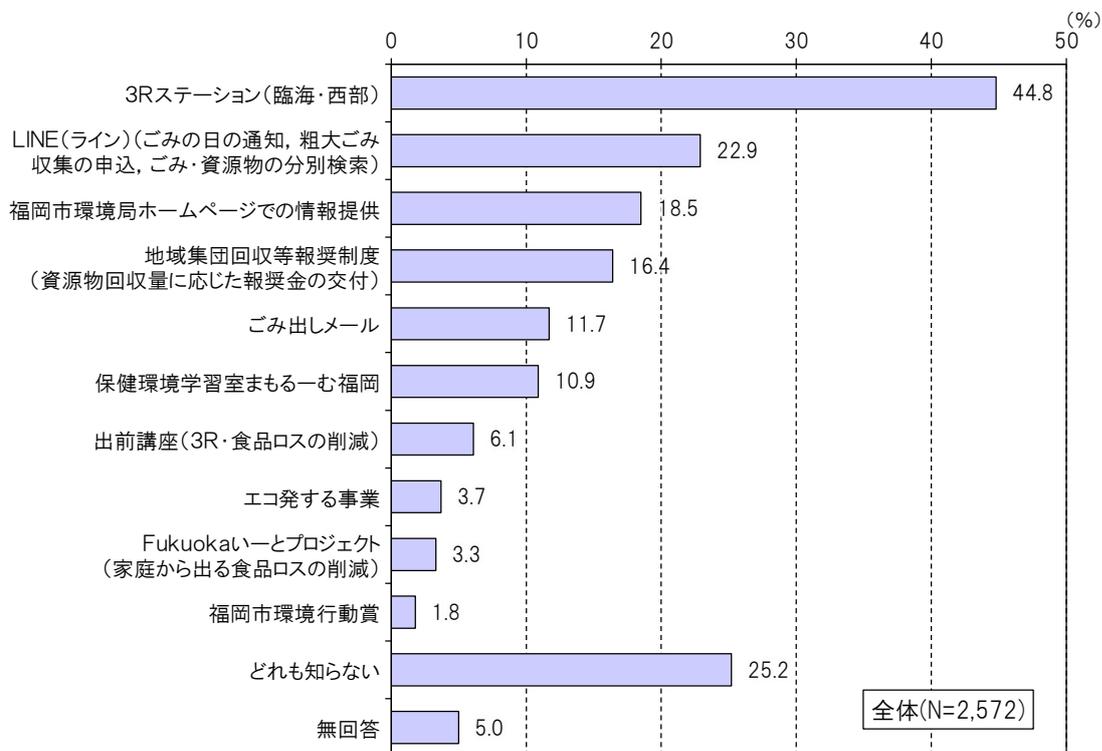
■傾向としては、

①30～40 歳代では「LINE（ライン）」、40～50 歳代では「3Rステーション」、「福岡市環境局ホームページでの情報提供」の認知度が高い。

②一方、若年齢とごみ減量・リサイクルの関心度が低い人ほど、認知度が低い。

問 27. 福岡市では、ごみ減量・リサイクル啓発や活動支援のために、さまざまな施設や制度などを設けています。次にあげるもののうち、あなたが知っているものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【図5-1】ごみ減量・リサイクル啓発や活動支援のための施設、制度の認知度



### (1) ごみ減量・リサイクル啓発や活動支援のための施設、制度の認知度

ごみ減量・リサイクルへの取り組みのため、福岡市が設けている施設や制度で知っているものをたずねたところ、「3Rステーション（臨海・西部）」（44.8%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「LINE（ライン）（ごみの日の通知，粗大ごみ収集の申込，ごみ・資源物の分別検索）」（22.9%）、「福岡市環境局ホームページでの情報提供」（18.5%）、「地域集団回収等報奨制度（資源物回収量に応じた報奨金の交付）」（16.4%）、「ごみ出しメール」（11.7%）、「保健環境学習室 まもる一む福岡」（10.9%）となっている。なお、「どれも知らない」（25.2%）と答える人は2割以上を占める。

性別にみると、

- ・男女とも全体結果とほぼ同様の傾向を示しているが、「LINE（ライン）（ごみの日の通知，粗大ごみ収集の申込，ごみ・資源物の分別検索）」と答えた人の割合は、「女性」（26.1%）が「男性」（17.9%）に比べやや高い。

年齢別にみると、

- ・「3Rステーション（臨海・西部）」、「福岡市環境局ホームページでの情報提供」については、「40歳代」、「50歳代」が他の年齢に比べ認知度が高く、「LINE（ライン）（ごみの日の通知，粗大ごみ収集の申込，ごみ・資源物の分別検索）」については、「30歳代」、「40歳代」が他の年齢に比べ認知度が高くなっている。
- ・また、「地域集団回収等報奨制度（資源物回収量に応じた報奨金の交付）」については、「60～64歳」が他の年齢に比べ認知度が高くなっている。
- ・一方、「18～29歳」及び「30歳代」は、他の年齢に比べ全体的に認知度が低く、特に「18～29歳」は「どれも知らない」（32.9%）と答えた人の割合が3割以上を占める。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高い人ほど福岡市が設けている施設や制度の認知度は高く、特に「関心がある」で「3Rステーション（臨海・西部）」（51.8%）と答えた人の割合は5割を占めている。
- ・一方、関心度が低い人ほど福岡市が設けている施設や制度の認知度は低く、特に「関心がない」で「どれも知らない」（46.9%）と答える人は4割強を占める。

II 調査結果

【表5-1】 ごみ減量・リサイクル啓発や活動支援のための施設、制度の認知度

数値（全体：上段=% 下段=件数，属性：%）

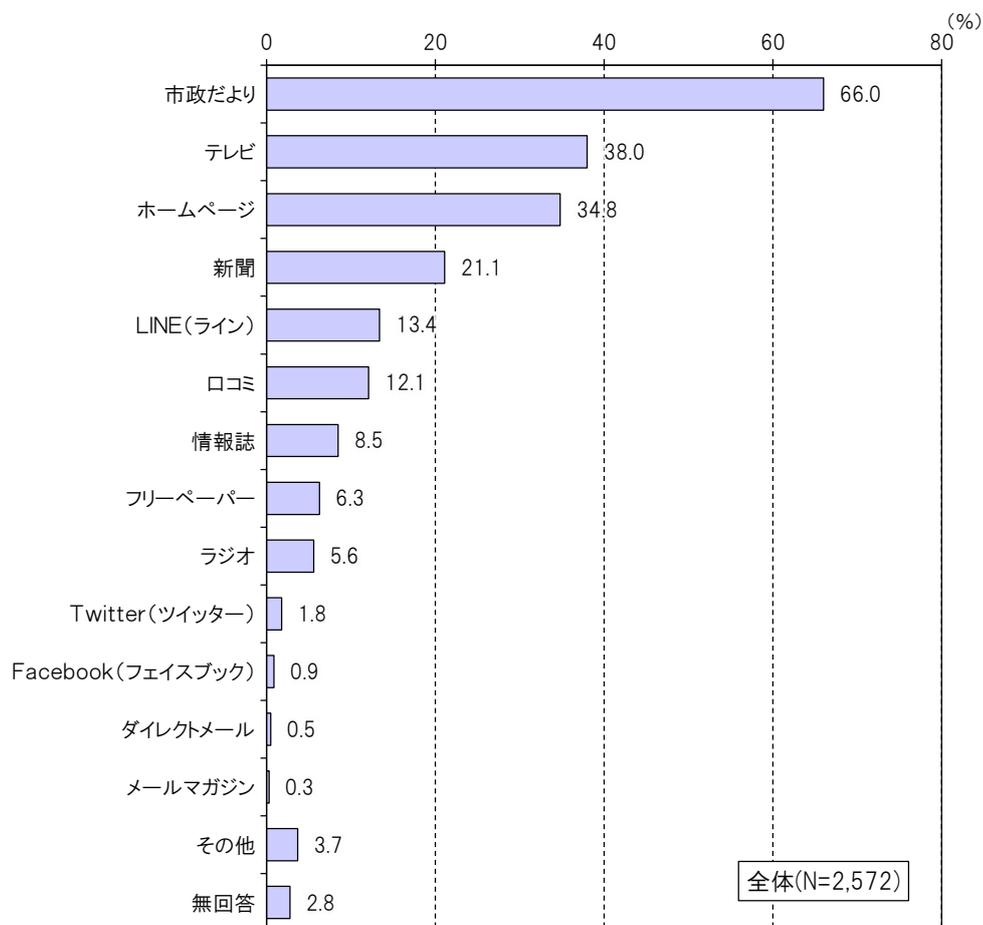
	サンプル数	3Rステーション（臨海・西部）	LINE（ライン）の通知、粗大ごみ収集の申込、ごみ・資源物の分別検索	福岡市環境局ホームページでの情報提供	福岡市環境局ホームページでの情報提供	地域集団回収等報奨制度（資源物回収量に応じた報奨金の交付）	ごみ出しメール	福岡保健環境学習室まもるーむ	出前講座（3R・食品ロス削減）	エコ発する事業	食品ロス削減（Fukuoka i-とプロジェクト）（家庭から出る食品ロスの削減）	福岡市環境行動賞	どれも知らない	無回答
全体	100.0 2,572	44.8 1,151	22.9 590	18.5 477	16.4 423	11.7 301	10.9 281	6.1 157	3.7 94	3.3 86	1.8 46	25.2 649	5.0 129	
性別	男性	955	43.0	17.9	18.1	14.6	9.3	8.6	5.0	3.8	3.5	2.0	28.0	4.8
	女性	1,577	46.3	26.1	18.8	17.7	12.8	12.4	6.7	3.5	3.0	1.6	23.4	5.1
	無回答	40	25.0	17.5	17.5	12.5	25.0	10.0	10.0	7.5	12.5	2.5	32.5	5.0
年齢別	18～29歳	225	33.3	23.6	18.7	7.6	10.2	8.4	1.8	2.7	2.2	1.3	32.9	0.9
	30歳代	329	32.5	38.9	21.6	7.3	14.0	12.2	3.3	2.4	3.6	1.5	28.6	2.7
	40歳代	453	56.5	35.1	24.7	13.0	17.9	14.6	6.2	2.6	1.5	1.3	18.8	2.2
	50歳代	437	57.9	23.1	24.7	21.3	12.4	15.1	6.6	3.0	3.0	1.6	20.4	2.5
	60～64歳	212	48.6	18.4	19.3	25.0	11.3	10.4	7.5	5.2	3.3	3.8	22.6	5.2
	65～74歳	493	45.4	9.1	14.4	20.5	6.7	7.7	6.5	5.7	3.4	1.6	26.2	6.1
	75歳以上	366	32.2	14.2	5.7	18.9	7.7	6.0	9.0	3.6	5.2	2.2	30.3	15.0
	無回答	57	26.3	22.8	19.3	12.3	21.1	14.0	7.0	5.3	10.5	1.8	33.3	1.8
ごみ減量・リサイクルに関心・度別	関心がある	591	51.8	17.9	18.1	24.0	10.5	13.2	10.7	6.8	7.3	3.2	19.8	6.3
	どちらかといえば関心がある	1,622	45.0	24.9	20.0	15.4	12.4	10.2	4.9	2.8	2.2	1.5	24.9	4.1
	どちらかといえば関心がない	266	33.8	24.1	13.9	8.3	10.5	11.3	4.5	2.3	1.9	0.8	36.1	3.8
	関心がない	49	24.5	20.4	10.2	4.1	12.2	4.1	-	-	2.0	2.0	46.9	4.1
	無回答	44	29.5	13.6	6.8	18.2	9.1	11.4	4.5	6.8	4.5	-	20.5	31.8

## 5-2 「ごみ」に関する情報の入手先

- 情報源は「市政だより」(66.0%)が6割強、次いで「テレビ」(38.0%)が約4割。
- 傾向としては、
  - ①年齢が高いほど「市政だより」、「新聞」、「ロコミ」と答えた人が多く、年齢が低いほど「ホームページ」、「LINE(ライン)」と答えた人の割合が高い。

問 28. あなたは、「ごみ」について知りたい情報を何から得ることが多いですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【図5-2】「ごみ」に関する情報の入手先



## (1) 「ごみ」に関する情報の入手先

「ごみ」に関する情報の入手先についてたずねたところ、「市政だより」(66.0%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「テレビ」(38.0%)、「ホームページ」(34.8%)、「新聞」(21.1%)、「LINE(ライン)」(13.4%)、「ロコミ」(12.1%)となっている。

また、「その他」の内容としては、「マンションや団地内の回覧板、掲示板」、「インターネット等による検索」、「公民館や地域の回覧板、掲示板」、「直接、区役所や市役所に聞く」などの意見があがっている。

## II 調査結果

性別では、特徴的な差はみられなかった。

年齢別にみると、

- ・年齢が高いほど「市政だより」と答えた人の割合は高く、「65～74歳」(85.4%)、「75歳以上」(82.0%)は8割以上、「60～64歳」(76.4%)は7割強を占めている。
- ・また、「新聞」、「口コミ」と答えた人は、年齢が高い人ほど多くみられる。
- ・年齢が低いほど「ホームページ」、「LINE(ライン)」と答えた人の割合は高く、特に「ホームページ」は、「30歳代」(53.2%)で5割以上を占めている。

ごみ減量・リサイクル関心度別にみると、

- ・関心度が高いほど「市政だより」、「テレビ」、「新聞」と答えた人の割合は高く、特に「市政だより」は、「関心がある」(75.8%)で7割強を占めている。

【表5-2】「ごみ」に関する情報の入手先

		数値(全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)															
		サンプル数	市政だより	テレビ	ホームページ	新聞	LINE(ライン)	口コミ	情報誌	フリーペーパー	ラジオ	Twitter(ツイッター)	Facebook(フェイスブック)	ダイレクトメール	メールマガジン	その他	無回答
全体		100.0 2,572	66.0 1,697	38.0 977	34.8 895	21.1 542	13.4 344	12.1 311	8.5 218	6.3 163	5.6 144	1.8 47	0.9 22	0.5 14	0.3 9	3.7 96	2.8 73
性別	男性	955	62.6	39.5	36.5	23.7	11.1	10.5	8.2	6.0	7.1	1.8	1.2	0.7	0.4	3.7	2.9
	女性	1,577	68.1	36.5	34.3	19.3	15.0	13.0	8.7	6.7	4.4	1.8	0.7	0.4	0.3	3.7	2.8
	無回答	40	62.5	60.0	12.5	30.0	5.0	15.0	7.5	2.5	17.5	2.5	-	-	-	7.5	2.5
年齢別	18～29歳	225	33.8	37.8	41.3	8.4	20.4	6.2	6.7	6.2	1.8	9.8	2.7	0.4	0.4	3.6	3.1
	30歳代	329	45.3	28.6	53.2	6.1	24.3	8.2	7.3	7.9	2.7	1.5	1.2	0.6	-	3.3	2.4
	40歳代	453	55.8	27.6	54.5	6.8	19.9	5.5	7.7	7.9	3.1	1.3	0.9	0.2	0.2	2.9	2.2
	50歳代	437	69.6	35.0	49.0	19.0	13.7	6.4	9.4	7.6	5.7	1.6	1.1	0.5	-	4.6	2.5
	60～64歳	212	76.4	38.7	29.7	26.4	11.3	14.6	9.9	7.5	5.7	0.9	0.9	0.5	0.9	2.8	2.4
	65～74歳	493	85.4	46.2	15.0	32.5	5.7	18.9	10.5	5.3	8.9	0.6	0.2	0.6	0.8	4.7	2.2
	75歳以上	366	82.0	48.6	4.6	42.9	2.7	23.2	6.8	1.9	7.1	-	-	1.1	0.3	3.6	5.2
	無回答	57	56.1	56.1	21.1	28.1	10.5	14.0	8.8	8.8	17.5	3.5	-	-	-	3.5	3.5
ごみ減量関心度別	関心がある	591	75.8	42.3	26.2	29.9	10.0	14.7	11.8	5.9	7.8	2.2	1.4	1.2	0.5	5.1	3.0
	どちらかといえば関心がある	1,622	65.8	37.3	38.0	19.4	14.5	11.7	7.8	6.7	5.0	1.6	0.6	0.2	0.3	3.0	2.2
	どちらかといえば関心がない	266	51.9	35.0	38.0	12.8	14.7	10.2	7.1	6.0	4.5	2.6	1.9	1.1	0.4	4.5	2.3
	関心がない	49	34.7	32.7	36.7	12.2	16.3	8.2	2.0	2.0	2.0	2.0	-	-	-	6.1	14.3
	無回答	44	61.4	29.5	11.4	22.7	6.8	9.1	4.5	6.8	9.1	-	-	-	-	6.8	15.9

## B. 事業所調査



# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、市民及び事業者のごみ減量・リサイクルに関する意識及び行動を把握することにより、「新循環のまち・ふくおか基本計画」の進捗状況等を確認するために実施した。

## 2. 調査項目

- ・ごみや資源物の排出と処理状況などについて
- ・ごみの減量やリサイクルの取組状況について
- ・古紙のリサイクルについて
- ・食品廃棄物のリサイクルについて
- ・プラスチックごみの削減について
- ・事業系ごみの処理、ごみ減量・リサイクルへの取組み及び今後の施策について
- ・業種別個別質問：【小売業】、【宿泊業】、【医療・福祉】、【飲食サービス業】

## 3. 調査概要

- |            |                               |
|------------|-------------------------------|
| (1) 調査対象   | 福岡市内の事業所                      |
| (2) 調査対象数  | 4,000 サンプル                    |
| (3) 抽出方法   | 業種や従業員規模に基づく無作為抽出法            |
| (4) 調査方法   | 郵送による配布・回収                    |
| (5) 調査期間   | 令和元年 11 月 15 日（金）～12 月 6 日（金） |
| (6) 回収（率）  | 1,548 サンプル（38.7%）             |
| (7) 調査主体   | 福岡市環境局 循環型社会推進部 計画課           |
| (8) 調査実施機関 | 株式会社 西日本リサーチ・センター             |

## 4. 調査結果利用上の注意

- (1) 集計は、原則として、少数点以下第 2 位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも 100%にならない場合がある。
- (2) 1 つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は 100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示す“n”は、標本数（比率算出上の基数）である。
- (4) 付問は、直前の設問で特定の選択肢について回答した者のみに続けて行った質問である。よって、この付問回答者数は、直前の設問で回答した者の内数となる。
- (5) 数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるので、詳細は巻末の調査票を参照のこと。
- (6) 本文中、選択肢は「 」、2 つ以上の選択肢を合計して表す場合は『 』と表記した。
- (7) 調査結果については回答者数が少ないと回答比率の高低が誤解を招くことがある。そのため、回答者数が 20 未満の調査結果については言及していない。

I 調査の概要

5. 回答事業所の属性

(1) 業種

回答事業所の業種をみると、22 業種のうち「医療」が 11.4%と最も高く、次いで「学校教育」(10.6%)、「サービス業(他に分類されないもの)」(9.6%)、「福祉」(9.3%)、「製造業」(8.4%)、「卸売業」(7.6%)、「小売業」(7.3%) となっている。

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)	サン プル 数	業種												
		農 業 ・ 林 業	漁 業	採 取 業 ・ 採 石 業 ・ 砂 利	建 設 業	製 造 業	給 電 ・ 水 道 業	電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供	情 報 通 信 業	運 輸 業 ・ 郵 便 業	卸 売 業	小 売 業	金 融 業 ・ 保 険 業	業 不 動 産 業 ・ 物 品 賃 貸
全体	100.0 1,548	0.3 4	0.5 8	0.1 2	4.8 74	8.4 130	2.3 35	1.7 27	3.0 46	7.6 117	7.3 113	5.1 79	1.7 26	
主たる 事業 形態別	飲食店・レストラン	54	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	-	-	
	食料品小売業	29	-	-	-	10.3	-	-	-	20.7	55.2	-	-	
	食料品以外の小売業	53	-	-	-	-	-	-	-	3.8	69.8	-	-	
	スーパー	11	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
	百貨店	7	-	-	-	-	-	-	-	14.3	71.4	-	-	
	コンビニエンスストア	17	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
	事務所・営業所	606	0.7	1.2	-	10.6	7.9	4.5	4.5	4.6	17.5	4.0	12.7	3.8
	工場・作業所	109	-	-	1.8	6.4	71.6	7.3	-	0.9	0.9	1.8	-	-
	倉庫・配送センター	23	-	-	-	-	4.3	-	-	73.9	4.3	-	-	-
	ホテル・旅館	73	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.7
	学校・保育所	221	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	病院	159	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	福祉施設	121	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	会館・娯楽施設	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	23	-	4.3	-	4.3	-	-	-	-	-	-	4.3	-	
無回答	26	-	-	-	7.7	-	-	-	-	-	-	3.8	3.8	
従 業 員 数 別	1～4人	121	-	0.8	-	5.0	7.4	1.7	2.5	1.7	12.4	14.0	3.3	5.8
	5～9人	454	0.4	1.3	0.2	6.8	7.7	1.5	1.3	2.2	10.1	7.9	8.4	2.2
	10～19人	364	0.3	-	0.3	5.8	9.9	3.0	1.9	2.5	7.1	8.2	5.2	1.4
	20～29人	179	0.6	-	-	3.4	10.6	1.7	1.1	5.0	6.1	6.1	3.4	0.6
	30～49人	167	-	0.6	-	3.6	6.0	1.2	1.8	4.2	3.6	6.0	2.4	1.8
	50～99人	125	-	-	-	1.6	9.6	4.8	2.4	2.4	7.2	4.0	0.8	-
	100～199人	55	-	-	-	1.8	7.3	1.8	-	7.3	3.6	-	5.5	-
	200～299人	18	-	-	-	5.6	11.1	-	5.6	11.1	-	-	-	-
	300人以上	43	-	-	-	-	7.0	7.0	2.3	-	2.3	9.3	7.0	-
無回答	22	-	-	-	-	-	-	4.5	-	4.5	-	4.5	-	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	252	-	-	-	8.3	3.2	1.2	2.8	4.4	4.8	2.0	1.6	
	該当していない	849	0.4	0.5	0.2	7.9	9.5	2.4	1.9	2.8	8.6	7.3	5.8	1.8
	わからない	381	0.3	1.0	-	1.8	5.0	1.6	2.1	3.7	8.4	9.7	5.0	1.6
	無回答	66	-	-	-	-	13.6	1.5	-	1.5	1.5	3.0	9.1	1.5

	サンプル数	業種											無回答
		学術研究・専門・技術サービス業	宿泊業	飲食サービス業	生活関連サービス・娯楽業	学校教育	その他の教育・学習支援業	医療	福祉	複合サービス業	サービス業（他に分類されないもの）		
全体	100.0 1,548	2.1 32	4.3 67	3.9 60	0.9 14	10.6 164	2.3 36	11.4 176	9.3 144	1.1 17	9.6 149	1.8 28	
主たる事業形態別	飲食店・レストラン	54	-	96.3	-	-	-	-	1.9	-	-	-	
	食料品小売業	29	-	6.9	-	-	-	3.4	-	-	-	3.4	
	食料品以外の小売業	53	-	-	-	-	-	18.9	-	1.9	5.7	-	
	スーパー	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	百貨店	7	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-	
	コンビニエンスストア	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	事務所・営業所	606	4.8	0.3	-	0.7	0.2	1.2	0.7	1.0	2.1	16.2	1.2
	工場・作業所	109	0.9	-	-	-	-	-	-	-	-	7.3	0.9
	倉庫・配送センター	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13.0	4.3
	ホテル・旅館	73	-	89.0	2.7	-	-	-	-	-	2.7	2.7	-
	学校・保育所	221	0.9	-	0.5	-	73.3	12.7	0.5	8.6	-	3.6	-
	病院	159	-	-	-	-	-	-	98.7	0.6	-	0.6	-
	福祉施設	121	-	-	0.8	-	0.8	-	0.8	96.7	-	0.8	-
会館・娯楽施設	16	-	-	6.3	56.3	-	-	-	-	6.3	31.3	-	
その他	23	-	-	-	-	-	-	4.3	-	-	78.3	4.3	
無回答	26	-	-	3.8	3.8	-	3.8	3.8	-	-	3.8	65.4	
従業員数別	1～4人	121	3.3	0.8	6.6	0.8	0.8	4.1	14.0	1.7	2.5	10.7	-
	5～9人	454	1.1	1.1	2.4	0.7	3.1	3.1	18.7	5.7	1.8	11.0	1.1
	10～19人	364	3.3	6.0	5.2	0.5	9.9	1.6	10.4	9.6	-	7.1	0.5
	20～29人	179	1.7	4.5	6.7	2.2	16.2	1.7	4.5	15.1	-	7.3	1.7
	30～49人	167	1.8	10.2	3.0	1.8	14.4	3.0	7.2	18.0	-	9.0	0.6
	50～99人	125	1.6	7.2	1.6	-	18.4	0.8	4.8	13.6	2.4	16.8	-
	100～199人	55	3.6	5.5	3.6	-	25.5	1.8	9.1	9.1	3.6	10.9	-
	200～299人	18	-	5.6	5.6	5.6	27.8	-	11.1	-	5.6	5.6	-
	300人以上	43	2.3	2.3	-	-	41.9	-	7.0	-	-	9.3	2.3
無回答	22	-	-	-	-	-	4.5	-	9.1	-	-	72.7	
特定事業用建築物別	該当している	252	0.8	11.5	1.2	1.2	31.7	0.8	5.6	10.3	1.6	7.1	-
	該当していない	849	2.2	2.1	3.5	0.8	4.9	2.4	13.5	9.3	0.8	10.7	0.6
	わからない	381	2.9	3.4	6.8	0.8	9.4	3.4	11.0	9.7	1.3	9.4	1.6
	無回答	66	-	10.6	1.5	1.5	9.1	1.5	7.6	3.0	1.5	6.1	25.8

I 調査の概要

(2) 主たる事業形態

回答事業所の主たる事業形態をみると、15 事業形態のうち「事務所・営業所」が 39.1%と最も高く、次いで「学校・保育所」(14.3%)、「病院」(10.3%)、「福祉施設」(7.8%)、「工場・作業所」(7.0%)となっている。

	サンプル数	主たる事業形態												
		飲食店・レストラン	食料品小売業	食品等以外の小売業(日用品販売店)	スーパー	百貨店	コンビニエンスストア	事務所・営業所	工場・作業所	倉庫・配送センター	ホテル・旅館	学校・保育所	病院	
全体	100.0 1,548	3.5 54	1.9 29	3.4 53	0.7 11	0.5 7	1.1 17	39.1 606	7.0 109	1.5 23	4.7 73	14.3 221	10.3 159	
業種別	農業、林業	4	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	
	漁業	8	-	-	-	-	-	87.5	-	-	-	-	-	
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	
	建設業	74	-	-	-	-	-	86.5	9.5	-	-	-	-	
	製造業	130	-	2.3	-	-	-	36.9	60.0	0.8	-	-	-	
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	-	-	-	-	-	77.1	22.9	-	-	-	-	
	情報通信業	27	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	
	運輸業・郵便業	46	-	-	-	-	-	60.9	2.2	37.0	-	-	-	
	卸売業	117	-	5.1	1.7	-	0.9	90.6	0.9	0.9	-	-	-	
	小売業	113	0.9	14.2	32.7	9.7	4.4	15.0	21.2	1.8	-	-	-	
	金融業・保険業	79	-	-	-	-	-	-	97.5	-	-	-	-	
	不動産業・物品賃貸業	26	-	-	-	-	-	-	88.5	-	-	7.7	-	
	学術研究・専門・技術サービス業	32	-	-	-	-	-	-	90.6	3.1	-	-	6.3	
	宿泊業	67	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-	97.0	-	
	飲食サービス業	60	86.7	3.3	-	-	-	-	-	-	-	3.3	1.7	
	生活関連サービス業・娯楽業	14	-	-	-	-	-	-	28.6	-	-	-	-	
	学校教育	164	-	-	-	-	-	-	0.6	-	-	-	98.8	
	その他の教育・学習支援業	36	-	-	-	-	-	-	19.4	-	-	-	77.8	
	医療	176	-	0.6	5.7	-	-	-	2.3	-	-	-	0.6	89.2
	福祉	144	0.7	-	-	-	-	-	4.2	-	-	-	13.2	0.7
複合サービス業	17	-	-	5.9	-	-	-	76.5	-	-	11.8	-	-	
サービス業(他に分類されないもの)	149	-	-	2.0	-	0.7	-	65.8	5.4	2.0	1.3	5.4	0.7	
無回答	28	-	3.6	-	-	-	-	25.0	3.6	3.6	-	-	-	
従業員数別	1～4人	121	6.6	5.8	5.8	1.7	2.5	-	50.4	4.1	0.8	-	4.1	13.2
	5～9人	454	1.8	1.5	5.7	0.4	0.7	0.2	48.0	7.0	0.9	1.1	7.5	16.1
	10～19人	364	4.7	2.2	3.3	0.3	-	2.2	39.0	7.7	0.5	7.1	12.4	10.4
	20～29人	179	6.7	1.7	0.6	1.1	-	3.9	29.1	7.8	2.8	4.5	21.2	3.9
	30～49人	167	2.4	0.6	2.4	0.6	0.6	0.6	29.3	5.4	2.4	10.8	19.8	6.6
	50～99人	125	1.6	2.4	1.6	0.8	-	-	39.2	8.0	2.4	8.0	20.0	4.0
	100～199人	55	3.6	-	-	-	-	-	25.5	9.1	3.6	7.3	29.1	9.1
	200～299人	18	5.6	-	-	-	-	-	22.2	11.1	11.1	5.6	27.8	11.1
	300人以上	43	-	-	2.3	4.7	-	-	32.6	9.3	-	2.3	44.2	4.7
無回答	22	-	-	-	-	-	-	13.6	-	-	-	4.5	-	
特定事業用 建築物別	該当している	252	0.8	2.4	2.0	1.6	-	-	16.7	9.5	3.6	13.1	33.7	5.2
	該当していない	849	3.4	1.5	3.5	0.1	0.2	1.6	47.0	7.3	0.8	2.0	8.7	12.4
	わからない	381	6.0	2.6	4.5	1.6	1.3	0.8	39.1	3.9	1.6	4.2	14.4	9.4
	無回答	66	-	-	1.5	-	-	-	24.2	12.1	1.5	10.6	10.6	7.6

	数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)	サン プ ル 数	主たる事業形態			
			福 祉 施 設	会 館 ・ 娯 楽 施 設	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 1,548	7.8 121	1.0 16	1.5 23	1.7 26
業 種 別	農業、林業	4	-	-	-	-
	漁業	8	-	-	12.5	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	-	-	-	-
	建設業	74	-	-	1.4	2.7
	製造業	130	-	-	-	-
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	-	-	-	-
	情報通信業	27	-	-	-	-
	運輸業・郵便業	46	-	-	-	-
	卸売業	117	-	-	-	-
	小売業	113	-	-	-	-
	金融業・保険業	79	-	-	1.3	1.3
	不動産業・物品賃貸業	26	-	-	-	3.8
	学術研究・専門・技術サービス業	32	-	-	-	-
	宿泊業	67	-	-	-	-
	飲食サービス業	60	1.7	1.7	-	1.7
	生活関連サービス業・娯楽業	14	-	64.3	-	7.1
	学校教育	164	0.6	-	-	-
	その他の教育・学習支援業	36	-	-	-	2.8
	医療	176	0.6	-	0.6	0.6
	福祉	144	81.3	-	-	-
複合サービス業	17	-	5.9	-	-	
サービス業（他に分類されないもの）	149	0.7	3.4	12.1	0.7	
無回答	28	-	-	3.6	60.7	
従 業 員 数 別	1～4人	121	0.8	0.8	1.7	1.7
	5～9人	454	4.8	1.1	2.2	0.9
	10～19人	364	8.2	0.5	1.1	0.3
	20～29人	179	12.3	2.8	1.1	0.6
	30～49人	167	14.4	1.2	1.8	1.2
	50～99人	125	12.0	-	-	-
	100～199人	55	9.1	-	3.6	-
	200～299人	18	-	5.6	-	-
	300人以上	43	-	-	-	-
	無回答	22	9.1	-	-	72.7
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	252	9.9	1.6	-	-
	該当していない	849	7.5	1.1	2.1	0.6
	わからない	381	7.6	0.5	1.3	1.0
	無回答	66	4.5	1.5	-	25.8



## (4) 特定事業用建築物の該当状況

回答事業所の特定事業用建築物の該当状況をみると「該当している」は16.3%、「該当していない」は54.8%、「わからない」は24.6%となっている。

	数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)	サ ン プ ル 数	特定事業用建築物の該当状況			
			該 当 し て い る	該 当 し て い な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		100.0 1,548	16.3 252	54.8 849	24.6 381	4.3 66
業 種 別	農業、林業	4	-	75.0	25.0	-
	漁業	8	-	50.0	50.0	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	-	100.0	-	-
	建設業	74	-	90.5	9.5	-
	製造業	130	16.2	62.3	14.6	6.9
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	22.9	57.1	17.1	2.9
	情報通信業	27	11.1	59.3	29.6	-
	運輸業・郵便業	46	15.2	52.2	30.4	2.2
	卸売業	117	9.4	62.4	27.4	0.9
	小売業	113	10.6	54.9	32.7	1.8
	金融業・保険業	79	6.3	62.0	24.1	7.6
	不動産業・物品賃貸業	26	15.4	57.7	23.1	3.8
	学術研究・専門・技術サービス業	32	6.3	59.4	34.4	-
	宿泊業	67	43.3	26.9	19.4	10.4
	飲食サービス業	60	5.0	50.0	43.3	1.7
	生活関連サービス業・娯楽業	14	21.4	50.0	21.4	7.1
	学校教育	164	48.8	25.6	22.0	3.7
	その他の教育・学習支援業	36	5.6	55.6	36.1	2.8
	医療	176	8.0	65.3	23.9	2.8
	福祉	144	18.1	54.9	25.7	1.4
	複合サービス業	17	23.5	41.2	29.4	5.9
	サービス業（他に分類されないもの）	149	12.1	61.1	24.2	2.7
無回答	28	-	17.9	21.4	60.7	
主 た る 事 業 形 態 別	飲食店・レストラン	54	3.7	53.7	42.6	-
	食料品小売業	29	20.7	44.8	34.5	-
	食料品以外の小売業	53	9.4	56.6	32.1	1.9
	スーパー	11	36.4	9.1	54.5	-
	百貨店	7	-	28.6	71.4	-
	コンビニエンスストア	17	-	82.4	17.6	-
	事務所・営業所	606	6.9	65.8	24.6	2.6
	工場・作業所	109	22.0	56.9	13.8	7.3
	倉庫・配送センター	23	39.1	30.4	26.1	4.3
	ホテル・旅館	73	45.2	23.3	21.9	9.6
	学校・保育所	221	38.5	33.5	24.9	3.2
	病院	159	8.2	66.0	22.6	3.1
	福祉施設	121	20.7	52.9	24.0	2.5
	会館・娯楽施設	16	25.0	56.3	12.5	6.3
	その他	23	-	78.3	21.7	-
無回答	26	-	19.2	15.4	65.4	
従 業 員 数 別	1～4人	121	6.6	59.5	33.1	0.8
	5～9人	454	2.6	69.2	25.3	2.9
	10～19人	364	8.8	63.5	24.7	3.0
	20～29人	179	21.2	52.5	22.9	3.4
	30～49人	167	25.7	44.3	26.3	3.6
	50～99人	125	37.6	30.4	24.8	7.2
	100～199人	55	54.5	20.0	21.8	3.6
	200～299人	18	66.7	22.2	11.1	-
	300人以上	43	67.4	14.0	14.0	4.7
無回答	22	4.5	22.7	-	72.7	

## II 調査結果

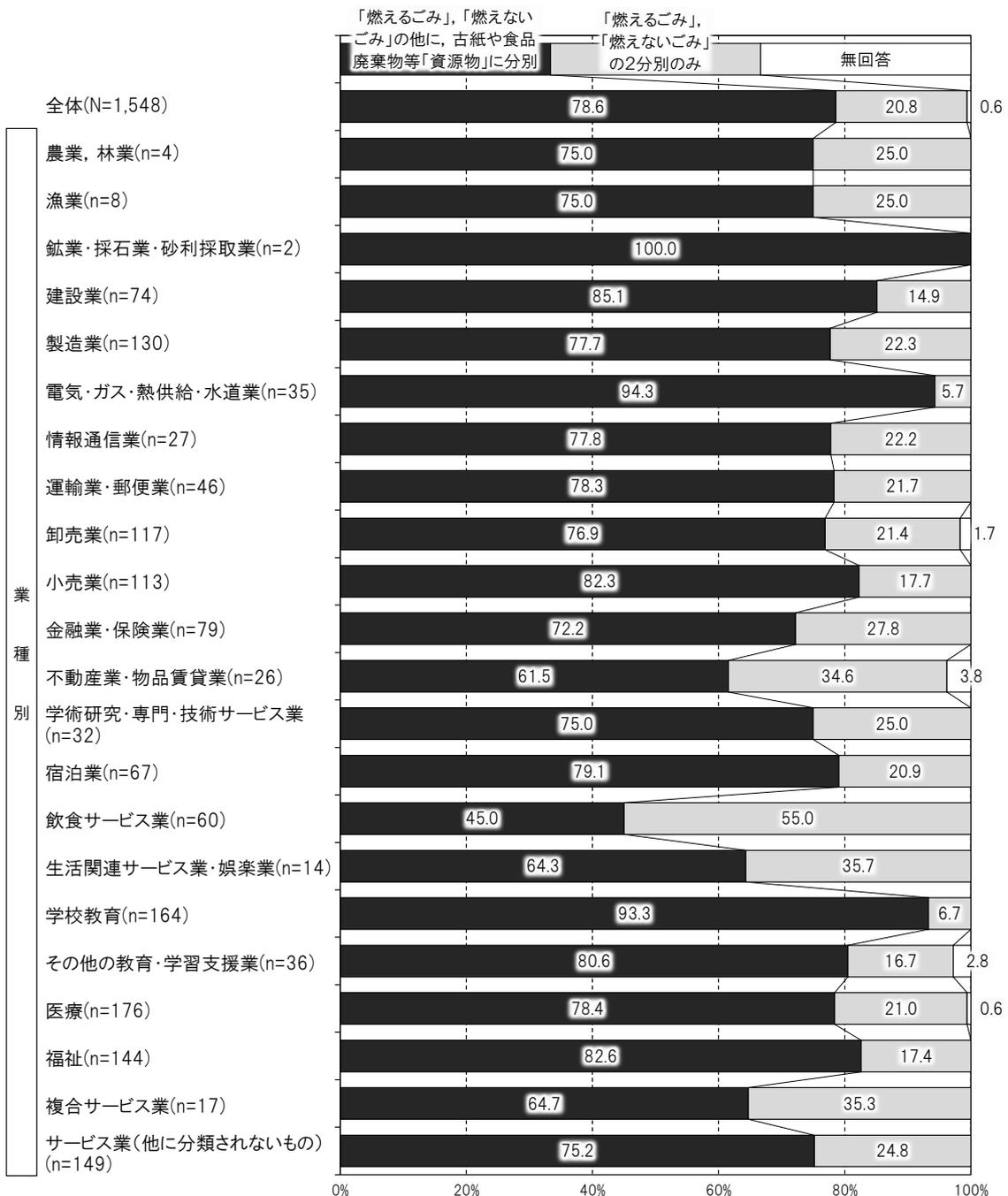
### 第1章 ごみや資源物の排出と処理状況などについて

#### 1-1 事業所のごみの分別状況

- 「燃えるごみ」、「燃えないごみ」「資源物」に分別（78.6%）が8割弱、  
「燃えるごみ」、「燃えないごみ」の2分別（20.8%）が2割強。

問1. 貴事業所のごみの分別状況について、あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。  
(産業廃棄物を除く)(○は1つだけ)

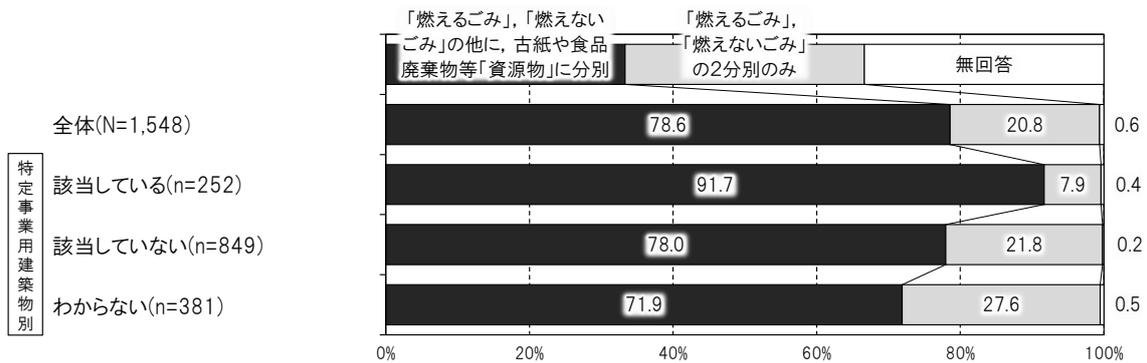
【図 1-1.ア】 事業所のごみの分別状況（業種別）



ごみの分別状況ついてたずねたところ、「燃えるごみ」、「燃えないごみ」の他に、古紙や食品廃棄物等「資源物」に分別」と回答する事業所が78.6%、「燃えるごみ」、「燃えないごみ」の2分別のみ」と回答する事業所が20.8%となっている。

これを業種別にみると、「燃えるごみ」、「燃えないごみ」の他に、古紙や食品廃棄物等「資源物」に分別」と回答する事業所は、「電気・ガス・熱供給・水道業」(94.3%)、「学校教育」(93.3%)が9割強を占め、他の業種より高くなっている。一方、「燃えるごみ」、「燃えないごみ」の2分別のみ」と回答する事業所は、「飲食サービス業」(55.0%)が6割弱を占め、他の業種より高くなっている。

【図 1-1.イ】 事業所のごみの分別状況（特定事業用建築物別）



特定事業用建築物別にみると、該当している事業所は「燃えるごみ」、「燃えないごみ」の他に、古紙や食品廃棄物等「資源物」に分別」と回答する事業所が91.7%と高くなっている。

II 調査結果

【表 1-1】事業所のごみの分別状況

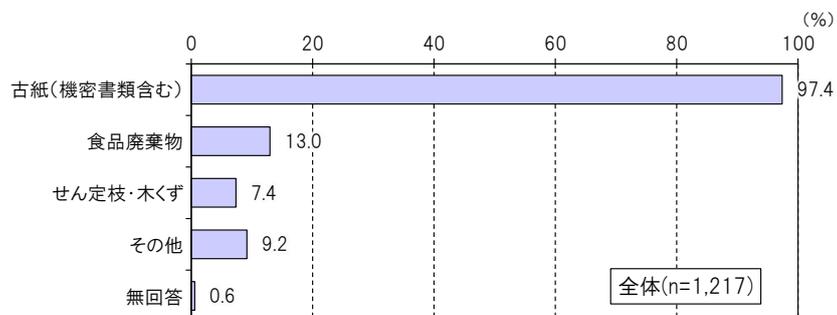
数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	分 別 物 等, 「資 源 物 」 に 廃	「燃 え る ご み」 「燃 え な い ご み」 「古 紙 や 食 品」 の	2 「燃 え る ご み」 の 「燃 え な い ご み」 の	無 回 答
全体		100.0 1,548	78.6 1,217	20.8 322	0.6 9	
業 種 別	農業、林業	4	75.0	25.0	-	
	漁業	8	75.0	25.0	-	
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	100.0	-	-	
	建設業	74	85.1	14.9	-	
	製造業	130	77.7	22.3	-	
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	94.3	5.7	-	
	情報通信業	27	77.8	22.2	-	
	運輸業・郵便業	46	78.3	21.7	-	
	卸売業	117	76.9	21.4	1.7	
	小売業	113	82.3	17.7	-	
	金融業・保険業	79	72.2	27.8	-	
	不動産業・物品賃貸業	26	61.5	34.6	3.8	
	学術研究・専門・技術サービス業	32	75.0	25.0	-	
	宿泊業	67	79.1	20.9	-	
	飲食サービス業	60	45.0	55.0	-	
	生活関連サービス業・娯楽業	14	64.3	35.7	-	
	学校教育	164	93.3	6.7	-	
	その他の教育・学習支援業	36	80.6	16.7	2.8	
	医療	176	78.4	21.0	0.6	
	福祉	144	82.6	17.4	-	
複合サービス業	17	64.7	35.3	-		
サービス業（他に分類されないもの）	149	75.2	24.8	-		
無回答	28	75.0	10.7	14.3		
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	252	91.7	7.9	0.4	
	該当していない	849	78.0	21.8	0.2	
	わからない	381	71.9	27.6	0.5	
	無回答	66	75.8	18.2	6.1	
従 業 員 数 別	1～4人	121	66.9	32.2	0.8	
	5～9人	454	74.9	24.4	0.7	
	10～19人	364	77.7	22.3	-	
	20～29人	179	80.4	19.0	0.6	
	30～49人	167	80.8	19.2	-	
	50～99人	125	88.0	12.0	-	
	100～199人	55	89.1	10.9	-	
	200～299人	18	94.4	5.6	-	
	300人以上	43	95.3	4.7	-	
無回答	22	77.3	4.5	18.2		

## 1-2 資源物として分別しているもの

■分別しているのは、「古紙」が97.4%、「食品廃棄物」が13.0%、「せん定枝・木くず」が7.4%。

付問1-1.【問1で1と答えた方へ】「資源物」として分別しているものについて、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【図 1-2】資源物として分別しているもの



問1で「燃えるごみ」、「燃えないごみ」の他に、古紙や食品廃棄物等「資源物」に分別と答えた事業所(1,217社)に、資源物として分別しているものをたずねたところ、「古紙(機密書類含む)」(97.4%)が最も高く、以下、「食品廃棄物」(13.0%)、「その他」(9.2%)、「せん定枝・木くず」(7.4%)となっている。

「その他」の内容としては、「空きびん」、「缶」、「ペットボトル」などが挙げられている。

II 調査結果

【表 1-2】資源物として分別しているもの

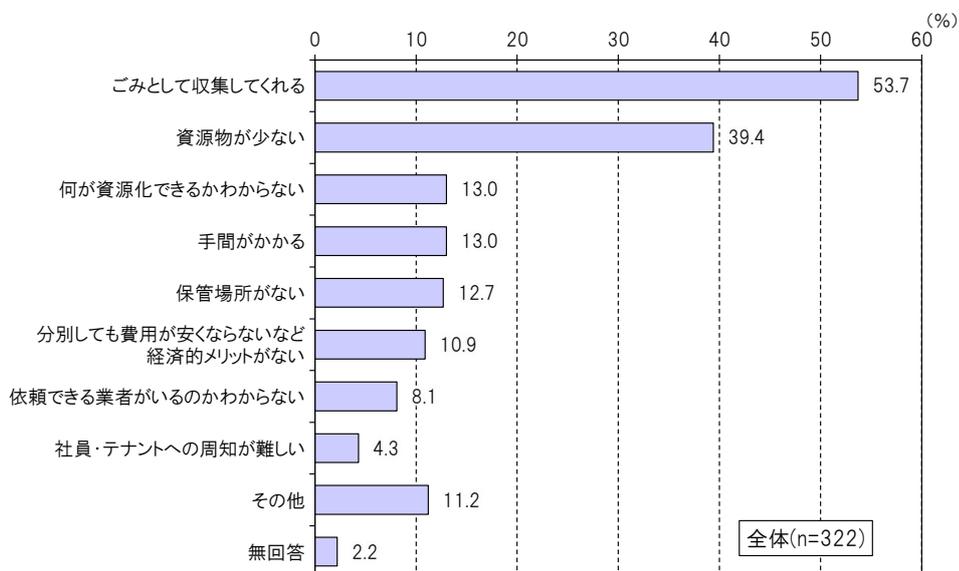
数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	む 古 紙 ( 機 密 書 類 含	食 品 廃 棄 物	せ ん 定 枝 ・ 木 く ず	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 1,217	97.4 1,185	13.0 158	7.4 90	9.2 112	0.6 7
業 種 別	農業, 林業	3	100.0	-	33.3	-	-
	漁業	6	100.0	-	-	-	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	100.0	-	-	-	-
	建設業	63	100.0	3.2	14.3	11.1	-
	製造業	101	97.0	11.9	6.9	10.9	-
	電気・ガス・熱供給・水道業	33	100.0	30.3	27.3	9.1	-
	情報通信業	21	100.0	9.5	4.8	14.3	-
	運輸業・郵便業	36	97.2	5.6	16.7	11.1	-
	卸売業	90	96.7	6.7	2.2	4.4	1.1
	小売業	93	92.5	29.0	5.4	11.8	2.2
	金融業・保険業	57	100.0	5.3	1.8	3.5	-
	不動産業・物品賃貸業	16	100.0	6.3	-	6.3	-
	学術研究・専門・技術サービス業	24	100.0	-	8.3	4.2	-
	宿泊業	53	98.1	22.6	5.7	15.1	-
	飲食サービス業	27	81.5	48.1	3.7	7.4	3.7
	生活関連サービス業・娯楽業	9	88.9	-	-	11.1	-
	学校教育	153	99.3	15.7	15.0	11.8	-
	その他の教育・学習支援業	29	100.0	3.4	3.4	3.4	-
	医療	138	97.8	4.3	0.7	13.8	0.7
	福祉	119	96.6	21.8	7.6	3.4	0.8
複合サービス業	11	100.0	9.1	9.1	9.1	-	
サービス業（他に分類されないもの）	112	99.1	8.0	5.4	8.0	0.9	
無回答	21	90.5	4.8	9.5	9.5	-	
建 築 物 別 特 定 事 業 用	該当している	231	97.8	24.2	10.0	17.7	0.4
	該当していない	662	97.1	8.9	6.9	7.1	0.5
	わからない	274	97.1	13.9	6.9	7.3	1.1
	無回答	50	100.0	10.0	4.0	8.0	-
従 業 員 数 別	1~4人	81	95.1	9.9	2.5	9.9	2.5
	5~9人	340	98.2	8.2	6.2	6.5	0.6
	10~19人	283	96.5	9.9	8.5	7.8	0.7
	20~29人	144	95.8	15.3	9.0	10.4	0.7
	30~49人	135	96.3	17.8	4.4	8.1	-
	50~99人	110	100.0	14.5	10.0	13.6	-
	100~199人	49	100.0	24.5	4.1	12.2	-
	200~299人	17	100.0	5.9	5.9	11.8	-
	300人以上	41	97.6	43.9	22.0	24.4	-
無回答	17	100.0	5.9	5.9	5.9	-	

## 1-3 資源物を分別していない理由

■分別していない理由は、「ごみとして収集してくれる」(53.7%)が最多。

付問1-2.【問1で2と答えた方へ】「資源物」を分別していない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【図1-3】資源物を分別していない理由



問1で「「燃えるごみ」、「燃えないごみ」の2分別のみ」と答えた事業所(322社)に、資源物を分別していない理由をたずねたところ、「ごみとして収集してくれる」(53.4%)が最も高く、次いで「資源物が少ない」(39.4%)と回答する事業所が多く、以下、「手間がかかる」(13.0%)、「何が資源化できるかわからない」(13.0%)、「保管場所がない」(12.7%)、「分別しても費用が安くないなど経済的メリットがない」(10.9%)と続いている。

II 調査結果

【表 1-3】資源物を分別していない理由

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サン プル 数	く ご み と し て 収 集 し て	資 源 物 が 少 な い	わ か ら な い 何 が 資 源 化 で き る か	手 間 が か か る	保 管 場 所 が な い	的 メ リ ツ ト が な い 分 別 し な ら な い も の 費 用 が 安 い	依 頼 で き る 業 者 が い な い の か わ か ら な い	周 知 が 難 し い 社 員 ・ テ ナ ン ト へ の	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 322	53.7 173	39.4 127	13.0 42	13.0 42	12.7 41	10.9 35	8.1 26	4.3 14	11.2 36	2.2 7
業 種 別	農業、林業	1	100.0	100.0	-	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-
	漁業	2	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	建設業	11	54.5	54.5	-	18.2	9.1	18.2	-	9.1	18.2	-
	製造業	29	31.0	51.7	10.3	10.3	10.3	3.4	3.4	-	3.4	3.4
	電気・ガス・熱供給・水道業	2	100.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-
	情報通信業	6	50.0	50.0	-	-	-	16.7	33.3	-	-	-
	運輸業・郵便業	10	60.0	60.0	10.0	-	-	10.0	-	-	-	-
	卸売業	25	56.0	36.0	12.0	12.0	8.0	12.0	4.0	8.0	16.0	-
	小売業	20	55.0	20.0	10.0	20.0	25.0	20.0	10.0	5.0	40.0	-
	金融業・保険業	22	63.6	31.8	13.6	13.6	18.2	4.5	4.5	-	13.6	-
	不動産業・物品賃貸業	9	44.4	55.6	11.1	22.2	22.2	44.4	11.1	33.3	-	-
	学術研究・専門・技術サービス業	8	50.0	50.0	-	-	25.0	-	12.5	-	12.5	-
	宿泊業	14	50.0	57.1	14.3	42.9	14.3	21.4	-	14.3	-	-
	飲食サービス業	33	63.6	48.5	21.2	9.1	15.2	6.1	6.1	6.1	6.1	3.0
	生活関連サービス業・娯楽業	5	80.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-
	学校教育	11	72.7	27.3	18.2	36.4	18.2	18.2	27.3	9.1	-	-
その他の教育・学習支援業	6	33.3	33.3	33.3	-	-	16.7	16.7	-	16.7	-	
医療	37	32.4	40.5	16.2	16.2	8.1	13.5	5.4	-	16.2	2.7	
福祉	25	80.0	32.0	12.0	4.0	24.0	4.0	12.0	4.0	4.0	4.0	
複合サービス業	6	50.0	-	50.0	16.7	16.7	16.7	33.3	-	-	-	
サービス業（他に分類されないもの）	37	54.1	29.7	8.1	-	5.4	2.7	8.1	2.7	13.5	8.1	
無回答	3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	20	50.0	50.0	30.0	25.0	20.0	15.0	20.0	20.0	5.0	-
	該当していない	185	54.1	47.6	7.0	7.6	9.7	10.8	5.9	1.6	9.7	2.2
	わからない	105	53.3	23.8	21.0	17.1	15.2	9.5	10.5	5.7	16.2	1.9
	無回答	12	58.3	33.3	8.3	41.7	25.0	16.7	-	8.3	-	8.3
従 業 員 数 別	1～4人	39	43.6	53.8	15.4	10.3	10.3	5.1	7.7	5.1	5.1	-
	5～9人	111	53.2	36.0	13.5	9.9	8.1	8.1	7.2	0.9	11.7	2.7
	10～19人	81	51.9	39.5	8.6	12.3	17.3	11.1	7.4	2.5	11.1	4.9
	20～29人	34	61.8	38.2	20.6	11.8	8.8	5.9	5.9	11.8	14.7	-
	30～49人	32	56.3	43.8	6.3	25.0	18.8	28.1	6.3	6.3	12.5	-
	50～99人	15	73.3	26.7	13.3	20.0	13.3	13.3	20.0	6.7	13.3	-
	100～199人	6	66.7	50.0	33.3	33.3	33.3	33.3	16.7	16.7	-	-
	200～299人	1	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-
	300人以上	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	

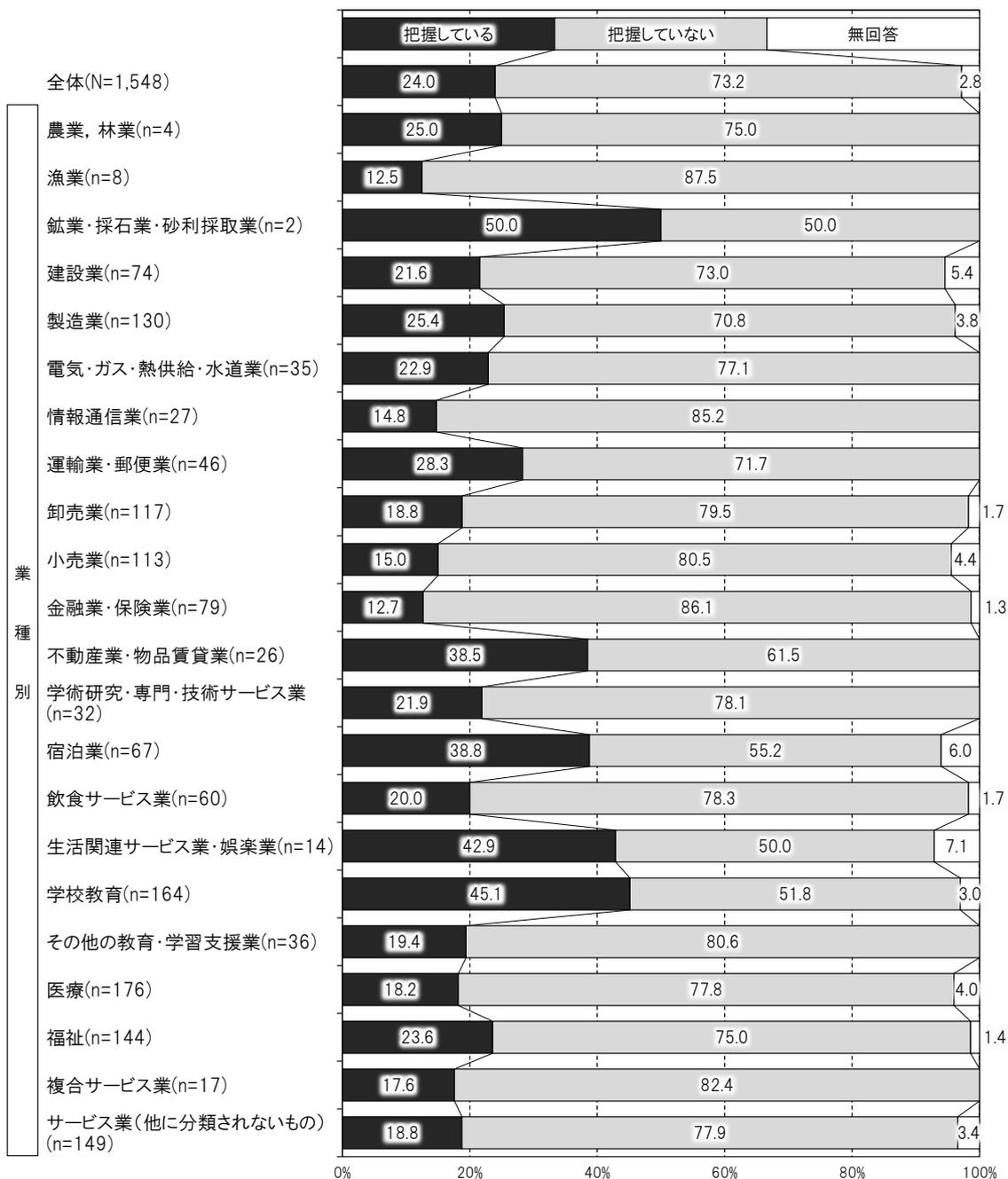
## 1-4 事業所のごみや資源物の排出量

### 1-4-1 排出量の把握状況

■「把握している」(24.0%)は2割強、「把握していない」(73.2%)は7割強。

問2. 貴事業所のごみや資源物の排出量について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

【図 1-4-1.ア】 排出量の把握状況 (業種別)

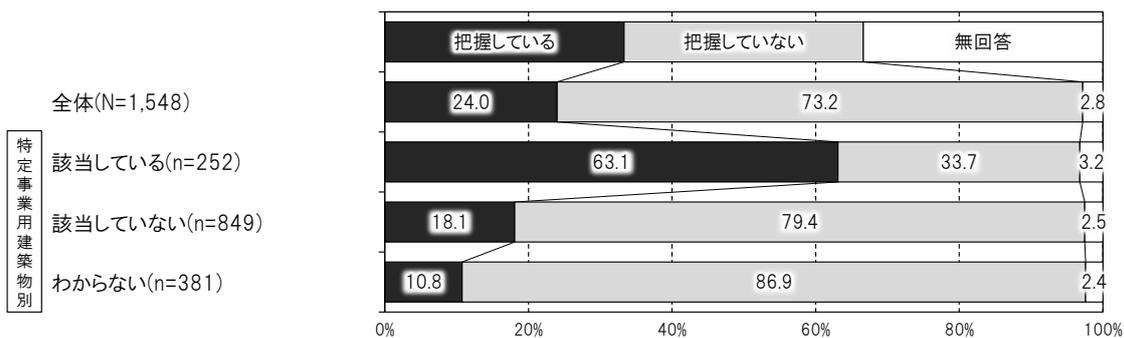


## II 調査結果

ごみや資源物の排出量の把握状況についてたずねたところ、「把握している」と回答する事業所が24.0%、「把握していない」と回答する事業所が73.2%となっている。

これを業種別にみると、いずれの事業所とも「把握していない」と回答する事業所が多いが、「把握している」と回答する事業所は、「学校教育」(45.1%)、「宿泊業」(38.8%)、「不動産業・物品賃貸業」(38.5%)が他の業種より高くなっている。

【図 1-4-1.イ】 排出量の把握状況（特定事業用建築物別）



特定事業用建築物別にみると、該当している事業所は「把握している」と回答する事業所が63.1%と高くなっている。

【表 1-4-1】排出量の把握状況

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	把 握 し て い る	把 握 し て い な い	無 回 答
全体		100.0 1,548	24.0 372	73.2 1,133	2.8 43
業 種 別	農業、林業	4	25.0	75.0	-
	漁業	8	12.5	87.5	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	50.0	50.0	-
	建設業	74	21.6	73.0	5.4
	製造業	130	25.4	70.8	3.8
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	22.9	77.1	-
	情報通信業	27	14.8	85.2	-
	運輸業・郵便業	46	28.3	71.7	-
	卸売業	117	18.8	79.5	1.7
	小売業	113	15.0	80.5	4.4
	金融業・保険業	79	12.7	86.1	1.3
	不動産業・物品賃貸業	26	38.5	61.5	-
	学術研究・専門・技術サービス業	32	21.9	78.1	-
	宿泊業	67	38.8	55.2	6.0
	飲食サービス業	60	20.0	78.3	1.7
	生活関連サービス業・娯楽業	14	42.9	50.0	7.1
	学校教育	164	45.1	51.8	3.0
	その他の教育・学習支援業	36	19.4	80.6	-
	医療	176	18.2	77.8	4.0
	福祉	144	23.6	75.0	1.4
複合サービス業	17	17.6	82.4	-	
サービス業（他に分類されないもの）	149	18.8	77.9	3.4	
無回答	28	25.0	71.4	3.6	
特 定 建 築 物 別 業 用	該当している	252	63.1	33.7	3.2
	該当していない	849	18.1	79.4	2.5
	わからない	381	10.8	86.9	2.4
	無回答	66	27.3	65.2	7.6
従 業 員 数 別	1～4人	121	20.7	74.4	5.0
	5～9人	454	16.3	81.5	2.2
	10～19人	364	18.4	78.3	3.3
	20～29人	179	27.4	69.8	2.8
	30～49人	167	29.3	68.3	2.4
	50～99人	125	36.8	62.4	0.8
	100～199人	55	45.5	52.7	1.8
	200～299人	18	44.4	50.0	5.6
	300人以上	43	51.2	44.2	4.7
無回答	22	31.8	63.6	4.5	

## II 調査結果

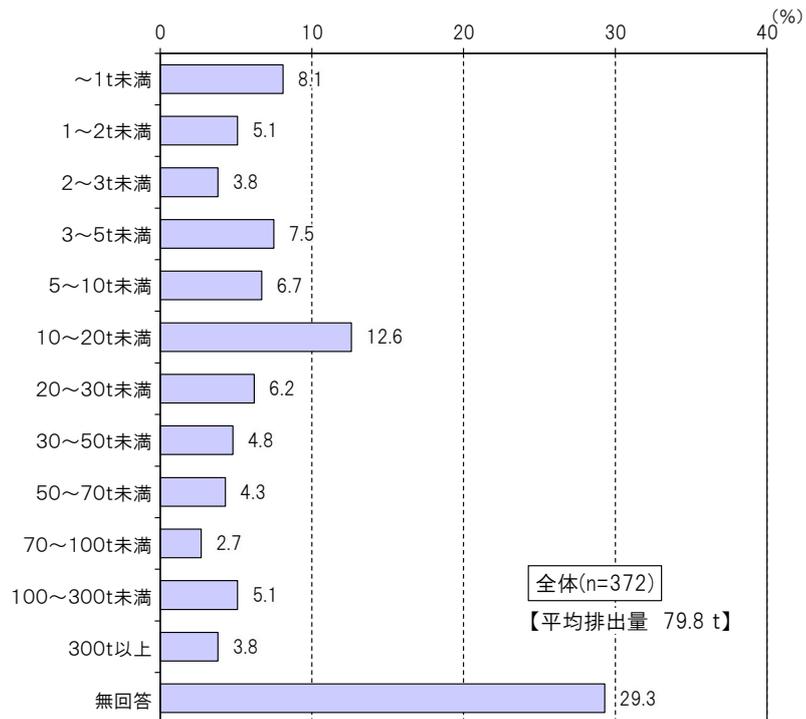
### 1-4-2 ごみや資源物の全体排出量

■年間の平均排出量は「79.8 t」、1日当たりの平均日量は「92.9 リットル」、1日当たりの平均排出量（ごみ袋換算）は「181 袋」。

ただし、年間排出量の回答者は重量ベース（t）が多く、容量ベース（リットル）が少ない。

#### ①年間排出量（t）

【図 1-4-2.①】 年間排出量（t）



問2で「把握している」と答えた事業所（372社）に、年間排出量についてたずねたところ、「10～20 t未満」と回答する事業所が12.6%で最も高く、次いで「～1 t未満」（8.1%）、「3～5 t未満」（7.5%）、「5～10 t未満」（6.7%）、「20～30 t未満」（6.2%）と様々な回答に分かれており、年間の平均排出量は79.8 tとなっている。なお、「無回答」（29.3%）が3割弱を占める。

これを業種別にみると、年間の平均排出量は「製造業」が166.8 t、「学校教育」が133.7 tと、他の業種より多くみられる。

特定事業用建築物別にみると、該当している事業所の年間の平均排出量が117.0 tと、該当していない事業所（20.0 t）より多くみられる。

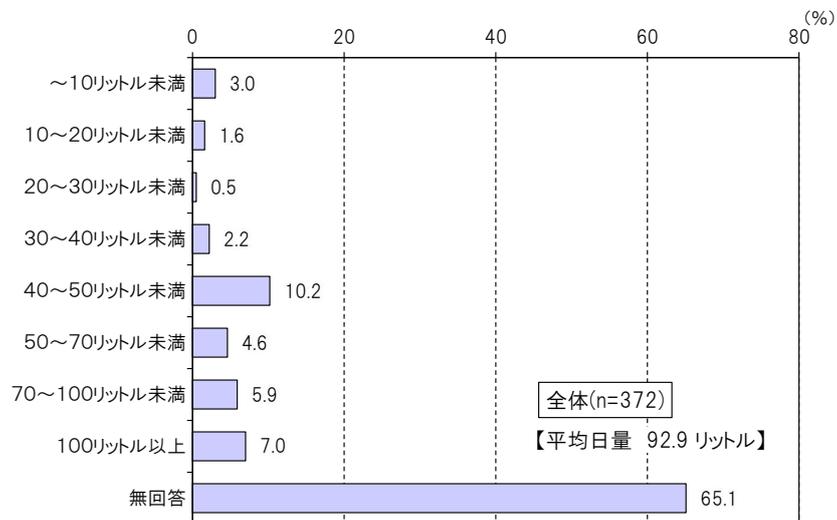
【表 1-4-2.①】年間排出量 (t)

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)	サン プル 数	1	1	2	3	5	1	2	3	5	7	満	3	無	平均排 出量 (t)	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		回
		1	2	3	5	10	20	30	50	70	100	100	0	答		
		t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t		
		未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未		
		満	満	満	満	満	満	満	満	満	満	満	満	満		
全体	100.0 372	8.1 30	5.1 19	3.8 14	7.5 28	6.7 25	12.6 47	6.2 23	4.8 18	4.3 16	2.7 10	5.1 19	3.8 14	29.3 109	79.8	
業 種 別	農業、林業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	93.0	
	漁業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1
	建設業	16	25.0	6.3	6.3	-	-	18.8	-	6.3	-	-	-	-	37.5	8.6
	製造業	33	6.1	-	3.0	9.1	9.1	9.1	-	-	3.0	6.1	6.1	15.2	33.3	166.8
	電気・ガス・熱供給・水道業	8	25.0	12.5	-	12.5	-	12.5	-	-	-	-	12.5	-	25.0	34.8
	情報通信業	4	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	25.0	27.2
	運輸業・郵便業	13	15.4	-	-	7.7	-	7.7	23.1	15.4	-	-	7.7	7.7	15.4	72.6
	卸売業	22	18.2	13.6	4.5	9.1	-	9.1	9.1	-	-	4.5	-	4.5	27.3	113.3
	小売業	17	5.9	11.8	-	-	5.9	5.9	11.8	-	11.8	5.9	5.9	11.8	23.5	144.3
	金融業・保険業	10	-	-	-	10.0	10.0	-	-	-	20.0	10.0	10.0	-	40.0	41.0
	不動産業・物品賃貸業	10	-	10.0	-	10.0	-	-	-	-	-	10.0	-	-	70.0	26.0
	学術研究・専門・技術サービス業	7	42.9	-	-	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-	42.9	2.5
	宿泊業	26	-	-	-	15.4	3.8	30.8	19.2	-	-	-	15.4	3.8	11.5	64.3
	飲食サービス業	12	-	-	-	-	8.3	16.7	-	-	-	-	-	-	75.0	9.4
	生活関連サービス業・娯楽業	6	16.7	-	-	16.7	-	-	16.7	-	33.3	-	-	-	16.7	26.3
	学校教育	74	1.4	4.1	4.1	2.7	10.8	25.7	5.4	12.2	9.5	1.4	6.8	5.4	10.8	133.7
	その他の教育・学習支援業	7	-	14.3	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	71.4	2.6
	医療	32	6.3	-	3.1	9.4	9.4	3.1	3.1	3.1	3.1	6.3	3.1	-	50.0	28.5
	福祉	34	2.9	2.9	5.9	11.8	8.8	11.8	11.8	2.9	-	-	5.9	-	35.3	20.5
複合サービス業	3	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	81.4	
サービス業（他に分類されないもの）	28	17.9	14.3	10.7	10.7	7.1	7.1	-	3.6	3.6	-	-	-	25.0	6.9	
無回答	7	14.3	-	28.6	-	-	-	14.3	14.3	-	-	14.3	-	14.3	44.7	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	159	5.7	2.5	1.9	6.9	6.9	22.0	8.8	8.8	8.2	5.0	10.1	6.9	6.3	117.0
	該当していない	154	11.7	6.5	5.2	7.1	7.1	5.8	3.9	0.6	1.3	0.6	0.6	48.7	20.0	
	わからない	41	4.9	9.8	2.4	9.8	4.9	7.3	2.4	4.9	-	2.4	2.4	-	48.8	21.3
	無回答	18	5.6	5.6	11.1	11.1	5.6	-	11.1	5.6	5.6	-	5.6	11.1	22.2	109.7
従 業 員 数 別	1~4人	25	28.0	-	4.0	-	4.0	4.0	-	-	-	4.0	-	-	56.0	9.6
	5~9人	74	10.8	6.8	1.4	4.1	6.8	5.4	2.7	-	2.7	1.4	-	-	58.1	11.4
	10~19人	67	13.4	9.0	3.0	10.4	7.5	9.0	6.0	-	1.5	-	-	1.5	38.8	66.4
	20~29人	49	6.1	8.2	6.1	20.4	4.1	12.2	2.0	4.1	4.1	-	2.0	4.1	26.5	67.2
	30~49人	49	2.0	6.1	8.2	8.2	10.2	24.5	10.2	2.0	2.0	4.1	8.2	2.0	12.2	39.9
	50~99人	46	2.2	2.2	2.2	8.7	6.5	21.7	15.2	10.9	6.5	-	8.7	4.3	10.9	98.5
	100~199人	25	-	-	-	-	8.0	12.0	12.0	20.0	16.0	8.0	8.0	12.0	4.0	98.9
	200~299人	8	-	-	-	-	12.5	25.0	-	12.5	-	25.0	12.5	12.5	-	110.6
	300人以上	22	-	-	-	-	4.5	13.6	4.5	13.6	9.1	9.1	27.3	18.2	-	276.3
無回答	7	14.3	-	28.6	-	-	-	-	14.3	14.3	-	14.3	-	14.3	49.9	

## II 調査結果

### ② 1日排出量（リットル）

【図 1-4-2.②】 1日排出量（リットル）



問2で「把握している」と答えた事業所（372社）に、1日当たりの排出量についてたずねたところ、「40～50リットル未満」と回答する事業所が10.2%で最も高く、1日当たりの平均日量は92.9リットルとなっている。なお、「無回答」（65.1%）が7割弱を占める。

これを業種別にみると、1日当たりの平均日量は「製造業」が146.7リットル、「学校教育」が141.6リットルと、他の業種より多くみられる。

特定事業用建築物別にみると、該当している事業所の1日当たりの平均日量が147.4リットルと、該当していない事業所（62.1リットル）より多くみられる。

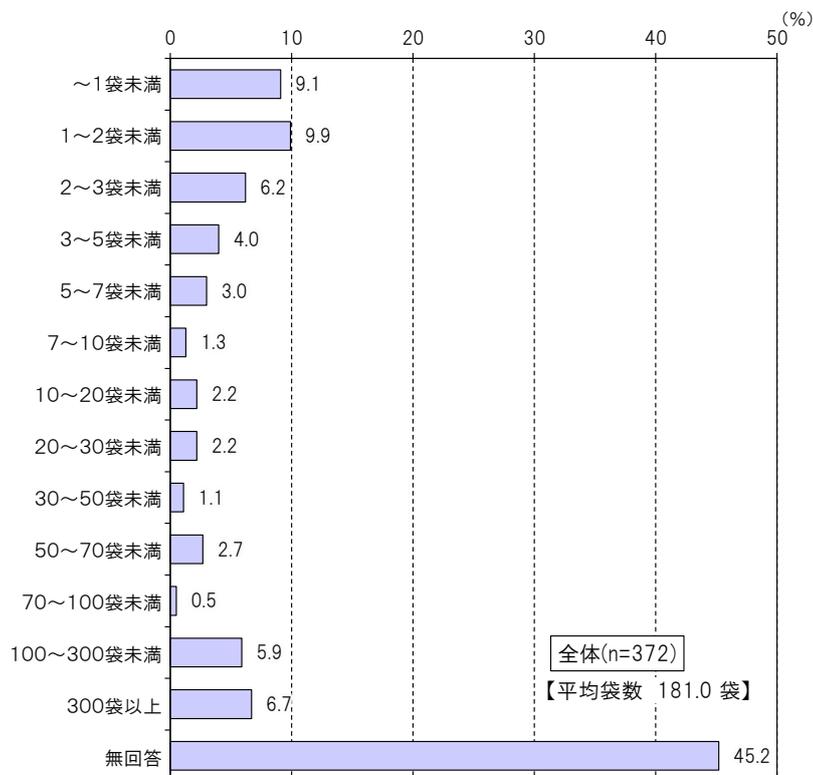
【表 1-4-2.②】 1日排出量 (リットル)

	サンプル数	数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)									平均日量 (リットル)
		10リットル未満	10～19リットル	20～29リットル	30～39リットル	40～49リットル	50～59リットル	60～69リットル	70～79リットル	80リットル以上	
全体	100.0 372	3.0 11	1.6 6	0.5 2	2.2 8	10.2 38	4.6 17	5.9 22	7.0 26	65.1 242	92.9
業種別	農業、林業	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	漁業	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	30.0
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	建設業	16	-	-	-	-	6.3	-	6.3	-	87.5
	製造業	33	3.0	3.0	-	3.0	6.1	9.1	3.0	12.1	60.6
	電気・ガス・熱供給・水道業	8	12.5	-	-	-	12.5	-	-	-	75.0
	情報通信業	4	-	25.0	-	25.0	-	-	-	25.0	25.0
	運輸業・郵便業	13	23.1	-	-	-	7.7	7.7	7.7	7.7	46.2
	卸売業	22	-	-	-	-	4.5	4.5	9.1	-	81.8
	小売業	17	-	-	-	-	5.9	11.8	11.8	11.8	58.8
	金融業・保険業	10	-	10.0	-	-	10.0	-	-	10.0	70.0
	不動産業・物品賃貸業	10	-	-	-	-	10.0	-	-	-	90.0
	学術研究・専門・技術サービス業	7	-	-	-	-	14.3	14.3	-	-	71.4
	宿泊業	26	-	7.7	-	3.8	3.8	3.8	7.7	-	73.1
	飲食サービス業	12	-	-	-	-	25.0	-	8.3	25.0	41.7
	生活関連サービス業・娯楽業	6	-	-	-	-	16.7	16.7	33.3	-	33.3
	学校教育	74	2.7	-	-	2.7	2.7	6.8	6.8	10.8	67.6
その他の教育・学習支援業	7	-	-	-	-	14.3	-	-	-	85.7	
医療	32	6.3	-	3.1	3.1	25.0	-	6.3	3.1	53.1	
福祉	34	2.9	-	2.9	-	23.5	-	2.9	11.8	55.9	
複合サービス業	3	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	
サービス業 (他に分類されないもの)	28	-	-	-	3.6	10.7	7.1	7.1	-	71.4	
無回答	7	14.3	14.3	-	-	14.3	-	-	-	57.1	
特定事業用 建築物別	該当している	159	3.1	-	-	1.9	4.4	2.5	4.4	11.3	72.3
	該当していない	154	2.6	1.3	1.3	2.6	14.9	5.8	7.8	3.9	59.7
	わからない	41	2.4	2.4	-	2.4	14.6	7.3	4.9	4.9	61.0
	無回答	18	5.6	16.7	-	-	11.1	5.6	5.6	-	55.6
従業員数別	1～4人	25	-	-	4.0	8.0	16.0	12.0	4.0	4.0	52.0
	5～9人	74	1.4	1.4	1.4	1.4	13.5	8.1	9.5	-	63.5
	10～19人	67	7.5	4.5	-	1.5	13.4	6.0	6.0	1.5	59.7
	20～29人	49	4.1	2.0	-	-	8.2	-	4.1	12.2	69.4
	30～49人	49	2.0	-	-	4.1	12.2	2.0	2.0	6.1	71.4
	50～99人	46	2.2	-	-	4.3	4.3	6.5	8.7	8.7	65.2
	100～199人	25	-	-	-	-	8.0	-	4.0	16.0	72.0
	200～299人	8	-	-	-	-	-	-	-	25.0	75.0
	300人以上	22	-	-	-	-	-	-	9.1	22.7	68.2
無回答	7	14.3	14.3	-	-	14.3	-	-	-	57.1	

## II 調査結果

### ③ 1日排出量（ごみ袋換算）

【図 1-4-2.③】 1日排出量（ごみ袋換算）



問2で「把握している」と答えた事業所（372社）に、1日当たりの排出量（ごみ袋換算）についてたずねたところ、「1～2袋」と回答する事業所が9.9%で最も高く、次いで「～1袋未満」（9.1%）、「300袋以上」（6.7%）、「100～300袋未満」（5.9%）様々な回答に分かれており、1日当たりの平均排出量（ごみ袋換算）は181袋となっている。なお、「無回答」（45.2%）が5割弱を占める。

これを業種別にみると、1日当たりの平均日量は「宿泊業」が501.6袋、「福祉」が326.4袋、「医療」が301.6袋と、他の業種より多くみられる。

特定事業用建築物別にみると、該当している事業所の1日当たりの平均日量が385.6袋と、該当していない事業所（110.1袋）より多くみられる。

【表 1-4-2.③】 1日排出量（ごみ袋換算）

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)	サン プル 数	1 袋 未 満	1 2 袋 未 満	2 3 袋 未 満	3 5 袋 未 満	5 7 袋 未 満	7 1 0 袋 未 満	1 0 2 0 袋 未 満	2 0 3 0 袋 未 満	3 0 5 0 袋 未 満	5 0 7 0 袋 未 満	7 0 1 0 0 袋 未 満	満 1 0 0 3 0 0 袋 未 満	3 0 0 袋 以 上	無 回 答	平均 袋 数 (袋)	
全体	100.0 372	9.1 34	9.9 37	6.2 23	4.0 15	3.0 11	1.3 5	2.2 8	2.2 8	1.1 4	2.7 10	0.5 2	5.9 22	6.7 25	45.2 168	181.0	
業 種 別	農業、林業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
	漁業	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5
	建設業	16	-	-	6.3	-	-	6.3	-	-	6.3	12.5	-	-	-	68.8	34.8
	製造業	33	15.2	6.1	3.0	-	-	-	9.1	-	6.1	-	-	9.1	3.0	48.5	70.7
	電気・ガス・熱供給・水道業	8	25.0	-	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	62.5	1.9
	情報通信業	4	25.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	61.8
	運輸業・郵便業	13	15.4	7.7	7.7	7.7	15.4	-	-	-	-	-	-	-	-	46.2	2.4
	卸売業	22	9.1	4.5	-	4.5	-	4.5	-	4.5	4.5	4.5	-	4.5	4.5	54.5	63.0
	小売業	17	-	11.8	5.9	11.8	5.9	-	5.9	-	-	-	-	11.8	11.8	35.3	111.8
	金融業・保険業	10	-	30.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.0	40.0	205.5
	不動産業・物品賃貸業	10	10.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	10.0	-	20.0	-	40.0	59.0
	学術研究・専門・技術サービス業	7	-	14.3	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-	42.9	46.5
	宿泊業	26	-	3.8	7.7	3.8	3.8	-	7.7	-	-	-	-	-	7.7	65.4	501.6
	飲食サービス業	12	-	16.7	25.0	16.7	-	-	-	-	-	-	-	25.0	16.7	-	430.4
	生活関連サービス業・娯楽業	6	-	33.3	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	16.7	-	-	16.7	17.8
	学校教育	74	1.4	9.5	4.1	1.4	5.4	2.7	4.1	1.4	1.4	4.1	-	2.7	5.4	56.8	196.9
	その他の教育・学習支援業	7	28.6	-	-	28.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42.9	1.6
	医療	32	21.9	18.8	6.3	3.1	-	-	-	-	3.1	-	3.1	3.1	6.3	34.4	301.6
	福祉	34	14.7	8.8	11.8	-	2.9	2.9	2.9	-	-	-	-	8.8	20.6	26.5	326.4
複合サービス業	3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3	31.5	
サービス業（他に分類されないもの）	28	14.3	10.7	3.6	-	-	-	3.6	7.1	-	-	-	10.7	3.6	46.4	65.9	
無回答	7	14.3	28.6	-	-	-	-	-	14.3	-	-	-	-	-	42.9	5.6	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	159	2.5	3.1	5.0	2.5	3.1	0.6	3.1	1.9	1.3	1.3	-	3.1	7.5	64.8	385.6
	該当していない	154	16.2	12.3	7.8	4.5	2.6	1.9	1.3	1.9	1.3	4.5	0.6	9.1	5.8	29.9	110.1
	わからない	41	9.8	22.0	7.3	7.3	2.4	-	2.4	2.4	-	2.4	2.4	4.9	7.3	29.3	98.0
	無回答	18	5.6	22.2	-	5.6	5.6	5.6	-	5.6	-	-	-	5.6	5.6	38.9	54.0
従 業 員 数 別	1～4人	25	28.0	16.0	12.0	-	4.0	-	8.0	-	-	-	8.0	4.0	4.0	16.0	36.1
	5～9人	74	16.2	14.9	4.1	6.8	1.4	1.4	-	4.1	2.7	5.4	-	9.5	5.4	28.4	63.7
	10～19人	67	13.4	14.9	6.0	7.5	1.5	1.5	-	-	-	3.0	-	11.9	6.0	32.8	172.3
	20～29人	49	2.0	10.2	16.3	2.0	4.1	-	4.1	2.0	2.0	4.1	-	6.1	4.1	42.9	78.1
	30～49人	49	6.1	6.1	2.0	2.0	4.1	-	-	-	-	-	-	6.1	14.3	59.2	539.1
	50～99人	46	-	4.3	4.3	2.2	4.3	4.3	4.3	4.3	-	2.2	-	-	8.7	60.9	564.4
	100～199人	25	4.0	-	8.0	4.0	-	-	4.0	-	-	-	-	-	4.0	76.0	136.4
	200～299人	8	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0	5.5
	300人以上	22	-	-	-	4.5	-	4.5	-	4.5	4.5	4.5	-	-	9.1	68.2	150.6
無回答	7	14.3	28.6	-	-	-	-	-	14.3	-	-	-	-	-	42.9	5.6	

## II 調査結果

### 1-5 ごみや資源物の種類別排出量と処理方法

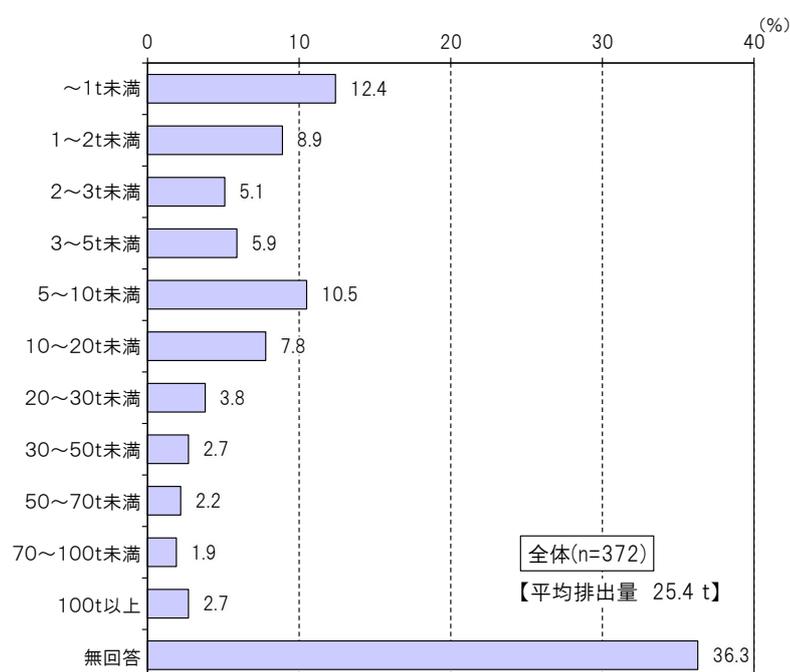
#### 1-5-1 燃えるごみ

■<燃えるごみ>の年間平均排出量は「25.4 t」、処分方法は「一般廃棄物収集運搬許可業者へ委託」(79.8%)が中心。

付問2-1.【問2で1と答えた方へ】以下の(1)から(6)について、1年間のおおよその排出量をご記入いただくとともに、処理方法についてあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

#### ①年間排出量

【図 1-5-1.①】燃えるごみの年間排出量 (t)



問2で「把握している」と答えた事業所(372社)に、<燃えるごみ>の年間排出量についてたずねたところ、「～1t未満」と回答する事業所が12.4%で最も高く、次いで「5～10t未満」(10.5%)、「1～2t未満」(8.9%)、「10～20t未満」(7.8%)、と様々な回答に分かれており、年間の平均排出量は25.4tとなっている。なお、「無回答」(36.3%)が4割弱を占める。

これを業種別にみると、年間の平均排出量は「学校教育」が52.3t、「宿泊業」が35.8tと、他の業種より多くみられる。

特定事業用建築物別にみると、該当している事業所の年間の平均排出量が34.8tと、該当していない事業所(6.6t)より多くみられる。

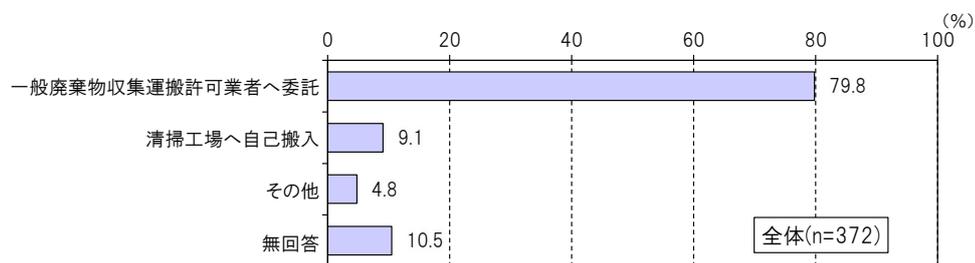
【表 1-5-1.①】燃えるごみの年間排出量 (t)

数値 (全体：上段=% 下段=件数、 属性：%)	サン プル 数	〃 1 t 未 満	1 〃 2 t 未 満	2 〃 3 t 未 満	3 〃 5 t 未 満	5 〃 1 0 t 未 満	1 0 〃 2 0 t 未 満	2 0 〃 3 0 t 未 満	3 0 〃 5 0 t 未 満	5 0 〃 7 0 t 未 満	7 0 〃 1 0 0 t 未 満	1 0 0 t 以 上	無 回 答	平均 排 出 量 (t/年)	
															全体
全体	100.0 372	12.4 46	8.9 33	5.1 19	5.9 22	10.5 39	7.8 29	3.8 14	2.7 10	2.2 8	1.9 7	2.7 10	36.3 135	25.4	
業 種 別	農業、林業	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	33.0	
	漁業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	
	建設業	16	37.5	-	6.3	-	12.5	-	6.3	-	-	-	-	37.5	4.6
	製造業	33	12.1	6.1	6.1	6.1	9.1	9.1	6.1	-	3.0	-	3.0	39.4	14.6
	電気・ガス・熱供給・水道業	8	37.5	-	-	25.0	-	-	-	-	-	12.5	-	25.0	16.4
	情報通信業	4	-	-	-	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-	25.0	6.5
	運輸業・郵便業	13	7.7	15.4	-	7.7	15.4	23.1	-	-	-	-	-	30.8	6.6
	卸売業	22	36.4	18.2	-	-	4.5	-	-	-	4.5	-	-	36.4	5.3
	小売業	17	11.8	17.6	-	-	5.9	5.9	5.9	11.8	5.9	-	11.8	23.5	38.8
	金融業・保険業	10	-	-	20.0	-	30.0	-	10.0	-	-	-	-	40.0	8.8
	不動産業・物品賃貸業	10	20.0	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	70.0	20.4
	学術研究・専門・技術サービス業	7	42.9	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42.9	0.3
	宿泊業	26	-	23.1	11.5	7.7	7.7	11.5	7.7	-	-	3.8	7.7	19.2	35.8
	飲食サービス業	12	-	-	-	8.3	16.7	-	-	-	-	-	-	75.0	6.2
	生活関連サービス業・娯楽業	6	-	-	16.7	-	16.7	-	33.3	-	-	-	-	33.3	15.9
	学校教育	74	4.1	9.5	4.1	6.8	16.2	16.2	4.1	6.8	4.1	4.1	4.1	20.3	52.3
	その他の教育・学習支援業	7	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85.7	0.2
	医療	32	3.1	3.1	3.1	3.1	12.5	3.1	3.1	6.3	3.1	-	-	59.4	14.7
	福祉	34	5.9	-	14.7	14.7	8.8	11.8	2.9	-	-	2.9	2.9	35.3	15.6
複合サービス業	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	33.3	38.8	
サービス業（他に分類されないもの）	28	21.4	21.4	3.6	7.1	3.6	7.1	-	-	-	-	-	35.7	2.8	
無回答	7	28.6	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	42.9	51.2	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	159	10.1	9.4	5.0	8.8	15.7	13.8	5.0	4.4	4.4	4.4	14.5	34.8	
	該当していない	154	14.3	8.4	5.2	4.5	6.5	2.6	2.6	1.3	-	-	0.6	53.9	6.6
	わからない	41	12.2	9.8	4.9	2.4	9.8	4.9	-	2.4	-	-	-	53.7	5.5
	無回答	18	16.7	5.6	5.6	-	-	5.6	11.1	-	5.6	-	11.1	38.9	66.1
従 業 員 数 別	1~4人	25	24.0	4.0	-	-	4.0	4.0	-	-	4.0	-	-	60.0	8.7
	5~9人	74	14.9	1.4	2.7	2.7	9.5	1.4	2.7	1.4	-	-	-	63.5	6.3
	10~19人	67	17.9	11.9	7.5	7.5	6.0	1.5	1.5	-	-	-	-	46.3	3.1
	20~29人	49	12.2	20.4	12.2	2.0	6.1	6.1	-	2.0	2.0	-	4.1	32.7	22.4
	30~49人	49	14.3	8.2	8.2	6.1	16.3	14.3	4.1	2.0	2.0	2.0	2.0	20.4	13.1
	50~99人	46	4.3	15.2	-	13.0	8.7	15.2	8.7	4.3	2.2	2.2	-	26.1	14.9
	100~199人	25	-	4.0	8.0	12.0	20.0	20.0	8.0	12.0	4.0	4.0	4.0	4.0	33.9
	200~299人	8	-	-	-	12.5	25.0	12.5	12.5	-	25.0	-	12.5	-	39.4
	300人以上	22	-	-	-	4.5	18.2	13.6	9.1	9.1	4.5	18.2	18.2	4.5	122.1
無回答	7	28.6	14.3	-	-	14.3	-	-	-	-	-	14.3	28.6	42.6	

## II 調査結果

### ②処理方法

【図 1-5-1.②】 燃えるごみの処理方法



また、＜燃えるごみ＞の処分方法についてたずねたところ、「一般廃棄物収集運搬許可業者へ委託」(79.8%) が圧倒的に高く、以下、「清掃工場へ自己搬入」(9.1%)、「その他」(4.8%) となっている。

【表 1-5-1.②】燃えるごみの処理方法

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	許 一 般 廃 棄 物 収 集 運 搬	清 掃 工 場 へ 自 己 搬 入	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 372	79.8 297	9.1 34	4.8 18	10.5 39
業 種 別	農業、林業	1	-	100.0	-	-
	漁業	1	-	-	-	100.0
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	100.0	-	-	-
	建設業	16	68.8	25.0	6.3	-
	製造業	33	69.7	12.1	12.1	12.1
	電気・ガス・熱供給・水道業	8	50.0	-	25.0	25.0
	情報通信業	4	75.0	-	-	25.0
	運輸業・郵便業	13	92.3	-	-	7.7
	卸売業	22	81.8	13.6	4.5	9.1
	小売業	17	94.1	-	5.9	5.9
	金融業・保険業	10	80.0	20.0	-	20.0
	不動産業・物品賃貸業	10	60.0	-	20.0	20.0
	学術研究・専門・技術サービス業	7	85.7	-	14.3	-
	宿泊業	26	92.3	-	-	7.7
	飲食サービス業	12	75.0	-	8.3	16.7
	生活関連サービス業・娯楽業	6	66.7	33.3	16.7	16.7
	学校教育	74	82.4	17.6	-	5.4
	その他の教育・学習支援業	7	57.1	-	14.3	28.6
	医療	32	81.3	3.1	3.1	12.5
	福祉	34	85.3	2.9	-	14.7
複合サービス業	3	100.0	33.3	-	-	
サービス業（他に分類されないもの）	28	89.3	3.6	7.1	3.6	
無回答	7	57.1	14.3	-	28.6	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	159	82.4	8.8	1.9	10.7
	該当していない	154	77.9	9.7	7.8	9.1
	わからない	41	78.0	4.9	7.3	14.6
	無回答	18	77.8	16.7	-	11.1
従 業 員 数 別	1～4人	25	64.0	4.0	16.0	20.0
	5～9人	74	78.4	13.5	8.1	8.1
	10～19人	67	79.1	6.0	1.5	13.4
	20～29人	49	83.7	12.2	6.1	6.1
	30～49人	49	91.8	2.0	2.0	6.1
	50～99人	46	80.4	10.9	2.2	13.0
	100～199人	25	80.0	8.0	4.0	8.0
	200～299人	8	100.0	-	-	-
	300人以上	22	68.2	18.2	4.5	13.6
無回答	7	57.1	14.3	-	28.6	

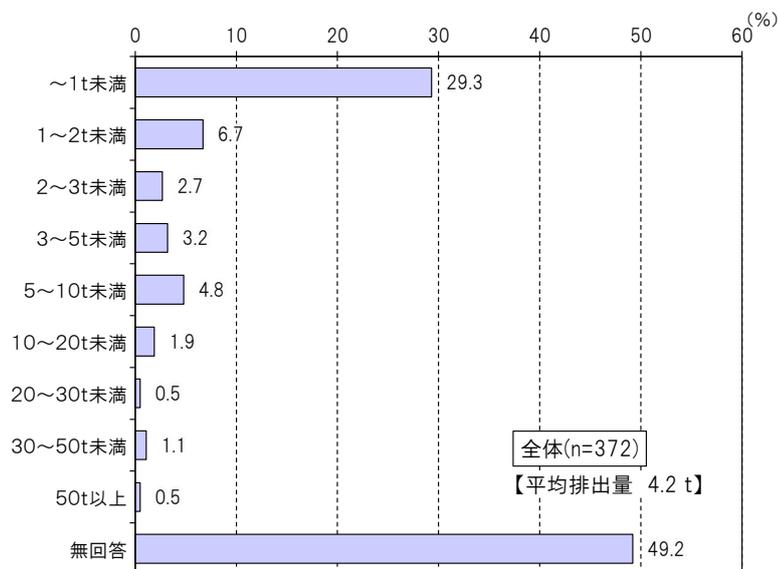
## II 調査結果

### 1-5-2 燃えないごみ

■ <燃えないごみ>の年間平均排出量は「4.2 t」、処分方法は「一般廃棄物収集運搬許可業者へ委託」(69.1%)が中心。

#### ①年間排出量

【図 1-5-2.①】燃えないごみの年間排出量 (t)



問2で「把握している」と答えた事業所(372社)に、<燃えないごみ>の年間排出量についてたずねたところ、「~1 t未満」と回答する事業所が29.3%で最も高く、次いで「1~2 t未満」(6.7%)、「5~10 t未満」(4.8%)となっており、年間の平均排出量は4.2 tとなっている。なお、「無回答」(49.2%)が5割弱を占める。

これを業種別にみると、年間の平均排出量は「製造業」が16.7 tと、他の業種より多くみられる。

特定事業用建築物別にみると、該当している事業所の年間の平均排出量が5.9 tと、該当していない事業所(1.7 t)より多くみられる。

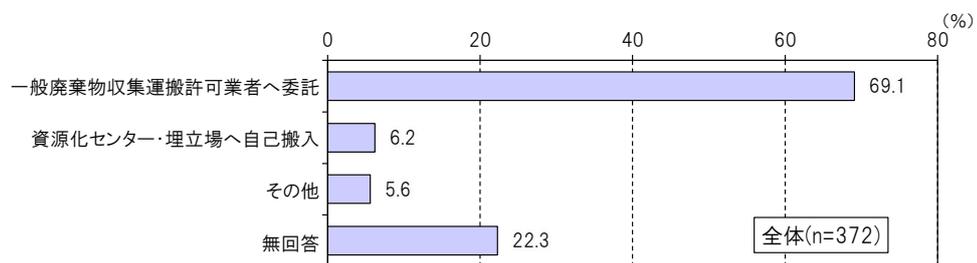
【表 1-5-2.①】燃えないごみの年間排出量 (t)

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サン プル 数	1 t 未 満	1 t 2 t 未 満	2 t 3 t 未 満	3 t 5 t 未 満	5 t 1 0 t 未 満	1 0 t 2 0 t 未 満	2 0 t 3 0 t 未 満	3 0 t 5 0 t 未 満	5 0 t 以 上	無 回 答	平均 排 出 量 (t / 年)	
														全体
全体		100.0 372	29.3 109	6.7 25	2.7 10	3.2 12	4.8 18	1.9 7	0.5 2	1.1 4	0.5 2	49.2 183	4.2	
業 種 別	農業、林業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
	漁業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	
	建設業	16	31.3	-	-	6.3	12.5	-	-	-	-	50.0	2.2	
	製造業	33	24.2	6.1	3.0	-	3.0	-	-	-	3.0	60.6	16.7	
	電気・ガス・熱供給・水道業	8	50.0	-	-	-	12.5	-	-	-	-	-	37.5	1.6
	情報通信業	4	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	50.0	4.3
	運輸業・郵便業	13	23.1	7.7	-	-	15.4	7.7	-	-	-	-	46.2	3.4
	卸売業	22	36.4	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	54.5	0.5
	小売業	17	17.6	11.8	5.9	-	5.9	-	11.8	5.9	-	-	41.2	9.0
	金融業・保険業	10	20.0	10.0	-	-	-	10.0	-	-	-	-	60.0	4.2
	不動産業・物品賃貸業	10	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80.0	0.5
	学術研究・専門・技術サービス業	7	28.6	-	-	-	14.3	-	-	-	-	-	57.1	2.8
	宿泊業	26	26.9	3.8	3.8	23.1	7.7	3.8	-	3.8	-	-	26.9	5.1
	飲食サービス業	12	16.7	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0	0.4
	生活関連サービス業・娯楽業	6	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	0.3
	学校教育	74	35.1	13.5	5.4	6.8	6.8	4.1	-	1.4	1.4	25.7	4.0	
	その他の教育・学習支援業	7	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85.7	0.1
	医療	32	18.8	6.3	3.1	-	-	3.1	-	-	-	-	68.8	1.6
	福祉	34	38.2	5.9	2.9	-	5.9	-	-	-	-	-	47.1	1.2
複合サービス業	3	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3	19.2	
サービス業（他に分類されないもの）	28	35.7	3.6	3.6	-	-	-	-	-	-	-	57.1	0.5	
無回答	7	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85.7	0.1	
建 築 物 別 特 定 事 業 用	該当している	159	35.8	8.8	5.7	6.9	8.2	3.8	1.3	1.9	1.3	26.4	5.9	
	該当していない	154	25.3	5.2	0.6	0.6	1.9	0.6	-	0.6	-	64.9	1.7	
	わからない	41	22.0	4.9	-	-	4.9	-	-	-	-	68.3	1.1	
	無回答	18	22.2	5.6	-	-	-	-	-	-	-	72.2	0.4	
従 業 員 数 別	1～4人	25	24.0	4.0	-	-	-	-	-	-	-	72.0	0.3	
	5～9人	74	23.0	1.4	-	-	1.4	1.4	-	-	-	73.0	1.2	
	10～19人	67	29.9	7.5	1.5	3.0	-	-	1.5	-	-	56.7	1.4	
	20～29人	49	34.7	14.3	2.0	-	4.1	-	-	2.0	2.0	40.8	4.1	
	30～49人	49	44.9	8.2	2.0	2.0	10.2	2.0	-	-	-	30.6	1.9	
	50～99人	46	34.8	4.3	4.3	8.7	10.9	-	-	2.2	-	34.8	3.2	
	100～199人	25	24.0	8.0	8.0	4.0	8.0	8.0	-	4.0	4.0	32.0	17.3	
	200～299人	8	25.0	12.5	-	25.0	-	-	-	-	-	37.5	2.0	
	300人以上	22	4.5	9.1	13.6	9.1	13.6	13.6	4.5	4.5	-	27.3	9.3	
	無回答	7	28.6	-	-	-	-	-	-	-	-	71.4	0.1	

## II 調査結果

### ②処理方法

【図 1-5-2.②】燃えないごみの処理方法



また、＜燃えないごみ＞の処分方法についてたずねたところ、「一般廃棄物収集運搬許可業者へ委託」(69.1%)が圧倒的に高く、以下、「資源化センター・埋立場へ自己搬入」(6.2%)、「その他」(5.6%)となっている。

【表 1-5-2.②】燃えないごみの処理方法

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	許 一 般 廃 棄 者 へ 委 託 集 運 搬	立 資 源 化 セ ン タ ー ・ 埋	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 372	69.1 257	6.2 23	5.6 21	22.3 83
業 種 別	農業、林業	1	-	-	-	100.0
	漁業	1	-	-	-	100.0
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	100.0	-	-	-
	建設業	16	62.5	18.8	12.5	6.3
	製造業	33	54.5	3.0	6.1	36.4
	電気・ガス・熱供給・水道業	8	37.5	-	25.0	37.5
	情報通信業	4	50.0	-	-	50.0
	運輸業・郵便業	13	76.9	-	7.7	23.1
	卸売業	22	63.6	4.5	13.6	27.3
	小売業	17	64.7	11.8	5.9	23.5
	金融業・保険業	10	70.0	-	10.0	20.0
	不動産業・物品賃貸業	10	60.0	-	10.0	30.0
	学術研究・専門・技術サービス業	7	85.7	-	-	14.3
	宿泊業	26	88.5	-	-	11.5
	飲食サービス業	12	83.3	-	8.3	8.3
	生活関連サービス業・娯楽業	6	33.3	50.0	-	50.0
	学校教育	74	77.0	10.8	1.4	13.5
	その他の教育・学習支援業	7	28.6	-	14.3	57.1
	医療	32	65.6	3.1	9.4	25.0
	福祉	34	79.4	8.8	-	14.7
複合サービス業	3	66.7	-	-	33.3	
サービス業（他に分類されないもの）	28	78.6	-	7.1	17.9	
無回答	7	42.9	14.3	-	57.1	
特 定 建 築 物 業 用	該当している	159	71.7	6.3	5.0	20.8
	該当していない	154	68.2	5.8	7.1	20.8
	わからない	41	65.9	2.4	4.9	29.3
	無回答	18	61.1	16.7	-	33.3
従 業 員 数 別	1～4人	25	60.0	4.0	8.0	28.0
	5～9人	74	64.9	6.8	6.8	25.7
	10～19人	67	68.7	6.0	3.0	23.9
	20～29人	49	85.7	4.1	2.0	10.2
	30～49人	49	73.5	8.2	8.2	16.3
	50～99人	46	69.6	2.2	2.2	28.3
	100～199人	25	64.0	8.0	4.0	24.0
	200～299人	8	75.0	-	25.0	12.5
	300人以上	22	54.5	13.6	13.6	22.7
無回答	7	57.1	14.3	-	42.9	

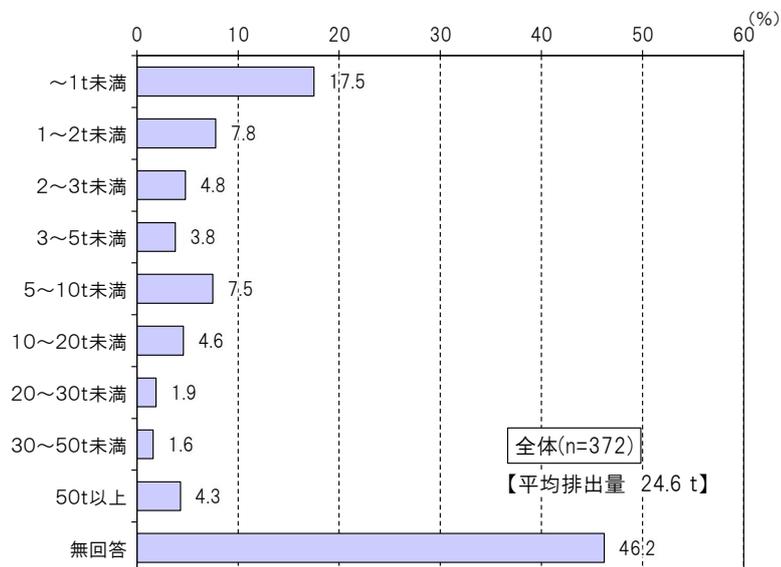
## II 調査結果

### 1-5-3 古紙

■<古紙>の年間平均排出量は「24.6 t」、処分方法は「古紙回収業者が回収」(44.6%)が最多。

#### ①年間排出量

【図 1-5-3.①】 古紙の年間排出量 (t)



問2で「把握している」と答えた事業所(372社)に、<古紙>の年間排出量についてたずねたところ、「~1 t未満」と回答する事業所が17.5%で最も高く、次いで「1~2 t未満」(7.8%)、「5~10 t未満」(7.5%)となっており、年間の平均排出量は24.6 tとなっている。なお、「無回答」(46.2%)が5割弱を占める。

これを業種別にみると、年間の平均排出量は「製造業」が108.1 tと、他の業種より多くみられる。

特定事業用建築物別にみると、該当している事業所の年間の平均排出量が30.7 tと、該当していない事業所(5.5 t)より多くみられる。

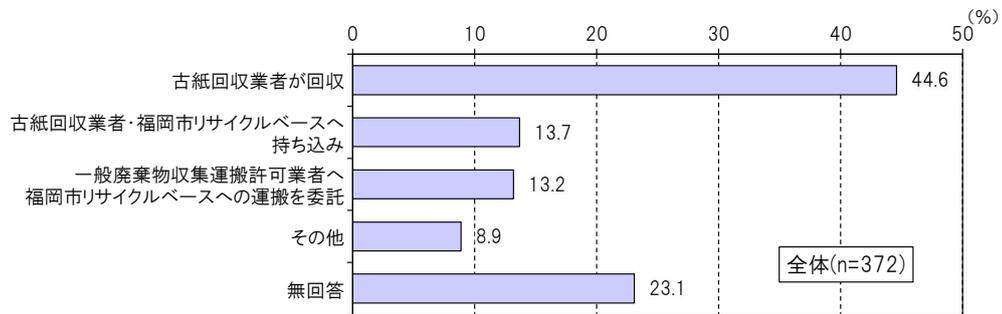
【表 1-5-3.①】古紙の年間排出量 (t)

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サン プル 数	〽 1 t 未 満	1 〽 2 t 未 満	2 〽 3 t 未 満	3 〽 5 t 未 満	5 〽 1 0 t 未 満	1 0 〽 2 0 t 未 満	2 0 〽 3 0 t 未 満	3 0 〽 5 0 t 未 満	5 0 t 以 上	無 回 答	平均 排 出 量 (t /年)	
														全体
		100.0 372	17.5 65	7.8 29	4.8 18	3.8 14	7.5 28	4.6 17	1.9 7	1.6 6	4.3 16	46.2 172	24.6	
業 種 別	農業、林業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
	漁業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
	建設業	16	37.5	6.3	12.5	-	6.3	-	-	-	-	37.5	1.1	
	製造業	33	15.2	12.1	-	3.0	6.1	-	3.0	-	-	18.2	42.4	108.1
	電気・ガス・熱供給・水道業	8	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	12.5	37.5	14.1
	情報通信業	4	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	50.0	20.4
	運輸業・郵便業	13	-	-	-	-	-	30.8	7.7	-	-	7.7	53.8	37.0
	卸売業	22	18.2	9.1	4.5	4.5	4.5	-	13.6	-	-	-	45.5	7.1
	小売業	17	5.9	5.9	-	-	5.9	17.6	-	-	-	11.8	52.9	62.2
	金融業・保険業	10	-	-	-	-	10.0	-	-	20.0	10.0	60.0	35.4	
	不動産業・物品賃貸業	10	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90.0	0.7
	学術研究・専門・技術サービス業	7	42.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	57.1	0.0
	宿泊業	26	23.1	11.5	7.7	11.5	3.8	3.8	-	3.8	-	-	34.6	4.9
	飲食サービス業	12	-	8.3	-	-	8.3	-	-	-	-	-	83.3	3.5
	生活関連サービス業・娯楽業	6	16.7	16.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3	1.5
	学校教育	74	8.1	12.2	9.5	8.1	18.9	9.5	2.7	1.4	6.8	23.0	27.3	
	その他の教育・学習支援業	7	-	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	-	71.4	2.0
	医療	32	25.0	-	3.1	-	9.4	-	-	-	-	-	62.5	2.3
	福祉	34	26.5	2.9	2.9	5.9	5.9	-	-	-	-	-	55.9	1.8
複合サービス業	3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	3.4	
サービス業（他に分類されないもの）	28	35.7	7.1	3.6	3.6	-	7.1	-	-	-	-	42.9	2.6	
無回答	7	14.3	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-	71.4	20.1	
建 築 物 別 特 定 事 業 用	該当している	159	17.0	11.9	6.3	7.5	16.4	8.8	3.8	3.1	8.8	16.4	30.7	
	該当していない	154	17.5	4.5	3.2	0.6	1.3	1.9	0.6	-	0.6	69.5	5.5	
	わからない	41	19.5	7.3	4.9	-	-	-	-	-	-	68.3	0.9	
	無回答	18	16.7	-	5.6	5.6	-	-	-	5.6	5.6	61.1	81.1	
従 業 員 数 別	1~4人	25	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	80.0	0.1	
	5~9人	74	17.6	9.5	1.4	-	-	1.4	-	-	-	70.3	1.1	
	10~19人	67	25.4	7.5	4.5	-	3.0	1.5	1.5	-	-	56.7	2.5	
	20~29人	49	24.5	4.1	6.1	6.1	4.1	4.1	2.0	-	2.0	46.9	8.1	
	30~49人	49	22.4	12.2	8.2	6.1	10.2	6.1	-	2.0	2.0	30.6	19.6	
	50~99人	46	10.9	13.0	2.2	6.5	15.2	6.5	4.3	-	8.7	32.6	49.7	
	100~199人	25	4.0	12.0	8.0	4.0	20.0	24.0	8.0	-	8.0	12.0	21.5	
	200~299人	8	-	-	25.0	-	37.5	12.5	12.5	-	-	-	12.5	8.3
	300人以上	22	-	-	9.1	18.2	18.2	-	-	13.6	36.4	4.5	85.6	
無回答	7	14.3	-	-	-	-	-	-	28.6	-	57.1	27.4		

## II 調査結果

### ②処理方法

【図 1-5-3.②】古紙の処理方法



また、〈古紙〉の処分方法についてたずねたところ、「古紙回収業者が回収」(44.6%)が最も高く、次いで「古紙回収業者・福岡市リサイクルベースへ持ち込み」(13.7%)、「一般廃棄物収集運搬許可業者へ福岡市リサイクルベースへの運搬を委託」(13.2%)、「その他」(8.9%)となっている。

【表 1-5-3.②】古紙の処理方法

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サン プル 数	古 紙 回 収 業 者 が 回 収	市 古 紙 回 収 業 者 ・ 福 岡 へ 持 ち 込 み	運 搬 を 委 託	許 可 業 者 へ 福 岡 市 へ の	一 般 廃 棄 物 集 積 運 搬	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 372	44.6 166	13.7 51	13.2 49	8.9 33	23.1 86		
業 種 別	農業、林業	1	-	-	-	-	100.0		
	漁業	1	-	-	-	-	100.0		
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	-	-	100.0	-	-		
	建設業	16	56.3	25.0	6.3	6.3	6.3		
	製造業	33	54.5	12.1	12.1	6.1	21.2		
	電気・ガス・熱供給・水道業	8	50.0	12.5	25.0	12.5	12.5		
	情報通信業	4	25.0	-	25.0	-	50.0		
	運輸業・郵便業	13	61.5	7.7	-	-	30.8		
	卸売業	22	40.9	4.5	9.1	18.2	27.3		
	小売業	17	41.2	11.8	11.8	11.8	29.4		
	金融業・保険業	10	40.0	-	10.0	10.0	40.0		
	不動産業・物品賃貸業	10	20.0	20.0	10.0	-	50.0		
	学術研究・専門・技術サービス業	7	14.3	14.3	42.9	-	28.6		
	宿泊業	26	34.6	-	19.2	11.5	34.6		
	飲食サービス業	12	8.3	8.3	-	16.7	66.7		
	生活関連サービス業・娯楽業	6	66.7	16.7	-	-	16.7		
	学校教育	74	63.5	13.5	12.2	4.1	12.2		
	その他の教育・学習支援業	7	57.1	28.6	-	14.3	-		
	医療	32	25.0	18.8	25.0	9.4	25.0		
	福祉	34	38.2	23.5	14.7	14.7	14.7		
複合サービス業	3	66.7	33.3	-	-	-			
サービス業（他に分類されないもの）	28	42.9	17.9	14.3	14.3	17.9			
無回答	7	42.9	14.3	-	14.3	28.6			
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	159	57.9	10.1	17.0	5.7	15.1		
	該当していない	154	29.9	18.2	11.0	14.9	27.3		
	わからない	41	46.3	12.2	9.8	2.4	34.1		
	無回答	18	50.0	11.1	5.6	-	33.3		
従 業 員 数 別	1～4人	25	32.0	8.0	12.0	12.0	44.0		
	5～9人	74	37.8	23.0	8.1	10.8	20.3		
	10～19人	67	26.9	17.9	16.4	9.0	31.3		
	20～29人	49	40.8	18.4	18.4	10.2	20.4		
	30～49人	49	42.9	8.2	18.4	12.2	22.4		
	50～99人	46	60.9	8.7	13.0	8.7	17.4		
	100～199人	25	64.0	4.0	12.0	4.0	16.0		
	200～299人	8	75.0	12.5	-	-	12.5		
	300人以上	22	77.3	-	9.1	-	13.6		
無回答	7	57.1	14.3	-	-	28.6			

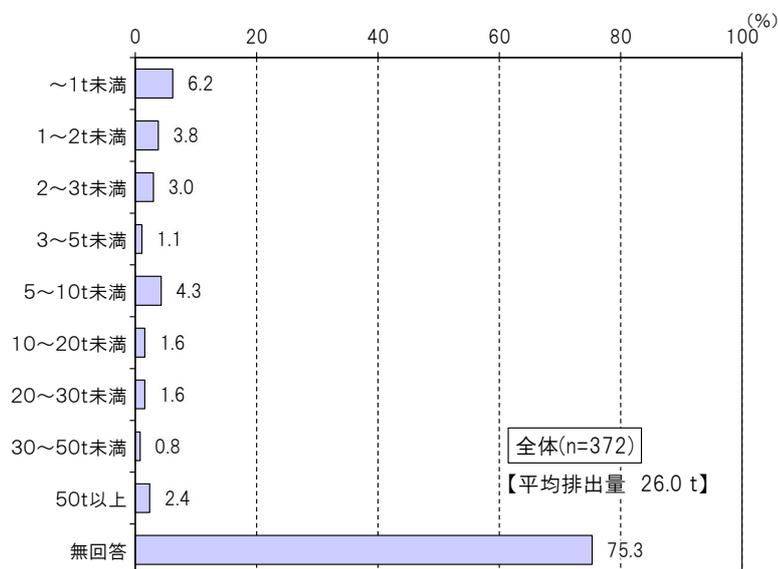
## II 調査結果

### 1-5-4 食品廃棄物

■ <食品廃棄物>の年間平均排出量は「26.0 t」、処分方法は「無回答」(74.2%)が大半。

#### ①年間排出量

【図 1-5-4.①】 食品廃棄物の年間排出量 (t)



問2で「把握している」と答えた事業所(372社)に、<食品廃棄物>の年間排出量についてたずねたところ、「～1 t未満」と回答する事業所が6.2%で最も高く、年間の平均排出量は26.0 tとなっている。なお、「無回答」(75.3%)が8割弱を占める。

これを業種別にみると、全体結果とほぼ同様の回答傾向を示している。

特定事業用建築物別にみると、該当していない事業所の大半は「無回答」のため、コメントは省略する。

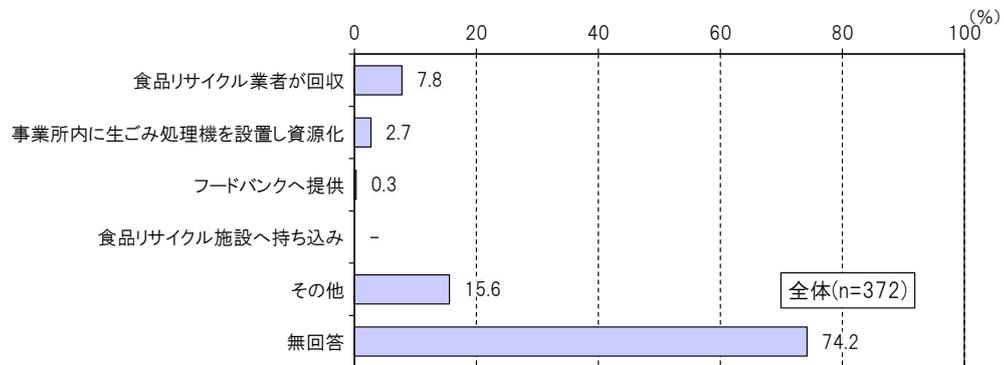
【表 1-5-4.①】食品廃棄物の年間排出量 (t)

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サン プル 数	1 t 未 満	1 t 2 t 未 満	2 t 3 t 未 満	3 t 5 t 未 満	5 t 1 0 t 未 満	1 0 t 2 0 t 未 満	2 0 t 3 0 t 未 満	3 0 t 5 0 t 未 満	5 0 t 以 上	無 回 答	平均 排 出 量 (t/年)
全体		100.0 372	6.2 23	3.8 14	3.0 11	1.1 4	4.3 16	1.6 6	1.6 6	0.8 3	2.4 9	75.3 280	26.0
業 種 別	農業、林業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	漁業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	建設業	16	-	6.3	-	-	-	-	-	-	-	93.8	1.0
	製造業	33	6.1	3.0	3.0	-	-	-	-	3.0	3.0	81.8	16.3
	電気・ガス・熱供給・水道業	8	25.0	-	-	-	-	-	12.5	-	-	62.5	8.4
	情報通信業	4	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	75.0	6.0
	運輸業・郵便業	13	-	-	7.7	-	-	-	-	-	-	92.3	2.2
	卸売業	22	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	90.9	0.3
	小売業	17	5.9	17.6	-	-	-	-	5.9	5.9	11.8	52.9	91.1
	金融業・保険業	10	-	-	10.0	-	-	-	-	-	-	90.0	2.8
	不動産業・物品賃貸業	10	-	10.0	-	-	-	-	-	-	-	90.0	1.2
	学術研究・専門・技術サービス業	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	宿泊業	26	3.8	11.5	3.8	-	19.2	3.8	3.8	-	7.7	46.2	25.7
	飲食サービス業	12	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	91.7	0.1
	生活関連サービス業・娯楽業	6	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	83.3	0.2
	学校教育	74	10.8	5.4	5.4	4.1	9.5	2.7	2.7	-	2.7	56.8	25.1
	その他の教育・学習支援業	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	医療	32	3.1	-	6.3	-	-	3.1	3.1	3.1	3.1	78.1	27.7
	福祉	34	11.8	-	-	2.9	8.8	5.9	-	-	-	70.6	5.2
複合サービス業	3	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	118.1	
サービス業（他に分類されないもの）	28	-	-	3.6	-	-	-	-	-	-	96.4	2.0	
無回答	7	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-	85.7	1.0	
建 築 物 別 特 定 事 業 用	該当している	159	10.7	5.7	6.9	2.5	9.4	3.8	3.8	1.9	4.4	50.9	21.6
	該当していない	154	1.9	1.9	-	-	0.6	-	-	-	0.6	94.8	76.0
	わからない	41	7.3	2.4	-	-	-	-	-	-	-	90.2	0.3
	無回答	18	-	5.6	-	-	-	-	-	-	5.6	88.9	50.5
従 業 員 数 別	1～4人	25	12.0	-	-	-	-	-	-	-	-	88.0	0.1
	5～9人	74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	10～19人	67	11.9	4.5	-	-	1.5	-	-	-	-	82.1	0.9
	20～29人	49	8.2	2.0	2.0	-	10.2	2.0	-	-	4.1	71.4	89.3
	30～49人	49	6.1	14.3	-	2.0	8.2	2.0	-	2.0	2.0	63.3	9.3
	50～99人	46	6.5	4.3	10.9	-	4.3	-	4.3	-	-	69.6	5.8
	100～199人	25	8.0	-	12.0	4.0	4.0	12.0	4.0	4.0	12.0	40.0	33.9
	200～299人	8	-	-	-	-	-	12.5	12.5	-	-	75.0	22.0
	300人以上	22	-	-	9.1	9.1	13.6	-	9.1	4.5	13.6	40.9	25.5
無回答	7	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-	85.7	1.0	

## II 調査結果

### ②処理方法

【図 1-5-4.②】 食品廃棄物の処理方法



また、＜食品廃棄物＞の処分方法についてたずねたところ、「その他」(15.6%)が最も高く、次いで「食品リサイクル業者が回収」(7.8%)、「事業所内に生ごみ処理機を設置し資源化」(2.7%)となっている。

「その他」の内容としては、「一般廃棄物収集運搬許可業者へ委託」などが挙げられている。

【表 1-5-4.②】食品廃棄物の処理方法

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	が食 品回 収 サイ クル 業者	事 業 所 内 に 生 ご み 化	フ ード バ ン ク へ 提 供	食 品 リ サ イ ク ル 施 設 へ 持 ち 込 み	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 372	7.8 29	2.7 10	0.3 1	- -	15.6 58	74.2 276
業 種 別	農業、林業	1	-	-	-	-	-	100.0
	漁業	1	-	-	-	-	-	100.0
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	-	-	-	-	-	100.0
	建設業	16	6.3	-	-	-	6.3	87.5
	製造業	33	9.1	-	-	-	9.1	81.8
	電気・ガス・熱供給・水道業	8	12.5	-	-	-	25.0	62.5
	情報通信業	4	-	-	-	-	25.0	75.0
	運輸業・郵便業	13	-	-	-	-	7.7	92.3
	卸売業	22	-	4.5	4.5	-	-	90.9
	小売業	17	17.6	5.9	-	-	17.6	58.8
	金融業・保険業	10	-	-	-	-	10.0	90.0
	不動産業・物品賃貸業	10	-	-	-	-	-	100.0
	学術研究・専門・技術サービス業	7	-	-	-	-	-	100.0
	宿泊業	26	11.5	3.8	-	-	34.6	50.0
	飲食サービス業	12	-	-	-	-	33.3	66.7
	生活関連サービス業・娯楽業	6	-	-	-	-	16.7	83.3
	学校教育	74	12.2	5.4	-	-	20.3	62.2
	その他の教育・学習支援業	7	14.3	-	-	-	-	85.7
	医療	32	3.1	-	-	-	18.8	78.1
	福祉	34	17.6	8.8	-	-	23.5	55.9
複合サービス業	3	-	-	-	-	33.3	66.7	
サービス業（他に分類されないもの）	28	-	-	-	-	3.6	96.4	
無回答	7	14.3	-	-	-	14.3	71.4	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	159	13.8	3.1	0.6	-	25.8	57.9
	該当していない	154	3.2	0.6	-	-	7.8	88.3
	わからない	41	2.4	9.8	-	-	9.8	78.0
	無回答	18	5.6	-	-	-	5.6	88.9
従 業 員 数 別	1~4人	25	4.0	-	-	-	12.0	84.0
	5~9人	74	2.7	-	-	-	5.4	91.9
	10~19人	67	6.0	4.5	-	-	13.4	77.6
	20~29人	49	10.2	4.1	-	-	22.4	63.3
	30~49人	49	10.2	4.1	2.0	-	18.4	67.3
	50~99人	46	10.9	4.3	-	-	10.9	73.9
	100~199人	25	12.0	4.0	-	-	32.0	52.0
	200~299人	8	-	-	-	-	25.0	75.0
300人以上	22	18.2	-	-	-	27.3	54.5	
無回答	7	-	-	-	-	14.3	85.7	

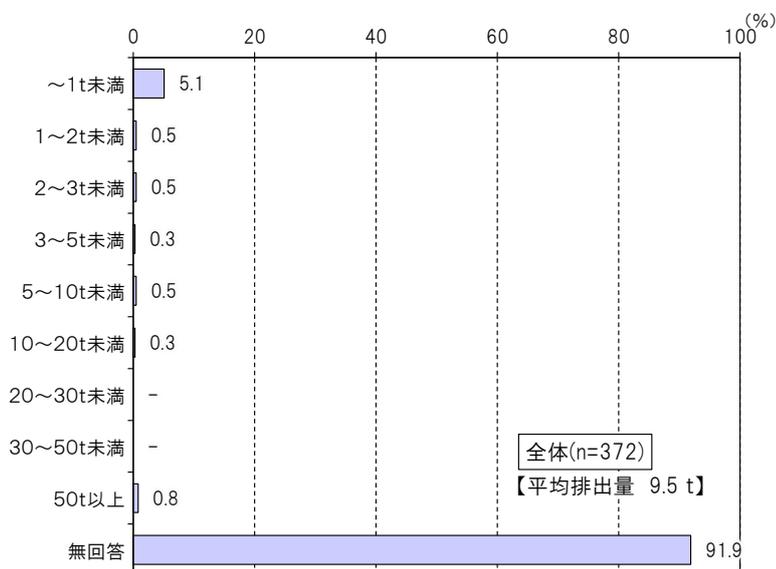
## II 調査結果

### 1-5-5 せん定枝・木くず

■<せん定枝・木くず>の年間平均排出量は「9.5 t」、処分方法は「無回答」（83.1%）が大半。

#### ①年間排出量

【図 1-5-5.①】 せん定枝・木くずの年間排出量 (t)



問2で「把握している」と答えた事業所（372社）に、<せん定枝・木くず>の年間排出量についてたずねたところ、「～1 t 未満」と回答する事業所が5.1%で最も高く、年間の平均排出量は9.5 tとなっている。なお、「無回答」（91.9%）が9割強を占める。

これを業種別にみると、全体結果とほぼ同様の回答傾向を示している。

特定事業用建築物別にみると、事業所の大半は「無回答」のため、コメントは省略する。

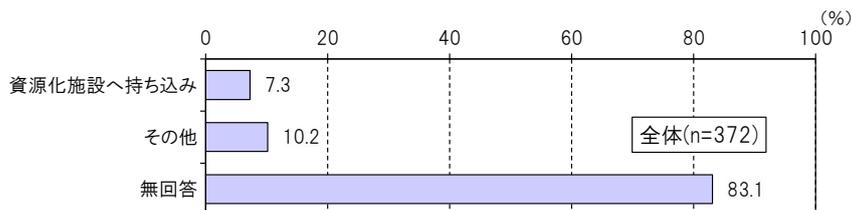
【表 1-5-5.①】せん定枝・木くずの年間排出量 (t)

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サン プル 数	1 t 未 満	1 t 2 t 未 満	2 t 3 t 未 満	3 t 5 t 未 満	5 t 1 0 t 未 満	1 0 t 2 0 t 未 満	2 0 t 3 0 t 未 満	3 0 t 5 0 t 未 満	5 0 t 以 上	無 回 答	平均 排 出 量 (t / 年)
全体		100.0 372	5.1 19	0.5 2	0.5 2	0.3 1	0.5 2	0.3 1	- -	- -	0.8 3	91.9 342	9.5
業 種 別	農業、林業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	60.0
	漁業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	建設業	16	12.5	-	-	6.3	-	-	-	-	-	81.3	2.1
	製造業	33	3.0	3.0	3.0	-	-	-	-	-	-	90.9	1.5
	電気・ガス・熱供給・水道業	8	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0	0.0
	情報通信業	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	運輸業・郵便業	13	23.1	-	-	-	7.7	7.7	-	-	7.7	53.8	13.4
	卸売業	22	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	90.9	0.2
	小売業	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	金融業・保険業	10	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	90.0	0.5
	不動産業・物品賃貸業	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	学術研究・専門・技術サービス業	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	宿泊業	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	飲食サービス業	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	生活関連サービス業・娯楽業	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	学校教育	74	9.5	-	1.4	-	1.4	-	-	-	1.4	86.5	13.0
	その他の教育・学習支援業	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	医療	32	-	3.1	-	-	-	-	-	-	-	96.9	2.0
	福祉	34	2.9	-	-	-	-	-	-	-	-	97.1	0.5
複合サービス業	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
サービス業（他に分類されないもの）	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
無回答	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
建 築 物 別 特 定 事 業 用	該当している	159	6.3	0.6	1.3	-	1.3	-	-	-	1.3	89.3	11.3
	該当していない	154	5.2	-	-	0.6	-	-	-	-	0.6	93.5	7.0
	わからない	41	2.4	-	-	-	-	2.4	-	-	-	95.1	10.1
	無回答	18	-	5.6	-	-	-	-	-	-	-	94.4	2.0
従 業 員 数 別	1～4人	25	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	96.0	0.1
	5～9人	74	4.1	-	-	-	-	-	-	-	1.4	94.6	15.3
	10～19人	67	7.5	-	-	1.5	-	-	-	-	-	91.0	1.1
	20～29人	49	6.1	-	-	-	-	2.0	-	-	-	91.8	5.5
	30～49人	49	4.1	2.0	-	-	2.0	-	-	-	-	91.8	2.2
	50～99人	46	4.3	-	-	-	2.2	-	-	-	-	93.5	2.2
	100～199人	25	8.0	-	-	-	-	-	-	-	-	92.0	0.3
	200～299人	8	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5	87.5	52.2
	300人以上	22	4.5	4.5	9.1	-	-	-	-	-	4.5	77.3	25.3
無回答	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	

II 調査結果

②処理方法

【図 1-5-5.②】せん定枝・木くずの処理方法



また、<せん定枝・木くず>の処分方法ついてたずねたところ、「その他」(10.2%)が最も高く、次いで「資源化施設へ持ち込み」(7.3%)となっている。

【表 1-5-5.②】せん定枝・木くずの処理方法

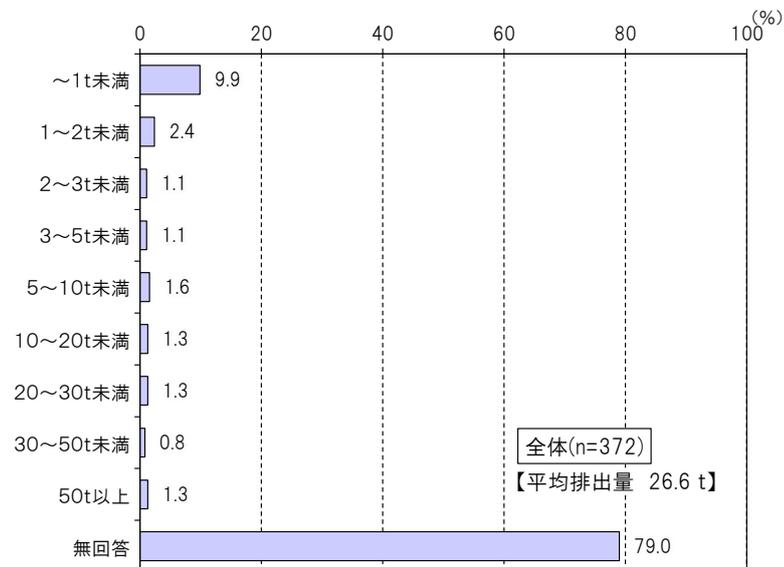
数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	み 資 源 化 施 設 へ 持 ち 込	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 372	7.3 27	10.2 38	83.1 309
業 種 別	農業、林業	1	100.0	-	-
	漁業	1	-	-	100.0
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	-	-	100.0
	建設業	16	31.3	-	68.8
	製造業	33	6.1	6.1	90.9
	電気・ガス・熱供給・水道業	8	25.0	-	75.0
	情報通信業	4	-	-	100.0
	運輸業・郵便業	13	38.5	7.7	53.8
	卸売業	22	4.5	13.6	81.8
	小売業	17	5.9	-	94.1
	金融業・保険業	10	-	10.0	90.0
	不動産業・物品賃貸業	10	-	-	100.0
	学術研究・専門・技術サービス業	7	-	-	100.0
	宿泊業	26	-	3.8	96.2
	飲食サービス業	12	8.3	16.7	75.0
	生活関連サービス業・娯楽業	6	-	-	100.0
	学校教育	74	8.1	24.3	67.6
	その他の教育・学習支援業	7	-	-	100.0
	医療	32	-	6.3	93.8
	福祉	34	8.8	17.6	76.5
複合サービス業	3	-	-	100.0	
サービス業（他に分類されないもの）	28	-	3.6	96.4	
無回答	7	-	14.3	85.7	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	159	6.3	15.7	78.6
	該当していない	154	9.1	5.8	85.7
	わからない	41	4.9	4.9	90.2
	無回答	18	5.6	11.1	83.3
従 業 員 数 別	1~4人	25	4.0	4.0	92.0
	5~9人	74	6.8	5.4	87.8
	10~19人	67	10.4	6.0	83.6
	20~29人	49	10.2	12.2	77.6
	30~49人	49	6.1	14.3	81.6
	50~99人	46	4.3	6.5	89.1
	100~199人	25	4.0	12.0	84.0
	200~299人	8	-	12.5	87.5
	300人以上	22	13.6	36.4	54.5
無回答	7	-	14.3	85.7	

## 1-5-6 その他の資源物

- <その他の資源物>の年間平均排出量は「26.6 t」、処分方法は「無回答」(75.5%)が大半。
- <その他の資源物>の内容としては、「缶」、「空きびん」、「ペットボトル」、「段ボール」など。

## ①年間排出量

【図 1-5-6.①】 その他の資源物の年間排出量 (t)



問2で「把握している」と答えた事業所(372社)に、<その他の資源物>の年間排出量についてたずねたところ、「~1 t未満」と回答する事業所が9.9%で最も高く、年間の平均排出量は26.6 tとなっている。なお、「無回答」(79.0%)が8割弱を占める。

なお、<その他の資源物>の内容としては、「缶」、「空きびん」、「ペットボトル」、「段ボール」などが挙げられている。

これを業種別にみると、年間の平均排出量は「製造業」が131.6 tと、他の業種より多くみられる。

特定事業用建築物別にみると、該当している事業所の年間の平均排出量が31.7 tと、該当していない事業所(3.6 t)より多くみられる。

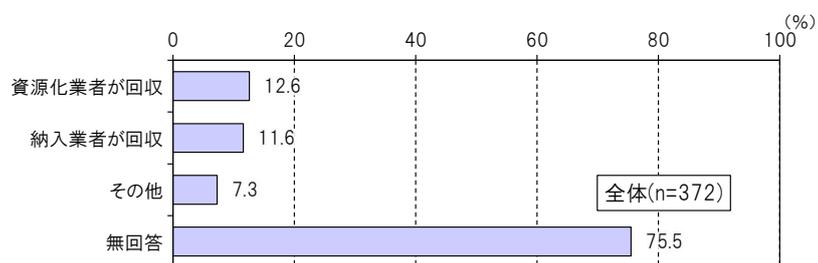
II 調査結果

【表 1-5-6.①】 その他の資源物の年間排出量 (t)

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	1 t 未 満	1 t 2 t 未 満	2 t 3 t 未 満	3 t 5 t 未 満	5 t 1 0 t 未 満	1 0 t 2 0 t 未 満	2 0 t 3 0 t 未 満	3 0 t 5 0 t 未 満	5 0 t 以 上	無 回 答	平均 排 出 量 (t / 年)	
全体		100.0 372	9.9 37	2.4 9	1.1 4	1.1 4	1.6 6	1.3 5	1.3 5	0.8 3	1.3 5	79.0 294	26.6	
業 種 別	農業、林業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
	漁業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
	建設業	16	6.3	-	-	6.3	-	-	-	-	-	87.5	2.3	
	製造業	33	-	3.0	3.0	-	3.0	3.0	-	-	9.1	78.8	131.6	
	電気・ガス・熱供給・水道業	8	-	-	-	-	12.5	-	-	-	-	-	87.5	7.0
	情報通信業	4	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	50.0	2.8
	運輸業・郵便業	13	7.7	7.7	7.7	-	-	-	-	-	7.7	69.2	100.5	
	卸売業	22	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90.9	0.2
	小売業	17	-	-	5.9	-	5.9	5.9	5.9	-	-	-	76.5	13.7
	金融業・保険業	10	20.0	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-	70.0	10.6
	不動産業・物品賃貸業	10	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-	-	90.0	12.6
	学術研究・専門・技術サービス業	7	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85.7	0.1
	宿泊業	26	11.5	11.5	3.8	-	3.8	3.8	-	3.8	-	-	61.5	6.2
	飲食サービス業	12	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83.3	0.5
	生活関連サービス業・娯楽業	6	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	66.7	25.0
	学校教育	74	12.2	1.4	-	2.7	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	77.0	29.1
	その他の教育・学習支援業	7	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85.7	0.9
	医療	32	18.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	81.3	0.4
	福祉	34	14.7	2.9	-	-	-	-	-	-	-	-	82.4	0.7
複合サービス業	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
サービス業（他に分類されないもの）	28	10.7	7.1	-	-	3.6	-	-	-	3.6	-	75.0	6.1	
無回答	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
建 築 物 別 特 定 事 業 用	該当している	159	15.1	4.4	2.5	1.9	3.1	2.5	1.9	1.3	2.5	64.8	31.7	
	該当していない	154	6.5	1.3	-	0.6	0.6	0.6	0.6	-	-	89.6	3.6	
	わからない	41	7.3	-	-	-	-	-	-	-	2.4	90.2	50.7	
	無回答	18	-	-	-	-	-	-	5.6	5.6	-	88.9	30.0	
従 業 員 数 別	1～4人	25	-	4.0	-	-	-	4.0	-	-	-	92.0	6.9	
	5～9人	74	8.1	-	-	-	-	-	2.7	-	-	89.2	5.9	
	10～19人	67	10.4	-	-	1.5	3.0	-	-	1.5	-	83.6	4.4	
	20～29人	49	10.2	4.1	2.0	-	4.1	-	-	2.0	-	77.6	6.7	
	30～49人	49	18.4	2.0	2.0	-	-	-	2.0	-	2.0	73.5	17.8	
	50～99人	46	8.7	4.3	2.2	-	2.2	4.3	-	-	-	78.3	4.7	
	100～199人	25	16.0	8.0	4.0	4.0	-	-	8.0	4.0	4.0	52.0	18.0	
	200～299人	8	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5	87.5	396.3	
	300人以上	22	4.5	4.5	-	9.1	4.5	9.1	-	-	9.1	59.1	113.3	
無回答	7	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	85.7	1.0		

## ②処理方法

【図 1-5-6.②】 その他の資源物の処理方法



また、＜その他の資源物＞の処分方法ついてたずねたところ、「資源化業者が回収」（12.6%）が最も高く、次いで「納入業者が回収」（11.6%）、「その他」（7.3%）となっている。

II 調査結果

【表 1-5-6.②】 その他の資源物の処理方法

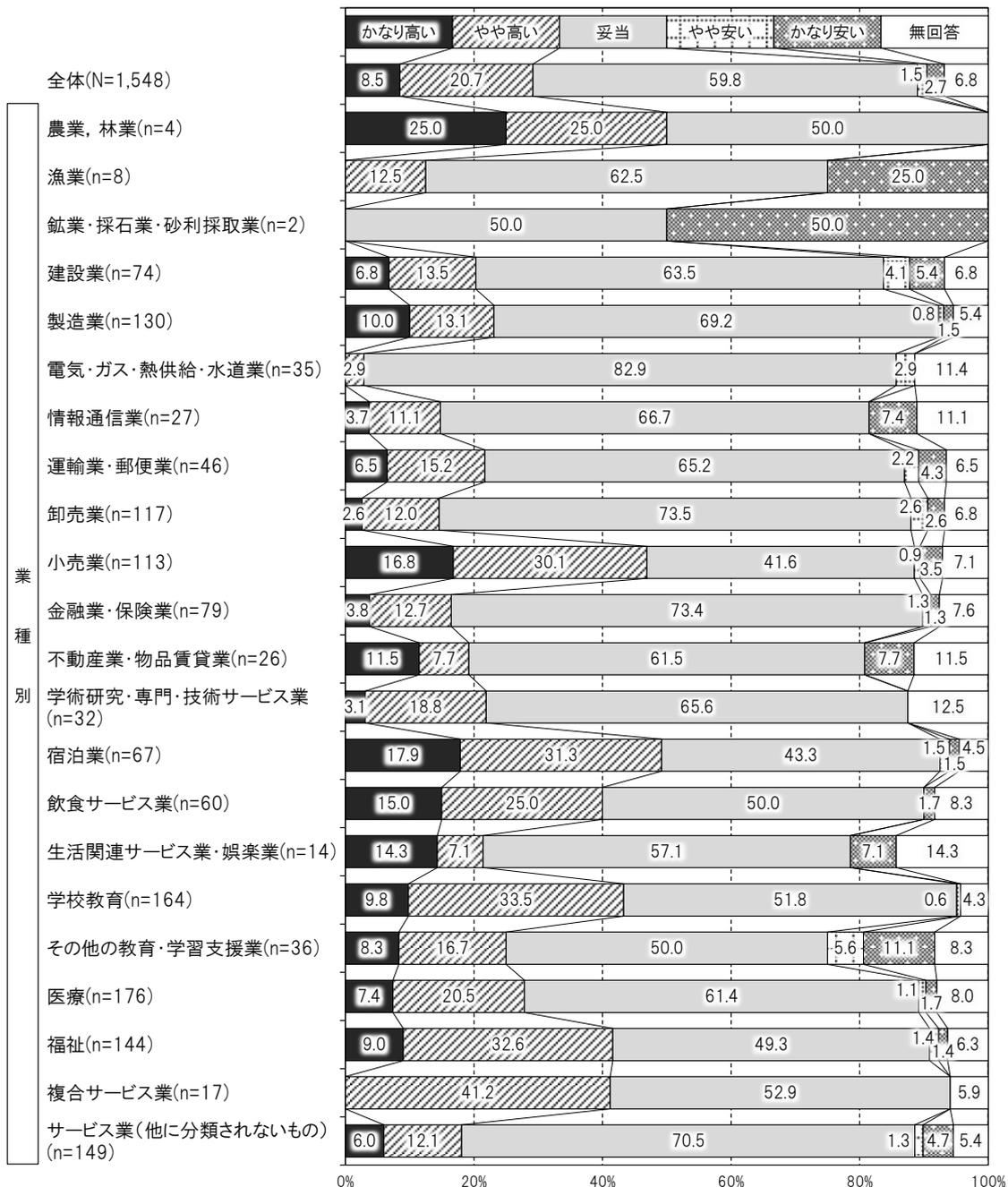
数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	資 源 化 業 者 が 回 収	納 入 業 者 が 回 収	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 372	12.6 47	11.6 43	7.3 27	75.5 281
業 種 別	農業、林業	1	-	-	-	100.0
	漁業	1	-	-	-	100.0
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	-	-	-	100.0
	建設業	16	6.3	6.3	-	87.5
	製造業	33	21.2	9.1	6.1	69.7
	電気・ガス・熱供給・水道業	8	25.0	12.5	12.5	75.0
	情報通信業	4	50.0	25.0	25.0	50.0
	運輸業・郵便業	13	15.4	7.7	23.1	61.5
	卸売業	22	-	9.1	-	90.9
	小売業	17	5.9	5.9	5.9	82.4
	金融業・保険業	10	10.0	30.0	10.0	70.0
	不動産業・物品賃貸業	10	-	-	10.0	90.0
	学術研究・専門・技術サービス業	7	14.3	-	14.3	71.4
	宿泊業	26	19.2	30.8	3.8	57.7
	飲食サービス業	12	16.7	16.7	8.3	66.7
	生活関連サービス業・娯楽業	6	-	16.7	-	83.3
	学校教育	74	16.2	10.8	2.7	78.4
	その他の教育・学習支援業	7	-	14.3	42.9	57.1
	医療	32	12.5	3.1	9.4	78.1
	福祉	34	8.8	14.7	11.8	73.5
複合サービス業	3	-	-	-	100.0	
サービス業（他に分類されないもの）	28	14.3	14.3	7.1	71.4	
無回答	7	-	-	-	100.0	
特 定 建 築 物 業 用	該当している	159	21.4	16.4	10.1	64.8
	該当していない	154	7.1	8.4	5.2	82.5
	わからない	41	2.4	7.3	7.3	85.4
	無回答	18	5.6	5.6	-	88.9
従 業 員 数 別	1～4人	25	12.0	4.0	12.0	80.0
	5～9人	74	4.1	8.1	2.7	86.5
	10～19人	67	10.4	6.0	10.4	76.1
	20～29人	49	10.2	20.4	4.1	73.5
	30～49人	49	18.4	20.4	4.1	69.4
	50～99人	46	10.9	6.5	6.5	80.4
	100～199人	25	32.0	20.0	24.0	48.0
	200～299人	8	12.5	-	-	87.5
	300人以上	22	27.3	13.6	9.1	63.6
無回答	7	-	14.3	-	85.7	

1-6 ごみ処理（資源物を除く）にかかる費用の負担感

■費用の負担感は、「妥当」（59.8%）が6割弱，『高い』（29.2%）が3割弱。

問3. 貴事業所のごみ処理（資源物を除く）にかかる費用にかかる負担感はどの程度ですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つだけ）

【図 1-6.ア】 ごみ処理（資源物を除く）にかかる費用の負担感（業種別）

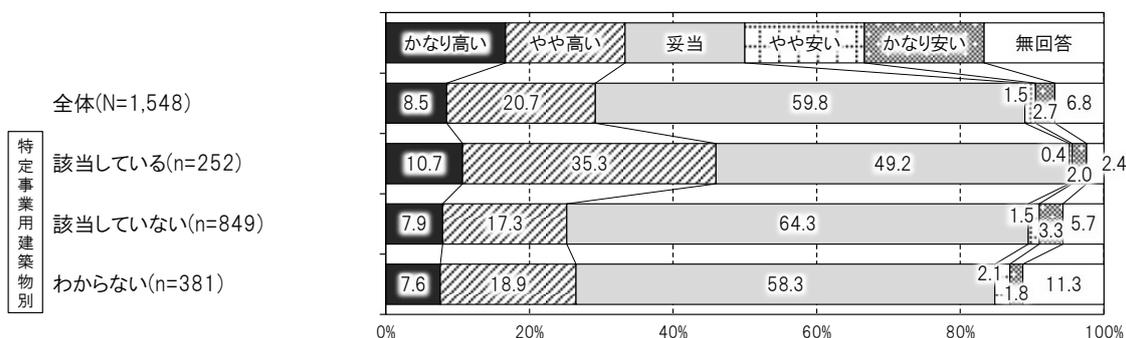


## II 調査結果

ごみ処理（資源物を除く）にかかる費用の負担感についてたずねたところ、「妥当」と回答する事業所が59.8%と6割弱を占めるものの、「かなり高い」（8.5%）、「やや高い」（20.7%）を合わせて『高い』と回答する事業所は29.2%となっている。一方、『安い』（「やや安い」と「安い」の合計）は4.2%となっている。

これを業種別にみると、いずれの業種とも「妥当」と回答する事業所が最も多く、特に「電気・ガス・熱供給・水道業」（82.9%）は8割強、「卸売業」（73.5%）、「金融業・保険業」（73.4%）は7割強を占め、他の業種より高くなっている。一方、『高い』でみると、「宿泊業」（49.2%）、「小売業」（46.9%）は5割弱、「学校教育」（43.3%）、「福祉」（41.6%）は4割強を占め、他の業種より高くなっている。

【図 1-6.1】 ごみ処理（資源物を除く）にかかる費用の負担感（特定事業用建築物別）



特定事業用建築物別にみると、いずれも「妥当」と回答する事業所が最も多いが、該当している事業所は『高い』が46.0%を占めている。

【表 1-6】ごみ処理（資源物を除く）にかかる費用の負担感

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	か な り 高 い	や や 高 い	妥 当	や や 安 い	か な り 安 い	無 回 答
全体		100.0 1,548	8.5 131	20.7 320	59.8 926	1.5 23	2.7 42	6.8 106
業 種 別	農業、林業	4	25.0	25.0	50.0	-	-	-
	漁業	8	-	12.5	62.5	-	25.0	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	-	-	50.0	-	50.0	-
	建設業	74	6.8	13.5	63.5	4.1	5.4	6.8
	製造業	130	10.0	13.1	69.2	0.8	1.5	5.4
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	-	2.9	82.9	2.9	-	11.4
	情報通信業	27	3.7	11.1	66.7	-	7.4	11.1
	運輸業・郵便業	46	6.5	15.2	65.2	2.2	4.3	6.5
	卸売業	117	2.6	12.0	73.5	2.6	2.6	6.8
	小売業	113	16.8	30.1	41.6	0.9	3.5	7.1
	金融業・保険業	79	3.8	12.7	73.4	1.3	1.3	7.6
	不動産業・物品賃貸業	26	11.5	7.7	61.5	-	7.7	11.5
	学術研究・専門・技術サービス業	32	3.1	18.8	65.6	-	-	12.5
	宿泊業	67	17.9	31.3	43.3	1.5	1.5	4.5
	飲食サービス業	60	15.0	25.0	50.0	-	1.7	8.3
	生活関連サービス業・娯楽業	14	14.3	7.1	57.1	-	7.1	14.3
	学校教育	164	9.8	33.5	51.8	0.6	-	4.3
	その他の教育・学習支援業	36	8.3	16.7	50.0	5.6	11.1	8.3
	医療	176	7.4	20.5	61.4	1.1	1.7	8.0
	福祉	144	9.0	32.6	49.3	1.4	1.4	6.3
複合サービス業	17	-	41.2	52.9	-	-	5.9	
サービス業（他に分類されないもの）	149	6.0	12.1	70.5	1.3	4.7	5.4	
無回答	28	7.1	28.6	46.4	7.1	-	10.7	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	252	10.7	35.3	49.2	0.4	2.0	2.4
	該当していない	849	7.9	17.3	64.3	1.5	3.3	5.7
	わからない	381	7.6	18.9	58.3	2.1	1.8	11.3
	無回答	66	12.1	18.2	51.5	1.5	3.0	13.6
従 業 員 数 別	1~4人	121	9.1	13.2	57.0	3.3	7.4	9.9
	5~9人	454	6.4	16.1	62.3	2.2	3.7	9.3
	10~19人	364	7.7	18.4	63.7	1.1	2.5	6.6
	20~29人	179	10.6	24.6	57.5	0.6	2.2	4.5
	30~49人	167	12.0	19.8	61.1	0.6	1.2	5.4
	50~99人	125	8.8	34.4	53.6	-	0.8	2.4
	100~199人	55	12.7	25.5	58.2	1.8	-	1.8
	200~299人	18	5.6	33.3	55.6	-	-	5.6
	300人以上	43	4.7	46.5	37.2	2.3	-	9.3
無回答	22	13.6	18.2	54.5	4.5	-	9.1	

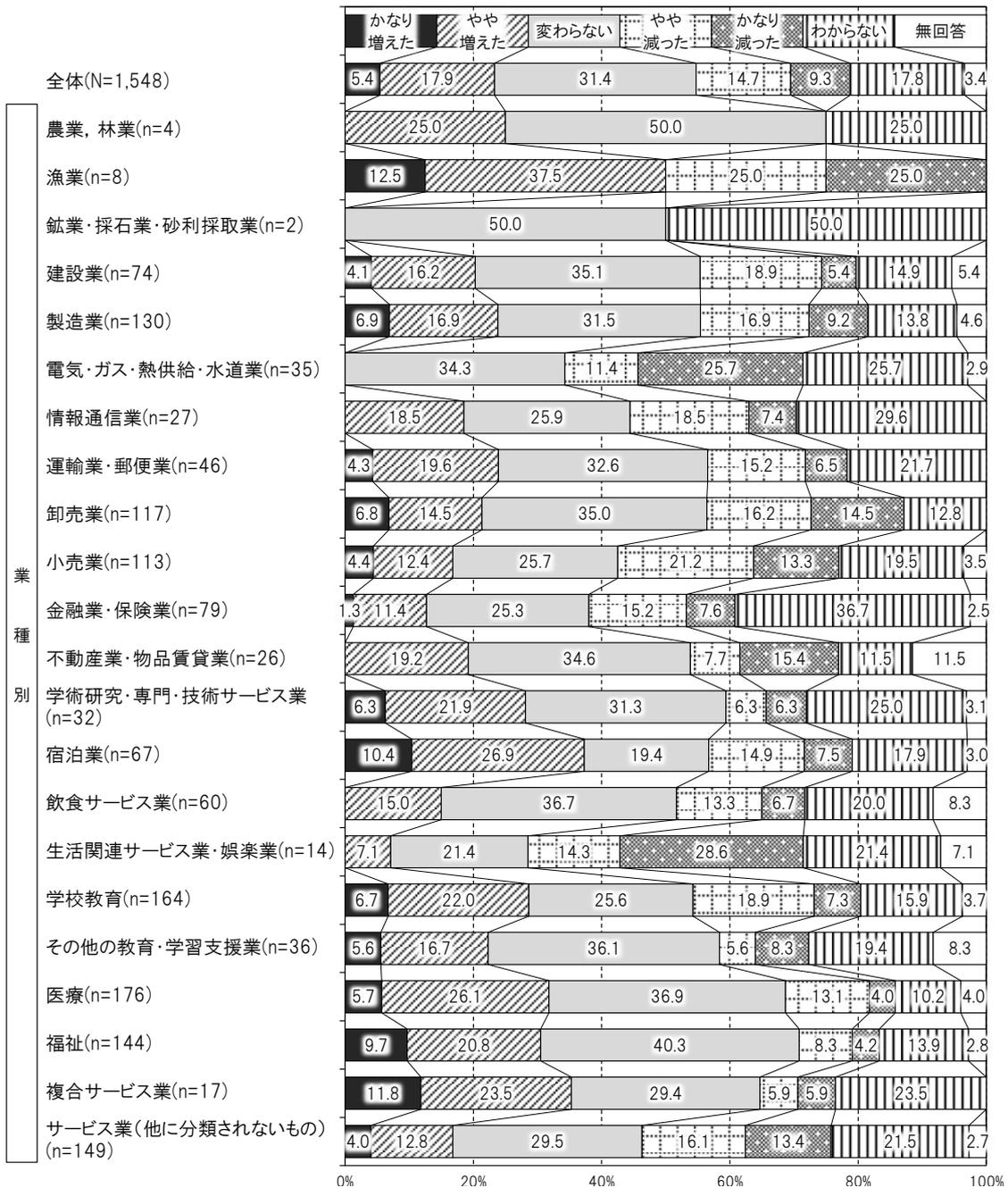
II 調査結果

1-7 ごみ（資源物を除く）の排出量の変化

■ごみの排出量の変化は、『増えた』が23.3%、『減った』が24.0%、「変わらない」が31.4%。

問4. 貴事業所から出るごみ（資源物を除く）の排出量は、10年前と比較すると、どのように変化していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つだけ）

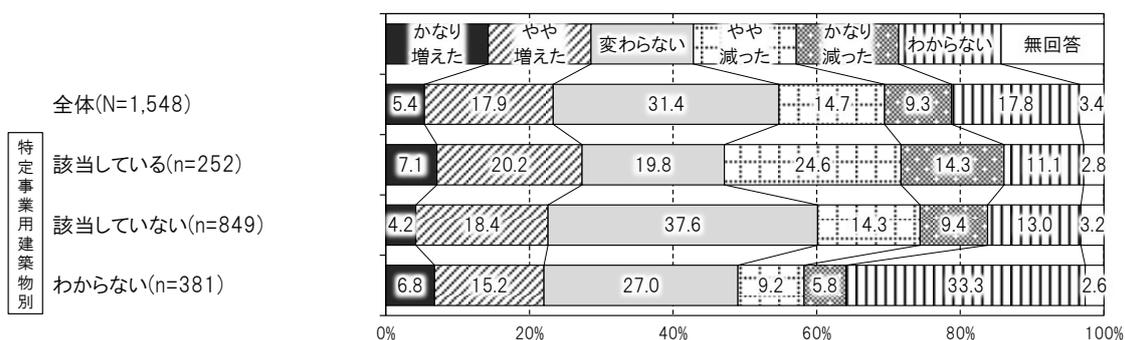
【図 1-7①.ア】 ごみ（資源物を除く）の排出量の変化（業種別）



10年前とのごみ排出量ついてたずねたところ、「かなり増えた」(5.4%)、「やや増えた」(17.9%)を合わせて『増えた』と回答する事業所は23.3%となっている。一方、「やや減った」(14.7%)、「かなり減った」(9.3%)を合わせて『減った』と回答する事業所は24.0%となっている。なお、「変わらない」は31.4%、「わからない」は17.8%となっている。

これを業種別にみると、大半の業種とも「変わらない」と回答する事業所が最も多いが、唯一、「宿泊業」は「やや増えた」と回答する事業所26.9%であり、『増えた』(37.3%)でみると4割弱を占めている。

【図1-7①.イ】ごみ(資源物を除く)の排出量の変化(特定事業用建築物別)



特定事業用建築物別にみると、該当している事業所は『減った』が38.9%と高い。

II 調査結果

【表 1-7①】ごみ（資源物を除く）の排出量の変化

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サン プル 数	か な り 増 え た	や や 増 え た	変 わ ら な い	や や 減 つ た	か な り 減 つ た	わ か ら な い	無 回 答
全体		100.0 1,548	5.4 84	17.9 277	31.4 486	14.7 228	9.3 144	17.8 276	3.4 53
業 種 別	農業、林業	4	-	25.0	50.0	-	-	25.0	-
	漁業	8	12.5	37.5	-	25.0	25.0	-	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	-	-	50.0	-	-	50.0	-
	建設業	74	4.1	16.2	35.1	18.9	5.4	14.9	5.4
	製造業	130	6.9	16.9	31.5	16.9	9.2	13.8	4.6
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	-	-	34.3	11.4	25.7	25.7	2.9
	情報通信業	27	-	18.5	25.9	18.5	7.4	29.6	-
	運輸業・郵便業	46	4.3	19.6	32.6	15.2	6.5	21.7	-
	卸売業	117	6.8	14.5	35.0	16.2	14.5	12.8	-
	小売業	113	4.4	12.4	25.7	21.2	13.3	19.5	3.5
	金融業・保険業	79	1.3	11.4	25.3	15.2	7.6	36.7	2.5
	不動産業・物品賃貸業	26	-	19.2	34.6	7.7	15.4	11.5	11.5
	学術研究・専門・技術サービス業	32	6.3	21.9	31.3	6.3	6.3	25.0	3.1
	宿泊業	67	10.4	26.9	19.4	14.9	7.5	17.9	3.0
	飲食サービス業	60	-	15.0	36.7	13.3	6.7	20.0	8.3
	生活関連サービス業・娯楽業	14	-	7.1	21.4	14.3	28.6	21.4	7.1
	学校教育	164	6.7	22.0	25.6	18.9	7.3	15.9	3.7
その他の教育・学習支援業	36	5.6	16.7	36.1	5.6	8.3	19.4	8.3	
医療	176	5.7	26.1	36.9	13.1	4.0	10.2	4.0	
福祉	144	9.7	20.8	40.3	8.3	4.2	13.9	2.8	
複合サービス業	17	11.8	23.5	29.4	5.9	5.9	23.5	-	
サービス業（他に分類されないもの）	149	4.0	12.8	29.5	16.1	13.4	21.5	2.7	
無回答	28	3.6	14.3	28.6	7.1	21.4	25.0	-	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	252	7.1	20.2	19.8	24.6	14.3	11.1	2.8
	該当していない	849	4.2	18.4	37.6	14.3	9.4	13.0	3.2
	わからない	381	6.8	15.2	27.0	9.2	5.8	33.3	2.6
	無回答	66	6.1	18.2	21.2	15.2	9.1	16.7	13.6
従 業 員 数 別	1～4人	121	2.5	10.7	32.2	15.7	17.4	18.2	3.3
	5～9人	454	4.0	12.3	38.1	13.7	9.3	17.6	5.1
	10～19人	364	4.4	19.8	34.3	14.8	8.0	15.7	3.0
	20～29人	179	7.8	20.1	27.9	17.9	7.3	17.9	1.1
	30～49人	167	7.2	26.9	28.1	12.0	4.2	19.8	1.8
	50～99人	125	7.2	20.0	17.6	16.8	16.0	21.6	0.8
	100～199人	55	12.7	25.5	20.0	9.1	7.3	20.0	5.5
	200～299人	18	16.7	16.7	16.7	16.7	11.1	16.7	5.6
	300人以上	43	2.3	20.9	16.3	23.3	9.3	16.3	11.6
無回答	22	4.5	18.2	40.9	9.1	9.1	18.2	-	

なお、ごみ排出量の変化については、10年前との比較を基本とし、事業開始10年未満の事業所（216社）については、事業開始時との比較としている。下表に事業開始10年未満の事業所の内訳を示す。

【表 1-7②】事業開始からの年数

数値 (全体：上段=% 下段=件数)	サンプル数	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	6年未満	7年未満	8年未満	9年未満	10年未満	平均(年)
全体	100.0 216	0.5 1	5.6 12	7.4 16	13.9 30	9.7 21	15.7 34	10.2 22	11.6 25	16.2 35	9.3 20	5.4

## II 調査結果

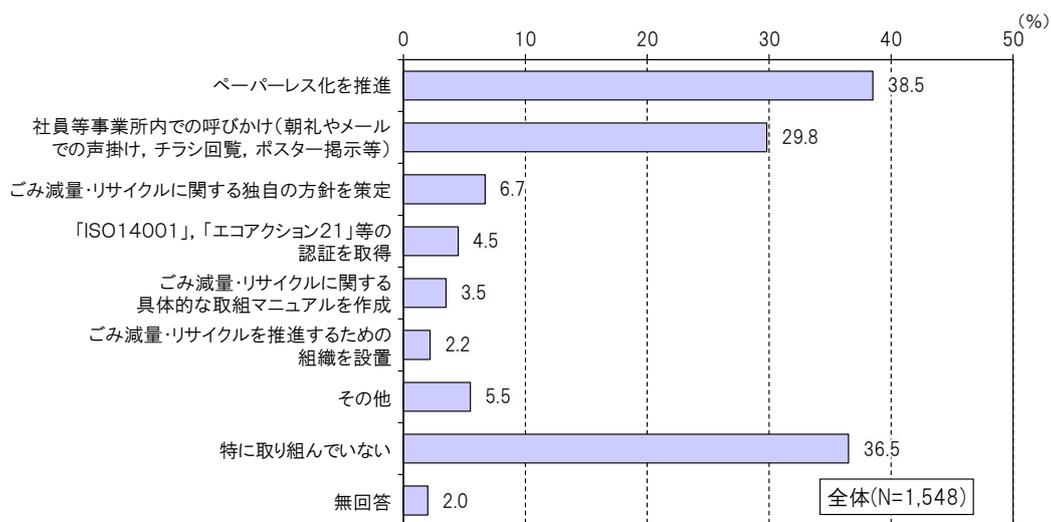
### 第2章 ごみの減量やリサイクルの取組状況について

#### 2-1 ごみ減量・リサイクルに関する取組内容

■ごみ減量・リサイクルに関する取組みは、「ペーパーレス化を推進」(38.5%)が最多。  
しかし、「特に取り組んでいない」(36.5%)も4割弱。

問5. 貴事業所では、ごみ減量・リサイクルに関して、どのような取り組みを行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【図 2-1】ごみ減量・リサイクルに関する取組内容



ごみ減量・リサイクルに関しての取組内容をたずねたところ、「ペーパーレス化を推進」(38.5%)が最も高く、次いで「社員等事業所内での呼びかけ(朝礼やメールでの声掛け, チラシ回覧, ポスター掲示等)」(29.8%)となっており、以下、「ごみ減量・リサイクルに関する独自の方針を策定」(6.7%)、「その他」(5.5%)と続いている。なお、「特に取り組んでいない」(36.5%)と回答する事業所は4割弱を占める。

「その他」の内容としては、「裏紙使用」などが挙げられている。

【表 2-1】ごみ減量・リサイクルに関する取組内容

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サン プル 数	ペ ー パ ー レ ス 化 を 推 進	社 員 等 業 務 所 内 で の 呼 び か け チ ラ シ 回 覧 、 メ ー ル で の 声 掛 け 、 ポ ス タ ー 掲 示 等	独 自 の 方 針 を 策 定	ご み 減 量 ・ リ サ イ ク ル に 関 す る	ア ク シ ョ ン 「 2 0 1 1 」 等 の 認 証 を エ コ	「 S O 1 2 4 0 1 」 等 の 認 証 を エ コ	具 体 的 な 取 組 マ ニ ユ ー ア ル に 関 す る	ご み 減 量 ・ リ サ イ ク ル を 推 進 す る た め の 組 織 を 設 置	そ の 他	特 に 取 り 組 ん で い な い	無 回 答
全体		100.0 1,548	38.5 596	29.8 462	6.7 104	4.5 70	3.5 54	2.2 34	5.5 85	36.5 565	2.0 31		
業 種 別	農業、林業	4	50.0	25.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-
	漁業	8	37.5	-	-	-	-	-	-	62.5	-	-	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	建設業	74	36.5	25.7	5.4	16.2	1.4	1.4	5.4	41.9	1.4	-	-
	製造業	130	36.2	30.8	10.0	13.1	6.9	6.2	3.1	38.5	2.3	-	-
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	45.7	34.3	14.3	8.6	34.3	5.7	5.7	17.1	-	-	-
	情報通信業	27	48.1	29.6	-	7.4	3.7	-	-	25.9	3.7	-	-
	運輸業・郵便業	46	37.0	45.7	4.3	8.7	4.3	2.2	4.3	28.3	2.2	-	-
	卸売業	117	38.5	22.2	8.5	6.0	1.7	2.6	6.0	42.7	1.7	-	-
	小売業	113	32.7	29.2	6.2	4.4	3.5	2.7	4.4	41.6	1.8	-	-
	金融業・保険業	79	60.8	25.3	5.1	3.8	1.3	1.3	5.1	25.3	-	-	-
	不動産業・物品賃貸業	26	38.5	26.9	3.8	-	-	-	3.8	38.5	3.8	-	-
	学術研究・専門・技術サービス業	32	46.9	28.1	6.3	3.1	-	-	-	31.3	3.1	-	-
	宿泊業	67	47.8	28.4	4.5	-	6.0	-	9.0	31.3	3.0	-	-
	飲食サービス業	60	16.7	15.0	13.3	1.7	5.0	1.7	8.3	55.0	5.0	-	-
	生活関連サービス業・娯楽業	14	50.0	42.9	-	-	-	7.1	-	28.6	-	-	-
	学校教育	164	43.3	51.8	11.0	-	2.4	3.7	9.1	24.4	0.6	-	-
	その他の教育・学習支援業	36	36.1	5.6	2.8	-	-	-	5.6	52.8	2.8	-	-
	医療	176	30.1	15.9	4.0	-	0.6	-	6.3	49.4	5.1	-	-
	福祉	144	33.3	41.0	3.5	-	3.5	2.8	7.6	31.9	-	-	-
複合サービス業	17	35.3	64.7	-	-	5.9	5.9	-	17.6	5.9	-	-	
サービス業（他に分類されないもの）	149	43.6	26.8	7.4	10.1	2.0	0.7	4.0	31.5	1.3	-	-	
無回答	28	39.3	25.0	10.7	-	3.6	3.6	-	42.9	-	-	-	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	252	57.5	52.8	12.7	6.3	6.7	5.6	7.5	10.3	0.8	-	-
	該当していない	849	35.1	26.3	5.7	5.2	2.7	1.3	5.1	42.2	2.1	-	-
	わからない	381	33.3	22.8	5.2	2.6	3.4	1.8	5.8	41.7	1.8	-	-
	無回答	66	39.4	28.8	6.1	-	1.5	3.0	1.5	33.3	6.1	-	-
従 業 員 数 別	1～4人	121	24.8	14.9	3.3	1.7	0.8	0.8	0.8	54.5	5.8	-	-
	5～9人	454	33.5	21.4	4.6	1.8	1.3	0.9	4.8	46.7	1.8	-	-
	10～19人	364	30.5	29.9	6.3	3.8	4.4	1.1	5.8	41.2	1.9	-	-
	20～29人	179	40.2	37.4	6.7	8.9	1.7	1.1	6.7	31.8	0.6	-	-
	30～49人	167	46.1	32.9	7.2	3.6	1.2	2.4	9.0	23.4	1.8	-	-
	50～99人	125	60.8	45.6	9.6	11.2	12.0	4.0	8.0	12.0	1.6	-	-
	100～199人	55	54.5	40.0	7.3	3.6	5.5	5.5	1.8	23.6	1.8	-	-
	200～299人	18	55.6	55.6	27.8	22.2	22.2	11.1	5.6	5.6	-	-	-
	300人以上	43	69.8	48.8	23.3	9.3	9.3	18.6	2.3	9.3	2.3	-	-
	無回答	22	36.4	27.3	4.5	-	-	4.5	4.5	36.4	4.5	-	-

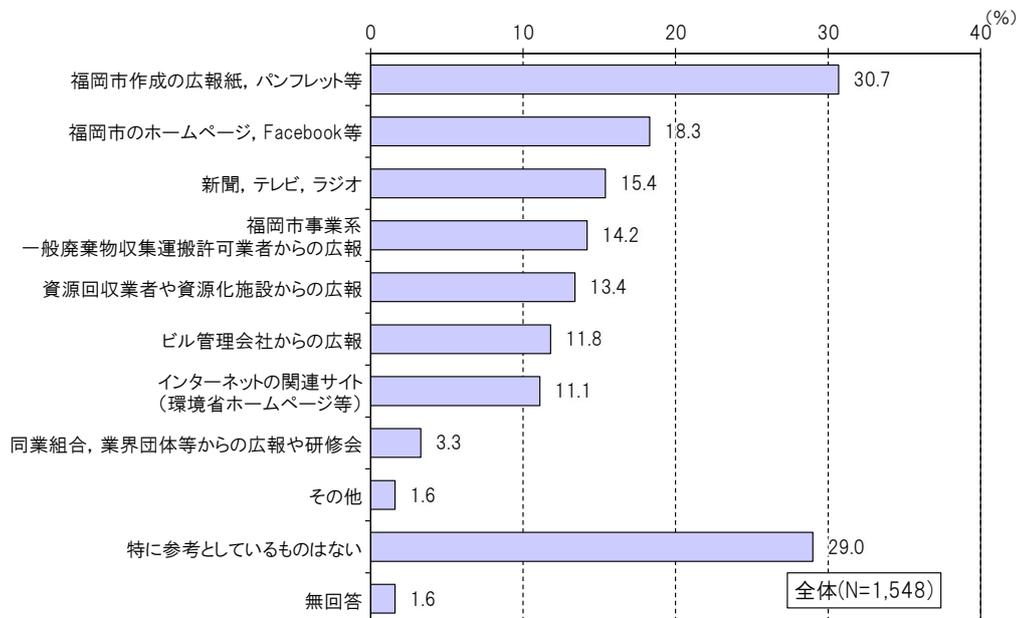
## II 調査結果

### 2-2 ごみ減量・リサイクルに関する情報の入手媒体

■情報の入手媒体は、「福岡市作成の広報紙、パンフレット等」(30.7%)が最多。

問6. ごみ減量・リサイクルに関する情報は、どこで収集していますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【図 2-2】 ごみ減量・リサイクルに関する情報の入手媒体



ごみ減量・リサイクルに関する情報の入手媒体についてたずねたところ、「福岡市作成の広報紙、パンフレット等」(30.7%)が最も高く、次いで「福岡市のホームページ、Facebook等」(18.3%)、「新聞、テレビ、ラジオ」(15.4%)、「福岡市事業系一般廃棄物収集運搬許可業者からの広報」(14.2%)、「資源回収業者や資源化施設からの広報」(13.4%)、「ビル管理会社からの広報」(11.8%)、「インターネットの関連サイト(環境省ホームページ等)」(11.1%)となっている。

なお、「特に参考としているものはない」(29.0%)と回答する事業所は3割弱を占める。

【表 2-2】ごみ減量・リサイクルに関する情報の入手媒体

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サン プル 数	パ 福 岡 市 作 成 の 広 報 紙 等	福 岡 市 の ホ ー ム ペ ー ジ 等	福 岡 市 の ホ ー ム ペ ー ジ 等	新 聞 、 テ レ ビ 、 ラ ジ オ	物 資 の 集 約 運 搬 業 者 の 広 報	福 岡 市 事 業 系 一 般 廃 棄 業 者 の 広 報	資 源 回 収 者 や 資 源 化 施 設 の 広 報	報 道 界 の 広 報	ビ ル 管 理 会 社 か ら の 広 報	ペ ー ジ 等 の 広 報	サイ タ ー ネ ッ ト の 関 連 性 の 広 報	同 業 組 合 、 業 界 団 体 等 の 広 報	そ の 他	特 に 参 考 と し て い る も の は な い	無 回 答
全体		100.0 1,548	30.7 475	18.3 283	15.4 239	14.2 220	13.4 207	11.8 183	11.1 172	3.3 51	1.6 24	29.0 449	1.6 25				
業 種 別	農業、林業	4	-	-	25.0	-	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-				
	漁業	8	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	-	12.5	25.0	-	25.0	-				
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-				
	建設業	74	37.8	17.6	20.3	13.5	13.5	14.9	6.8	8.1	1.4	20.3	1.4				
	製造業	130	24.6	15.4	13.1	13.1	17.7	7.7	14.6	6.9	2.3	31.5	0.8				
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	37.1	42.9	11.4	2.9	28.6	5.7	8.6	8.6	14.3	20.0	-				
	情報通信業	27	3.7	25.9	14.8	7.4	7.4	33.3	22.2	-	-	25.9	3.7				
	運輸業・郵便業	46	23.9	15.2	21.7	15.2	15.2	2.2	13.0	4.3	4.3	21.7	6.5				
	卸売業	117	24.8	12.8	11.1	12.8	14.5	13.7	12.0	3.4	-	37.6	1.7				
	小売業	113	18.6	8.8	13.3	14.2	13.3	11.5	8.0	8.0	2.7	35.4	0.9				
	金融業・保険業	79	17.7	12.7	13.9	8.9	7.6	16.5	10.1	3.8	2.5	40.5	-				
	不動産業・物品賃貸業	26	38.5	34.6	26.9	-	3.8	15.4	11.5	-	-	19.2	7.7				
	学術研究・専門・技術サービス業	32	31.3	18.8	6.3	9.4	18.8	18.8	15.6	-	-	40.6	-				
	宿泊業	67	37.3	16.4	13.4	25.4	19.4	6.0	23.9	1.5	1.5	23.9	1.5				
	飲食サービス業	60	16.7	8.3	16.7	16.7	15.0	13.3	3.3	1.7	3.3	35.0	1.7				
	生活関連サービス業・娯楽業	14	57.1	14.3	7.1	14.3	-	7.1	7.1	-	-	28.6	7.1				
	学校教育	164	44.5	30.5	15.2	17.7	16.5	4.3	11.0	1.8	1.2	23.2	0.6				
	その他の教育・学習支援業	36	25.0	19.4	16.7	8.3	5.6	22.2	5.6	-	-	36.1	2.8				
	医療	176	36.4	15.9	15.3	13.6	10.8	12.5	9.7	1.7	-	31.3	2.3				
	福祉	144	38.2	22.2	19.4	20.8	12.5	2.1	7.6	0.7	-	27.1	1.4				
複合サービス業	17	41.2	5.9	5.9	17.6	11.8	23.5	5.9	5.9	-	17.6	5.9					
サービス業（他に分類されないもの）	149	31.5	21.5	18.8	12.8	10.7	24.2	13.4	1.3	1.3	22.1	1.3					
無回答	28	14.3	7.1	10.7	14.3	7.1	14.3	14.3	3.6	3.6	32.1	-					
建 築 物 別 特 定 事 業 用	該当している	252	51.6	29.0	14.3	24.2	21.4	6.0	20.6	4.0	2.4	13.5	0.8				
	該当していない	849	28.9	17.0	17.1	12.7	12.4	11.0	10.7	3.5	1.5	30.0	2.0				
	わからない	381	22.0	14.4	12.9	11.8	10.0	18.6	5.8	2.6	1.0	36.0	1.6				
	無回答	66	24.2	16.7	13.6	9.1	15.2	6.1	10.6	1.5	1.5	34.8	-				
従 業 員 数 別	1～4人	121	28.1	10.7	16.5	10.7	5.8	11.6	14.0	4.1	0.8	29.8	4.1				
	5～9人	454	26.2	16.3	16.5	10.4	8.4	11.0	9.5	3.3	0.9	35.5	1.5				
	10～19人	364	33.2	18.4	13.5	16.2	16.8	11.0	6.9	2.7	0.8	27.7	0.8				
	20～29人	179	29.6	19.0	15.1	21.2	17.9	15.6	12.3	3.9	1.1	26.3	1.1				
	30～49人	167	28.7	15.0	20.4	13.2	10.8	11.4	8.4	3.6	0.6	29.3	3.0				
	50～99人	125	39.2	24.0	16.0	14.4	23.2	10.4	15.2	3.2	4.8	21.6	0.8				
	100～199人	55	32.7	21.8	7.3	25.5	23.6	10.9	14.5	1.8	1.8	23.6	-				
	200～299人	18	38.9	22.2	5.6	11.1	11.1	27.8	27.8	-	11.1	5.6	5.6				
	300人以上	43	51.2	44.2	16.3	14.0	11.6	14.0	39.5	7.0	7.0	16.3	-				
無回答	22	18.2	22.7	9.1	4.5	9.1	9.1	9.1	-	4.5	31.8	4.5					

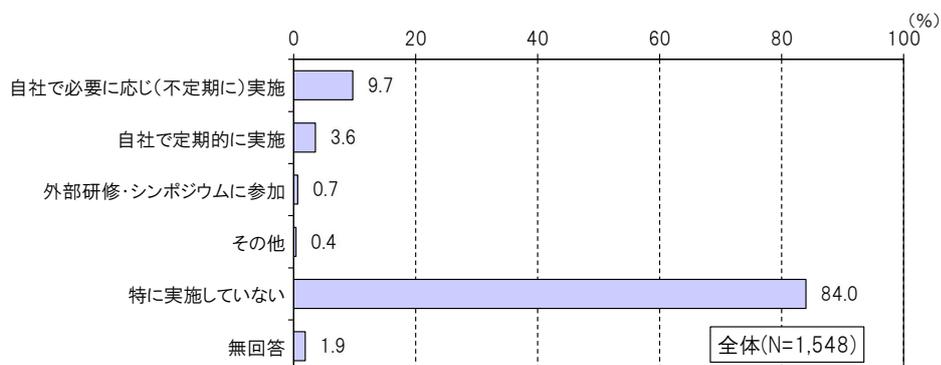
## II 調査結果

### 2-3 従業員向けのごみ減量・リサイクルに関する研修会の実施状況

■従業員への研修会は、「特に実施していない」(84.0%)が8割強。

問7. 従業員向けのごみ減量・リサイクルに関する研修会(eラーニング含む)を実施していますか。  
あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【図 2-3】従業員向けのごみ減量・リサイクルに関する研修会の実施状況



ごみ減量・リサイクルに関する研修会の実施状況についてたずねたところ、「特に実施していない」と回答する事業所が 84.0%と大半占めるが、「自社で必要に応じ(不定期に)実施」(9.7%)、「自社で定期的実施」(3.6%)と回答する事業所もみられる。

【表 2-3】従業員向けのごみ減量・リサイクルに関する研修会の実施状況

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	(自 社 で 必 要 に 応 じ 実 施)	自 社 で 定 期 的 に 実 施	外 部 研 修 ・ シ ン ポ ジ	そ の 他	特 に 実 施 し て い な い	無 回 答
全体		100.0 1,548	9.7 150	3.6 55	0.7 11	0.4 6	84.0 1,301	1.9 30
業 種 別	農業、林業	4	-	-	-	-	100.0	-
	漁業	8	-	-	-	-	100.0	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	-	-	-	-	100.0	-
	建設業	74	13.5	6.8	1.4	-	78.4	1.4
	製造業	130	11.5	2.3	0.8	-	83.8	1.5
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	14.3	5.7	-	-	80.0	-
	情報通信業	27	7.4	11.1	-	-	77.8	3.7
	運輸業・郵便業	46	21.7	4.3	-	-	69.6	4.3
	卸売業	117	6.8	8.5	0.9	0.9	81.2	1.7
	小売業	113	10.6	2.7	-	2.7	83.2	1.8
	金融業・保険業	79	12.7	3.8	-	-	83.5	-
	不動産業・物品賃貸業	26	7.7	3.8	-	-	80.8	7.7
	学術研究・専門・技術サービス業	32	9.4	3.1	-	-	84.4	3.1
	宿泊業	67	13.4	6.0	1.5	-	80.6	-
	飲食サービス業	60	15.0	3.3	1.7	1.7	78.3	-
	生活関連サービス業・娯楽業	14	-	-	-	-	92.9	7.1
	学校教育	164	7.3	1.8	1.2	-	88.4	1.2
	その他の教育・学習支援業	36	2.8	2.8	-	-	91.7	2.8
	医療	176	4.5	-	1.7	0.6	90.3	2.8
	福祉	144	9.7	0.7	0.7	-	88.2	1.4
複合サービス業	17	11.8	11.8	-	-	70.6	5.9	
サービス業（他に分類されないもの）	149	9.4	6.0	-	-	82.6	2.7	
無回答	28	14.3	-	-	-	82.1	3.6	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	252	14.3	5.6	2.0	0.8	77.0	0.8
	該当していない	849	9.9	3.1	0.4	0.5	84.3	2.1
	わからない	381	5.0	3.4	0.8	-	88.7	2.1
	無回答	66	16.7	3.0	-	-	80.3	3.0
従 業 員 数 別	1~4人	121	6.6	0.8	0.8	-	85.1	6.6
	5~9人	454	7.0	2.6	0.9	0.2	87.9	1.5
	10~19人	364	8.8	2.7	0.5	0.5	86.0	1.6
	20~29人	179	12.3	6.7	-	1.7	77.7	1.7
	30~49人	167	10.2	4.2	0.6	-	85.0	1.2
	50~99人	125	16.0	4.8	0.8	-	77.6	1.6
	100~199人	55	7.3	1.8	1.8	-	89.1	-
	200~299人	18	16.7	11.1	-	-	66.7	5.6
	300人以上	43	23.3	9.3	2.3	-	65.1	-
無回答	22	9.1	-	-	-	86.4	4.5	

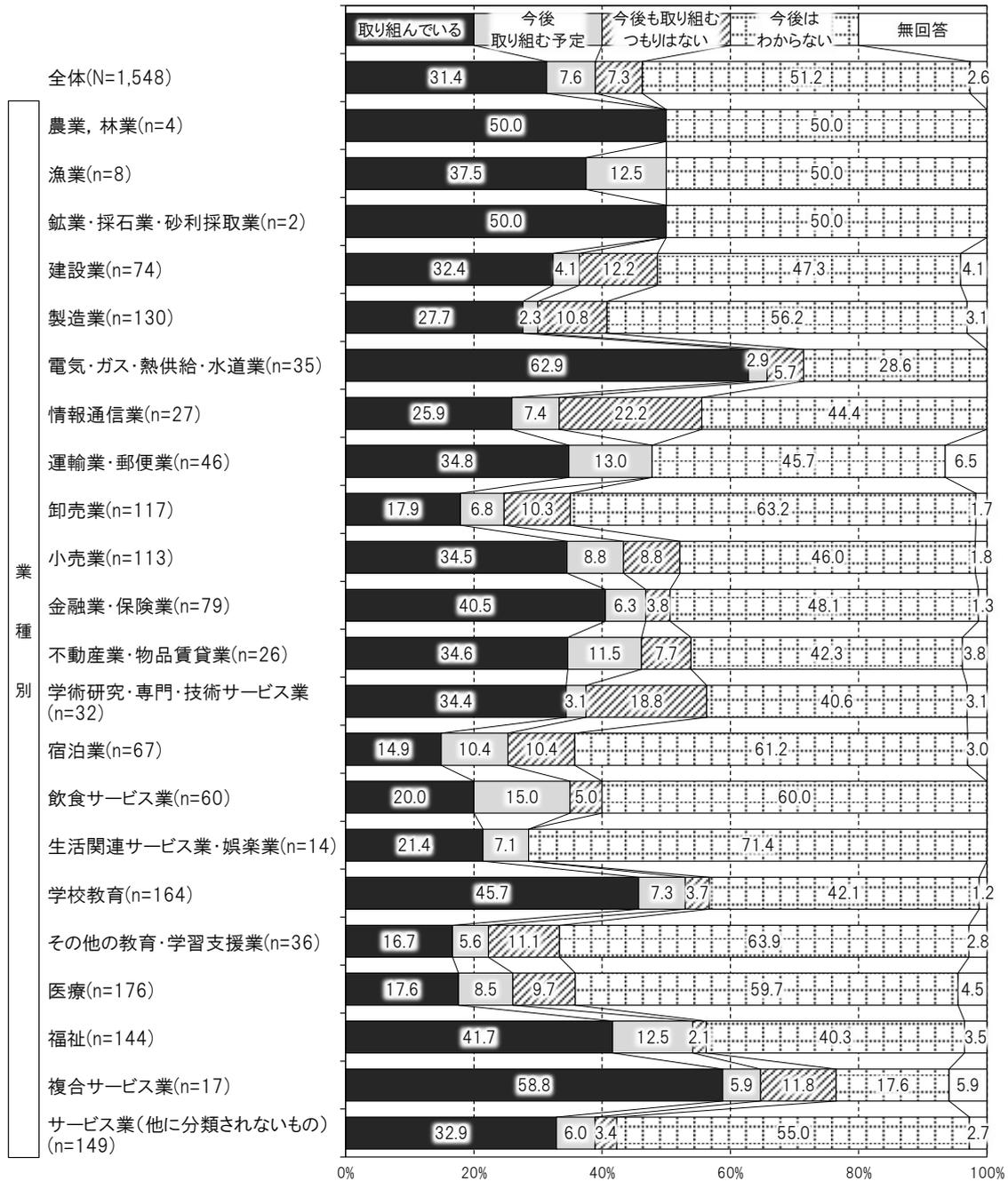
II 調査結果

2-4 地域の清掃活動やごみ減量活動への取組状況

■地域の清掃活動やごみ減量活動の取組みは、「取り組んでいる」(31.4%)が3割強、「今後取り組む予定」(7.6%)、「今後取り組むつもりはない」(7.3%)が各々1割弱。

問8. 貴事業所は、地域の清掃活動やごみ減量活動に取り組んでいますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

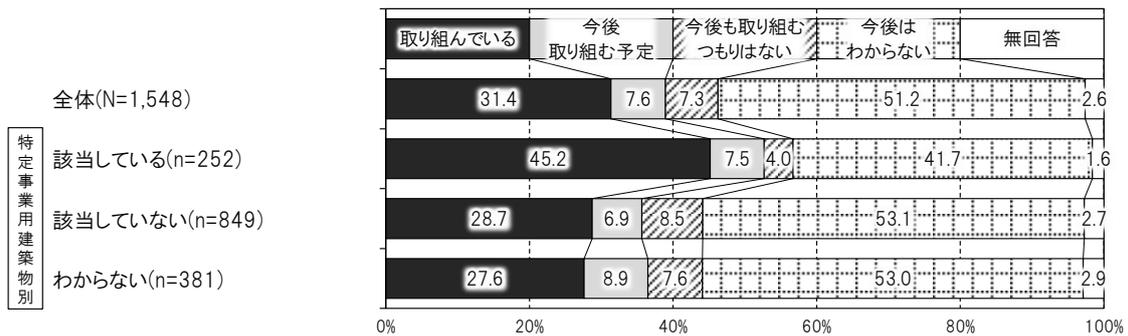
【図 2-4.ア】地域の清掃活動やごみ減量活動への取組状況(業種別)



地域の清掃活動やごみ減量活動への取組状況についてたずねたところ、「今後はわからない」と回答する事業所が51.2%と半数を占めるが、「取り組んでいる」は31.4%、「取り組んでいる」は31.4%、「今後取り組む予定」は7.6%、「今後取り組むつもりはない」は7.3%となっている。

これを業種別にみると、大半の業種は「今後はわからない」と回答する事業所が最も多いが、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「学校教育」、「福祉」については「取り組んでいる」と回答する事業所が最も多い。特に「電気・ガス・熱供給・水道業」(62.9%)は6割強を占めている。

【図2-4.1】地域の清掃活動やごみ減量活動への取組状況（特定事業用建築物別）



特定事業用建築物別にみると、該当している事業所は「取り組んでいる」が45.2%と高い。

II 調査結果

【表 2-4】地域の清掃活動やごみ減量活動への取組状況

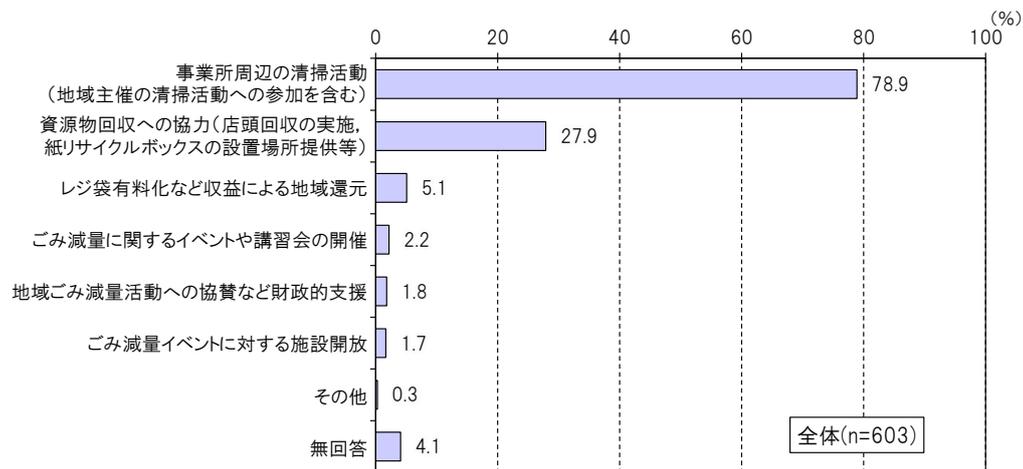
数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	取 り 組 ん で い る	今 後 取 り 組 む 予 定	今 後 も 取 り 組 む つ も は な い	今 後 は わ か ら な い	無 回 答
全体		100.0 1,548	31.4 486	7.6 117	7.3 113	51.2 792	2.6 40
業 種 別	農業, 林業	4	50.0	-	-	50.0	-
	漁業	8	37.5	12.5	-	50.0	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	50.0	-	-	50.0	-
	建設業	74	32.4	4.1	12.2	47.3	4.1
	製造業	130	27.7	2.3	10.8	56.2	3.1
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	62.9	2.9	5.7	28.6	-
	情報通信業	27	25.9	7.4	22.2	44.4	-
	運輸業・郵便業	46	34.8	13.0	-	45.7	6.5
	卸売業	117	17.9	6.8	10.3	63.2	1.7
	小売業	113	34.5	8.8	8.8	46.0	1.8
	金融業・保険業	79	40.5	6.3	3.8	48.1	1.3
	不動産業・物品賃貸業	26	34.6	11.5	7.7	42.3	3.8
	学術研究・専門・技術サービス業	32	34.4	3.1	18.8	40.6	3.1
	宿泊業	67	14.9	10.4	10.4	61.2	3.0
	飲食サービス業	60	20.0	15.0	5.0	60.0	-
	生活関連サービス業・娯楽業	14	21.4	7.1	-	71.4	-
	学校教育	164	45.7	7.3	3.7	42.1	1.2
	その他の教育・学習支援業	36	16.7	5.6	11.1	63.9	2.8
	医療	176	17.6	8.5	9.7	59.7	4.5
	福祉	144	41.7	12.5	2.1	40.3	3.5
複合サービス業	17	58.8	5.9	11.8	17.6	5.9	
サービス業（他に分類されないもの）	149	32.9	6.0	3.4	55.0	2.7	
無回答	28	25.0	-	7.1	67.9	-	
建 築 物 別	特定事業用	252	45.2	7.5	4.0	41.7	1.6
	該当している	849	28.7	6.9	8.5	53.1	2.7
	該当していない	381	27.6	8.9	7.6	53.0	2.9
	わからない	66	34.8	7.6	3.0	51.5	3.0
従 業 員 数 別	無回答	121	20.7	9.1	9.1	55.4	5.8
	1~4人	454	26.2	6.8	10.1	54.0	2.9
	5~9人	364	27.2	6.6	7.4	56.6	2.2
	10~19人	179	31.8	12.8	9.5	43.6	2.2
	20~29人	167	32.3	7.2	3.6	52.1	4.8
	30~49人	125	55.2	7.2	2.4	35.2	-
	50~99人	55	41.8	5.5	1.8	50.9	-
	100~199人	18	44.4	5.6	5.6	44.4	-
	200~299人	43	60.5	7.0	-	32.6	-
300人以上	22	27.3	-	4.5	68.2	-	
無回答							

## 2-5 地域の清掃活動やごみ減量活動の具体的な取組内容

■地域の清掃活動やごみ減量活動の具体的な取組内容は、「事業所周辺の清掃活動」（78.9%）が最多。

付問8-1.【問8で1, 2と答えた方へ】具体的な活動（検討中を含む）は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

【図 2-5】地域の清掃活動やごみ減量活動の具体的な取組内容



問8で「取り組んでいる」、「今後取り組む予定」と答えた事業所（603社）に、具体的な取組内容をたずねたところ、「事業所周辺の清掃活動（地域主催の清掃活動への参加を含む）」（78.9%）が圧倒的に高く、以下、「資源物回収への協力（店頭回収の実施，紙リサイクルボックスの設置場所提供等）」（27.9%）、「レジ袋有料化など収益による地域還元」（5.1%）と続いている。

II 調査結果

【表 2-5】地域の清掃活動やごみ減量活動の具体的な取組内容

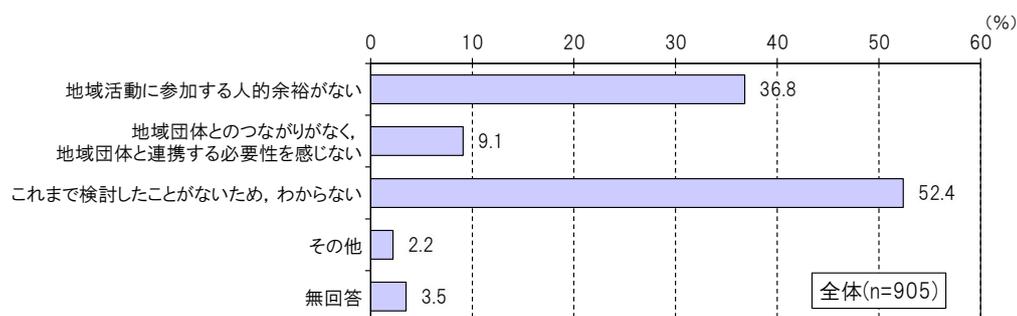
	サンプル数	への参加主催を 含む	事業所周辺の 清掃活動	設置場所提供 等	リサイクルポ ツクの紙	資源物回収の 協力	レジ袋有料化 など収益	ごみ減量に 関するイベ ントや講習 会の開催	地域ごみ減 量活動への 協賛など財 政的支援	ごみ減量イ ベントに対 する	その他	無回答
全体	100.0 603	78.9 476	27.9 168	5.1 31	2.2 13	1.8 11	1.7 10	0.3 2	4.1 25			
業 種 別	農業、林業	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	漁業	4	75.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	建設業	27	88.9	25.9	7.4	-	3.7	-	-	-	-	-
	製造業	39	84.6	17.9	-	5.1	5.1	2.6	-	-	-	2.6
	電気・ガス・熱供給・水道業	23	100.0	21.7	-	-	4.3	-	-	-	-	-
	情報通信業	9	77.8	22.2	-	11.1	-	-	-	-	-	-
	運輸業・郵便業	22	86.4	22.7	-	4.5	-	4.5	-	-	-	-
	卸売業	29	72.4	31.0	6.9	-	3.4	-	-	-	-	3.4
	小売業	49	65.3	30.6	16.3	2.0	2.0	-	2.0	-	2.0	6.1
	金融業・保険業	37	100.0	10.8	-	2.7	-	-	-	-	-	-
	不動産業・物品賃貸業	12	75.0	41.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	学術研究・専門・技術サービス業	12	41.7	41.7	-	8.3	-	-	-	-	-	8.3
	宿泊業	17	64.7	29.4	-	5.9	-	5.9	-	-	-	5.9
	飲食サービス業	21	57.1	33.3	19.0	4.8	-	9.5	-	-	-	4.8
	生活関連サービス業・娯楽業	4	100.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	学校教育	87	89.7	18.4	5.7	1.1	-	2.3	-	-	-	3.4
	その他の教育・学習支援業	8	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0
	医療	46	58.7	41.3	8.7	2.2	4.3	4.3	-	-	-	6.5
	福祉	78	80.8	38.5	6.4	1.3	1.3	-	-	-	-	2.6
複合サービス業	11	81.8	18.2	9.1	-	-	9.1	-	-	-	9.1	
サービス業（他に分類されないもの）	58	82.8	24.1	-	1.7	3.4	-	1.7	-	1.7	6.9	
無回答	7	71.4	42.9	-	-	-	-	-	-	-	14.3	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	133	85.7	17.3	3.0	3.8	0.8	2.3	0.8	0.8	3.8	
	該当していない	303	79.5	31.0	5.3	1.7	2.0	2.3	0.3	0.3	3.3	
	わからない	139	73.4	30.2	6.5	1.4	2.2	-	-	-	5.8	
	無回答	28	67.9	32.1	7.1	3.6	3.6	-	-	-	7.1	
従 業 員 数 別	1～4人	36	58.3	27.8	16.7	2.8	2.8	2.8	-	-	11.1	
	5～9人	150	75.3	34.7	9.3	0.7	1.3	0.7	-	-	4.0	
	10～19人	123	78.0	29.3	3.3	2.4	2.4	4.1	-	-	4.1	
	20～29人	80	83.8	23.8	2.5	1.3	3.8	1.3	1.3	1.3	2.5	
	30～49人	66	80.3	22.7	1.5	4.5	1.5	-	-	-	4.5	
	50～99人	78	83.3	29.5	1.3	-	1.3	-	1.3	1.3	3.8	
	100～199人	26	92.3	7.7	3.8	7.7	-	3.8	-	-	-	
	200～299人	9	88.9	22.2	-	-	-	-	-	-	-	-
	300人以上	29	86.2	20.7	6.9	6.9	-	3.4	-	-	3.4	
無回答	6	66.7	50.0	-	-	-	-	-	-	-	16.7	

## 2-6 地域の清掃活動やごみ減量活動に取り組んでいない理由

■地域の清掃活動やごみ減量活動に取り組まない理由は、「これまで検討したことがないため、わからない」(52.4%)が5割強、「地域活動に参加する人的余裕がない」(36.8%)が4割弱。

付問8-2.【問8で3、4と答えた方へ】その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【図 2-6】地域の清掃活動やごみ減量活動に取り組んでいない理由



問8で「今後も取り組むつもりはない」、「今後はわからない」と答えた事業所(905社)に、取り組んでいない理由をたずねたところ、「これまで検討したことがないため、わからない」(52.4%)と回答する事業所が半数を占めるが、「地域活動に参加する人的余裕がない」(36.8%)が4割弱、「地域団体とのつながりがなく、地域団体と連携する必要性を感じない」(9.1%)が1割弱みられる。

II 調査結果

【表 2-6】地域の清掃活動やごみ減量活動に取り組んでいない理由

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	余 地 域 活 動 に 参 加 す る 人 的	な く 地 域 と の つ な が り が す る 必 要 性 を 感 じ な い	こ れ た ま で 検 討 し た こ と が わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 905	36.8 333	9.1 82	52.4 474	2.2 20	3.5 32
業 種 別	農業、林業	2	50.0	-	50.0	-	-
	漁業	4	50.0	-	50.0	-	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	100.0	-	-	-	-
	建設業	44	36.4	29.5	34.1	-	6.8
	製造業	87	23.0	16.1	63.2	1.1	2.3
	電気・ガス・熱供給・水道業	12	16.7	8.3	66.7	8.3	8.3
	情報通信業	18	27.8	11.1	66.7	-	-
	運輸業・郵便業	21	23.8	4.8	66.7	4.8	4.8
	卸売業	86	30.2	8.1	60.5	1.2	2.3
	小売業	62	48.4	17.7	38.7	1.6	1.6
	金融業・保険業	41	17.1	4.9	65.9	4.9	7.3
	不動産業・物品賃貸業	13	53.8	7.7	30.8	7.7	-
	学術研究・専門・技術サービス業	19	31.6	10.5	63.2	-	-
	宿泊業	48	58.3	6.3	33.3	6.3	2.1
	飲食サービス業	39	33.3	15.4	48.7	5.1	7.7
	生活関連サービス業・娯楽業	10	40.0	10.0	40.0	-	10.0
	学校教育	75	33.3	2.7	61.3	4.0	1.3
	その他の教育・学習支援業	27	18.5	11.1	63.0	3.7	7.4
	医療	122	49.2	3.3	48.4	-	1.6
	福祉	61	57.4	3.3	37.7	1.6	1.6
複合サービス業	5	40.0	-	60.0	-	-	
サービス業（他に分類されないもの）	87	29.9	8.0	56.3	1.1	8.0	
無回答	21	33.3	-	57.1	4.8	4.8	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	115	43.5	8.7	45.2	5.2	1.7
	該当していない	523	35.9	11.1	52.8	1.3	3.4
	わからない	231	34.6	5.2	55.8	3.0	4.3
	無回答	36	41.7	5.6	47.2	-	5.6
従 業 員 数 別	1～4人	78	30.8	14.1	51.3	3.8	5.1
	5～9人	291	38.1	10.0	51.5	1.0	3.4
	10～19人	233	36.1	11.2	51.5	3.0	2.1
	20～29人	95	35.8	10.5	54.7	2.1	2.1
	30～49人	93	41.9	2.2	53.8	3.2	3.2
	50～99人	47	38.3	4.3	51.1	2.1	4.3
	100～199人	29	31.0	3.4	58.6	3.4	6.9
	200～299人	9	33.3	11.1	55.6	-	11.1
	300人以上	14	28.6	-	57.1	-	14.3
無回答	16	43.8	-	50.0	-	6.3	

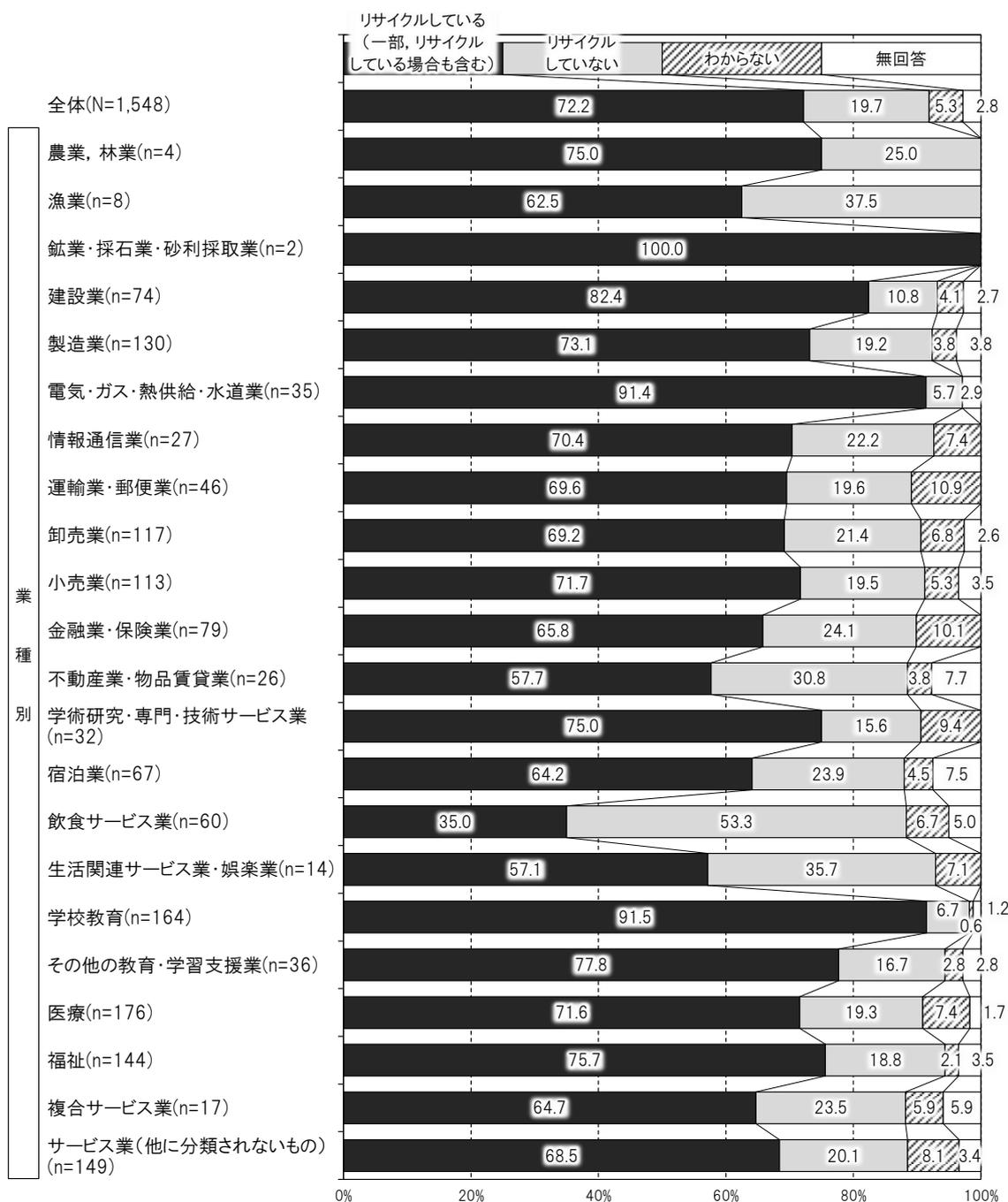
### 第3章 古紙のリサイクルについて

#### 3-1 古紙の分別・リサイクル状況

■「リサイクルしている」(72.2%)が7割強、「リサイクルしていない」(19.7%)が2割弱。

問9. 貴事業所では、古紙を分別してリサイクルしていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

【図 3-1.ア】 古紙の分別・リサイクル状況 (業種別)

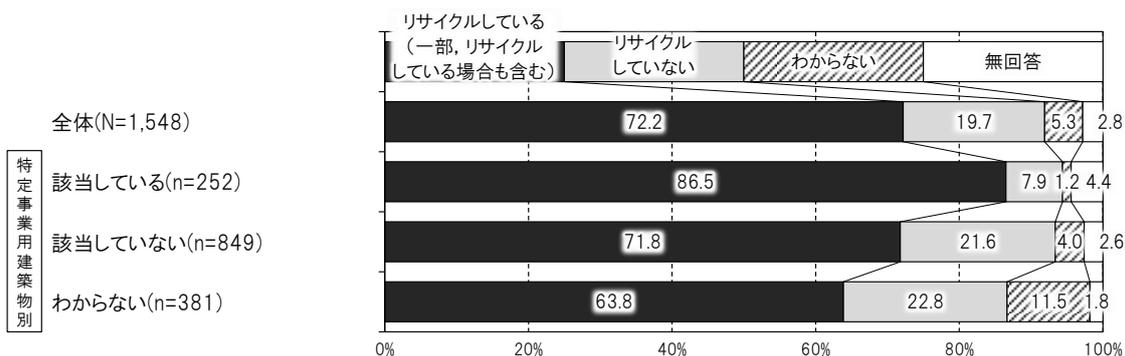


## II 調査結果

古紙の分別・リサイクル状況についてたずねたところ、「リサイクルしている（一部、リサイクルしている場合も含む）」（72.2%）と回答する事業所が7割強を占め、「リサイクルしていない」と回答する事業所が19.7%、「わからない」と回答する事業所が5.3%となっている。

これを業種別にみると、「リサイクルしている（一部、リサイクルしている場合も含む）」と回答する事業所は、「学校教育」（91.5%）、「電気・ガス・熱供給・水道業」（91.4%）が9割強を占め、他の業種より高くなっている。一方、「リサイクルしていない」と回答する事業所は、「飲食サービス業」（53.3%）が5割強を占め、他の業種より高くなっている。

【図 3-1.イ】 古紙の分別・リサイクル状況（特定事業用建築物別）



特定事業用建築物別にみると、該当している事業所は「リサイクルしている（一部、リサイクルしている場合も含む）」と回答する事業所が86.5%と高くなっている。

【表 3-1】 古紙の分別・リサイクル状況

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サン プル 数	て(一 リサイ クルし ている 場, リ サイク ルして いるし 含む)	リ サイ クル して いな い	わ から ない	無 回 答
全体		100.0 1,548	72.2 1,117	19.7 305	5.3 82	2.8 44
業 種 別	農業、林業	4	75.0	25.0	-	-
	漁業	8	62.5	37.5	-	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	100.0	-	-	-
	建設業	74	82.4	10.8	4.1	2.7
	製造業	130	73.1	19.2	3.8	3.8
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	91.4	5.7	-	2.9
	情報通信業	27	70.4	22.2	7.4	-
	運輸業・郵便業	46	69.6	19.6	10.9	-
	卸売業	117	69.2	21.4	6.8	2.6
	小売業	113	71.7	19.5	5.3	3.5
	金融業・保険業	79	65.8	24.1	10.1	-
	不動産業・物品賃貸業	26	57.7	30.8	3.8	7.7
	学術研究・専門・技術サービス業	32	75.0	15.6	9.4	-
	宿泊業	67	64.2	23.9	4.5	7.5
	飲食サービス業	60	35.0	53.3	6.7	5.0
	生活関連サービス業・娯楽業	14	57.1	35.7	7.1	-
	学校教育	164	91.5	6.7	0.6	1.2
	その他の教育・学習支援業	36	77.8	16.7	2.8	2.8
	医療	176	71.6	19.3	7.4	1.7
	福祉	144	75.7	18.8	2.1	3.5
複合サービス業	17	64.7	23.5	5.9	5.9	
サービス業（他に分類されないもの）	149	68.5	20.1	8.1	3.4	
無回答	28	60.7	25.0	7.1	7.1	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	252	86.5	7.9	1.2	4.4
	該当していない	849	71.8	21.6	4.0	2.6
	わからない	381	63.8	22.8	11.5	1.8
	無回答	66	69.7	22.7	1.5	6.1
従 業 員 数 別	1～4人	121	57.0	28.1	9.9	5.0
	5～9人	454	69.6	22.7	4.8	2.9
	10～19人	364	72.5	20.3	4.4	2.7
	20～29人	179	70.4	21.2	5.6	2.8
	30～49人	167	71.9	19.8	4.8	3.6
	50～99人	125	84.0	8.8	6.4	0.8
	100～199人	55	80.0	14.5	3.6	1.8
	200～299人	18	94.4	5.6	-	-
	300人以上	43	93.0	2.3	4.7	-
無回答	22	72.7	9.1	9.1	9.1	

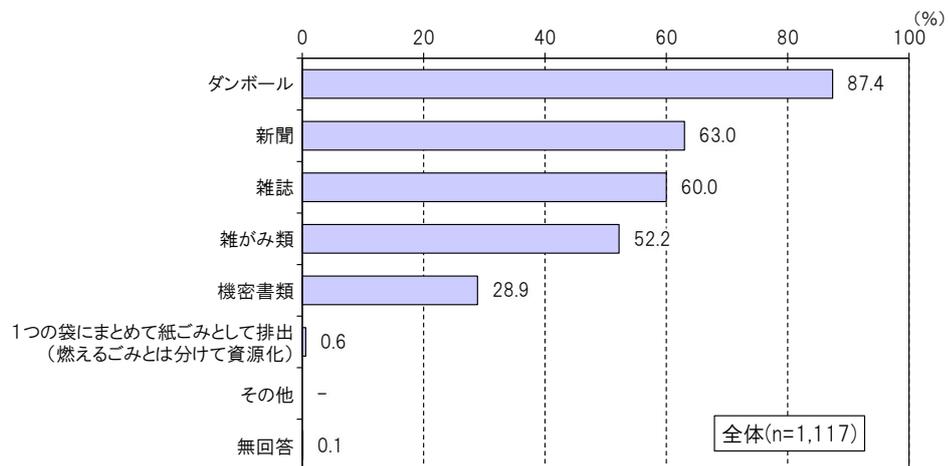
## II 調査結果

### 3-2 分別している古紙の種類

■分別している古紙は、「ダンボール」(87.4%)が最多。

付問9-1.【問9で1と答えた方へ】分別している古紙の種類は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【図3-2】分別している古紙の種類



問9で「リサイクルしている」と答えた事業所(1,117社)に、分別している古紙の種類をたずねたところ、「ダンボール」(87.4%)が最も高く、次いで「新聞」(63.0%)、「雑誌」(60.0%)、「雑がみ類」(52.2%)、「機密書類」(28.9%)となっている。

【表3-2】 分別している古紙の種類

	サンプル数	ダンボール	新聞	雑誌	ず袋箱雑 紙, , , が 紙, コピ用紙, は 芯, ふせん, シ, ユレツ紙 , メモ用紙等)	機密書類	出1 (燃えるごみとは 分け紙として排 出)	その他	無回答
全体	100.0 1,117	87.4 976	63.0 704	60.0 670	52.2 583	28.9 323	0.6 7	-	0.1 1
業 種 別	農業, 林業	3	-	66.7	66.7	33.3	-	-	-
	漁業	5	80.0	60.0	20.0	20.0	-	-	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-
	建設業	61	88.5	75.4	57.4	62.3	24.6	-	-
	製造業	95	87.4	60.0	60.0	51.6	32.6	-	-
	電気・ガス・熱供給・水道業	32	96.9	90.6	65.6	71.9	56.3	-	-
	情報通信業	19	84.2	57.9	57.9	42.1	42.1	10.5	-
	運輸業・郵便業	32	81.3	43.8	37.5	37.5	25.0	3.1	-
	卸売業	81	84.0	60.5	45.7	45.7	21.0	1.2	-
	小売業	81	88.9	38.3	34.6	45.7	25.9	-	-
	金融業・保険業	52	84.6	67.3	55.8	55.8	34.6	-	-
	不動産業・物品賃貸業	15	93.3	73.3	53.3	66.7	13.3	-	-
	学術研究・専門・技術サービス業	24	87.5	50.0	66.7	50.0	37.5	-	-
	宿泊業	43	86.0	72.1	69.8	37.2	27.9	-	-
	飲食サービス業	21	95.2	47.6	47.6	42.9	4.8	-	-
	生活関連サービス業・娯楽業	8	75.0	37.5	25.0	50.0	-	25.0	-
	学校教育	150	94.0	76.0	80.0	62.7	34.0	0.7	-
	その他の教育・学習支援業	28	78.6	42.9	42.9	57.1	17.9	-	-
	医療	126	91.3	65.9	77.8	48.4	31.0	-	0.8
	福祉	109	90.8	63.3	61.5	48.6	23.9	-	-
複合サービス業	11	72.7	81.8	72.7	72.7	36.4	-	-	
サービス業（他に分類されないもの）	102	80.4	59.8	57.8	52.9	32.4	-	-	
無回答	17	64.7	64.7	35.3	58.8	17.6	-	-	
建 築 事 業 用	該当している	218	92.2	77.1	75.7	61.9	42.7	-	-
	該当していない	610	85.9	59.7	54.9	48.0	24.9	0.7	0.2
	わからない	243	87.7	58.0	57.6	52.7	27.6	0.4	-
	無回答	46	82.6	67.4	65.2	58.7	23.9	4.3	-
従 業 員 数 別	1~4人	69	87.0	55.1	53.6	46.4	23.2	-	-
	5~9人	316	85.4	57.0	54.7	51.6	21.5	0.9	0.3
	10~19人	264	86.4	59.5	54.2	50.0	23.9	0.4	-
	20~29人	126	88.1	64.3	63.5	56.3	27.8	0.8	-
	30~49人	120	90.8	64.2	58.3	50.8	26.7	-	-
	50~99人	105	88.6	73.3	72.4	55.2	48.6	1.9	-
	100~199人	44	86.4	79.5	79.5	50.0	43.2	-	-
	200~299人	17	100.0	76.5	76.5	58.8	64.7	-	-
	300人以上	40	95.0	90.0	87.5	65.0	62.5	-	-
無回答	16	75.0	62.5	50.0	50.0	18.8	-	-	

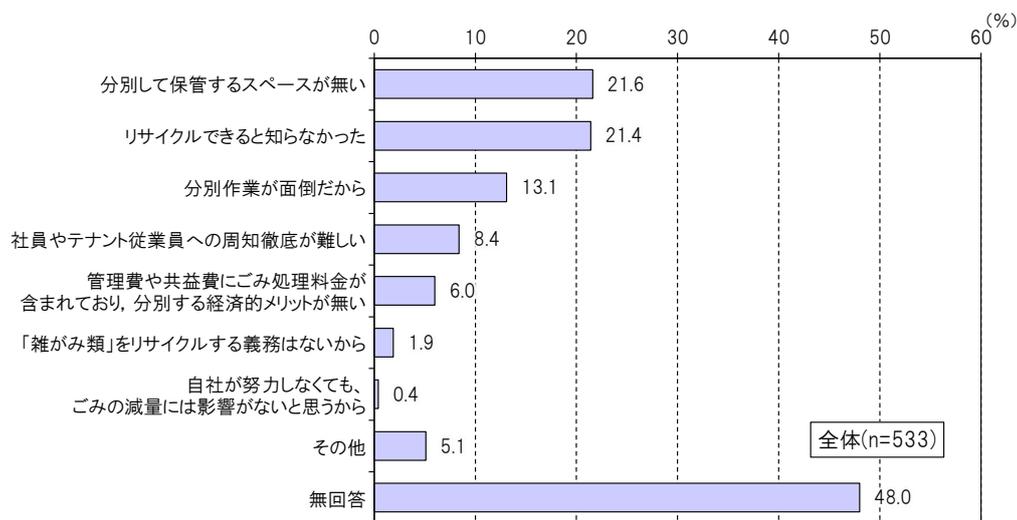
## II 調査結果

### 3-3 雑がみ類をリサイクルしていない理由

■リサイクルしない理由は、「分別して保管するスペースが無い」(21.6%) または「リサイクルできると知らなかった」(21.4%) が中心。

付問9-2. 【付問9-1で5を選ばなかった方へ】「雑がみ類」をリサイクルしていない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【図 3-3】 雑がみ類をリサイクルしていない理由



付問9-1で「雑がみ類」と答えた事業所(533社)に、雑がみ類をリサイクルしていない理由をたずねたところ、「分別して保管するスペースが無い」(21.6%)が最も高く、次いで「リサイクルできると知らなかった」(21.4%)、「分別作業が面倒だから」(13.1%)、「社員やテナント従業員への周知徹底が難しい」(8.4%)、「管理費や共益費にごみ処理料金が含まれており、分別する経済的メリットが無い」(6.0%)となっている。

【表 3-3】 雑がみ類をリサイクルしていない理由

	サ ン プ ル 数	分 別 し て 保 管 す る ス ペ ー	な り サ イ ク ル で き る と 知 ら な か つ た	分 別 作 業 が 面 倒 だ か ら	の 社 員 や テ ナ ン ト 従 業 員 へ の 周 知 徹 底 が 難 し い	管 理 費 や 共 益 費 に ご み 処 理 料 金 が 含 ま れ て お り ツ ツ ト 、 が 無 い	「 雑 が み 類 」 を リ サ イ ク ル す る 義 務 は な い か ら	ご 自 社 が 努 力 し な く て も 、 い と 思 う か ら は 影 響 が な い	そ の 他	無 回 答	
全体 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)	100.0 533	21.6 115	21.4 114	13.1 70	8.4 45	6.0 32	1.9 10	0.4 2	5.1 27	48.0 256	
業 種 別	農業、林業	2	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	
	漁業	4	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
	建設業	23	-	34.8	8.7	8.7	4.3	-	4.3	52.2	
	製造業	46	23.9	19.6	13.0	13.0	4.3	2.2	8.7	39.1	
	電気・ガス・熱供給・水道業	9	22.2	33.3	-	11.1	11.1	-	22.2	44.4	
	情報通信業	11	9.1	9.1	-	-	9.1	-	9.1	63.6	
	運輸業・郵便業	20	15.0	5.0	5.0	10.0	5.0	-	-	70.0	
	卸売業	44	27.3	22.7	9.1	13.6	-	2.3	4.5	50.0	
	小売業	44	13.6	18.2	13.6	4.5	-	-	11.4	50.0	
	金融業・保険業	23	26.1	26.1	17.4	-	13.0	4.3	-	8.7	43.5
	不動産業・物品賃貸業	5	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	40.0
	学術研究・専門・技術サービス業	12	16.7	33.3	-	16.7	16.7	-	-	-	41.7
	宿泊業	27	37.0	14.8	18.5	22.2	3.7	-	3.7	37.0	
	飲食サービス業	12	16.7	16.7	16.7	8.3	8.3	8.3	16.7	50.0	
	生活関連サービス業・娯楽業	4	25.0	-	25.0	25.0	50.0	-	-	25.0	
	学校教育	56	30.4	16.1	17.9	10.7	5.4	3.6	1.8	3.6	42.9
	その他の教育・学習支援業	12	-	33.3	25.0	8.3	8.3	-	-	-	50.0
	医療	64	26.6	29.7	15.6	4.7	4.7	1.6	4.7	37.5	
	福祉	56	32.1	25.0	23.2	8.9	5.4	3.6	1.8	42.9	
複合サービス業	3	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
サービス業（他に分類されないもの）	48	12.5	16.7	4.2	2.1	12.5	2.1	2.1	66.7		
無回答	7	-	28.6	-	-	14.3	-	-	-	57.1	
建 築 事 業 用 特 定 事 業 用	該当している	83	32.5	7.2	20.5	18.1	2.4	1.2	3.6	47.0	
	該当していない	316	21.2	24.7	11.7	5.7	6.6	1.9	6.0	47.2	
	わからない	115	13.9	20.9	12.2	9.6	7.0	2.6	4.3	51.3	
	無回答	19	26.3	31.6	10.5	5.3	5.3	-	-	47.4	
従 業 員 数 別	1～4人	37	13.5	29.7	16.2	5.4	5.4	2.7	8.1	45.9	
	5～9人	152	16.4	26.3	11.2	3.9	3.9	1.3	4.6	48.7	
	10～19人	132	26.5	20.5	12.1	10.6	6.1	1.5	9.8	41.7	
	20～29人	55	21.8	21.8	18.2	10.9	9.1	1.8	1.8	49.1	
	30～49人	59	27.1	20.3	15.3	11.9	10.2	5.1	1.7	47.5	
	50～99人	47	29.8	12.8	14.9	10.6	2.1	-	4.3	51.1	
	100～199人	22	27.3	9.1	13.6	4.5	13.6	4.5	-	54.5	
	200～299人	7	14.3	-	28.6	28.6	-	-	-	57.1	
	300人以上	14	7.1	14.3	-	14.3	-	-	-	71.4	
無回答	8	-	25.0	-	-	12.5	-	-	62.5		

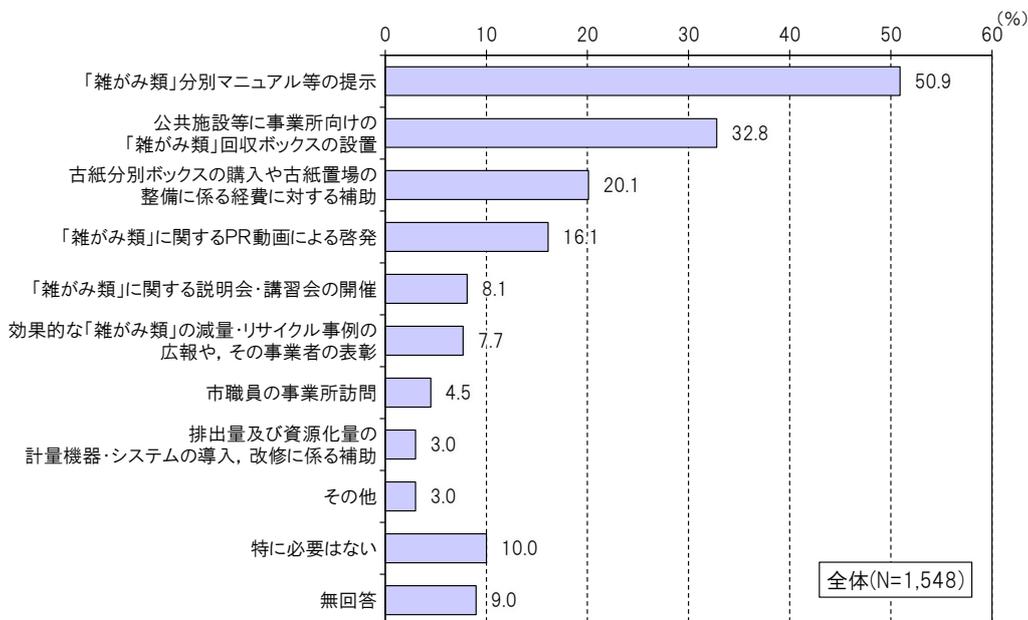
## II 調査結果

### 3-4 雑がみ類のリサイクルを進めるために必要なこと

■「分別マニュアル等の提示」(50.9%)が最多。

問 10. 事業所から出る「雑がみ類」のリサイクルを進めるには、何が必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【図 3-4】雑がみ類のリサイクルを進めるために必要なこと



「雑がみ類」のリサイクルを進めるために必要なことをたずねたところ、「「雑がみ類」分別マニュアル等の提示」(50.9%)が最も高く、次いで「公共施設等に事業所向けの「雑がみ類」回収ボックスの設置」(32.8%)、「古紙分別ボックスの購入や古紙置場の整備に係る経費に対する補助」(20.1%)、「「雑がみ類」に関するPR動画による啓発」(16.1%)となっている。なお、「特に必要はない」(10.0%)と回答する事業所は1割となっている。

【表 3-4】 雑がみ類のリサイクルを進めるために必要なこと

	サンプル数	示「雑がみ類」分別マニュアル等の提示	公共施設等に回収ボックスの設置	の古紙分別ボックスの購入や古紙置場の整備に係る経費に対する補助	る「雑がみ類」に関するPR動画による啓発	会「雑がみ類」に関する説明会・講習会の開催	表「雑がみ類」の減量・リサイクル事例の広報や、その事業者の表彰	効果的な「雑がみ類」の減量・リサイクル事例の広報や、その事業者の表彰	別状況を確立した上で、研修講師派遣等	市職員の事業所訪問（事業所での分別状況を確立した上で、研修講師派遣等）	排出量及び資源化量の計量機器・システムの導入、改修に係る補助	その他	特に必要はない	無回答
全体	100.0 1,548	50.9 788	32.8 507	20.1 311	16.1 249	8.1 126	7.7 119	4.5 69	3.0 47	3.0 46	10.0 155	9.0 139		
業種別	農業、林業	4	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	漁業	8	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	-	-	12.5	-	-	-	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	建設業	74	45.9	28.4	12.2	10.8	9.5	5.4	2.7	1.4	1.4	9.5	14.9	
	製造業	130	56.9	28.5	22.3	16.2	11.5	10.0	3.8	2.3	4.6	6.9	10.0	
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	77.1	20.0	8.6	11.4	8.6	5.7	22.9	-	5.7	8.6	-	
	情報通信業	27	51.9	18.5	22.2	7.4	7.4	7.4	-	-	3.7	22.2	11.1	
	運輸業・郵便業	46	54.3	32.6	21.7	15.2	13.0	4.3	10.9	-	2.2	13.0	2.2	
	卸売業	117	51.3	33.3	15.4	18.8	3.4	6.8	6.0	3.4	2.6	13.7	4.3	
	小売業	113	38.9	31.0	23.0	20.4	4.4	6.2	1.8	3.5	2.7	13.3	15.9	
	金融業・保険業	79	44.3	34.2	21.5	22.8	7.6	8.9	1.3	3.8	2.5	12.7	5.1	
	不動産業・物品賃貸業	26	46.2	38.5	19.2	30.8	7.7	15.4	-	-	-	11.5	11.5	
	学術研究・専門・技術サービス業	32	53.1	46.9	12.5	15.6	6.3	6.3	6.3	-	-	12.5	6.3	
	宿泊業	67	59.7	28.4	38.8	14.9	11.9	3.0	3.0	6.0	6.0	7.5	3.0	
	飲食サービス業	60	43.3	26.7	13.3	8.3	10.0	3.3	6.7	3.3	3.3	10.0	11.7	
	生活関連サービス業・娯楽業	14	50.0	21.4	35.7	-	-	7.1	7.1	14.3	-	7.1	14.3	
	学校教育	164	57.9	40.2	25.0	14.0	9.8	14.6	5.5	4.3	1.2	6.1	6.1	
	その他の教育・学習支援業	36	38.9	44.4	16.7	11.1	5.6	11.1	5.6	2.8	-	22.2	11.1	
	医療	176	55.1	34.7	14.8	15.9	5.7	6.8	3.4	2.3	4.0	5.1	11.9	
	福祉	144	51.4	35.4	22.2	18.8	9.0	6.9	4.9	4.2	2.8	9.7	6.3	
複合サービス業	17	41.2	23.5	23.5	11.8	11.8	5.9	17.6	5.9	5.9	11.8	11.8		
サービス業（他に分類されないもの）	149	48.3	34.2	16.8	14.8	7.4	6.7	2.0	2.7	4.0	12.8	8.7		
無回答	28	35.7	21.4	25.0	25.0	14.3	7.1	-	-	3.6	7.1	17.9		
特定事業用 建築物別	該当している	252	63.5	32.9	27.0	15.9	11.9	14.7	7.5	5.6	1.6	6.0	5.2	
	該当していない	849	48.8	33.1	18.0	16.5	6.9	6.9	3.8	2.2	3.3	9.3	10.0	
	わからない	381	49.1	31.8	19.4	16.5	8.1	5.5	4.5	3.4	2.9	14.4	7.3	
	無回答	66	40.9	33.3	24.2	9.1	9.1	3.0	1.5	1.5	4.5	9.1	19.7	
従業員数別	1～4人	121	43.0	32.2	13.2	15.7	4.1	6.6	3.3	2.5	2.5	14.0	16.5	
	5～9人	454	44.7	32.2	15.0	15.6	5.7	5.1	3.1	2.2	3.5	13.9	10.1	
	10～19人	364	54.1	33.2	18.1	16.5	6.6	8.2	5.2	1.9	3.0	8.5	9.3	
	20～29人	179	53.6	29.6	23.5	12.8	8.9	8.4	3.9	2.8	3.4	10.1	6.7	
	30～49人	167	56.9	33.5	31.7	16.2	10.8	7.2	6.0	5.4	3.0	4.8	5.4	
	50～99人	125	52.8	35.2	23.2	14.4	12.0	11.2	9.6	4.0	2.4	8.8	4.8	
	100～199人	55	56.4	30.9	20.0	21.8	20.0	9.1	-	7.3	1.8	5.5	7.3	
	200～299人	18	38.9	50.0	16.7	11.1	5.6	5.6	5.6	-	-	5.6	11.1	
300人以上	43	83.7	34.9	41.9	32.6	20.9	25.6	4.7	9.3	-	2.3	-		
無回答	22	22.7	31.8	22.7	13.6	4.5	-	-	-	4.5	9.1	27.3		

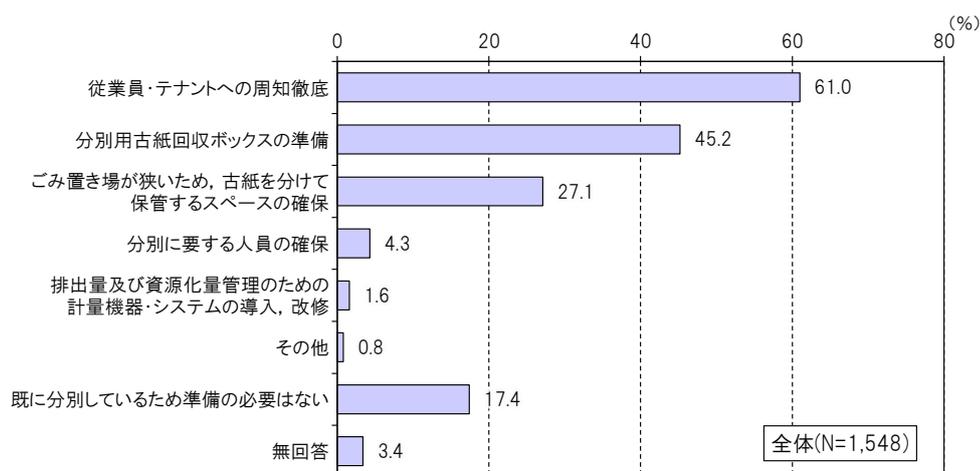
## II 調査結果

### 3-5 古紙分別義務化に向けての準備で必要だと考えること

■「従業員・テナントへの周知徹底」(61.0%)が最多、次いで「分別用古紙回収ボックスの準備」(45.2%)。

問 11. 令和2年10月1日から、事業系ごみの分別が、「燃えるごみ」・「燃えないごみ」・「古紙」の3分別に変わります。そこで、貴事業所では、古紙分別義務化に向けて、今後どのような準備が必要と考えますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【図 3-5】古紙分別義務化に向けての準備で必要だと考えること



古紙分別義務化に向けての準備で必要だと考えることをたずねたところ、「従業員・テナントへの周知徹底」(61.0%)が最も高く、次いで「分別用古紙回収ボックスの準備」(45.2%)、「ごみ置き場が狭いため、古紙を分けて保管するスペースの確保」(27.1%)となっている。なお、「既に分別しているため準備の必要はない」(17.4%)と回答する事業所は2割弱となっている。

【表 3-5】古紙分別義務化に向けての準備で必要だと考えること

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	周 知 徹 底	ス 分 別 用 古 紙 回 収 ポ ツ ク	す め ご み 置 き 場 が 狭 い た ま え の 確 保	保 分 別 に 要 す る 人 員 の 確	シ 理 排 出 量 及 び 資 源 化 量 管 理 の た め の 導 入 機 器 ・ 改 修	そ の 他	準 備 に 分 別 し て い る た め	無 回 答
全体		100.0 1,548	61.0 945	45.2 700	27.1 419	4.3 67	1.6 25	0.8 13	17.4 269	3.4 52
業 種 別	農業、林業	4	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-
	漁業	8	50.0	37.5	50.0	-	-	-	12.5	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	建設業	74	54.1	37.8	16.2	4.1	1.4	2.7	23.0	2.7
	製造業	130	56.9	39.2	23.1	6.2	2.3	0.8	23.8	5.4
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	71.4	57.1	14.3	-	-	-	17.1	2.9
	情報通信業	27	70.4	48.1	18.5	-	-	-	14.8	-
	運輸業・郵便業	46	65.2	58.7	30.4	4.3	-	2.2	10.9	-
	卸売業	117	59.0	42.7	25.6	2.6	-	0.9	16.2	0.9
	小売業	113	64.6	39.8	31.0	5.3	2.7	-	14.2	3.5
	金融業・保険業	79	70.9	43.0	29.1	-	-	1.3	10.1	2.5
	不動産業・物品賃貸業	26	53.8	23.1	38.5	3.8	-	3.8	15.4	11.5
	学術研究・専門・技術サービス業	32	68.8	40.6	28.1	3.1	-	-	21.9	-
	宿泊業	67	82.1	46.3	40.3	11.9	4.5	-	6.0	3.0
	飲食サービス業	60	63.3	40.0	25.0	-	-	3.3	10.0	10.0
	生活関連サービス業・娯楽業	14	64.3	71.4	42.9	14.3	7.1	-	-	-
	学校教育	164	59.8	48.2	31.1	9.1	2.4	0.6	23.8	0.6
	その他の教育・学習支援業	36	41.7	44.4	22.2	2.8	-	-	22.2	5.6
	医療	176	63.6	46.6	23.9	2.3	0.6	0.6	17.6	3.4
	福祉	144	55.6	52.8	29.2	2.1	3.5	-	18.8	3.5
複合サービス業	17	70.6	47.1	35.3	-	-	-	11.8	5.9	
サービス業（他に分類されないもの）	149	56.4	47.0	22.8	5.4	1.3	0.7	18.1	4.7	
無回答	28	50.0	46.4	35.7	3.6	7.1	3.6	14.3	7.1	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	252	64.3	48.8	25.4	8.7	2.0	0.8	23.0	2.4
	該当していない	849	60.4	43.9	26.4	2.7	0.9	1.1	16.0	3.8
	わからない	381	60.4	45.7	29.4	5.0	2.1	0.5	16.5	2.9
	無回答	66	60.6	45.5	28.8	4.5	6.1	-	18.2	4.5
従 業 員 数 別	1～4人	121	51.2	39.7	27.3	1.7	1.7	0.8	13.2	9.9
	5～9人	454	56.2	40.1	23.8	2.9	0.9	0.7	18.9	4.2
	10～19人	364	63.2	45.1	31.0	3.6	2.2	0.8	16.5	3.0
	20～29人	179	61.5	44.1	24.0	4.5	1.7	2.2	15.6	2.8
	30～49人	167	70.1	52.1	35.3	7.2	1.8	-	16.2	0.6
	50～99人	125	64.8	56.0	25.6	6.4	-	1.6	17.6	0.8
	100～199人	55	69.1	43.6	27.3	12.7	-	-	18.2	1.8
	200～299人	18	55.6	50.0	5.6	-	-	-	38.9	-
	300人以上	43	72.1	65.1	23.3	9.3	7.0	-	20.9	-
	無回答	22	50.0	40.9	22.7	-	9.1	-	18.2	9.1

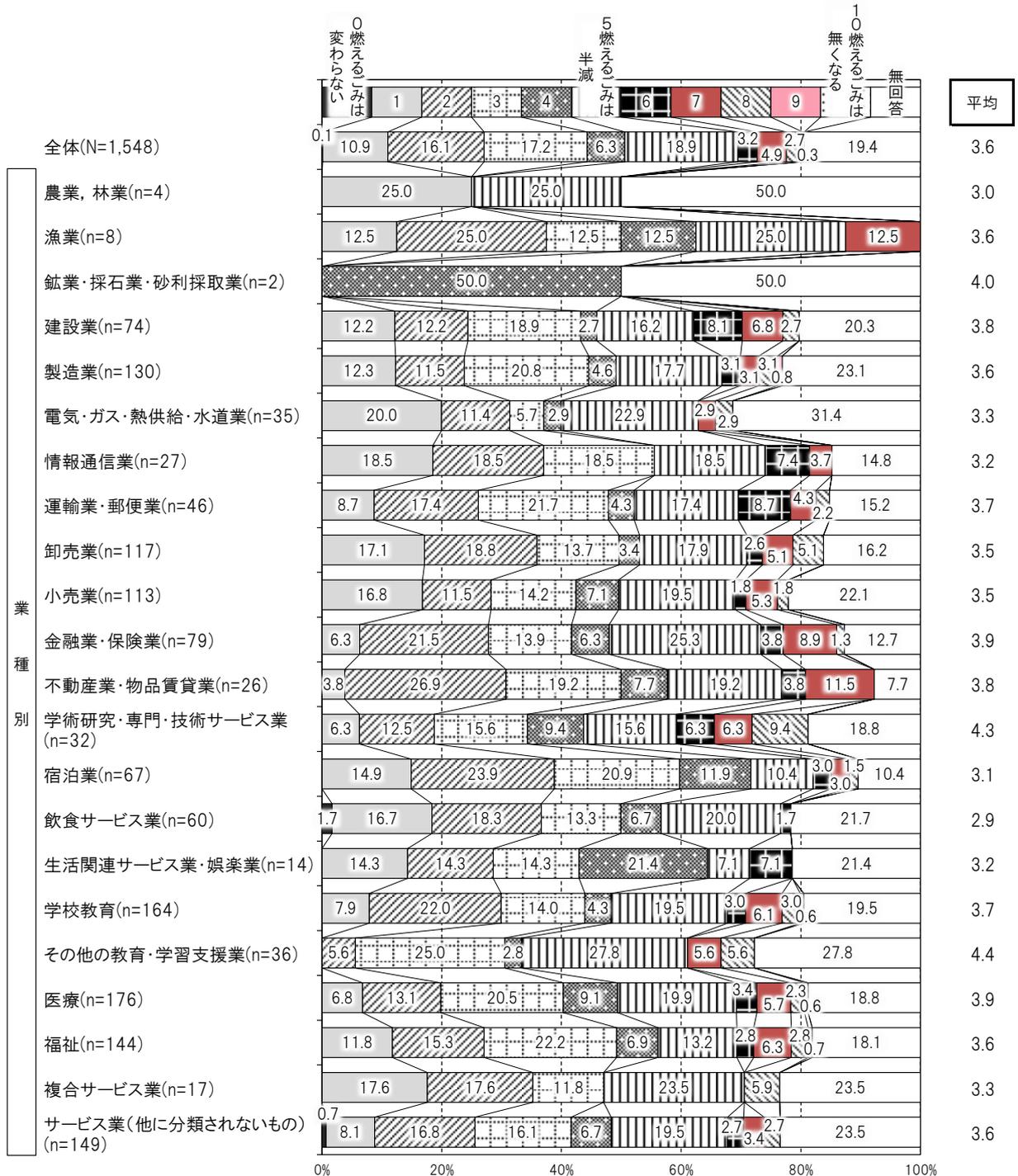
II 調査結果

3-6 古紙分別義務化による燃えるごみ排出量への影響

■古紙分別義務化による「燃えるごみ」の排出量が削減する割合は、『1割～5割』に集中しており、『1割～5割』(69.4%)が7割弱。なお、平均は3.6割である。

問 12. 貴事業所から出る「燃えるごみ」は、古紙分別義務化により、どの程度減ると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

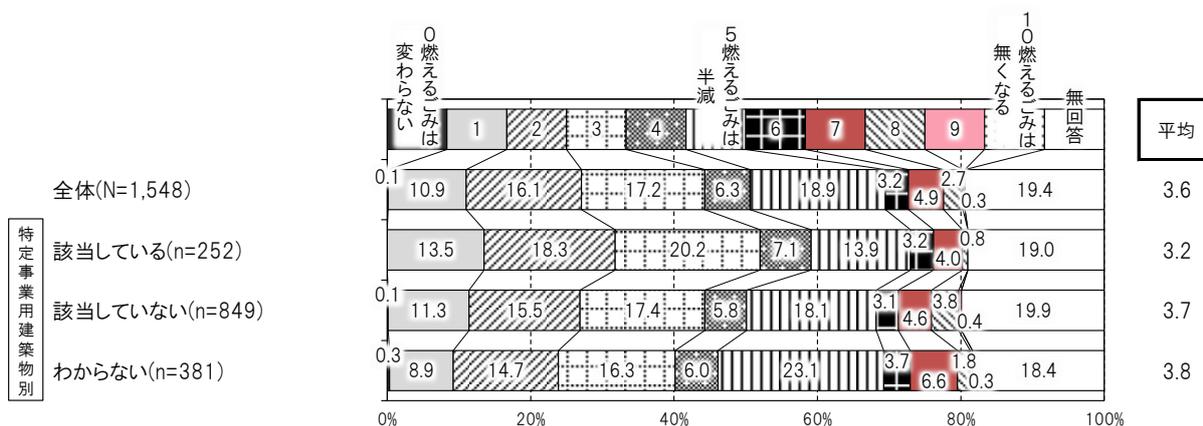
【図 3-6.ア】 古紙分別義務化による燃えるごみ排出量への影響（業種別）



古紙分別義務化による「燃えるごみ」がどの程度減るかについてたずねたところ、「5割（燃えるごみは半減）」（18.9%）と回答する事業所が最も多く、次いで「3割」（17.2%）、「2割」（16.1%）、「1割」（10.9%）、「4割」（6.3%）となっている。なお、「0（燃えるごみは変わらない）」は0.1%、「10割（燃えるごみは無くなる）」は皆無であり、平均は3.6割となっている。

これを業種別にみると、回答は様々だがいずれの業種とも「1割」～「5割」が最も多いが、『5割以下』では「宿泊業」が82.0%で最も高くなっている。

【図 3-6.1】古紙分別義務化による燃えるごみ排出量への影響（特定事業用建築物別）



特定事業用建築物別にみると、該当の有無に関わらず全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

II 調査結果

【表 3-6】古紙分別義務化による燃えるごみ排出量への影響

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)	サン プル 数	0 燃 え る ご み は 変 わ ら な い ( 減 ら な い )	1	2	3	4	5 燃 え る ご み は 半 減	6	7	8	9	10 燃 え る ご み は 無 く な る ( す べ て 古 紙 )	無 回 答	平 均	
全体	100.0 1,548	0.1 2	10.9 169	16.1 249	17.2 267	6.3 97	18.9 292	3.2 50	4.9 76	2.7 42	0.3 4	- -	19.4 300	3.6	
業 種 別	農業、林業	4	-	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	50.0	3.0
	漁業	8	-	12.5	25.0	12.5	12.5	25.0	-	12.5	-	-	-	-	3.6
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	4.0
	建設業	74	-	12.2	12.2	18.9	2.7	16.2	8.1	6.8	2.7	-	-	20.3	3.8
	製造業	130	-	12.3	11.5	20.8	4.6	17.7	3.1	3.1	3.1	0.8	-	23.1	3.6
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	-	20.0	11.4	5.7	2.9	22.9	-	2.9	2.9	-	-	31.4	3.3
	情報通信業	27	-	18.5	18.5	18.5	-	18.5	7.4	3.7	-	-	-	14.8	3.2
	運輸業・郵便業	46	-	8.7	17.4	21.7	4.3	17.4	8.7	4.3	2.2	-	-	15.2	3.7
	卸売業	117	-	17.1	18.8	13.7	3.4	17.9	2.6	5.1	5.1	-	-	16.2	3.5
	小売業	113	-	16.8	11.5	14.2	7.1	19.5	1.8	5.3	1.8	-	-	22.1	3.5
	金融業・保険業	79	-	6.3	21.5	13.9	6.3	25.3	3.8	8.9	1.3	-	-	12.7	3.9
	不動産業・物品賃貸業	26	-	3.8	26.9	19.2	7.7	19.2	3.8	11.5	-	-	-	7.7	3.8
	学術研究・専門・技術サービス業	32	-	6.3	12.5	15.6	9.4	15.6	6.3	6.3	9.4	-	-	18.8	4.3
	宿泊業	67	-	14.9	23.9	20.9	11.9	10.4	3.0	3.0	1.5	-	-	10.4	3.1
	飲食サービス業	60	1.7	16.7	18.3	13.3	6.7	20.0	1.7	-	-	-	-	21.7	2.9
	生活関連サービス業・娯楽業	14	-	14.3	14.3	14.3	21.4	7.1	7.1	-	-	-	-	21.4	3.2
	学校教育	164	-	7.9	22.0	14.0	4.3	19.5	3.0	6.1	3.0	0.6	-	19.5	3.7
	その他の教育・学習支援業	36	-	-	5.6	25.0	2.8	27.8	-	5.6	5.6	-	-	27.8	4.4
	医療	176	-	6.8	13.1	20.5	9.1	19.9	3.4	5.7	2.3	0.6	-	18.8	3.9
	福祉	144	-	11.8	15.3	22.2	6.9	13.2	2.8	6.3	2.8	0.7	-	18.1	3.6
複合サービス業	17	-	17.6	17.6	11.8	-	23.5	-	-	5.9	-	-	23.5	3.3	
サービス業（他に分類されないもの）	149	0.7	8.1	16.8	16.1	6.7	19.5	2.7	3.4	2.7	-	-	23.5	3.6	
無回答	28	-	-	10.7	17.9	10.7	39.3	-	-	3.6	-	-	17.9	4.2	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	252	-	13.5	18.3	20.2	7.1	13.9	3.2	4.0	0.8	-	-	19.0	3.2
	該当していない	849	0.1	11.3	15.5	17.4	5.8	18.1	3.1	4.6	3.8	0.4	-	19.9	3.7
	わからない	381	0.3	8.9	14.7	16.3	6.0	23.1	3.7	6.6	1.8	0.3	-	18.4	3.8
	無回答	66	-	7.6	22.7	9.1	10.6	22.7	3.0	3.0	1.5	-	-	19.7	3.6
従 業 員 数 別	1~4人	121	-	7.4	11.6	10.7	6.6	28.9	2.5	5.0	3.3	-	-	24.0	4.1
	5~9人	454	0.2	10.8	14.1	16.3	6.6	19.6	2.6	5.1	3.3	0.4	-	20.9	3.7
	10~19人	364	-	12.1	14.6	20.6	7.1	16.8	3.8	5.5	2.7	-	-	16.8	3.6
	20~29人	179	-	13.4	16.8	15.1	4.5	20.1	5.6	3.9	1.7	1.1	-	17.9	3.6
	30~49人	167	-	10.8	22.2	17.4	4.8	18.0	2.4	2.4	2.4	-	-	19.8	3.3
	50~99人	125	-	8.8	18.4	23.2	8.0	12.8	2.4	6.4	3.2	-	-	16.8	3.6
	100~199人	55	1.8	9.1	20.0	14.5	1.8	12.7	7.3	7.3	3.6	-	-	21.8	3.7
	200~299人	18	-	16.7	5.6	16.7	5.6	16.7	-	11.1	-	-	-	27.8	3.6
	300人以上	43	-	14.0	27.9	14.0	7.0	18.6	-	4.7	-	-	-	14.0	3.1
無回答	22	-	-	18.2	13.6	9.1	31.8	-	-	-	-	-	27.3	3.8	

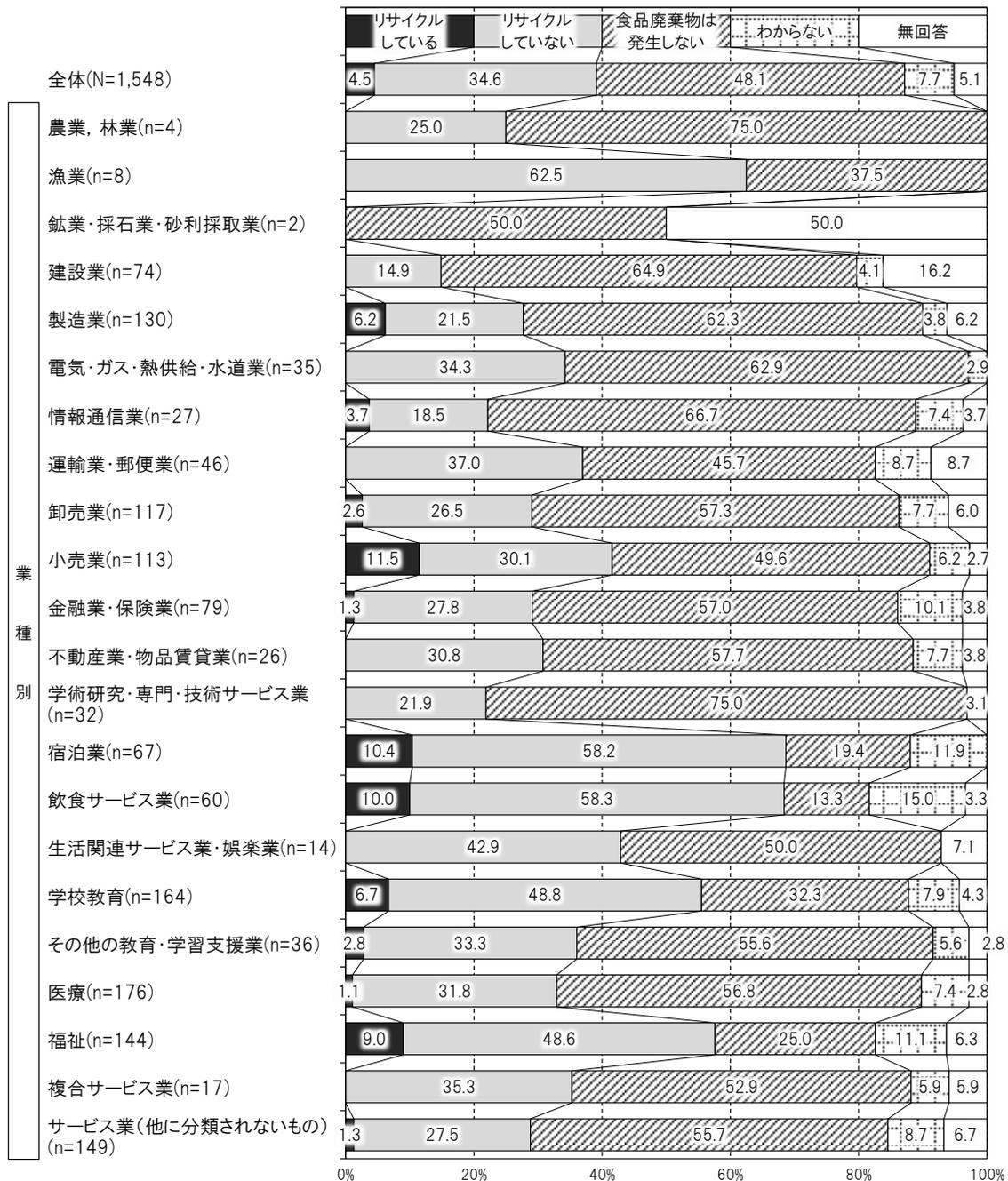
## 第4章 食品廃棄物のリサイクルについて

### 4-1 食品廃棄物のリサイクル状況

■「リサイクルしていない」(34.6%)が「リサイクルしている」(4.5%)を大きく上回る。

問 13. 貴事業所では、食品廃棄物を分別してリサイクルしていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

【図 4-1.ア】 食品廃棄物のリサイクル状況（業種別）

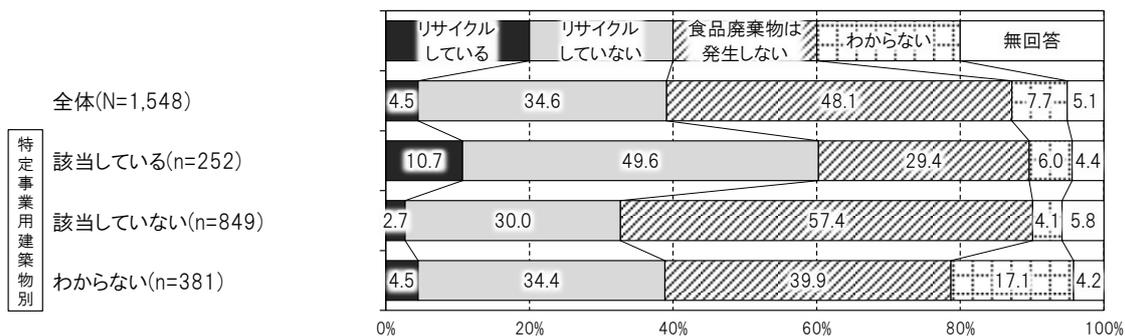


## II 調査結果

食品廃棄物のリサイクル状況についてたずねたところ、「食品廃棄物は発生しない」(48.1%)と回答する事業所が半数近くを占めるが、「リサイクルしている」と回答する事業所が4.5%、「リサイクルしていない」と回答する事業所が34.6%、「わからない」と回答する事業所が7.7%となっている。

これを業種別にみると、「リサイクルしていない」と回答する事業所は、「飲食サービス業」(58.3%)、「宿泊業」(58.2%)が6割弱、「学校教育」(48.8%)、「福祉」(48.6%)が5割弱を占め、他の業種より高くなっている。

【図 4-1.イ】食品廃棄物のリサイクル状況（特定事業用建築物別）



特定事業用建築物別にみると、該当している事業所は「食品廃棄物は発生しない」が29.4%と低く、「リサイクルしていない」と回答する事業所が49.6%と高くなっている。

【表 4-1】食品廃棄物のリサイクル状況

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サン プル 数	リ サイ クル して いる	リ サイ クル して いな い	食 品 廃 棄 物 は 発 生 し な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		100.0 1,548	4.5 69	34.6 536	48.1 745	7.7 119	5.1 79
業 種 別	農業、林業	4	-	25.0	75.0	-	-
	漁業	8	-	62.5	37.5	-	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	-	-	50.0	-	50.0
	建設業	74	-	14.9	64.9	4.1	16.2
	製造業	130	6.2	21.5	62.3	3.8	6.2
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	-	34.3	62.9	2.9	-
	情報通信業	27	3.7	18.5	66.7	7.4	3.7
	運輸業・郵便業	46	-	37.0	45.7	8.7	8.7
	卸売業	117	2.6	26.5	57.3	7.7	6.0
	小売業	113	11.5	30.1	49.6	6.2	2.7
	金融業・保険業	79	1.3	27.8	57.0	10.1	3.8
	不動産業・物品賃貸業	26	-	30.8	57.7	7.7	3.8
	学術研究・専門・技術サービス業	32	-	21.9	75.0	-	3.1
	宿泊業	67	10.4	58.2	19.4	11.9	-
	飲食サービス業	60	10.0	58.3	13.3	15.0	3.3
	生活関連サービス業・娯楽業	14	-	42.9	50.0	-	7.1
	学校教育	164	6.7	48.8	32.3	7.9	4.3
	その他の教育・学習支援業	36	2.8	33.3	55.6	5.6	2.8
	医療	176	1.1	31.8	56.8	7.4	2.8
	福祉	144	9.0	48.6	25.0	11.1	6.3
複合サービス業	17	-	35.3	52.9	5.9	5.9	
サービス業（他に分類されないもの）	149	1.3	27.5	55.7	8.7	6.7	
無回答	28	3.6	35.7	42.9	10.7	7.1	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	252	10.7	49.6	29.4	6.0	4.4
	該当していない	849	2.7	30.0	57.4	4.1	5.8
	わからない	381	4.5	34.4	39.9	17.1	4.2
	無回答	66	3.0	37.9	48.5	6.1	4.5
従 業 員 数 別	1～4人	121	3.3	26.4	50.4	9.9	9.9
	5～9人	454	2.2	25.8	60.1	6.6	5.3
	10～19人	364	3.3	37.9	47.5	7.1	4.1
	20～29人	179	4.5	38.5	44.1	6.7	6.1
	30～49人	167	5.4	43.1	39.5	7.8	4.2
	50～99人	125	6.4	44.8	37.6	7.2	4.0
	100～199人	55	12.7	38.2	30.9	12.7	5.5
	200～299人	18	5.6	55.6	38.9	-	-
	300人以上	43	20.9	30.2	30.2	18.6	-
無回答	22	4.5	36.4	40.9	9.1	9.1	

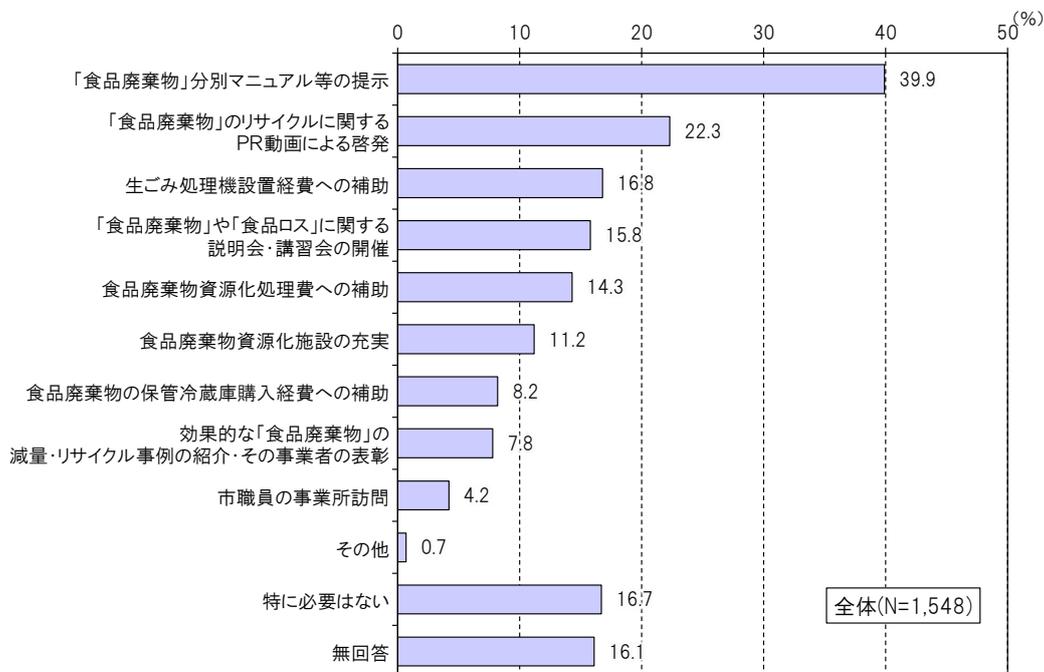
## II 調査結果

### 4-2 食品廃棄物のリサイクルを進めるために必要なこと

■リサイクルに向けて必要なことは、「食品廃棄物・分別マニュアル等の提示」(39.9%)が最多。

問 14. 事業所から出る「食品廃棄物」のリサイクルを進めるには、何が重要だと思いますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【図 4-2】食品廃棄物のリサイクルを進めるために必要なこと



食品廃棄物のリサイクルを進めるために必要なことをたずねたところ、「「食品廃棄物」分別マニュアル等の提示」(39.9%)が最も高く、次いで「「食品廃棄物」のリサイクルに関するPR動画による啓発」(22.3%)、「生ごみ処理機設置経費への補助」(16.8%)、「「食品廃棄物」や「食品ロス」に関する説明会・講習会の開催」(15.8%)、「食品廃棄物資源化処理費への補助」(14.3%)、「食品廃棄物資源化施設の充実」(11.2%)となっている。なお、「特に必要はない」(16.7%)と回答する事業所は2割弱となっている。

【表 4-2】 食品廃棄物のリサイクルを進めるために必要なこと

	サンプル数	数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)												
		示「食品廃棄物」分別マニュアル等の提示	PR動画による啓発	「食品廃棄物」のリサイクルに関する	生ごみ処理機設置経費への補助	「食品廃棄物」や「食品ロス」に関する説明会・講習会の開催	食品廃棄物資源化処理費への補助	食品廃棄物資源化施設の充実	食品廃棄物の保管冷蔵庫購入経費への補助	効果的な「食品廃棄物」の減量・リサイクル事例の紹介・その事業者の表彰	市職員の事業所訪問(事業所での排出・分別状況を確認した上での相談)	その他	特に必要はない	無回答
全体	100.0 1,548	39.9 618	22.3 345	16.8 260	15.8 245	14.3 222	11.2 174	8.2 127	7.8 120	4.2 65	0.7 11	16.7 259	16.1 250	
業種別	農業、林業	4	50.0	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-
	漁業	8	25.0	25.0	-	25.0	12.5	12.5	12.5	-	-	-	12.5	12.5
	鉱業、採石業・砂利採取業	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	建設業	74	33.8	17.6	10.8	13.5	10.8	6.8	1.4	5.4	1.4	-	17.6	23.0
	製造業	130	33.8	23.8	13.8	13.8	11.5	9.2	6.2	4.6	3.1	-	14.6	21.5
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	60.0	14.3	5.7	14.3	8.6	5.7	2.9	5.7	5.7	2.9	11.4	8.6
	情報通信業	27	37.0	18.5	11.1	18.5	18.5	7.4	14.8	7.4	7.4	-	25.9	14.8
	運輸業・郵便業	46	50.0	17.4	10.9	21.7	10.9	6.5	8.7	10.9	4.3	-	6.5	26.1
	卸売業	117	41.0	19.7	12.0	6.0	11.1	8.5	2.6	5.1	5.1	0.9	22.2	14.5
	小売業	113	37.2	26.5	12.4	12.4	14.2	14.2	11.5	9.7	3.5	0.9	16.8	16.8
	金融業・保険業	79	30.4	31.6	12.7	21.5	6.3	13.9	1.3	7.6	2.5	-	19.0	12.7
	不動産業・物品賃貸業	26	46.2	30.8	19.2	15.4	19.2	11.5	7.7	7.7	3.8	3.8	30.8	11.5
	学術研究・専門・技術サービス業	32	40.6	18.8	9.4	18.8	9.4	18.8	9.4	9.4	9.4	-	25.0	15.6
	宿泊業	67	55.2	28.4	23.9	16.4	25.4	16.4	13.4	6.0	3.0	-	10.4	-
	飲食サービス業	60	40.0	25.0	21.7	25.0	16.7	10.0	10.0	6.7	8.3	-	16.7	10.0
	生活関連サービス業・娯楽業	14	7.1	14.3	21.4	-	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1	-	14.3	35.7
	学校教育	164	42.1	17.7	25.6	13.4	20.7	12.8	14.6	11.6	3.0	0.6	16.5	15.2
	その他の教育・学習支援業	36	22.2	8.3	19.4	16.7	13.9	8.3	8.3	13.9	5.6	2.8	25.0	25.0
	医療	176	43.8	22.2	14.8	16.5	13.1	14.2	7.4	6.8	4.0	0.6	14.8	18.2
	福祉	144	44.4	23.6	31.3	18.8	21.5	11.8	12.5	11.1	6.3	2.1	12.5	8.3
複合サービス業	17	47.1	17.6	11.8	11.8	11.8	5.9	5.9	5.9	-	-	11.8	17.6	
サービス業(他に分類されないもの)	149	38.3	24.2	11.4	20.1	10.1	10.1	6.7	4.7	2.7	0.7	19.5	21.5	
無回答	28	25.0	25.0	21.4	14.3	14.3	10.7	3.6	14.3	10.7	-	17.9	21.4	
特定事業用 建築物別	該当している	252	49.6	24.2	22.6	15.9	21.4	16.7	13.1	9.1	4.0	0.8	12.7	11.5
	該当していない	849	38.0	23.8	15.3	15.3	12.6	11.2	7.3	7.1	3.9	0.7	16.3	17.3
	わからない	381	39.1	19.2	16.8	15.7	13.1	8.4	7.3	8.9	5.0	0.5	21.3	14.2
	無回答	66	31.8	13.6	13.6	22.7	16.7	7.6	6.1	4.5	4.5	1.5	12.1	30.3
従業員数別	1~4人	121	28.9	19.0	9.9	10.7	9.9	12.4	6.6	5.8	4.1	0.8	21.5	24.8
	5~9人	454	36.8	21.1	11.2	13.9	11.7	10.6	6.4	5.9	2.4	0.7	20.3	19.2
	10~19人	364	41.8	23.9	17.0	14.0	11.8	10.4	6.6	9.3	3.6	0.5	14.6	14.0
	20~29人	179	39.7	25.7	24.0	18.4	16.8	11.2	11.7	8.4	6.1	1.7	15.1	15.1
	30~49人	167	45.5	22.8	22.8	21.0	18.6	11.4	12.0	9.6	4.8	1.2	11.4	10.8
	50~99人	125	42.4	19.2	22.4	17.6	17.6	14.4	9.6	4.8	8.8	-	17.6	14.4
	100~199人	55	43.6	20.0	25.5	20.0	32.7	7.3	10.9	9.1	-	-	14.5	10.9
	200~299人	18	33.3	11.1	11.1	22.2	16.7	16.7	16.7	5.6	11.1	-	16.7	11.1
	300人以上	43	62.8	32.6	11.6	23.3	16.3	9.3	9.3	18.6	4.7	-	11.6	11.6
無回答	22	31.8	18.2	22.7	13.6	13.6	22.7	-	4.5	9.1	-	18.2	27.3	

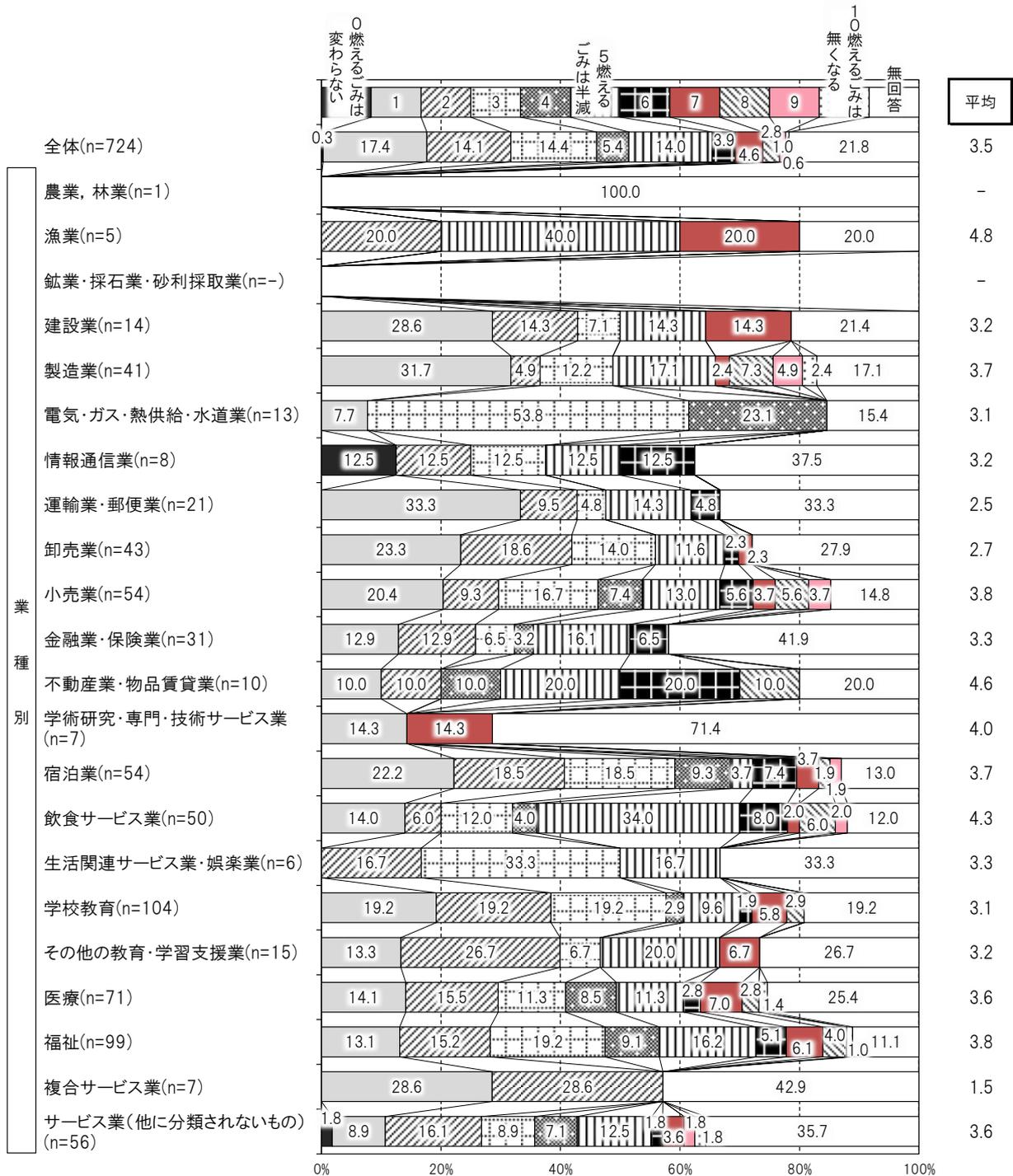
II 調査結果

4-3 食品廃棄物を全てリサイクルした際の燃えるごみ排出量への影響

■食品廃棄物をリサイクルした際の「燃えるごみ」の排出量が削減する割合は、『1割～5割』に集中しており、『1割～5割』（65.5%）が6割強。なお、平均は3.5割である。

問 15. 貴事業所から出る「食品廃棄物」を全てリサイクルできるとすると、「燃えるごみ」はどの程度減ると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つだけ）

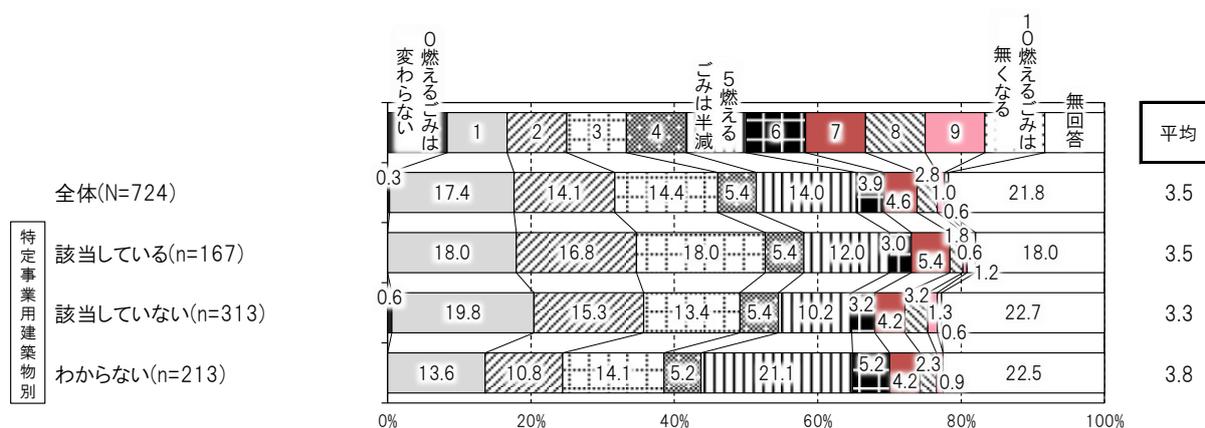
【図 4-3.ア】食品廃棄物を全てリサイクルした際の燃えるごみ排出量への影響（業種別）



問13で「している」、「していない」、「わからない」と答えた事業所(724社)に、食品廃棄物をすべてリサイクルした際に「燃えるごみ」がどの程度減るかについてたずねたところ、「1割」(17.4%)と回答する事業所が最も多く、次いで「3割」(14.4%)、「2割」(14.1%)、「5割(燃えるごみは半減)」(14.0%)、「4割」(5.4%)となっている。なお、「0(燃えるごみは変わらない)」は0.3%、「10割(燃えるごみは無くなる)」は0.6%であり、平均は3.5割となっている。

これを業種別にみると、回答は様々だがいずれの業種とも「1割」～「5割」が最も多い。

【図4-3.1】食品廃棄物を全てリサイクルした際の燃えるごみ排出量への影響  
(特定事業用建築物別)



特定事業用建築物別にみると、該当の有無に関わらず全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

II 調査結果

【表 4-3】食品廃棄物を全てリサイクルした際の燃えるごみ排出量への影響

業種別	サンプル数	0 燃えるごみは変わらない (減らない)	1	2	3	4	5 燃えるごみは半減	6	7	8	9	10 燃えるごみは無く なる(すべて食品廃棄物)	無回答	平均
全体	100.0 724	0.3 2	17.4 126	14.1 102	14.4 104	5.4 39	14.0 101	3.9 28	4.6 33	2.8 20	1.0 7	0.6 4	21.8 158	3.5
農業、林業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
漁業	5	-	-	20.0	-	-	40.0	-	20.0	-	-	-	20.0	4.8
鉱業・採石業・砂利採取業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	14	-	28.6	14.3	7.1	-	14.3	-	14.3	-	-	-	21.4	3.2
製造業	41	-	31.7	4.9	12.2	-	17.1	-	2.4	7.3	4.9	2.4	17.1	3.7
電気・ガス・熱供給・水道業	13	-	7.7	-	53.8	23.1	-	-	-	-	-	-	15.4	3.1
情報通信業	8	12.5	-	12.5	12.5	-	12.5	12.5	-	-	-	-	37.5	3.2
運輸業・郵便業	21	-	33.3	9.5	4.8	-	14.3	4.8	-	-	-	-	33.3	2.5
卸売業	43	-	23.3	18.6	14.0	-	11.6	2.3	2.3	-	-	-	27.9	2.7
小売業	54	-	20.4	9.3	16.7	7.4	13.0	5.6	3.7	5.6	3.7	-	14.8	3.8
金融業・保険業	31	-	12.9	12.9	6.5	3.2	16.1	6.5	-	-	-	-	41.9	3.3
不動産業・物品賃貸業	10	-	10.0	10.0	-	10.0	20.0	20.0	-	10.0	-	-	20.0	4.6
学術研究・専門・技術サービス業	7	-	14.3	-	-	-	-	-	14.3	-	-	-	71.4	4.0
宿泊業	54	-	22.2	18.5	18.5	9.3	3.7	7.4	3.7	1.9	1.9	-	13.0	3.7
飲食サービス業	50	-	14.0	6.0	12.0	4.0	34.0	8.0	2.0	6.0	2.0	-	12.0	4.3
生活関連サービス業・娯楽業	6	-	-	16.7	33.3	-	16.7	-	-	-	-	-	33.3	3.3
学校教育	104	-	19.2	19.2	19.2	2.9	9.6	1.9	5.8	2.9	-	-	19.2	3.1
その他の教育・学習支援業	15	-	13.3	26.7	6.7	-	20.0	-	6.7	-	-	-	26.7	3.2
医療	71	-	14.1	15.5	11.3	8.5	11.3	2.8	7.0	2.8	-	1.4	25.4	3.6
福祉	99	-	13.1	15.2	19.2	9.1	16.2	5.1	6.1	4.0	-	1.0	11.1	3.8
複合サービス業	7	-	28.6	28.6	-	-	-	-	-	-	-	-	42.9	1.5
サービス業（他に分類されないもの）	56	1.8	8.9	16.1	8.9	7.1	12.5	1.8	3.6	-	1.8	1.8	35.7	3.6
無回答	14	-	21.4	7.1	7.1	7.1	21.4	-	14.3	-	-	-	21.4	3.7
特定事業用														
建築物別														
該当している	167	-	18.0	16.8	18.0	5.4	12.0	3.0	5.4	1.8	0.6	1.2	18.0	3.5
該当していない	313	0.6	19.8	15.3	13.4	5.4	10.2	3.2	4.2	3.2	1.3	0.6	22.7	3.3
わからない	213	-	13.6	10.8	14.1	5.2	21.1	5.2	4.2	2.3	0.9	-	22.5	3.8
無回答	31	-	16.1	9.7	6.5	6.5	12.9	6.5	6.5	6.5	-	-	29.0	4.0
従業員数別														
1～4人	48	-	12.5	14.6	16.7	2.1	16.7	2.1	2.1	2.1	-	-	31.3	3.3
5～9人	157	0.6	19.1	14.0	7.6	3.8	13.4	3.2	3.2	3.2	-	1.3	30.6	3.3
10～19人	176	0.6	18.2	12.5	18.8	7.4	11.9	4.0	3.4	2.3	1.1	-	19.9	3.3
20～29人	89	-	14.6	11.2	14.6	3.4	16.9	5.6	5.6	3.4	3.4	1.1	20.2	4.4
30～49人	94	-	19.1	13.8	12.8	9.6	9.6	4.3	6.4	5.3	-	1.1	18.1	3.6
50～99人	73	-	16.4	13.7	20.5	4.1	15.1	1.4	6.8	1.4	2.7	-	17.8	3.5
100～199人	35	-	11.4	20.0	17.1	5.7	14.3	11.4	5.7	-	-	-	14.3	3.6
200～299人	11	-	27.3	27.3	18.2	-	18.2	-	-	-	-	-	9.1	2.5
300人以上	30	-	16.7	20.0	6.7	6.7	26.7	3.3	6.7	3.3	-	-	10.0	3.7
無回答	11	-	27.3	18.2	9.1	-	9.1	-	9.1	-	-	-	27.3	2.8

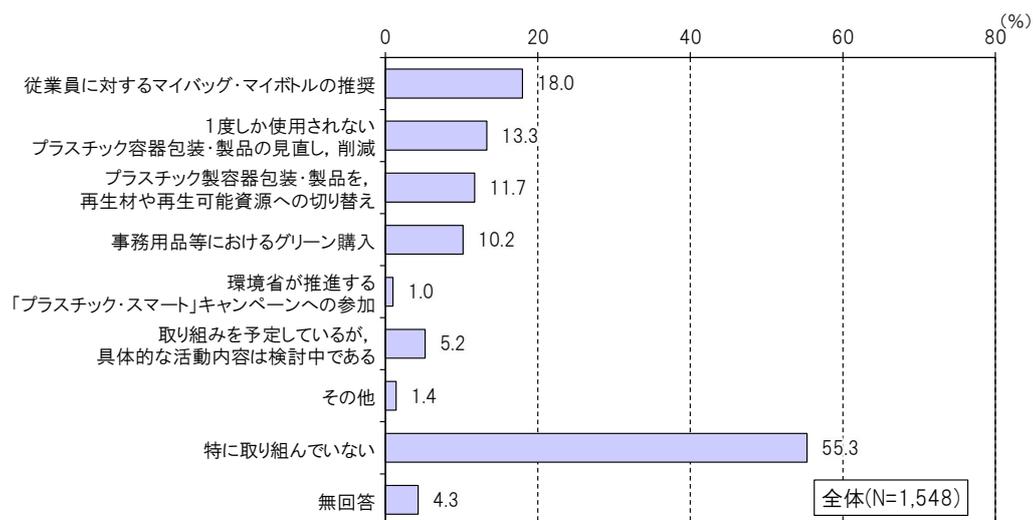
## 第5章 プラスチックごみの削減について

### 5-1 プラスチックごみの削減に向けての取組内容

■プラスチックごみの削減に向けて取り組んでいることは、「従業員に対するマイバッグ・マイボトルの推奨」(18.0%)が最多。しかし、「特に取り組んでいない」(55.3%)が半数以上。

問 16. 近年の「海洋プラスチックごみ」が世界的な課題となっていますが、プラスチックごみ削減に向けて、貴事業所で取り組んでいることはありますか。今後の予定を含め、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【図 5-1】プラスチックごみの削減に向けての取組内容



プラスチックごみの削減に向けて取組内容をたずねたところ、「従業員に対するマイバッグ・マイボトルの推奨」(18.0%)が最も高く、次いで「1度しか使用されないプラスチック容器包装・製品の見直し、削減」(13.3%)、「プラスチック製容器包装・製品を、再生材や再生可能資源(紙・バイオマスプラスチック等)へ切り替え」(11.7%)、「事務用品等におけるグリーン購入」(10.2%)となっている。なお、「特に取り組んでいない」(55.3%)と回答する事業所は半数以上を占めている。

II 調査結果

【表 5-1】プラスチックごみの削減に向けての取組内容

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サンプル数	従業員に対するマイバッグ・マイボトルの推奨	1度しか使用されないプラスチック容器包装・製品の削減	（紙、再生材や再生可能資源を）紙・バイオマスプラスチックへの切り替え	事務用品等におけるグリーン購入	取り組みを予定しているが、体系的な活動内容は検討中である	環境省が推進する「プラスチック・スマート」キャンペーンへの参加	その他	特に取り組んでいない	無回答
全体		100.0 1,548	18.0 278	13.3 206	11.7 181	10.2 158	5.2 81	1.0 15	1.4 21	55.3 856	4.3 66
業種別	農業、林業	4	25.0	-	-	25.0	-	-	-	50.0	-
	漁業	8	25.0	-	-	37.5	12.5	-	-	37.5	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0
	建設業	74	17.6	16.2	10.8	21.6	6.8	-	-	44.6	6.8
	製造業	130	12.3	13.8	16.2	11.5	5.4	0.8	2.3	48.5	6.9
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	14.3	14.3	11.4	37.1	22.9	-	2.9	28.6	2.9
	情報通信業	27	25.9	7.4	7.4	11.1	14.8	3.7	-	55.6	-
	運輸業・郵便業	46	15.2	13.0	17.4	10.9	8.7	2.2	2.2	52.2	8.7
	卸売業	117	13.7	10.3	7.7	13.7	4.3	0.9	2.6	62.4	1.7
	小売業	113	23.9	16.8	16.8	6.2	3.5	-	2.7	46.9	6.2
	金融業・保険業	79	7.6	7.6	7.6	6.3	2.5	1.3	-	73.4	3.8
	不動産業・物品賃貸業	26	15.4	3.8	7.7	7.7	11.5	-	-	61.5	3.8
	学術研究・専門・技術サービス業	32	25.0	18.8	18.8	9.4	-	-	-	46.9	-
	宿泊業	67	9.0	10.4	9.0	3.0	10.4	1.5	-	67.2	4.5
	飲食サービス業	60	26.7	28.3	21.7	5.0	5.0	-	-	40.0	1.7
	生活関連サービス業・娯楽業	14	28.6	21.4	-	-	7.1	7.1	-	42.9	21.4
	学校教育	164	18.3	7.3	12.8	10.4	4.9	-	3.0	58.5	1.8
	その他の教育・学習支援業	36	16.7	5.6	2.8	2.8	5.6	-	-	72.2	2.8
	医療	176	22.2	15.3	8.5	8.0	2.8	1.1	1.7	56.8	2.8
	福祉	144	20.1	15.3	11.8	5.6	3.5	0.7	0.7	61.1	2.8
複合サービス業	17	23.5	29.4	23.5	17.6	5.9	5.9	-	41.2	5.9	
サービス業（他に分類されないもの）	149	18.1	12.8	9.4	11.4	3.4	2.0	-	56.4	6.7	
無回答	28	17.9	17.9	17.9	14.3	3.6	3.6	3.6	50.0	7.1	
建築物別 特定事業用	該当している	252	19.0	10.3	11.9	13.1	9.9	0.8	2.0	49.6	3.2
	該当していない	849	18.3	13.3	11.3	10.7	4.8	0.8	1.4	54.7	4.4
	わからない	381	17.1	15.0	12.1	7.9	3.4	1.3	1.0	59.8	4.2
	無回答	66	15.2	15.2	13.6	6.1	3.0	1.5	-	59.1	7.6
従業員数別	1～4人	121	17.4	16.5	13.2	9.1	4.1	-	1.7	51.2	8.3
	5～9人	454	20.9	12.8	11.9	9.5	3.7	1.5	0.7	56.4	4.0
	10～19人	364	20.3	14.8	12.1	9.1	7.1	0.3	1.6	51.9	4.1
	20～29人	179	16.2	11.2	11.2	10.1	6.1	1.7	0.6	55.3	6.1
	30～49人	167	14.4	8.4	6.6	6.6	4.8	1.2	2.4	66.5	2.4
	50～99人	125	11.2	15.2	12.8	12.8	4.0	-	1.6	59.2	2.4
	100～199人	55	12.7	16.4	16.4	12.7	3.6	1.8	3.6	49.1	3.6
	200～299人	18	16.7	-	-	33.3	5.6	-	-	38.9	5.6
	300人以上	43	16.3	18.6	18.6	25.6	14.0	-	2.3	41.9	-
無回答	22	18.2	18.2	13.6	9.1	-	4.5	-	59.1	9.1	

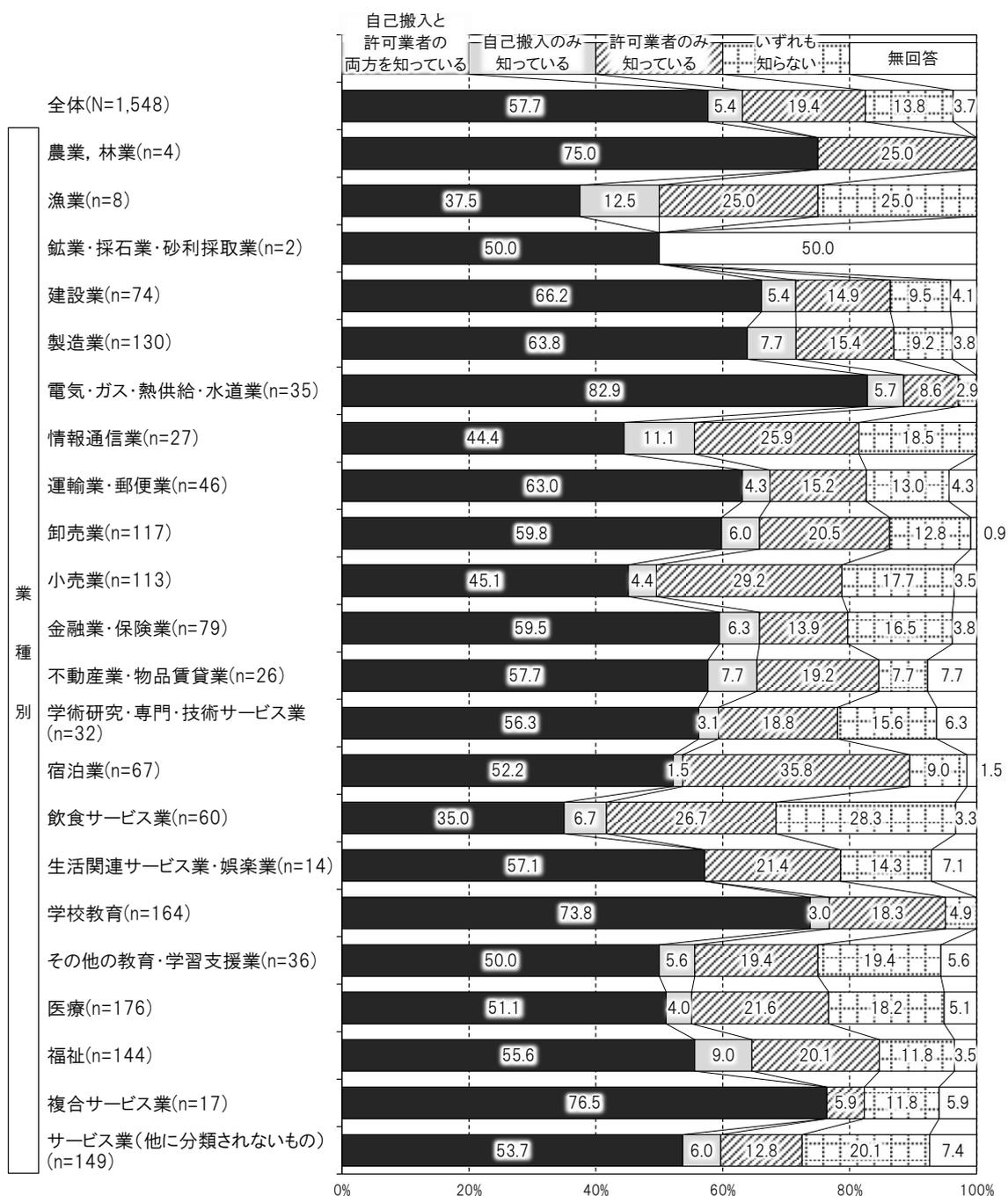
## 第6章 福岡市における事業系ごみの処理、ごみ減量・リサイクルへの取組み及び今後の施策について

### 6-1 事業系ごみの収集運搬方法の認知度

■ 運搬方法としては、『許可業者は知っている』（77.1%）は8割弱、『自己搬入は知っている』（63.1%）は6割強。

問 17. 事業所から出るごみ（産業廃棄物を除く）を処理するための運搬方法は、排出者自らが清掃工場等へ搬入する方法（自己搬入）と収集運搬の許可を得た業者（許可業者）に委託する方法があることをご存知ですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つだけ）

【図 6-1.ア】 事業系ごみの収集運搬方法の認知度（業種別）

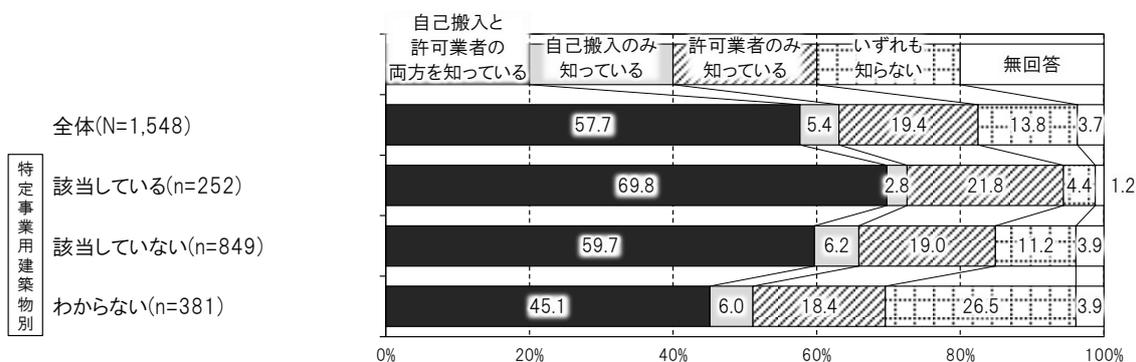


## II 調査結果

事業系ごみの収集運搬方法を知っているかたずねたところ、「自己搬入と許可業者の両方を知っている」と回答する事業所が 57.7%、「許可業者のみ知っている」と回答する事業所が 19.4%、「自己搬入のみ知っている」と回答する事業所が 5.4%となっており、『許可業者は知っている』（77.1%）は 8 割弱、『自己搬入は知っている』（63.1%）は 6 割強を占めている。なお、「いずれも知らない」（13.8%）は 1 割強となっている。

これを業種別にみると、「自己搬入と許可業者の両方を知っている」と回答する事業所は、「電気・ガス・熱供給・水道業」（82.9%）が 8 割強、「学校教育」（73.8%）が 7 割強を占め、他の業種より高くなっている。特に「電気・ガス・熱供給・水道業」は『許可業者は知っている』では 91.5%、『自己搬入は知っている』では 88.6%と極めて認知率が高い。

【図 6-1.1】 事業系ごみの収集運搬方法の認知度（特定事業用建築物別）



特定事業用建築物別にみると、該当している事業所は「自己搬入と許可業者の両方を知っている」と回答する事業所が 69.8%と高く、『許可業者は知っている』では 91.6%、『自己搬入は知っている』では 72.6%と極めて認知率が高い。

【表 6-1】事業系ごみの収集運搬方法の認知度

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サン プル 数	両 自 己 搬 入 と 許 可 業 者 の	自 己 搬 入 の み 知 っ て い	許 可 業 者 の み 知 っ て い	い ず れ も 知 ら な い	無 回 答
全体		100.0 1,548	57.7 893	5.4 84	19.4 300	13.8 214	3.7 57
業 種 別	農業、林業	4	75.0	-	25.0	-	-
	漁業	8	37.5	12.5	25.0	25.0	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	50.0	-	-	-	50.0
	建設業	74	66.2	5.4	14.9	9.5	4.1
	製造業	130	63.8	7.7	15.4	9.2	3.8
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	82.9	5.7	8.6	2.9	-
	情報通信業	27	44.4	11.1	25.9	18.5	-
	運輸業・郵便業	46	63.0	4.3	15.2	13.0	4.3
	卸売業	117	59.8	6.0	20.5	12.8	0.9
	小売業	113	45.1	4.4	29.2	17.7	3.5
	金融業・保険業	79	59.5	6.3	13.9	16.5	3.8
	不動産業・物品賃貸業	26	57.7	7.7	19.2	7.7	7.7
	学術研究・専門・技術サービス業	32	56.3	3.1	18.8	15.6	6.3
	宿泊業	67	52.2	1.5	35.8	9.0	1.5
	飲食サービス業	60	35.0	6.7	26.7	28.3	3.3
	生活関連サービス業・娯楽業	14	57.1	-	21.4	14.3	7.1
	学校教育	164	73.8	3.0	18.3	4.9	-
	その他の教育・学習支援業	36	50.0	5.6	19.4	19.4	5.6
	医療	176	51.1	4.0	21.6	18.2	5.1
	福祉	144	55.6	9.0	20.1	11.8	3.5
複合サービス業	17	76.5	-	5.9	11.8	5.9	
サービス業（他に分類されないもの）	149	53.7	6.0	12.8	20.1	7.4	
無回答	28	60.7	3.6	10.7	17.9	7.1	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	252	69.8	2.8	21.8	4.4	1.2
	該当していない	849	59.7	6.2	19.0	11.2	3.9
	わからない	381	45.1	6.0	18.4	26.5	3.9
	無回答	66	57.6	1.5	21.2	10.6	9.1
従 業 員 数 別	1～4人	121	42.1	9.9	17.4	22.3	8.3
	5～9人	454	56.4	6.8	14.8	18.1	4.0
	10～19人	364	56.9	5.2	22.8	11.8	3.3
	20～29人	179	58.1	3.4	22.9	10.6	5.0
	30～49人	167	63.5	4.2	20.4	11.4	0.6
	50～99人	125	64.0	3.2	22.4	7.2	3.2
	100～199人	55	58.2	5.5	23.6	10.9	1.8
	200～299人	18	72.2	-	16.7	11.1	-
	300人以上	43	72.1	4.7	16.3	7.0	-
無回答	22	59.1	-	13.6	18.2	9.1	

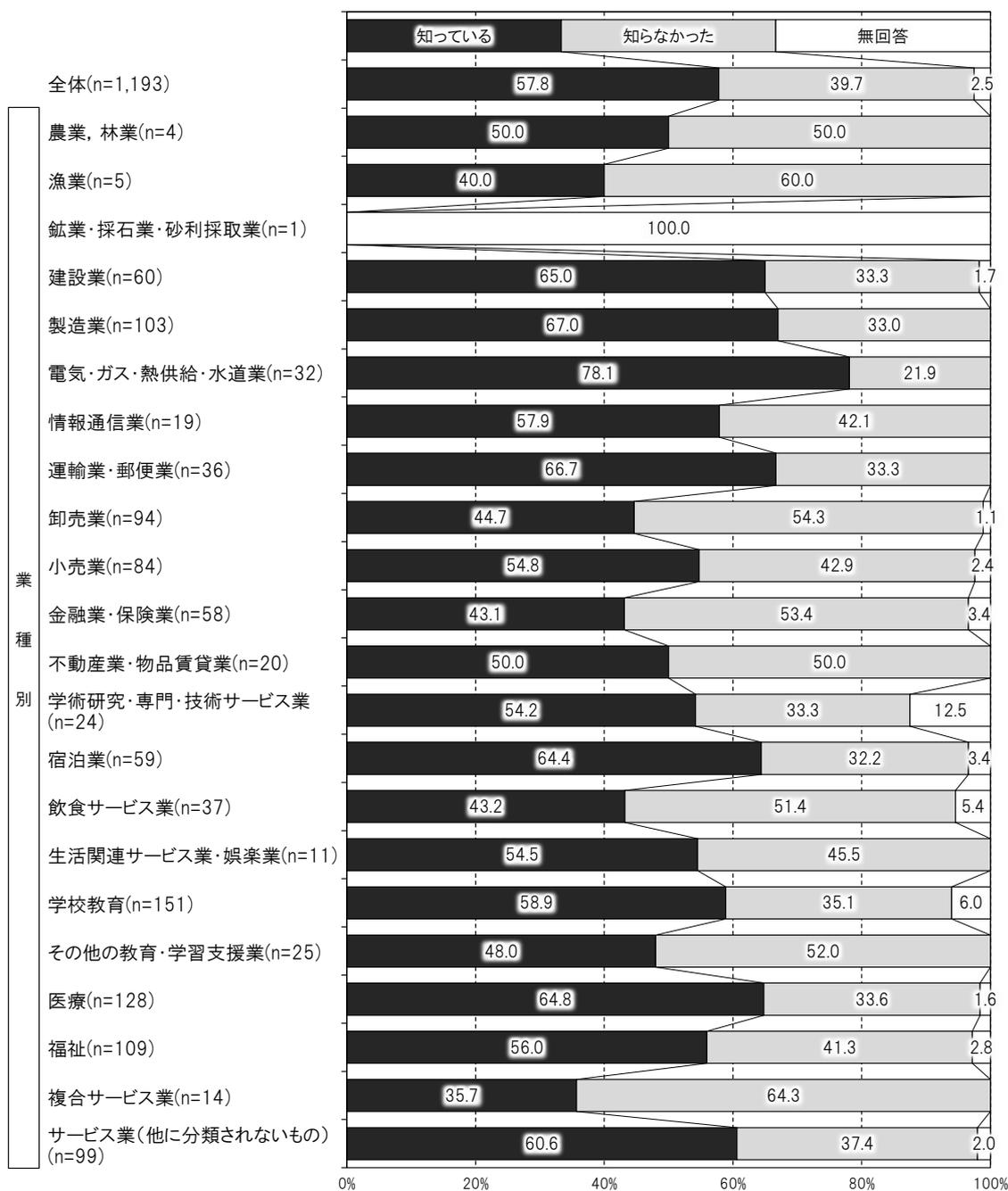
II 調査結果

6-2 委託契約金額の内訳の認知度

■委託契約金額の内訳を『知っている』(57.8%)は6割弱、『知らなかった』(39.7%)は4割弱。

付問 17-1.【問 17で1, 3と答えた方へ】許可業者との委託契約金額には「収集運搬経費」と「処分経費」が含まれていることをご存知ですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

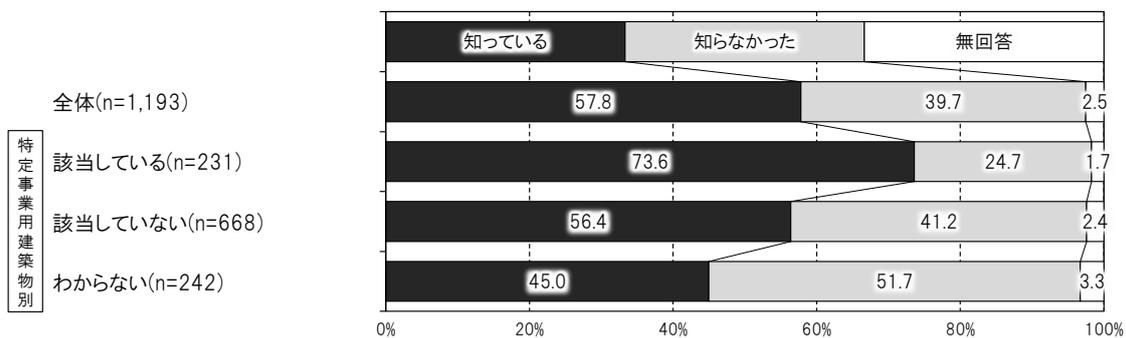
【図 6-2.ア】委託契約金額の内訳の認知度（業種別）



問17で「自己搬入と許可業者の両方を知っている」、「許可業者のみ知っている」と答えた事業所(1,193社)に、委託契約金額に収集運搬経費と処分経費が含まれていることを知っているかたずねたところ、「知っている」(57.8%)と回答する事業所が6割弱を占めるが、「知らなかった」(39.7%)と回答する事業所も4割弱みられる。

これを業種別にみると、「知っている」と回答する事業所は、「電気・ガス・熱供給・水道業」(78.1%)が8割弱を占め、他の業種より高くなっている。一方、「知らなかった」と回答する事業所は、「卸売業」(54.3%)、「金融業・保険業」(53.4%)が他の業種より高くなっている。

【図 6-2.1】委託契約金額の内訳の認知度（特定事業用建築物別）



特定事業用建築物別にみると、該当している事業所は「知っている」と回答する事業所が73.6%と高い。

II 調査結果

【表 6-2】 委託契約金額の内訳の認知度

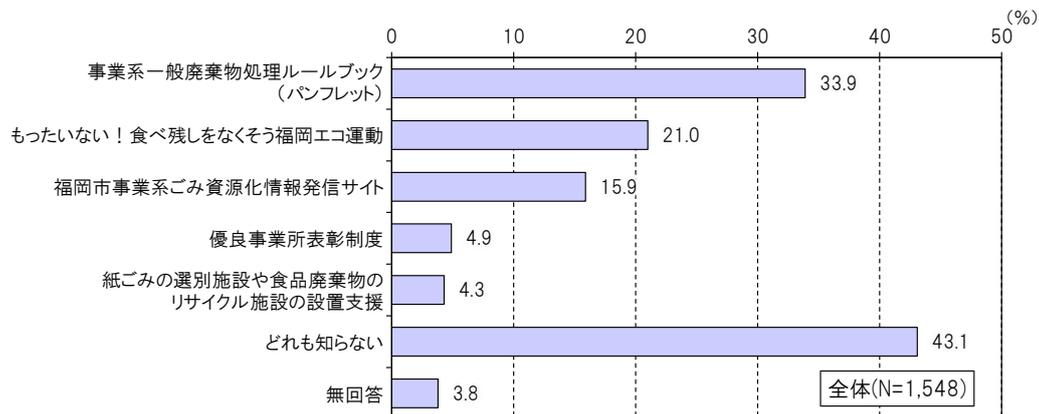
数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	知 っ て い る	知 ら な か っ た	無 回 答
全体		100.0 1,193	57.8 689	39.7 474	2.5 30
業 種 別	農業, 林業	4	50.0	50.0	-
	漁業	5	40.0	60.0	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	1	-	-	100.0
	建設業	60	65.0	33.3	1.7
	製造業	103	67.0	33.0	-
	電気・ガス・熱供給・水道業	32	78.1	21.9	-
	情報通信業	19	57.9	42.1	-
	運輸業・郵便業	36	66.7	33.3	-
	卸売業	94	44.7	54.3	1.1
	小売業	84	54.8	42.9	2.4
	金融業・保険業	58	43.1	53.4	3.4
	不動産業・物品賃貸業	20	50.0	50.0	-
	学術研究・専門・技術サービス業	24	54.2	33.3	12.5
	宿泊業	59	64.4	32.2	3.4
	飲食サービス業	37	43.2	51.4	5.4
	生活関連サービス業・娯楽業	11	54.5	45.5	-
	学校教育	151	58.9	35.1	6.0
	その他の教育・学習支援業	25	48.0	52.0	-
	医療	128	64.8	33.6	1.6
	福祉	109	56.0	41.3	2.8
複合サービス業	14	35.7	64.3	-	
サービス業（他に分類されないもの）	99	60.6	37.4	2.0	
無回答	20	55.0	45.0	-	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	231	73.6	24.7	1.7
	該当していない	668	56.4	41.2	2.4
	わからない	242	45.0	51.7	3.3
	無回答	52	63.5	32.7	3.8
従 業 員 数 別	1~4人	72	55.6	43.1	1.4
	5~9人	323	50.2	47.7	2.2
	10~19人	290	53.4	42.8	3.8
	20~29人	145	61.4	36.6	2.1
	30~49人	140	55.0	41.4	3.6
	50~99人	108	76.9	22.2	0.9
	100~199人	45	71.1	26.7	2.2
	200~299人	16	75.0	25.0	-
	300人以上	38	81.6	15.8	2.6
無回答	16	50.0	50.0	-	

## 6-3 福岡市が実施する事業系ごみの減量・リサイクル推進施策の認知度

■福岡市が実施する事業系ごみの減量・リサイクル推進施策の中で知っているのは、「事業系一般廃棄物処理ルールブック」(33.9%)が最多。

問 18. 福岡市が実施する主な事業系ごみの減量・リサイクル推進施策について、ご存知のものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【図 6-3】福岡市が実施する事業系ごみの減量・リサイクル推進施策の認知度



福岡市が実施する事業系ごみの減量・リサイクル推進施策で知っているものをたずねたところ、「事業系一般廃棄物処理ルールブック (パンフレット)」(33.9%)が最も高く、次いで「もったいない! 食べ残しをなくそう福岡エコ運動 (飲食店からの食品廃棄物削減を目的とした啓発事業)」(21.0%)、「福岡市事業系ごみ資源化情報発信サイト (古紙・機密書類回収業者をみつけるマッチングサイト)」(15.9%)、「優良事業所表彰制度」(4.9%)、「紙ごみの選別施設や食品廃棄物のリサイクル施設の設置支援」(4.3%)となっている。なお、「どれも知らない」(43.1%)と回答する事業所は4割強を占めている。

II 調査結果

【表 6-3】福岡市が実施する事業系ごみの減量・リサイクル推進施策の認知度

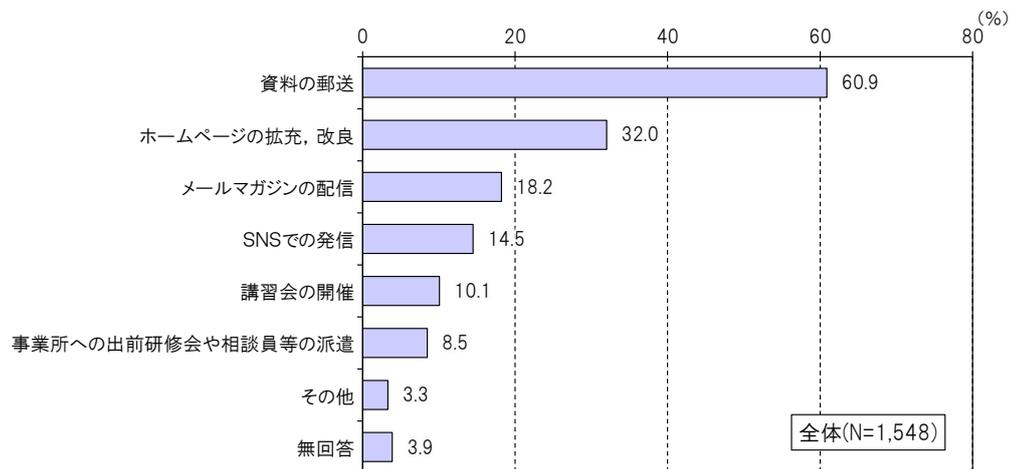
数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	事 業 系 一 般 廃 棄 物 処 理 ル ー ル ( パ ン フ レ ッ ト )	そ う も つ た い な い ！ 食 べ 残 し を な く す る 目 的 と し た 食 品 廃 棄 物 削 減 を 目 的 と し た ( 啓 発 事 業 )	福 岡 市 事 業 系 ご み 資 源 化 情 報 発 信 サ イ ト へ 古 紙 ・ 機 密 書 類 回 収 を み つ け る マ ツ チ ン グ サ イ ト	優 良 事 業 所 表 彰 制 度	紙 ご み の 選 別 施 設 や 食 品 廃 棄 物 の リ サ イ ク ル 施 設 の 設 置 支 援	ど れ も 知 ら な い	無 回 答
全体		100.0 1,548	33.9 524	21.0 325	15.9 246	4.9 76	4.3 66	43.1 667	3.8 59
業 種 別	農業，林業	4	25.0	25.0	50.0	-	-	25.0	-
	漁業	8	12.5	37.5	25.0	-	-	50.0	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	-	-	-	-	-	50.0	50.0
	建設業	74	25.7	20.3	14.9	8.1	2.7	51.4	2.7
	製造業	130	28.5	17.7	10.0	6.2	2.3	50.8	2.3
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	37.1	22.9	17.1	2.9	2.9	48.6	2.9
	情報通信業	27	25.9	25.9	18.5	-	-	55.6	-
	運輸業・郵便業	46	34.8	15.2	8.7	4.3	2.2	41.3	6.5
	卸売業	117	23.1	17.1	11.1	5.1	3.4	55.6	1.7
	小売業	113	29.2	23.0	11.5	1.8	1.8	54.0	2.7
	金融業・保険業	79	22.8	34.2	10.1	1.3	6.3	48.1	1.3
	不動産業・物品賃貸業	26	42.3	15.4	15.4	3.8	3.8	30.8	11.5
	学術研究・専門・技術サービス業	32	31.3	12.5	18.8	-	-	50.0	3.1
	宿泊業	67	31.3	20.9	17.9	9.0	3.0	44.8	3.0
	飲食サービス業	60	16.7	35.0	8.3	6.7	6.7	38.3	5.0
	生活関連サービス業・娯楽業	14	57.1	14.3	50.0	7.1	7.1	21.4	7.1
	学校教育	164	52.4	23.2	28.0	8.5	4.9	28.0	1.2
	その他の教育・学習支援業	36	27.8	13.9	8.3	-	5.6	52.8	11.1
	医療	176	38.6	14.2	15.3	3.4	6.3	41.5	5.7
福祉	144	40.3	23.6	17.4	4.2	6.3	36.8	2.1	
複合サービス業	17	23.5	29.4	5.9	-	-	41.2	5.9	
サービス業（他に分類されないもの）	149	38.9	20.8	18.1	7.4	6.7	34.9	6.0	
無回答	28	28.6	17.9	21.4	3.6	-	42.9	14.3	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	252	49.6	25.0	29.8	10.7	5.2	24.6	2.4
	該当していない	849	32.4	19.1	14.4	4.1	4.7	45.3	4.4
	わからない	381	27.3	23.1	10.8	2.9	3.4	50.9	2.4
	無回答	66	30.3	18.2	12.1	4.5	-	39.4	10.6
従 業 員 数 別	1～4人	121	24.8	19.0	11.6	2.5	2.5	48.8	5.8
	5～9人	454	30.2	18.9	12.8	2.9	4.2	49.1	3.7
	10～19人	364	32.4	21.2	13.2	4.7	4.9	43.4	4.4
	20～29人	179	39.7	26.8	19.6	4.5	4.5	35.2	3.9
	30～49人	167	27.5	21.6	12.6	5.4	2.4	49.1	1.8
	50～99人	125	41.6	21.6	24.0	9.6	6.4	34.4	3.2
	100～199人	55	49.1	18.2	30.9	14.5	5.5	29.1	3.6
	200～299人	18	61.1	22.2	33.3	11.1	-	22.2	-
	300人以上	43	62.8	27.9	34.9	9.3	7.0	18.6	-
無回答	22	22.7	9.1	9.1	-	-	50.0	13.6	

## 6-4 福岡市が発信する情報で受け取りやすい方法

■福岡市が発信する情報で受け取りやすいものは、「資料の郵送」(60.9%)が最多、次いで「ホームページの拡充, 改良」(32.0%)。

問 19. 福岡市が発信する情報は、どのような方法が受け取りやすいですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【図 6-4】福岡市が発信する情報で受け取りやすい方法



福岡市が発信する情報で受け取りやすい方法をたずねたところ、「資料の郵送」(60.9%)が最も高く、次いで「ホームページの拡充, 改良」(32.0%)、「メールマガジンの配信」(18.2%)、「SNSでの発信」(14.5%)、「講習会の開催」(10.1%)、「事業所への出前研修会や相談員等の派遣」(8.5%)、「その他」(3.3%)となっている。

「その他」の内容としては、「テレビ」、「市政だより」などが挙げられている。

II 調査結果

【表 6-4】福岡市が発信する情報で受け取りやすい方法

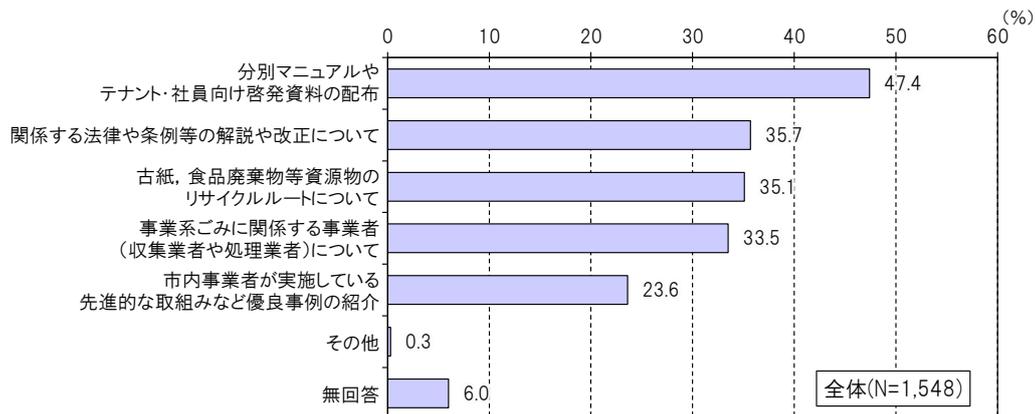
数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サン プル 数	資 料 の 郵 送	充 ホ ム ム 改 良 ペ ー ジ の 拡	信 メ ー ル マ ガ ジ ン の 配	S N S で の 発 信	講 習 会 の 開 催	会 事 業 所 へ の 出 前 研 修	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 1,548	60.9 942	32.0 495	18.2 282	14.5 225	10.1 156	8.5 132	3.3 51	3.9 61
業 種 別	農業、林業	4	75.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-
	漁業	8	50.0	25.0	25.0	-	-	12.5	-	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0
	建設業	74	59.5	28.4	24.3	12.2	10.8	5.4	2.7	4.1
	製造業	130	59.2	31.5	16.2	11.5	10.8	5.4	5.4	3.8
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	65.7	74.3	11.4	11.4	8.6	11.4	2.9	-
	情報通信業	27	59.3	40.7	18.5	14.8	14.8	3.7	-	7.4
	運輸業・郵便業	46	63.0	28.3	17.4	15.2	6.5	8.7	-	4.3
	卸売業	117	65.0	31.6	13.7	12.8	6.0	9.4	5.1	1.7
	小売業	113	63.7	26.5	13.3	19.5	7.1	8.0	5.3	4.4
	金融業・保険業	79	57.0	41.8	13.9	19.0	6.3	11.4	3.8	-
	不動産業・物品賃貸業	26	61.5	42.3	15.4	15.4	-	-	3.8	7.7
	学術研究・専門・技術サービス業	32	53.1	40.6	21.9	9.4	12.5	-	9.4	-
	宿泊業	67	70.1	19.4	17.9	16.4	11.9	10.4	1.5	3.0
	飲食サービス業	60	56.7	10.0	13.3	25.0	18.3	8.3	1.7	6.7
	生活関連サービス業・娯楽業	14	57.1	28.6	35.7	21.4	14.3	7.1	7.1	7.1
	学校教育	164	69.5	33.5	24.4	12.8	15.9	9.1	1.2	3.0
	その他の教育・学習支援業	36	63.9	30.6	27.8	19.4	8.3	8.3	-	8.3
	医療	176	60.8	29.0	15.3	12.5	8.0	6.3	2.8	5.1
	福祉	144	58.3	25.0	22.2	14.6	9.0	13.9	4.9	2.8
複合サービス業	17	47.1	29.4	17.6	23.5	11.8	17.6	-	5.9	
サービス業（他に分類されないもの）	149	54.4	43.6	18.8	12.1	12.1	7.4	3.4	4.7	
無回答	28	46.4	35.7	17.9	17.9	10.7	21.4	-	10.7	
建 築 物 別 特 定 事 業 用	該当している	252	65.9	33.3	26.6	10.7	15.5	8.7	1.6	2.4
	該当していない	849	60.9	31.7	16.4	13.4	8.2	7.1	3.5	4.4
	わからない	381	58.8	32.0	17.1	18.6	11.0	10.8	4.5	2.9
	無回答	66	53.0	30.3	16.7	19.7	7.6	13.6	-	10.6
従 業 員 数 別	1～4人	121	54.5	26.4	14.9	15.7	5.0	4.1	3.3	7.4
	5～9人	454	58.8	33.9	16.7	15.6	6.2	6.4	3.5	4.4
	10～19人	364	64.3	28.3	16.2	13.7	7.7	8.5	3.8	4.7
	20～29人	179	67.6	25.7	21.2	14.5	14.5	8.9	2.8	1.1
	30～49人	167	58.1	29.9	20.4	16.8	15.6	8.4	3.0	3.0
	50～99人	125	57.6	37.6	20.8	12.8	12.0	16.0	3.2	3.2
	100～199人	55	67.3	36.4	23.6	1.8	23.6	7.3	1.8	3.6
	200～299人	18	61.1	44.4	22.2	11.1	11.1	11.1	5.6	-
	300人以上	43	67.4	62.8	27.9	16.3	25.6	18.6	-	-
無回答	22	36.4	36.4	9.1	22.7	4.5	13.6	4.5	9.1	

## 6-5 事業系ごみの減量・リサイクルを推進するために必要な情報

■今後、事業系ごみの減量・リサイクルの推進するために必要な情報は、「分別マニュアルやテナント・社員向け啓発資料の配布」(47.4%)が最多。

問 20. 今後、事業系ごみの減量・リサイクルを推進するために、必要な情報は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【図 6-5】 事業系ごみの減量・リサイクルを推進するために必要な情報



今後、事業系ごみの減量・リサイクルの推進するために必要な情報をたずねたところ、「分別マニュアルやテナント・社員向け啓発資料の配布」(47.4%)が最も高く、次いで「関係する法律や条例等の解説や改正について」(35.7%)、「古紙, 食品廃棄物等資源物のリサイクルルートについて」(35.1%)、「事業系ごみに関係する事業者(収集業者や処理業者)について」(33.5%)、「市内事業者が実践している先進的な取組みなど優良事例の紹介」(23.6%)となっている。

II 調査結果

【表 6-5】事業系ごみの減量・リサイクルを推進するために必要な情報

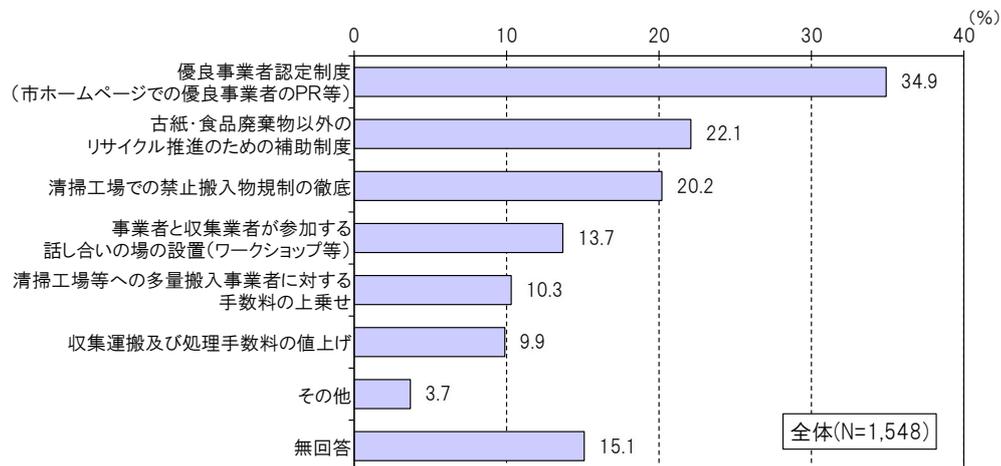
数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	資 料 の 分 布	の 関 係 を 改 正 す る 法 律 に つ い て	ト 源 古 物 紙 の リ サ イ ク ル 等	理 事 業 者 （ 業 者 ） に 関 し て	ど い る 事 業 者 の 実 施 に 関 し て	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 1,548	47.4 734	35.7 552	35.1 543	33.5 518	23.6 365	0.3 5	6.0 93
業 種 別	農業、林業	4	75.0	25.0	-	-	25.0	-	-
	漁業	8	37.5	25.0	50.0	25.0	50.0	-	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	-	-	-	-	-	-	100.0
	建設業	74	36.5	39.2	35.1	31.1	21.6	-	6.8
	製造業	130	44.6	42.3	25.4	33.1	22.3	0.8	4.6
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	65.7	37.1	11.4	14.3	20.0	-	-
	情報通信業	27	55.6	37.0	29.6	22.2	14.8	-	11.1
	運輸業・郵便業	46	47.8	37.0	34.8	43.5	17.4	-	6.5
	卸売業	117	46.2	38.5	28.2	39.3	18.8	0.9	0.9
	小売業	113	42.5	31.0	33.6	36.3	23.9	-	5.3
	金融業・保険業	79	55.7	31.6	32.9	26.6	22.8	-	5.1
	不動産業・物品賃貸業	26	53.8	30.8	38.5	26.9	15.4	-	11.5
	学術研究・専門・技術サービス業	32	43.8	34.4	46.9	37.5	21.9	-	3.1
	宿泊業	67	64.2	29.9	37.3	35.8	25.4	1.5	4.5
	飲食サービス業	60	35.0	38.3	33.3	36.7	23.3	1.7	11.7
	生活関連サービス業・娯楽業	14	42.9	42.9	14.3	50.0	21.4	-	7.1
	学校教育	164	52.4	43.9	41.5	39.0	28.7	-	3.0
	その他の教育・学習支援業	36	36.1	19.4	44.4	36.1	36.1	-	8.3
	医療	176	46.0	31.8	34.7	30.1	17.6	-	8.5
	福祉	144	50.0	31.9	41.0	29.9	29.9	-	6.3
複合サービス業	17	47.1	41.2	41.2	17.6	17.6	-	5.9	
サービス業（他に分類されないもの）	149	47.0	34.9	40.9	36.9	25.5	0.7	6.7	
無回答	28	32.1	42.9	39.3	28.6	32.1	-	17.9	
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	252	56.3	43.7	40.9	37.3	31.3	0.4	2.4
	該当していない	849	44.8	34.3	34.3	34.6	23.0	0.4	6.4
	わからない	381	48.6	33.3	33.3	29.1	20.7	0.3	6.0
	無回答	66	40.9	36.4	33.3	28.8	18.2	-	15.2
従 業 員 数 別	1～4人	121	37.2	33.1	31.4	29.8	23.1	-	12.4
	5～9人	454	46.0	30.2	35.5	33.3	21.1	0.4	6.2
	10～19人	364	45.9	33.5	34.6	33.0	22.8	0.5	6.9
	20～29人	179	49.2	36.3	38.0	31.3	26.3	0.6	3.4
	30～49人	167	54.5	34.7	34.7	37.7	23.4	-	3.0
	50～99人	125	51.2	47.2	31.2	36.8	28.8	-	3.2
	100～199人	55	47.3	43.6	40.0	34.5	21.8	-	5.5
	200～299人	18	44.4	44.4	27.8	27.8	11.1	-	11.1
	300人以上	43	65.1	72.1	39.5	37.2	39.5	-	2.3
無回答	22	36.4	36.4	40.9	27.3	22.7	-	18.2	

### 6-6 事業系ごみの減量・リサイクルを推進するために導入すべきと考える施策

■今後、福岡市が導入すべき施策は、「優良事業者認定制度」(34.9%)が最多。

問 21. 今後、事業系ごみの減量・リサイクルを推進するために、福岡市で導入すべきと考える施策はどのようなものですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【図 6-6】事業系ごみの減量・リサイクルを推進するために導入すべきと考える施策



今後、事業系ごみの減量・リサイクルの推進するために福岡市が導入すべきと考える施策をたずねたところ、「優良事業者認定制度（市ホームページでの優良事業者のPR等）」(34.9%)が最も高く、次いで「古紙・食品廃棄物以外のリサイクル推進のための補助制度」(22.1%)、「清掃工場での禁止搬入物規制の徹底」(20.2%)、「事業者と収集業者が参加する話し合いの場の設置（ワークショップ等）」(13.7%)、「清掃工場等への多量搬入事業者に対する手数料上乗せ」(10.3%)、「収集運搬及び処理手数料の値上げ」(9.9%)となっている。

II 調査結果

【表 6-6】事業系ごみの減量・リサイクルを推進するために導入すべきと考える施策

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サン プル 数	優 良 事 業 者 の P R 等	補 助 制 度	古 紙 ・ 食 品 廃 棄 物 以 外 の リ サ イ ク ル 推 進 の た め の	規 制 の 徹 底	清 掃 工 場 で の 禁 止 搬 入 物	事 業 者 と 収 集 業 者 が 参 加 す る 話 し 合 い の 場 の 設 置 ( ワ ー ク シ ョ ッ プ 等)	上 乗 せ 事 業 者 に 対 す る 手 数 料 の 搬 入	清 掃 工 場 等 へ の 多 量 搬 入	の 収 集 運 搬 及 び 処 理 手 数 料	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 1,548	34.9 540	22.1 342	20.2 313	13.7 212	10.3 160	9.9 153	3.7 58	15.1 233			
業 種 別	農業、林業	4	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0
	漁業	8	50.0	-	12.5	12.5	12.5	25.0	-	-	-	-	-
	鉱業・採石業・砂利採取業	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0
	建設業	74	29.7	28.4	10.8	12.2	12.2	16.2	2.7	16.2			16.2
	製造業	130	39.2	13.1	21.5	6.2	8.5	10.8	0.8	23.8			
	電気・ガス・熱供給・水道業	35	48.6	5.7	20.0	31.4	11.4	2.9	2.9	5.7			
	情報通信業	27	33.3	7.4	33.3	-	14.8	11.1	3.7	18.5			
	運輸業・郵便業	46	37.0	28.3	17.4	13.0	6.5	15.2	-	6.5			
	卸売業	117	41.9	17.1	22.2	10.3	11.1	12.0	3.4	9.4			
	小売業	113	33.6	31.0	20.4	13.3	9.7	9.7	1.8	18.6			
	金融業・保険業	79	40.5	15.2	22.8	13.9	13.9	8.9	1.3	11.4			
	不動産業・物品賃貸業	26	38.5	11.5	19.2	15.4	7.7	7.7	3.8	19.2			
	学術研究・専門・技術サービス業	32	21.9	25.0	21.9	12.5	25.0	21.9	9.4	12.5			
	宿泊業	67	31.3	31.3	22.4	10.4	14.9	4.5	9.0	9.0			
	飲食サービス業	60	33.3	35.0	18.3	20.0	3.3	6.7	1.7	15.0			
	生活関連サービス業・娯楽業	14	35.7	14.3	35.7	7.1	7.1	-	-	28.6			
	学校教育	164	32.9	23.8	22.0	17.7	11.0	6.7	4.9	11.0			
	その他の教育・学習支援業	36	33.3	22.2	8.3	11.1	11.1	5.6	5.6	22.2			
	医療	176	33.0	18.8	15.9	16.5	11.9	13.1	2.3	17.6			
	福祉	144	28.5	32.6	23.6	13.9	6.9	6.3	4.9	11.8			
複合サービス業	17	29.4	35.3	5.9	11.8	5.9	-	5.9	23.5				
サービス業（他に分類されないもの）	149	36.9	18.1	22.8	14.1	8.7	12.1	8.1	16.8				
無回答	28	42.9	14.3	17.9	21.4	10.7	7.1	3.6	21.4				
特 定 事 業 用 建 築 物 業 用	該当している	252	39.7	23.0	19.8	15.5	10.3	8.7	6.0	10.3			
	該当していない	849	33.3	20.3	20.5	12.8	10.7	9.8	4.0	15.7			
	わからない	381	36.0	26.2	20.5	15.0	9.2	11.3	2.1	15.0			
	無回答	66	30.3	18.2	16.7	10.6	12.1	7.6	1.5	25.8			
従 業 員 数 別	1~4人	121	31.4	19.0	19.0	11.6	9.9	5.8	4.1	24.0			
	5~9人	454	31.3	22.9	21.4	13.0	9.5	9.9	4.0	17.2			
	10~19人	364	33.0	23.6	17.3	11.5	13.5	12.1	4.4	14.0			
	20~29人	179	38.5	22.3	19.6	15.1	12.3	8.9	2.2	14.5			
	30~49人	167	36.5	22.8	21.6	18.6	8.4	8.4	1.8	11.4			
	50~99人	125	42.4	20.8	25.6	11.2	7.2	9.6	4.8	8.8			
	100~199人	55	43.6	16.4	14.5	14.5	12.7	14.5	5.5	10.9			
	200~299人	18	33.3	16.7	16.7	16.7	-	16.7	-	22.2			
	300人以上	43	44.2	23.3	30.2	25.6	4.7	4.7	4.7	7.0			
無回答	22	36.4	13.6	13.6	13.6	9.1	9.1	4.5	27.3				

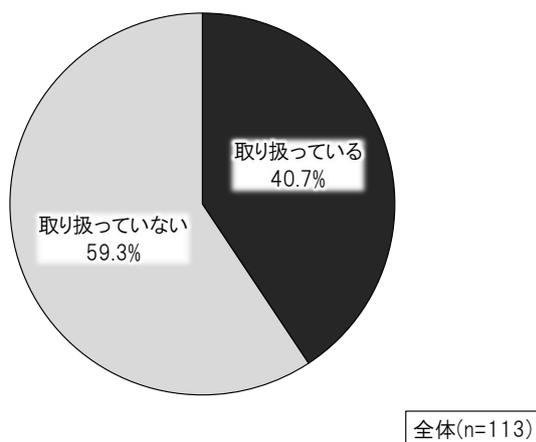
第7章 【小売業】食品ロス削減の取組み・梱包材の再利用状況等について

7-1 食品の取扱い状況

■食品の取扱い状況は、「取り扱っている」(40.7%)が4割強、「取り扱っていない」(59.3%)が6割弱。

問 22. 貴事業所では、食品を取り扱っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

【図 7-1】食品の取扱い状況



小売業の事業所に、食品の取扱い状況をたずねたところ、「取り扱っている」と回答する事業所が40.7%、「取り扱っていない」と回答する事業所が59.3%となっている。

【表 7-1】食品の取扱い状況

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サン プル 数	取 り 扱 っ て い る	取 り 扱 っ て い な い
全体		100.0 113	40.7 46	59.3 67
特定 事業 用 建 築 物 別	該当している	12	33.3	66.7
	該当していない	62	41.9	58.1
	わからない	37	43.2	56.8
	無回答	2	-	100.0
従 業 員 数 別	1~4人	17	41.2	58.8
	5~9人	36	22.2	77.8
	10~19人	30	46.7	53.3
	20~29人	11	81.8	18.2
	30~49人	10	30.0	70.0
	50~99人	5	60.0	40.0
	100~199人	-	-	-
	200~299人	-	-	-
	300人以上	4	50.0	50.0
	無回答	-	-	-

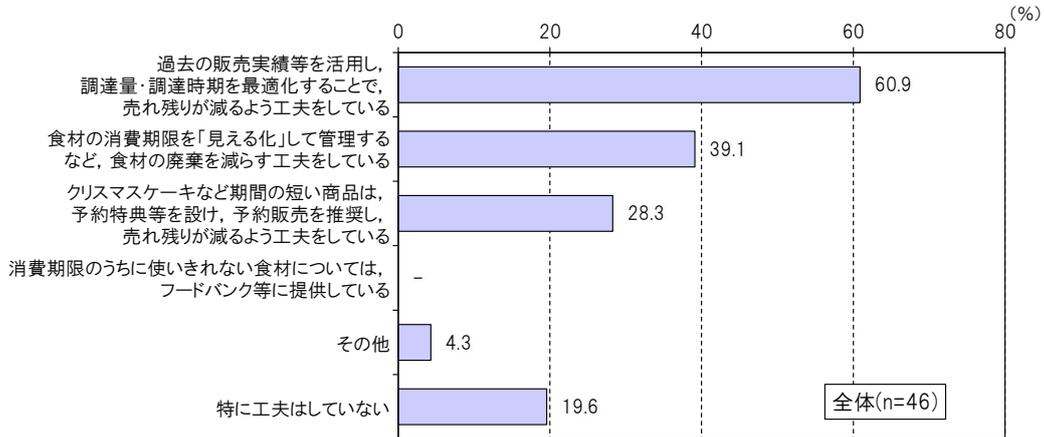
II 調査結果

7-2 食品ロス削減のための工夫

■工夫内容は、「過去の販売実績等を活用し、調達量・調達時期を最適化する」(60.9%)が最多。

付問 22-1.【問 22 で1 と答えた方へ】貴事業所では、まだ食べられるのに廃棄される、いわゆる「食品ロス」削減のために、どのような工夫をしていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【図 7-2】食品ロス削減のための工夫



問 22 で「取り扱っている」と答えた事業所 (46 社) に、「食品ロス」削減のために工夫していることをたずねたところ、「過去の販売実績等を活用し、調達量・調達時期を最適化することで、売れ残りが減るよう工夫をしている」(60.9%)が最も高く、次いで「食材の消費期限を「見える化」して管理するなど、食材の廃棄を減らす工夫をしている」(39.1%)、「クリスマスケーキなど期間の短い商品は、予約特典等を設け、予約販売を推奨し、売れ残りが減るよう工夫をしている」(28.3%)となっている。なお、「特に工夫はしていない」(19.6%)と回答する事業所は2割弱となっている。

【表 7-2】食品ロス削減のための工夫

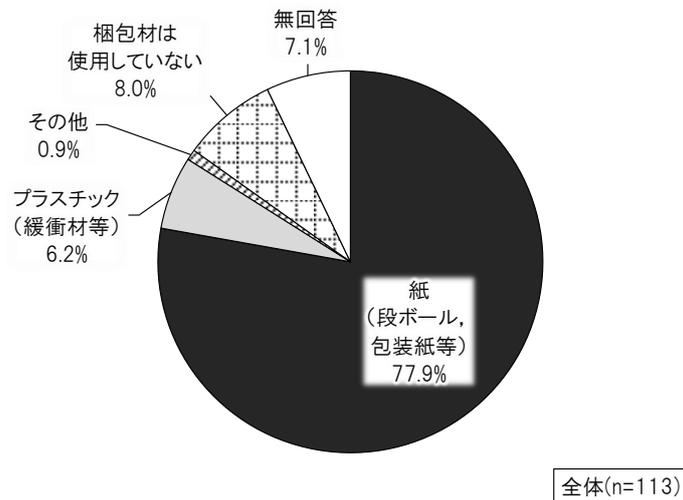
	サンプル数	と過去販売実績等を活用し、調達量・調達時期を最適化することで、売れ残りが減るよう工夫をしている	食材の消費期限を「見える化」して管理するなど、食材の廃棄を減らす工夫をしている	クリスマスケーキなど期間の短い商品は、予約特典等を設け、予約販売を推奨し、売れ残りが減るよう工夫をしている	消費期限のうちに使いきれない食材については、フードバンク等に提供している	その他	特に工夫はしていない
全体	46	60.9	39.1	28.3	-	4.3	19.6
特定事業所別							
該当している	4	100.0	75.0	50.0	-	-	-
該当していない	26	57.7	23.1	30.8	-	-	30.8
わからない	16	56.3	56.3	18.8	-	12.5	6.3
無回答	-	-	-	-	-	-	-
従業員数別							
1~4人	7	42.9	42.9	28.6	-	-	14.3
5~9人	8	37.5	62.5	12.5	-	-	25.0
10~19人	14	64.3	35.7	28.6	-	7.1	21.4
20~29人	9	66.7	11.1	33.3	-	-	33.3
30~49人	3	100.0	33.3	33.3	-	-	-
50~99人	3	66.7	66.7	33.3	-	33.3	-
100~199人	-	-	-	-	-	-	-
200~299人	-	-	-	-	-	-	-
300人以上	2	100.0	50.0	50.0	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-

### 7-3 商品搬入時に使用されている梱包材の素材で最も多いもの

■使用されている梱包材は、「紙（段ボール，包装紙等）」（77.9%）が最多。

問 23. 貴事業所では、商品搬入時に使用されている梱包材の素材で、最も多いものは何ですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つだけ）

【図 7-3】商品搬入時に使用されている梱包材の素材で最も多いもの



商品購入時に使用されている梱包材で最も多いものをたずねたところ、「紙（段ボール，包装紙等）」（77.9%）が最も高く、次いで「プラスチック（緩衝材等）」（6.2%）、「その他」（0.9%）となっている。なお、「梱包材は使用していない」（8.0%）と回答する事業所は1割弱となっている。

【表 7-3】商品搬入時に使用されている梱包材の素材で最も多いもの

数値 (全体：上段=% 下段=件数， 属性：%)		サ ン プ ル 数	紙 等 ( 段 ボ ー ル ， 包 装 紙 等)	プ ラ ス チ ッ ク ( 緩 衝 材 等)	そ の 他	梱 包 材 は 使 用 し て い な い	無 回 答
全体		100.0 113	77.9 88	6.2 7	0.9 1	8.0 9	7.1 8
特定 事業 物別	該当している	12	66.7	8.3	-	16.7	8.3
	該当していない	62	80.6	6.5	-	4.8	8.1
	わからない	37	78.4	5.4	2.7	10.8	2.7
	無回答	2	50.0	-	-	-	50.0
従 業 員 数 別	1～4人	17	82.4	-	-	11.8	5.9
	5～9人	36	80.6	2.8	-	8.3	8.3
	10～19人	30	83.3	6.7	-	6.7	3.3
	20～29人	11	72.7	18.2	-	-	9.1
	30～49人	10	60.0	10.0	10.0	20.0	-
	50～99人	5	80.0	20.0	-	-	-
	100～199人	-	-	-	-	-	-
	200～299人	-	-	-	-	-	-
	300人以上	4	50.0	-	-	-	50.0
無回答	-	-	-	-	-	-	

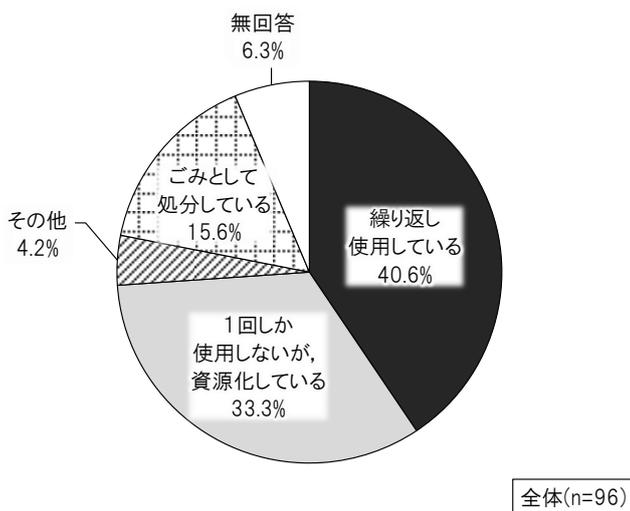
II 調査結果

7-4 梱包材の繰り返し使用の状況

■ 梱包材の再使用は、「繰り返し使用している」が 40.6%、「1 回しか使用しないが、資源化している」が 33.3%、「ごみとして処分している」が 15.6%。

付問 23-1. 【問 23 で 1～3 と答えた方へ】 梱包材は繰り返し使用していますか。あてはまるものを 1 つ選び、番号に O をつけてください。(O は 1 つだけ)

【図 7-4】 梱包材の繰り返し使用の状況



問 23 で「紙（段ボール、包装紙等）」、「プラスチック（緩衝材等）」、「その他」と答えた事業所（96 社）に、梱包材は繰り返し使用しているかたずねたところ、「繰り返し使用している」と回答する事業所が 40.6%、「1 回しか使用しないが、資源化している」と回答する事業所が 33.3%、「その他」と回答する事業所が 4.2%となっている。なお、「ごみとして処分している」（15.6%）と回答する事業所は 2 割弱となっている。

【表 7-4】 梱包材の繰り返し使用の状況

	数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)	サン プル 数	繰 り 返 し 使 用 し て い る	が 1 回 し か 資 源 化 使 用 し て い な い	そ の 他	ご み と し て 処 分 し て い る	無 回 答
全体		100.0 96	40.6 39	33.3 32	4.2 4	15.6 15	6.3 6
特定 建築 物別	該当している	9	44.4	33.3	11.1	11.1	-
	該当していない	54	40.7	35.2	5.6	13.0	5.6
	わからない	32	40.6	28.1	-	21.9	9.4
	無回答	1	-	100.0	-	-	-
従 業 員 数 別	1～4人	14	42.9	28.6	-	-	28.6
	5～9人	30	50.0	26.7	10.0	13.3	-
	10～19人	27	29.6	40.7	3.7	18.5	7.4
	20～29人	10	30.0	40.0	-	30.0	-
	30～49人	8	50.0	25.0	-	25.0	-
	50～99人	5	40.0	40.0	-	20.0	-
	100～199人	-	-	-	-	-	-
	200～299人	-	-	-	-	-	-
	300人以上	2	50.0	50.0	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-

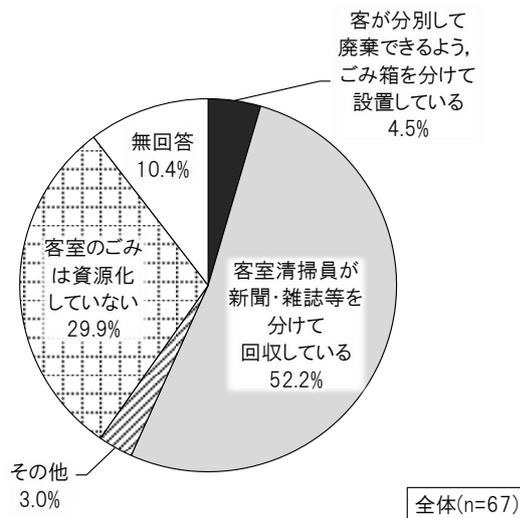
第8章 【宿泊業】 客室ごみの分別・利用客への環境配慮行動の促進について

8-1 客室のごみの分別・資源物のリサイクル状況

■ごみの分別や資源物のリサイクルは、「客室清掃員が回収している」が 52.2%、「ゴミ箱を分けて設置している」が 4.5%、「ごみは資源化していない」が 29.9%。

問 24. 貴事業所では、客室のごみを分別し、資源物のリサイクルを行っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

【図 8-1】 客室のごみの分別・資源物のリサイクル状況



宿泊業の事業所に、ごみの分別や資源物のリサイクル状況をたずねたところ、「客室清掃員が新聞・雑誌等を分けて回収している」と回答する事業所が 52.2%、「客が分別して廃棄できるよう、ゴミ箱を分けて設置している」と回答する事業所が 4.5%、「その他」と回答する事業所が 3.0%となっている。なお、「客室のごみは資源化していない」(29.9%) と回答する事業所は3割弱を占めている。

【表 8-1】 客室のごみの分別・資源物のリサイクル状況

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サンプル数	客が分別して廃棄できるようなゴミ箱を分けて設置している	客室清掃員が新聞・雑誌等を分けて回収している	その他	客室のごみは資源化していない	無回答
全体		100.0 67	4.5 3	52.2 35	3.0 2	29.9 20	10.4 7
特定事業用 建築物別	該当している	29	-	72.4	6.9	17.2	3.4
	該当していない	18	-	44.4	-	33.3	22.2
	わからない	13	23.1	30.8	-	30.8	15.4
	無回答	7	-	28.6	-	71.4	-
従業員数別	1~4人	1	-	-	-	100.0	-
	5~9人	5	20.0	60.0	-	-	20.0
	10~19人	22	-	36.4	-	40.9	22.7
	20~29人	8	25.0	62.5	-	12.5	-
	30~49人	17	-	64.7	5.9	23.5	5.9
	50~99人	9	-	77.8	-	22.2	-
	100~199人	3	-	33.3	-	66.7	-
	200~299人	1	-	-	100.0	-	-
300人以上	1	-	-	-	100.0	-	
無回答	-	-	-	-	-	-	

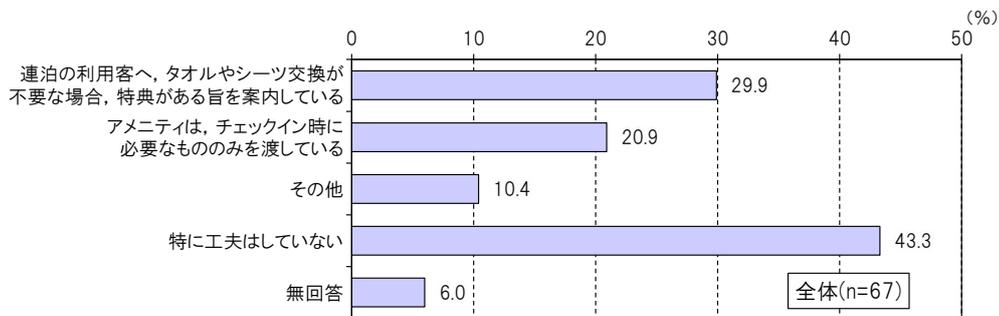
II 調査結果

8-2 利用客に対して環境へ配慮した行動を促す工夫

■利用客への工夫は、「連泊客へ、特典がある旨を案内している」(29.9%)が最多。  
 しかし、「特に工夫はしていない」(43.3%)が4割強。

問 25. 貴事業所では、利用客に対して、環境へ配慮した行動を促す工夫を行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【図 8-2】利用客に対しての環境へ配慮した行動を促す工夫



宿泊業の事業所に、利用客に対して環境へ配慮した行動を促す工夫をたずねたところ、「連泊の利用客へ、タオルやシーツ交換が不要な場合、特典がある旨を案内している」(29.9%)が最も高く、次いで「アメニティは、チェックイン時に必要なもののみを渡している」(20.9%)、「その他」(10.4%)となっている。なお、「特に工夫はしていない」(43.3%)と回答する事業所は4割強を占めている。

【表 8-2】利用客に対しての環境へ配慮した行動を促す工夫

属性	サン プル 数	数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)					
		連泊客への特典案内	アメニティの提供	その他	特に工夫はしていない	無回答	
全体	67	29.9 20	20.9 14	10.4 7	43.3 29	6.0 4	
特定事業用 建築物別	該当している	29	41.4	20.7	13.8	34.5	-
	該当していない	18	22.2	22.2	11.1	33.3	22.2
	わからない	13	15.4	15.4	7.7	69.2	-
	無回答	7	28.6	28.6	-	57.1	-
従業員数別	1~4人	1	100.0	-	-	-	-
	5~9人	5	20.0	-	20.0	40.0	20.0
	10~19人	22	13.6	22.7	9.1	54.5	9.1
	20~29人	8	37.5	25.0	-	50.0	-
	30~49人	17	35.3	29.4	17.6	35.3	5.9
	50~99人	9	44.4	22.2	-	33.3	-
	100~199人	3	33.3	-	33.3	33.3	-
	200~299人	1	100.0	-	-	-	-
300人以上	1	-	-	-	100.0	-	
無回答	-	-	-	-	-	-	

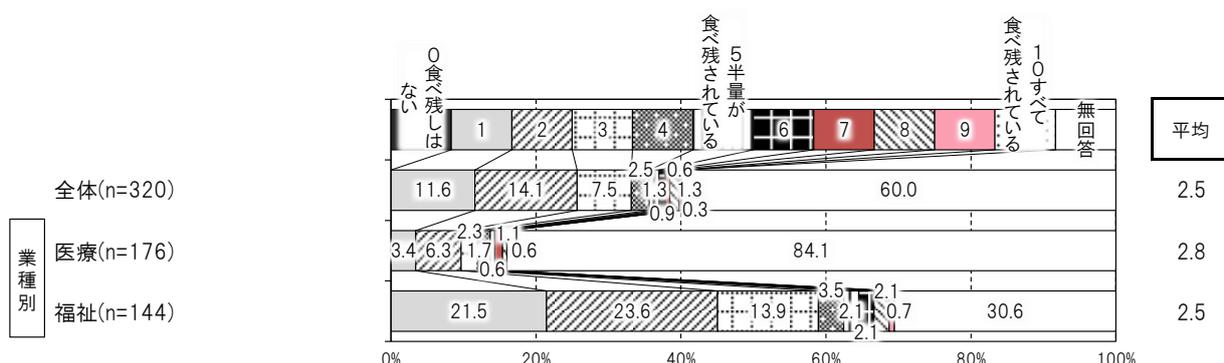
第9章 【医療・福祉】食品廃棄物・使用済み紙おむつ削減の取組みについて

9-1 提供する食事の食べ残し状況

■提供する食事を食べ残す割合は、医療・福祉とも『1割～3割』に集中しており、『1割～3割』は「医療」12.0%、「福祉」59.0%。なお、平均は「医療」が2.8割、「福祉」が2.5割である。

問 26. 貴事業所では、入院患者や入居者、施設利用者等（以下「利用者等」という。）に提供する食事について、どの程度食べ残しがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つだけ）

【図 9-1】提供する食事の食べ残し状況（業種別）



医療の事業所に、提供する食事の食べ残し状況についてたずねたところ、「無回答」(84.1%)が8割強を占めるが、「2割」(6.3%)、「1割」(3.4%)、「3割」(2.3%)の順に高く、平均は2.8割である。

福祉の事業所の、同様の質問に対する回答をみると、「2割」(23.6%)、「1割」(21.5%)、「3割」(13.9%)の順に高く、平均は2.5割である。

【表 9-1】提供する食事の食べ残し状況

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サンプル数	0 食べ残しはない	1	2	3	4	5 半量が食べ残されている	6	7	8	9	10 すべて食べ残されている	無回答	平均
全体	100.0 320		-	11.6 37	14.1 45	7.5 24	2.5 8	1.3 4	0.9 3	0.6 2	1.3 4	0.3 1	-	60.0 192	2.5
業種別															
医療	176		-	3.4	6.3	2.3	1.7	0.6	-	1.1	0.6	-	-	84.1	2.8
福祉	144		-	21.5	23.6	13.9	3.5	2.1	2.1	-	2.1	0.7	-	30.6	2.5
特定事業用															
該当している	40		-	10.0	30.0	15.0	7.5	5.0	-	2.5	5.0	-	-	25.0	3.0
該当していない	194		-	14.4	10.3	4.6	0.5	0.5	0.5	-	1.0	0.5	-	67.5	2.1
わからない	79		-	5.1	15.2	10.1	5.1	1.3	2.5	1.3	-	-	-	59.5	2.9
無回答	7		-	14.3	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	-	57.1	2.0
従業員数別															
1~4人	19		-	5.3	10.5	5.3	-	5.3	-	-	-	-	-	73.7	2.6
5~9人	111		-	6.3	2.7	1.8	-	0.9	0.9	0.9	0.9	-	-	85.6	2.8
10~19人	73		-	12.3	9.6	9.6	2.7	-	1.4	-	1.4	1.4	-	61.6	2.7
20~29人	35		-	22.9	22.9	8.6	2.9	-	2.9	2.9	-	-	-	37.1	2.3
30~49人	42		-	21.4	31.0	9.5	2.4	-	-	-	-	-	-	35.7	1.9
50~99人	23		-	13.0	13.0	17.4	13.0	8.7	-	-	4.3	-	-	30.4	3.2
100~199人	10		-	-	60.0	30.0	-	-	-	-	-	-	-	10.0	2.3
200~299人	2		-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	3.0
300人以上	3		-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	66.7	8.0
無回答	2		-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0

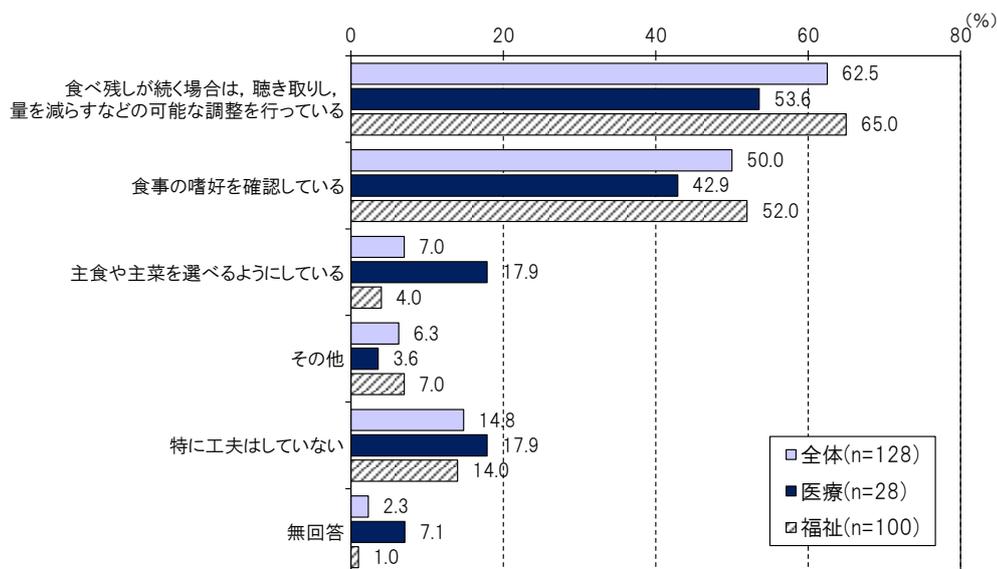
## II 調査結果

### 9-2 食べ残しを減らすための工夫

■医療・福祉とも同様の回答傾向であり、「食べ残しが続く場合は、聴き取りし、量を減らすなどの調整を行っている」が最多。

問 27. 貴事業所では、利用者等の食べ残しを減らすためにどのような工夫をしていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【図 9-2】 食べ残しを減らすための工夫



問 26 で「0」～「10 割」と答えた医療の事業所 (28 社) に、利用者等の食べ残しを減らすための工夫をたずねたところ、「食べ残しが続く場合は、聴き取りし、量を減らすなどの可能な調整を行っている」(53.6%) が最も高く、次いで「食事の嗜好を確認している」(42.9%)、「主食や主菜を選べるようにしている」(17.9%) となっている。なお、「特に工夫はしていない」(17.9%) と回答する事業所は 2 割弱となっている。

福祉の事業所 (100 社) の、同様の質問に対する回答をみると、「食べ残しが続く場合は、聴き取りし、量を減らすなどの可能な調整を行っている」(65.0%) が最も高く、次いで「食事の嗜好を確認している」(52.0%)、「主食や主菜を選べるようにしている」(4.0%) となっている。なお、「特に工夫はしていない」(14.0%) と回答する事業所は 1 割強となっている。

【表 9-2】 食べ残しを減らすための工夫

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	て な ら ず の 可 能 な 調 整 を 行 っ た	聴 き 取 り し が 続 く 場 合 は す る	食 事 の 嗜 好 を 確 認 し て い る	主 食 や 主 菜 を 選 べ る よ う に し て い る	そ の 他	特 に 工 夫 は し て い な い	無 回 答
全体		100.0 128	62.5 80	50.0 64	7.0 9	6.3 8	14.8 19	2.3 3	
業 種 別	医療	28	53.6	42.9	17.9	3.6	17.9	7.1	
	福祉	100	65.0	52.0	4.0	7.0	14.0	1.0	
建 築 事 業 用 特 定 事 業 物 別	該当している	30	76.7	53.3	16.7	-	-	-	
	該当していない	63	60.3	41.3	1.6	11.1	20.6	4.8	
	わからない	32	56.3	59.4	6.3	3.1	18.8	-	
	無回答	3	33.3	100.0	33.3	-	-	-	
従 業 員 数 別	1~4人	5	20.0	40.0	-	-	60.0	-	
	5~9人	16	50.0	37.5	-	-	31.3	6.3	
	10~19人	28	67.9	46.4	-	7.1	21.4	-	
	20~29人	22	68.2	50.0	-	13.6	9.1	-	
	30~49人	27	59.3	51.9	7.4	11.1	3.7	7.4	
	50~99人	16	75.0	62.5	12.5	-	-	-	
	100~199人	9	55.6	66.7	44.4	-	11.1	-	
	200~299人	2	100.0	100.0	50.0	-	-	-	
	300人以上	1	100.0	-	-	-	-	-	
無回答	2	50.0	-	-	-	50.0	-		

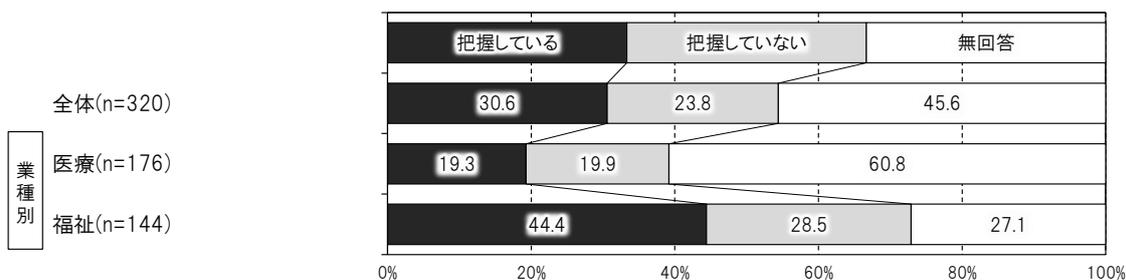
## II 調査結果

### 9-3 紙おむつ発生量の把握状況

- 医療は、「無回答」(60.8%) が6割強を占め、「把握している」、「把握していない」がほぼ同率。
- 福祉は、「把握している」(44.4%) が「把握していない」(28.5%) を大きく上回る。

問 28. 貴事業所では、紙おむつの発生量を把握していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

【図 9-3】紙おむつ発生量の把握状況（業種別）



医療の事業所に、紙おむつ発生量の把握状況をたずねたところ、「無回答」(60.8%) が6割強を占めるが、「把握している」と回答する事業所が19.3%、「把握していない」と回答する事業所が19.9%となっている。

福祉の事業所の、同様の質問に対する回答をみると、「把握している」と回答する事業所が44.4%、「把握していない」と回答する事業所が28.5%となっている。

【表 9-3】紙おむつ発生量の把握状況

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サン プル 数	把 握 し て い る	把 握 し て い な い	無 回 答
全体		100.0 320	30.6 98	23.8 76	45.6 146
業 種 別	医療	176	19.3	19.9	60.8
	福祉	144	44.4	28.5	27.1
建 築 物 別 特 定 事 業 用	該当している	40	55.0	27.5	17.5
	該当していない	194	26.8	23.2	50.0
	わからない	79	26.6	24.1	49.4
	無回答	7	42.9	14.3	42.9
従 業 員 数 別	1~4人	19	15.8	26.3	57.9
	5~9人	111	18.0	19.8	62.2
	10~19人	73	32.9	12.3	54.8
	20~29人	35	37.1	37.1	25.7
	30~49人	42	38.1	40.5	21.4
	50~99人	23	56.5	21.7	21.7
	100~199人	10	60.0	40.0	-
	200~299人	2	100.0	-	-
	300人以上	3	-	33.3	66.7
無回答	2	50.0	-	50.0	

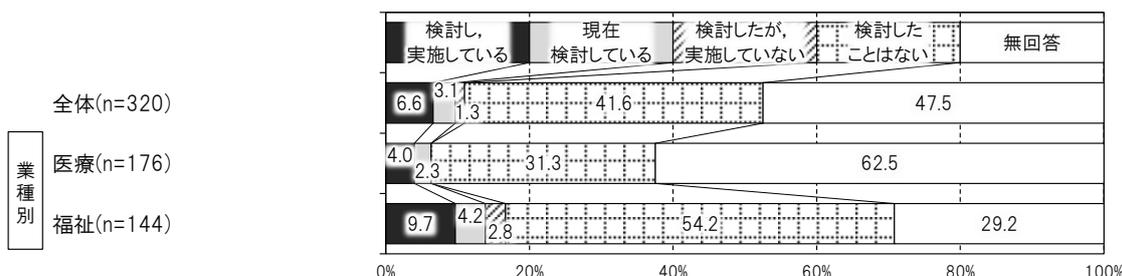
9-4 紙おむつの処理方法の検討状況

■医療・福祉とも「無回答」を除けば、「検討したことはない」が最多。

なお、「検討し、実施している」は、医療（4.0%）、福祉（9.7%）とも1割にも満たない。

問 29. 貴事業所では、紙おむつの処理について、「燃えるごみ」として排出する以外の方法を検討していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。（○は1つだけ）

【図 9-4】紙おむつの処理方法の検討状況（業種別）



医療の事業所に、紙おむつを「燃えるごみ」以外で処理する方法の検討状況をたずねたところ、「無回答」（62.5%）が6割強を占めるが、「検討したことはない」と回答する事業所が31.3%であり、「検討し、実施している」（4.0%）、「現在検討している」（2.3%）と回答する事業所は各々1割にも満たない。

福祉の事業所の、同様の質問に対する回答をみると、「検討したことはない」（54.2%）と回答する事業所が半数以上を占め、「検討し、実施している」（9.7%）、「現在検討している」（4.2%）、「検討したが、実施していない」（2.8%）と回答する事業所は各々1割にも満たない。

【表 9-4】紙おむつの処理方法の検討状況

数値 (全体：上段=% 下段=件数， 属性：%)		サン プル 数	検 討 し 、 実 施 し て い る	現 在 検 討 し て い る	い 検 討 し た が 、 実 施 し て い ない	検 討 し た こ と は な い	無 回 答
全体		100.0 320	6.6 21	3.1 10	1.3 4	41.6 133	47.5 152
業 種 別	医療	176	4.0	2.3	-	31.3	62.5
	福祉	144	9.7	4.2	2.8	54.2	29.2
建 築 物 業 用	該当している	40	27.5	5.0	2.5	52.5	12.5
	該当していない	194	2.6	2.1	1.5	41.2	52.6
	わからない	79	5.1	3.8	-	38.0	53.2
	無回答	7	14.3	14.3	-	28.6	42.9
従 業 員 数 別	1~4人	19	10.5	5.3	-	21.1	63.2
	5~9人	111	1.8	1.8	-	32.4	64.0
	10~19人	73	2.7	2.7	1.4	37.0	56.2
	20~29人	35	-	-	2.9	65.7	31.4
	30~49人	42	14.3	4.8	-	57.1	23.8
	50~99人	23	17.4	8.7	8.7	47.8	17.4
	100~199人	10	50.0	-	-	50.0	-
	200~299人	2	-	50.0	-	50.0	-
	300人以上	3	-	-	-	33.3	66.7
無回答	2	-	-	-	50.0	50.0	

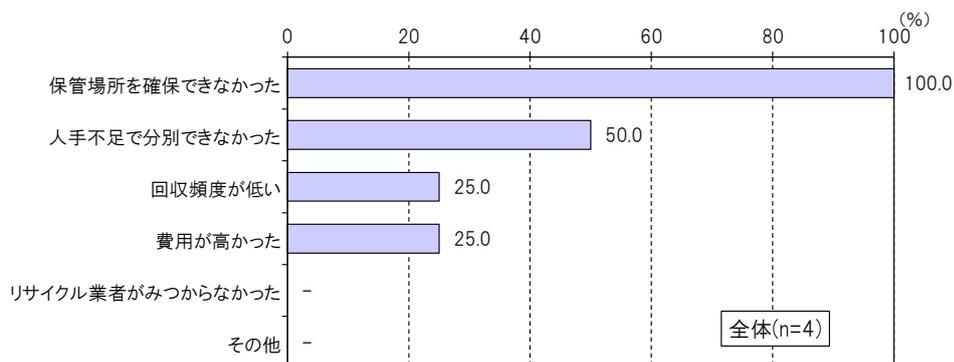
II 調査結果

9-5 紙おむつの処理方法を検討したが実施しなかった理由

■検討したが実施しなかった理由は、「保管場所を確保できなかった」とすべての事業所（4社）が回答。

付問 29-1. 【問 29 で3と答えた方へ】実施しなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

【図 9-5】紙おむつの処理方法を検討したが実施しなかった理由



問 29 で「検討したが、実施していない」と答えた福祉の事業所（4社）に、実施しなかった理由をたずねたところ、「保管場所を確保できなかった」は4社中4社、「人手不足で分別できなかった」は4社中2社、「回収頻度が低い」、「費用が高かった」は各々4社中1社となっている。

【表 9-5】紙おむつの処理方法を検討したが実施しなかった理由

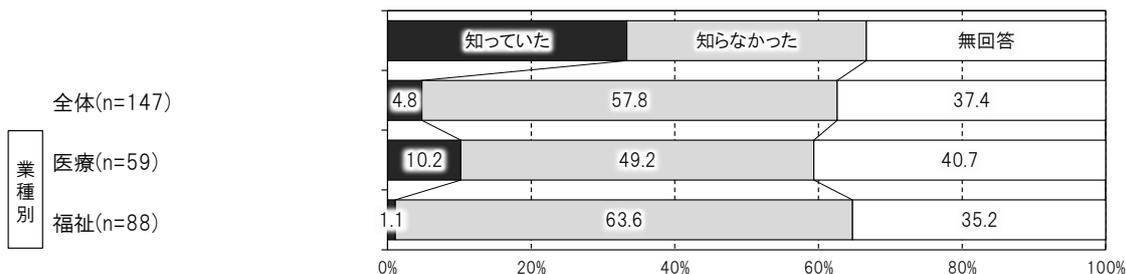
数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サンプル数	保管場所を確保できなかった	人手不足で分別できなかった	回収頻度が低い	費用が高かった	リサイクル業者が見つからなかった	その他
全体		100.0 4	100.0 4	50.0 2	25.0 1	25.0 1	-	-
業種別	医療	-	-	-	-	-	-	-
	福祉	4	100.0	50.0	25.0	25.0	-	-
特定事業用 建築物別	該当している	1	100.0	-	-	-	-	-
	該当していない	3	100.0	66.7	33.3	33.3	-	-
	わからない	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
従業員数別	1~4人	-	-	-	-	-	-	-
	5~9人	-	-	-	-	-	-	-
	10~19人	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-
	20~29人	1	100.0	-	-	-	-	-
	30~49人	-	-	-	-	-	-	-
	50~99人	2	100.0	50.0	-	-	-	-
	100~199人	-	-	-	-	-	-	-
	200~299人	-	-	-	-	-	-	-
300人以上	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	

9-6 国土交通省による紙おむつの処理に関する実証実験検討の認知度

- 医療は、「知らなかった」(49.2%)が「知っていた」(10.2%)を大きく上回る。
- 福祉は、「知らなかった」(63.6%)が6割強、「知っていた」(1.1%)はほぼ皆無。

付問 29-2. 【問 29 で 2~4 と 答 えた 方 へ】 国 土 交 通 省 は、 紙 お む つ の 処 理 に 関 す る 実 証 実 験 を 検 討 し て い ま す が、 こ の こ と を 知 っ て い ま し た か。 あ て は ま る も の を 1 つ 選 び、 番 号 に ○ を つ け て く だ さ い。(○ は 1 つ だ け)

【図 9-6】 国土交通省による紙おむつの処理に関する実証実験検討の認知度（業種別）



問 29 で「現在検討している」、「検討したが、実施していない」、「検討したことはない」と答えた医療の事業所 (59 社) に、実証実験が検討されていることを知っているかたずねたところ、「知っていた」と回答する事業所は 10.2%にとどまり、「知らなかった」(49.2%)と回答する事業所は各半数近くを占める。

福祉の事業所 (88 社) の、同様の質問に対する回答をみると、「知っていた」と回答する事業所は 1.1%にとどまり、「知らなかった」(63.6%)と回答する事業所は6割強を占める。

【表 9-6】 国土交通省による紙おむつの処理に関する実証実験検討の認知度

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	知 っ て い た	知 ら な か っ た	無 回 答
全体		100.0 147	4.8 7	57.8 85	37.4 55
業 種 別	医療	59	10.2	49.2	40.7
	福祉	88	1.1	63.6	35.2
特 定 事 業 用 建 築 物 別	該当している	24	4.2	66.7	29.2
	該当していない	87	5.7	54.0	40.2
	わからない	33	-	63.6	36.4
	無回答	3	33.3	33.3	33.3
従 業 員 数 別	1~4人	5	-	60.0	40.0
	5~9人	38	10.5	47.4	42.1
	10~19人	30	3.3	50.0	46.7
	20~29人	24	-	66.7	33.3
	30~49人	26	-	69.2	30.8
	50~99人	15	6.7	66.7	26.7
	100~199人	5	-	60.0	40.0
	200~299人	2	50.0	50.0	-
	300人以上	1	-	-	100.0
	無回答	1	-	100.0	-

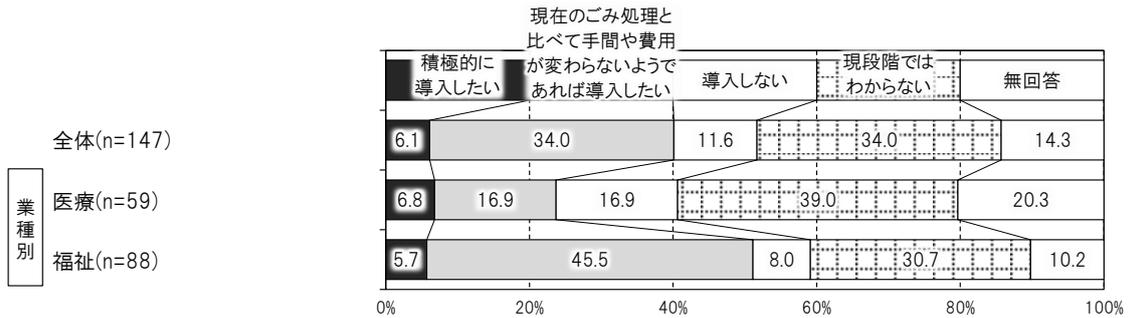
II 調査結果

9-7 新たな紙おむつのリサイクル手法の導入意向

- 医療は、『導入したい』は23.7%、「導入しない」は16.9%、「現段階ではわからない」は39.0%。
- 福祉は、『導入したい』は51.2%、「導入しない」は8.0%、「現段階ではわからない」は30.7%。

付問 29-3. 【問 29 で 2~4 と 答 えた 方 へ】 今 後、 紙 お む つ の リ サ イ ク ル が、 一 般 に 導 入 で き る よ う に な っ た 場 合、 貴 事 業 所 で は、 導 入 し た い と 考 え ま す か。 あ て は ま る も の を 1 つ 選 び、 番 号 に ○ を つ け て く だ さ い。(○ は 1 つ だ け)

【図 9-7】 新たな紙おむつのリサイクル手法の導入意向（業種別）



問 29 で「現在検討している」、「検討したが、実施していない」、「検討したことはない」と答えた医療の事業所（59 社）に、新たな紙おむつのリサイクル手法の導入意向をたずねたところ、「積極的に導入したい」と回答する事業所は 6.8%、「現在のごみ処理と比べて手間や費用が変わらないようであれば導入したい」と回答する事業所は 16.9%で、これらを合わせた『導入したい』（23.7%）は 2 割強となっている。一方、「導入しない」は 16.9%、「現段階ではわからない」は 39.0%となっている。

福祉の事業所（88 社）の、同様の質問に対する回答をみると、「積極的に導入したい」と回答する事業所は 5.7%、「現在のごみ処理と比べて手間や費用が変わらないようであれば導入したい」と回答する事業所は 45.5%で、これらを合わせた『導入したい』（51.2%）は 5 割強を占める。

一方、「導入しない」は 8.0%、「現段階ではわからない」は 30.7%となっている。

【表 9-7】 新たな紙おむつのリサイクル手法の導入意向

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)		サ ン プ ル 数	積 極 的 に 導 入 し た い	ば わ べ 現 導 ら て 在 入 な 手 の し い 間 ご た よ み い う 費 用 が と れ 変 比	導 入 し な い	い 現 段 階 で は わ か ら な い	無 回 答
全体		100.0 147	6.1 9	34.0 50	11.6 17	34.0 50	14.3 21
業 種 別	医療	59	6.8	16.9	16.9	39.0	20.3
	福祉	88	5.7	45.5	8.0	30.7	10.2
建 定 業 務 別	該当している	24	8.3	33.3	8.3	37.5	12.5
	該当していない	87	3.4	36.8	13.8	29.9	16.1
	わからない	33	12.1	24.2	6.1	45.5	12.1
	無回答	3	-	66.7	33.3	-	-
従 業 員 数 別	1~4人	5	-	20.0	40.0	40.0	-
	5~9人	38	5.3	28.9	10.5	34.2	21.1
	10~19人	30	3.3	53.3	3.3	36.7	3.3
	20~29人	24	12.5	25.0	8.3	33.3	20.8
	30~49人	26	3.8	23.1	19.2	42.3	11.5
	50~99人	15	6.7	40.0	13.3	26.7	13.3
	100~199人	5	-	60.0	-	20.0	20.0
	200~299人	2	-	50.0	-	-	50.0
	300人以上	1	100.0	-	-	-	-
無回答	1	-	-	100.0	-	-	

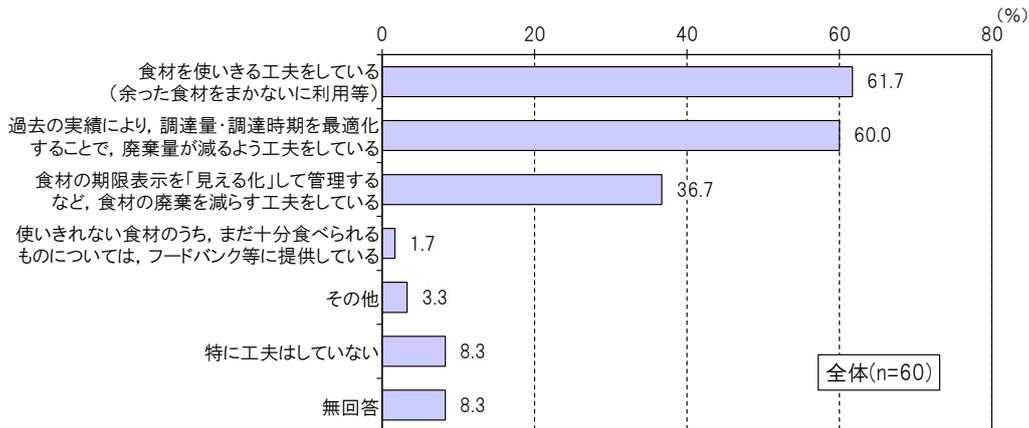
## 第10章 【飲食サービス業】食品ロス削減の取組みについて

### 10-1 食品ロス削減のための工夫

■工夫内容は、「食材を使いきる工夫をしている（余った食材をまかないに利用等）」（61.7%）が最多。

問 30. 貴事業所では、まだ食べられるのに廃棄される、いわゆる「食品ロス」削減のために、どのような工夫をしていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

【図 10-1】食品ロス削減のための工夫



飲食サービス業の事業所に、「食品ロス」削減のために工夫していることをたずねたところ、「食材を使いきる工夫をしている（余った食材をまかないに利用等）」（61.7%）が最も高く、次いで「過去の実績により、調達量・調達時期を最適化することで、廃棄量が減るよう工夫をしている」（60.0%）となっており、以下、「食材の期限表示を「見える化」して管理するなど、食材の廃棄を減らす工夫をしている」（36.7%）と続いている。なお、「特に工夫はしていない」（8.3%）と回答する事業所は1割にも満たない。

【表 10-1】食品ロス削減のための工夫

数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)	サン プル 数	工夫の内容						
		かて食 ないを に(使 利用 つきた る工 材を まし	よる量 うこ・ 工と調 夫を食 を、時 に(使 利余 用つ きた る工 材を まし	よる量 うこ・ 工と調 夫を食 を、時 に(使 利余 用つ きた る工 材を まし	よる量 うこ・ 工と調 夫を食 を、時 に(使 利余 用つ きた る工 材を まし	よる量 うこ・ 工と調 夫を食 を、時 に(使 利余 用つ きた る工 材を まし	よる量 うこ・ 工と調 夫を食 を、時 に(使 利余 用つ きた る工 材を まし	よる量 うこ・ 工と調 夫を食 を、時 に(使 利余 用つ きた る工 材を まし
全体	60	61.7 37	60.0 36	36.7 22	1.7 1	3.3 2	8.3 5	8.3 5
特定事業用	3	33.3	66.7	33.3	-	33.3	-	-
該当している	30	63.3	60.0	30.0	-	-	10.0	10.0
該当していない	26	65.4	61.5	46.2	3.8	3.8	7.7	3.8
わからない	1	-	-	-	-	-	-	100.0
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-
従業員数別	8	75.0	50.0	50.0	-	-	12.5	-
1~4人	11	63.6	72.7	45.5	-	-	18.2	9.1
5~9人	19	42.1	52.6	26.3	5.3	5.3	10.5	15.8
10~19人	12	75.0	75.0	58.3	-	-	-	-
20~29人	5	100.0	40.0	-	-	-	-	-
30~49人	2	-	50.0	-	-	50.0	-	-
50~99人	2	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0
100~199人	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-
200~299人	-	-	-	-	-	-	-	-
300人以上	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

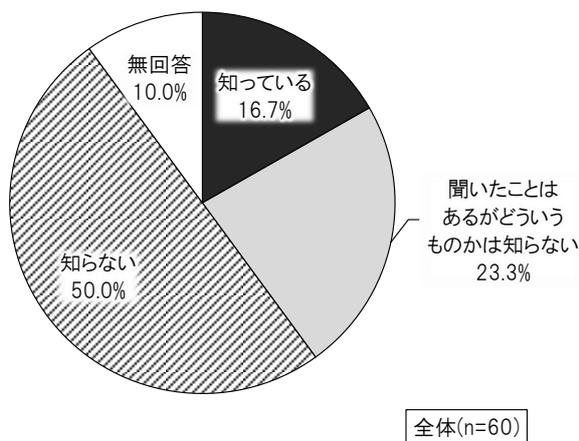
II 調査結果

10-2 「福岡エコ運動」の認知度

■「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」を「知っている」が16.7%、「聞いたことはあるがどういうものかは知らない」が23.3%、「知らない」が50.0%。

問31. 福岡市では、飲食店での食べ残しをなくすために、「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」を展開しており、その趣旨に賛同し、食べ残しの削減などに取り組みされる市内の飲食店及び宿泊施設を「福岡エコ運動協力店」として登録し紹介していますが、このことを知っていましたか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

【図 10-2】「福岡エコ運動」の認知度



飲食サービス業の事業所に、「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」を知っているかたずねたところ、「知っている」と答えた人の割合が16.7%、「聞いたことはあるがどういうものかは知らない」は23.3%、「知らない」は50.0%となっている。

【表 10-2】「福岡エコ運動」の認知度

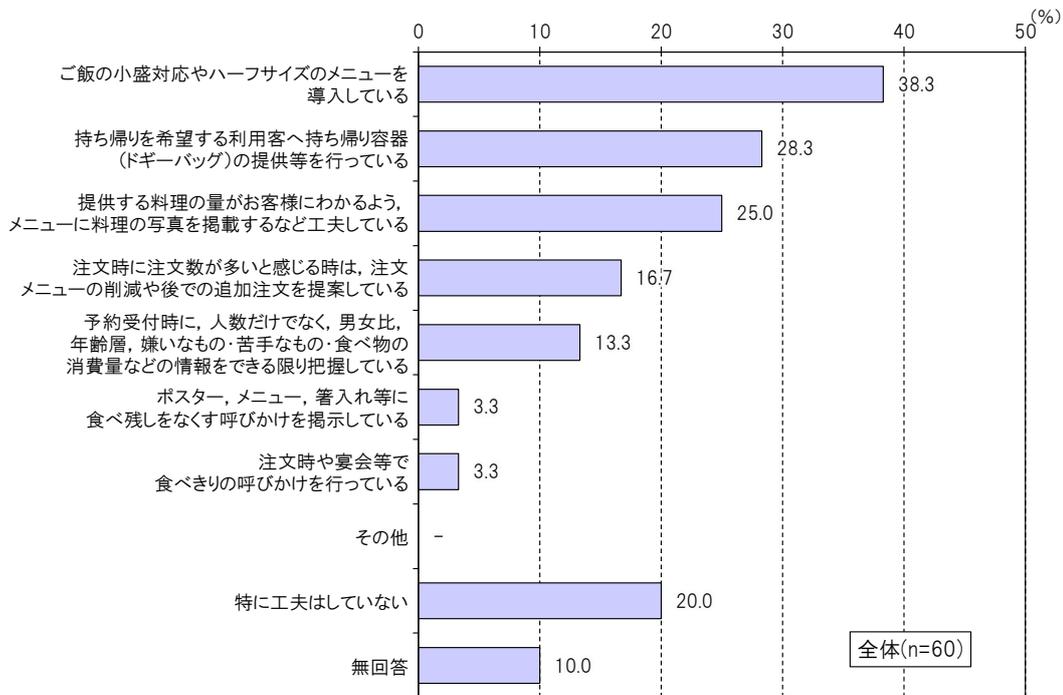
数値 (全体：上段=% 下段=件数, 属性：%)	サン プル 数	知 っ て い る	ら ん ど 聞 い た こ と は あ る が い づ れ の こ と も の か は 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答
全体	100.0 60	16.7 10	23.3 14	50.0 30	10.0 6
特定 建築 物別 業用					
該当している	3	33.3	-	33.3	33.3
該当していない	30	20.0	23.3	46.7	10.0
わからない	26	11.5	26.9	57.7	3.8
無回答	1	-	-	-	100.0
従 業 員 数 別					
1~4人	8	25.0	25.0	50.0	-
5~9人	11	18.2	9.1	63.6	9.1
10~19人	19	5.3	21.1	52.6	21.1
20~29人	12	25.0	16.7	58.3	-
30~49人	5	20.0	60.0	20.0	-
50~99人	2	-	50.0	50.0	-
100~199人	2	-	50.0	-	50.0
200~299人	1	100.0	-	-	-
300人以上	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-

### 10-3 食べ残しをなくすための工夫

■「ご飯の小盛対応やハーフサイズのメニューを導入している」(38.3%)が最多。

問 32. 貴事業所では、利用客の食べ残しをなくすために、どのような工夫をしていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

【図 10-3】 食べ残しをなくすための工夫



飲食サービス業の事業所に、利用客の食べ残しを減らすための工夫をたずねたところ、「ご飯の小盛対応やハーフサイズのメニューを導入している」(38.3%)が最も高く、次いで「持ち帰りを希望する利用客へ持ち帰り容器(ドギーバッグ)の提供等を行っている」(28.3%)、「提供する料理の量がお客様にわかるよう、メニューに料理の写真を掲載するなど工夫している」(25.0%)、「注文時に注文数が多いと感じる時は、注文メニューの削減や後での追加注文を提案している」(16.7%)、「予約受付時に、人数だけでなく、男女比、年齢層、嫌いなもの・苦手なもの、食べ物の消費量などの情報をできる限り把握している」(13.3%)となっている。なお、「特に工夫はしていない」(20.0%)と回答する事業所は2割となっている。

II 調査結果

【表 10-3】食べ残しをなくすための工夫

		サンプル数	メニューの小盛対応やハーフサイズの導入している	持ち帰り容器(ドギーバツグ)の提供	提供する料理の量がお客様にわかるようにメニューに料理の写真を掲載する、メニューに料理の写真を掲載する	追加注文を提案している	注文時に注文数が多いと感じる時は注文メニューの削減や後での追加注文を提案している	手前、年齢層、人数だけでなく、男女比、年齢層、人数だけでなく、情報をできる限り把握している	予約受付時に、人数だけでなく、男女比、年齢層、人数だけでなく、情報をできる限り把握している	ポスター、メニュー呼びかけ、箸入れ等	注文時や宴会等で食べきりの呼びかけを行っている	その他	特に工夫はしていない	無回答
全体		100.0 60	38.3 23	28.3 17	25.0 15	16.7 10	13.3 8	3.3 2	3.3 2	-	-	20.0 12	10.0 6	
特定事業用 建築物別	該当している	3	66.7	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3
	該当していない	30	33.3	33.3	26.7	10.0	16.7	3.3	3.3	-	-	20.0	10.0	
	わからない	26	42.3	23.1	23.1	26.9	7.7	3.8	3.8	-	-	23.1	3.8	
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
従業員数別	1~4人	8	50.0	12.5	25.0	12.5	50.0	-	12.5	-	-	25.0	-	
	5~9人	11	36.4	27.3	18.2	36.4	9.1	9.1	9.1	-	-	18.2	9.1	
	10~19人	19	31.6	10.5	26.3	5.3	5.3	-	-	-	-	26.3	21.1	
	20~29人	12	50.0	75.0	33.3	25.0	-	-	-	-	-	-	-	
	30~49人	5	20.0	-	-	-	20.0	20.0	-	-	-	60.0	-	
	50~99人	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	
	100~199人	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	
	200~299人	1	100.0	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	
300人以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

## C. 參考資料



福岡市

# ごみ減量・リサイクルに関する 意識調査

令和元年10月  
調査主体 福岡市

…………… <ご記入のお願い> ……………

- \* このアンケート調査票は必ずご本人（封筒の宛名の方）がお答えください。  
ただし、ごみ出しの状況などについて聞く質問で「ふだん自分ではごみ出しをしないのでわからない」という方は、主にごみ出しを行っている他のご家族の方に聞いてご回答ください。
- \* 回答するにあたって、お名前を書いていただく必要はございません。また、回答の内容は「このようなご意見の方は全体の何パーセント」など、すべて統計的に処理をしますので、皆さまのご意見を個人が特定されるような形で公表することはありません。
- \* 記入は黒・青のボールペンまたは鉛筆などをお願いします。
- \* 各質問の回答は、特に説明がないかぎり、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。質問文に「1つ」「すべて」などの指定がある場合は、その指定に従ってください。
- \* 質問によっては回答する方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
- \* 「その他」を選ばれたときは、その内容を（        ）の中に具体的に記入してください。
- \* ご記入いただいた調査票は **11月8日（金）まで**に、同封の返信用封筒に入れて返送してください。（切手は不要です。）

————— <お問い合わせ先> —————

福岡市環境局循環型社会推進部 計画課  
〒810-8620 福岡市中央区天神 1-8-1  
TEL 092-711-4308 FAX 092-733-5907



## II ごみの出し方についてお尋ねします。

問1. あなたのご家庭では、ごみを1週間に何回程度、1回に何袋くらい出していますか。また、ごみを出す時に利用するのは主にどの大きさのごみ袋ですか。(1)~(3)の①~③それぞれの項目についてあてはまるものを1つずつ選び、番号に○を付けてください。

(○は各々1つずつ)

(1) 燃えるごみ

①頻度

N=2,572

1. 1週間に2回 73.4    2. 1週間に1回 19.0    3. 1週間に1回未満 5.9

②袋の数(1回あたり)

N=2,572

1. 1袋 85.8                    2. 2袋 11.0                    3. 3袋以上 1.0

③袋の大きさ(主に利用するもの)

N=2,572

1. 大袋(45ℓ) 53.8    2. 中袋(30ℓ) 31.8    3. 小袋(15ℓ) 11.2

(2) 燃えないごみ

①頻度

N=2,572

1. 毎月 31.0    2. 2ヵ月に1回 26.6    3. 3ヵ月以上に1回 36.4    4. 出していない 3.9

②袋の数(1回あたり)

n=2,419

1. 1袋 95.3                    2. 2袋 3.2                    3. 3袋以上 0.4

③袋の大きさ(主に利用するもの)

n=2,419

1. 大袋(45ℓ) 44.8    2. 中袋(30ℓ) 39.1    3. 小袋(15ℓ) 15.0

※①で4と答えた方は(3)へお進みください。

(3) 空きびん・ペットボトル ←

①頻度

N=2,572

1. 毎月 32.3    2. 2ヵ月に1回 20.0    3. 3ヵ月以上に1回 20.5    4. 出していない 20.2

②袋の数(1回あたり)

n=1,872

1. 1袋 90.5                    2. 2袋 7.2                    3. 3袋以上 1.7

③袋の大きさ(主に利用するもの)

n=1,872

1. 大袋(45ℓ) 54.0    2. 中袋(30ℓ) 45.4

※①で4と答えた方は問2へお進みください。

※4ページ 問2へ

問2. あなたのご家庭では、1年前と比べてごみを出す量は変わりましたか。また、1年前と比べて同居する家族の人数は変わりましたか。(1)～(2)についてあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は各々1つずつ)

※1年前は福岡市以外にお住まいだった方も、現在と1年前を比較してお答えください。

(1) ごみを出す量

N=2,572

1. かなり減った 7.3      3. やや増えた 8.2      5. 変わらない 62.1  
2. やや減った 15.8      4. かなり増えた 1.7      6. わからない 1.9

(2) 同居している家族の人数

N=2,572

1. 減った 8.6      2. 増えた 6.2      3. 変わらない 80.7

問3. あなたは、「ごみ袋の金額」についてどのように感じていますか。(1)～(3)についてあてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。(○は各々1つずつ)

N=2,572

	かなり高い	やや高い	妥当な金額である	やや安い	かなり安い
(1) 燃えるごみ	13.0	33.7	49.4	1.2	0.7
(2) 燃えないごみ	10.1	27.0	57.3	1.8	1.0
(3) 空きびん・ペットボトル	9.9	24.3	58.5	2.3	1.1

【ごみ袋の料金(1袋あたり)】

- ・燃えるごみ : 大45 ㍓ : 45円 中30 ㍓ : 30円 小15 ㍓ : 15円
- ・燃えないごみ : 大45 ㍓ : 45円 中30 ㍓ : 30円 小15 ㍓ : 15円
- ・空きびん・ペットボトル : 大45 ㍓ : 22円 中30 ㍓ : 15円

問4. あなたは、「ごみ袋のサイズ」についてどのように感じていますか。(1)～(3)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

(○は各々1つずつ)

(1) 燃えるごみ用袋

N=2,572

- |                         |      |
|-------------------------|------|
| 1. 今のままでよい              | 84.6 |
| 2. 45ℓより大きいサイズがあったほうがよい | 11.0 |
| 3. 15ℓより小さいサイズがあったほうがよい | 2.3  |



**付問4-1. 【問4(1)で3と答えた方へ】** 何ℓのサイズがあればよいと思いますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

n=60

- |                     |      |
|---------------------|------|
| 1. 10ℓ              | 71.7 |
| 2. 5ℓ               | 26.7 |
| 3. その他 ( 平均 7.5 ℓ ) | 1.7  |

(2) 燃えないごみ用袋

N=2,572

- |                         |      |
|-------------------------|------|
| 1. 今のままでよい              | 77.4 |
| 2. 45ℓより大きいサイズがあったほうがよい | 13.4 |
| 3. 15ℓより小さいサイズがあったほうがよい | 6.5  |



**付問4-2. 【問4(2)で3と答えた方へ】** 何ℓのサイズがあればよいと思いますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

n=167

- |                     |      |
|---------------------|------|
| 1. 10ℓ              | 49.7 |
| 2. 5ℓ               | 47.9 |
| 3. その他 ( 平均 7.0 ℓ ) | 0.6  |

(3) 空きびん・ペットボトル用袋

N=2,572

- |                         |      |
|-------------------------|------|
| 1. 今のままでよい              | 82.7 |
| 2. 45ℓより大きいサイズがあったほうがよい | 5.6  |
| 3. 30ℓより小さいサイズがあったほうがよい | 8.2  |



**付問4-3. 【問4(3)で3と答えた方へ】** 何ℓのサイズがあればよいと思いますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

n=210

- |                     |      |
|---------------------|------|
| 1. 15ℓ              | 64.3 |
| 2. 10ℓ              | 21.4 |
| 3. 5ℓ               | 11.0 |
| 4. その他 ( 平均 9.7 ℓ ) | 1.4  |

問5. あなたのご家庭では、再利用できる不用になった家具や家電製品はどのようにしていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=2,572

- |                            |      |
|----------------------------|------|
| 1. 友人・知人に譲る                | 26.9 |
| 2. 臨海3Rステーションに持っていく        | 5.3  |
| 3. リサイクルショップに売る            | 25.0 |
| 4. フリーマーケット（スマホアプリを含む。）で売る | 5.6  |
| 5. 使えなくなるまで利用している          | 54.4 |
| 6. その他                     | 5.1  |
| 7. 再利用せず捨てている              | 16.0 |

問6. あなたのご家庭では、粗大ごみを1年にどの程度出していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

N=2,572

- |                  |            |      |
|------------------|------------|------|
| 1. 粗大ごみを出したことがない | 20.8       |      |
|                  | 2. 数年に1回   | 58.2 |
|                  | 3. 1年に1回程度 | 15.0 |
|                  | 4. 1年に2回以上 | 4.0  |

**付問6-1. 【問6で2~4と答えた方へ】** あなたのご家庭が粗大ごみを出すのはどのような時ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

n=1,989

- |                    |      |
|--------------------|------|
| 1. 引っ越し            | 30.1 |
| 2. 買い替え            | 47.3 |
| 3. 壊れて使用できなくなった    | 74.3 |
| 4. まだ使えるが、使用しなくなった | 24.5 |
| 5. その他             | 1.7  |

問7. あなたが住んでいる隣近所では、ごみ出しルールは守られていますか。あてはまるものを 1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

N=2,572

- |                            |      |
|----------------------------|------|
| 1. ごみ出しルールは守られている          | 69.6 |
| 2. ごみ出しルールはどちらかといえば守られている  | 23.4 |
| 3. ごみ出しルールはどちらかといえば守られていない | 4.5  |
| 4. ごみ出しルールは守られていない         | 1.5  |

→付問7-1. 【問7で2~4と答えた方へ】 どのようなルール違反が見られますか。あてはまるものを すべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

n=755

- |   |      |
|---|------|
| 1. ごみを早い時間帯に出している (ごみを出す時間は、日没から夜12時まで)         | 54.7 |
| 2. ごみ出し日ではない日に出している                             | 53.4 |
| 3. 赤い「燃えるごみ」袋に、ペットボトルが入っている<br>(分別ルールを守らず出している) | 20.0 |
| 4. 青い「燃えないごみ」袋に、空きびんが入っている<br>(分別ルールを守らず出している)  | 16.3 |
| 5. 家の前やごみ出し場所以外にごみを出している (不法投棄)                 | 7.3  |
| 6. その他  | 9.9  |

→付問7-2. 【問7で2~4と答えた方へ】 隣近所でルールが守られない主な理由は何だと思いますか。あてはまるものを 1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

n=755

- |                   |      |
|-------------------|------|
| 1. 分別するのが面倒だから    | 11.0 |
| 2. ごみを出す日時に出せないから | 35.6 |
| 3. ルールを知らないから     | 18.5 |
| 4. その他            | 13.1 |

問8. あなたは、ごみ出しルールをどこで確認しますか。あてはまるものを すべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=2,572

- |   |      |
|---|------|
| 1. 家庭ごみルールブック等福岡市や区役所が作成した冊子やチラシ                | 75.3 |
| 2. 福岡市や区役所のホームページ                               | 33.1 |
| 3. LINE (ライン) (ごみの日の通知, 粗大ごみ収集の申込, ごみ・資源物の分別検索) | 12.1 |
| 4. 環境局や区役所へ電話で確認している                            | 8.1  |
| 5. その他  | 6.8  |
| 6. 確認したことがない                                    | 3.7  |

### Ⅲ 資源物の出し方についてお尋ねします。

#### 資源物の回収

福岡市では、ご家庭から出る古紙などの資源物のリサイクルを進めるため、地域の集団回収や保管庫を活用して資源物を回収する「紙リサイクルボックス」「校区紙リサイクルステーション」の支援を行っています。また、区役所・市民センター等公共施設でも回収しています。資源物をごみとして捨てないで、地域集団回収や回収拠点を利用して、ごみ減量・リサイクルを進めましょう。

##### 【地域集団回収】

集積場所を決めて町内会や子ども会などの地域団体が行う資源物回収活動のことです。

##### 【地域の回収ボックス】

###### ①紙リサイクルボックス

公民館、公園など身近な場所に保管庫を設置して、地域団体が管理する資源物回収拠点のことです。

###### ②校区紙リサイクルステーション

地域における資源回収の核施設として、校区団体が管理している、校区1か所の資源物回収拠点のことです。

##### 【公共施設の資源物回収ボックス】

東区役所、城南区役所、早良区役所、西区役所、入部出張所、西部出張所、博多市民センター、南市民センター、中央体育館にある資源物回収拠点のことです。



問9. あなたのご家庭では、次に掲げる(1)～(12)の品目について、どのように処理していますか。それぞれの項目ごとに主に当てはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

(○は各々1つずつ)

##### (1) 新聞(折り込みチラシ含む)

N=2,572

- |  |      |
|--|------|
| 1. 地域集団回収(廃品回収)                            | 28.8 |
| 2. 地域の回収ボックス                               | 12.2 |
| 3. 公共施設の資源物回収ボックス                          | 2.3  |
| 4. 地域の回収ボックスや公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス(民間設置) | 3.2  |
| 5. 新聞販売店の回収                                | 6.5  |
| 6. 燃えるごみの日に出す                              | 8.5  |
| 7. 新聞は購読していない                              | 31.8 |
| 8. その他                                     | 0.6  |

##### (2) 段ボール

N=2,572

- |  |      |
|--|------|
| 1. 地域集団回収(廃品回収)                            | 36.0 |
| 2. 地域の回収ボックス                               | 23.3 |
| 3. 公共施設の資源物回収ボックス                          | 4.9  |
| 4. 地域の回収ボックスや公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス(民間設置) | 8.4  |
| 5. 商品購入時に販売店引き取り                           | 0.9  |
| 6. 燃えるごみの日に出す                              | 18.3 |
| 7. その他                                     | 2.3  |

(3) 雑誌

N=2,572

1. 地域集団回収（廃品回収）	34.2
2. 地域の回収ボックス	16.6
3. 公共施設の資源物回収ボックス	3.8
4. 地域の回収ボックスや公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス（民間設置）	5.5
5. 燃えるごみの日に出す	16.1
6. 雑誌は購読していない	18.0
7. その他	0.9

(4) 紙パック

N=2,572

1. 地域集団回収（廃品回収）	12.0
2. 地域の回収ボックス	9.4
3. 公共施設の資源物回収ボックス	4.2
4. 地域の回収ボックスや公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス（民間設置）	13.2
5. 燃えるごみの日に出す	55.4
6. その他	1.3

(5) 雑がみ※<sup>1</sup>（雑誌・紙パックを除く。）

N=2,572

1. 地域集団回収（廃品回収）	20.3
2. 地域の回収ボックス	9.7
3. 公共施設の資源物回収ボックス	2.3
4. 地域の回収ボックスや公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス（民間設置）	3.3
5. 燃えるごみの日に出す	59.4
6. その他	0.6

※<sup>1</sup>【雑がみ】

雑がみとは、「お菓子の紙箱」や「包装紙」、「はがき・封筒」など、新聞と段ボール以外のリサイクル可能な紙のことで、燃えるごみに多く混入しています。新聞や段ボールと同様に地域集団回収や回収拠点に出しましょう。

(6) 生ごみ

N=2,572

1. 電動式生ごみ処理機を使用	1.0
2. 生ごみコンポスト化容器を使用	0.8
3. 段ボールコンポストを使用	0.3
4. ディスポーザー（生ごみ粉碎機）を使用	1.0
5. 絞ったり乾かしたりした後、燃えるごみの日に出す	16.4
6. そのまま、燃えるごみの日に出す	76.5
7. その他	0.9

(7) 白色トレイ

N=2,572

1. 公共施設の資源物回収ボックス	9.3
2. 公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス（民間設置）	25.2
3. 燃えるごみの日に出す	60.5
4. その他	0.6

(8) 古着

N=2,572

1. 地域集団回収（廃品回収）	15.6
2. 地域の回収ボックス	2.8
3. 博多・南・城南市民センター、まもる一む福岡の回収ボックス	0.3
4. 知り合いに譲る	6.4
5. 臨海3Rステーション・西部3Rステーションに持っていく	0.8
6. リサイクルショップに売る	10.1
7. フリーマーケット（スマホアプリを含む。）で売る	2.3
8. 燃えるごみの日に出す	44.3
9. その他	2.3

(9) アルミ缶

N=2,572

1. 地域集団回収（廃品回収）	30.5
2. 地域の回収ボックス	12.8
3. 公共施設の資源物回収ボックス	4.4
4. 地域の回収ボックスや公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス（民間設置）	15.1
5. 燃えないごみの日に出す	28.0
6. その他	2.4

(10) ビールびん・一升瓶（リターナブルびん）

N=2,572

1. 販売店に戻す	8.2
2. 空きびん・ペットボトルの日に出す	32.1
3. 地域集団回収（廃品回収）	10.5
4. 地域の回収ボックス	3.9
5. 公共施設の資源物回収ボックス	1.9
6. 地域の回収ボックスや公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス（民間設置）	5.1
7. 購入しない	30.8
8. その他	0.6

(11) 空きびん（リターナブルびんを除く。）

N=2,572

1. 空きびん・ペットボトルの日に出す	67.7
2. 公共施設の資源物回収ボックス	7.2
3. 公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス（民間設置）	14.1
4. その他	2.5

(12) ペットボトル

N=2,572

1. 空きびん・ペットボトルの日に出す	60.6
2. 地域集団回収（廃品回収）	3.1
3. 地域の回収ボックス	6.2
4. 公共施設の資源物回収ボックス	4.4
5. 地域の回収ボックスや公共施設の資源物回収ボックス以外の回収ボックス（民間設置）	17.5
6. その他	1.4

問 10. あなたがお住まいの地域では、古紙や空き缶などの地域集団回収（廃品回収）は行われていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

N=2,572

- |                    |      |
|--------------------|------|
| 1. 行われており、利用している   | 53.5 |
| 2. 行われているが、利用していない | 22.2 |
| 3. 行われていない         | 5.7  |
| 4. 行われているか知らない     | 17.1 |

付問 10-1. 【問 10 で 2 と 答えた方へ】地域集団回収を利用していない主な理由は何ですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

n=572

- |                                   |      |
|-----------------------------------|------|
| 1. 資源物の回収ボックス（地域、公共施設、民間設置）に出している | 38.6 |
| 2. 回収日まで家に置いておけない                 | 12.6 |
| 3. 地域集団回収の曜日・時間は都合が悪く参加できない       | 16.3 |
| 4. 地域集団回収の回収場所へ運ぶのが面倒             | 11.4 |
| 5. 地域集団回収の回収日がわからない               | 10.5 |
| 6. その他                            | 6.3  |

問 11. あなたは、資源物の回収ボックス（地域、公共施設、民間設置）の場所を知っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

N=2,572

- |                   |      |
|-------------------|------|
| 1. 知っており、利用している   | 64.5 |
| 2. 知っているが、利用していない | 16.6 |
| 3. 知らない           | 16.8 |

付問 11-1. 【問 11 で 2 と 答えた方へ】資源物の回収ボックスを利用していない主な理由は何ですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

n=427

- |                         |      |
|-------------------------|------|
| 1. 地域集団回収に出している         | 38.6 |
| 2. 回収ボックスが近くにない         | 16.9 |
| 3. 出したいときに回収ボックスが開いていない | 5.4  |
| 4. 回収ボックスに持ち込むのが面倒      | 19.0 |
| 5. 回収ボックスが開いている日時がわからない | 5.9  |
| 6. 重くて持ち込めない            | 6.3  |
| 7. その他                  | 3.3  |

問 12. あなたは、今後、資源物の回収ボックスがどこにあると利用すると思いますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=2,572

- |                  |      |            |      |
|------------------|------|------------|------|
| 1. 市民センターなどの公共施設 | 15.0 | 4. ドラッグストア | 28.0 |
| 2. スーパーマーケット     | 72.2 | 5. 駅周辺     | 10.5 |
| 3. コンビニエンスストア    | 55.4 | 6. その他     | 7.1  |

## IV 3R（スリーアール）の取り組みなどについてお尋ねします。

### 3R

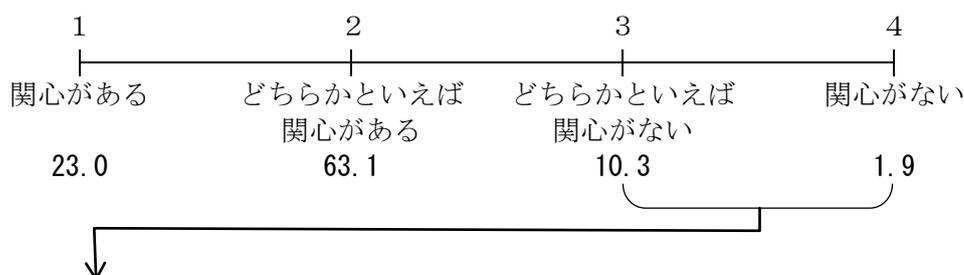
ごみの減量のためには、①ごみを減らす「リデュース（Reduce）」、②繰り返し使う「リユース（Reuse）」、③再生利用する「リサイクル（Recycle）」が必要です。それぞれの頭文字「R」をとって「3R（スリーアール）」と呼んでいます。3Rは、リデュース → リユース → リサイクルの順番で取り組むことが重要です。

また、リデュースには、ごみを減らすための「意思表示」として、④不要なものを断る「リフューズ（Refuse）」も含まれています。具体的には、『マイバックを持参してレジ袋を断る』、『 unnecessary包装を断り、包装紙を減らす』などがリフューズに該当します。

皆さんも身近なところから始めてみませんか？

問 13. あなたは、ごみ減量・リサイクルにどの程度関心がありますか。あてはまるものを 1つ 選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

N=2,572



付問 13-1. 【問 13 で 3, 4 と答えた方へ】「関心がない」理由は何ですか。あてはまるものを すべて 選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

n=315

- |                    |      |
|--------------------|------|
| 1. ごみの減量やリサイクルは面倒  | 46.0 |
| 2. ライフスタイルを変えたくない  | 21.3 |
| 3. 企業・行政が取り組むべき    | 13.7 |
| 4. 自分一人が努力しても影響がない | 18.4 |
| 5. ごみ処理料金を負担している   | 15.6 |
| 6. その他             | 9.5  |

問 14. 「リデュース、リユース、リサイクル、リフューズ」の4つの言葉のうち、あなたが意味を知っていた言葉はどれですか。あてはまるものを すべて 選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=2,572

- |                           |      |
|---------------------------|------|
| 1. リデュース（Reduce：ごみを減らす）   | 41.7 |
| 2. リユース（Reuse：繰り返し使う）     | 61.2 |
| 3. リサイクル（Recycle：再生利用する）  | 90.4 |
| 4. リフューズ（Refuse：不要なものを断る） | 16.1 |
| 5. どれも知らない                | 5.3  |

問 15. 最近 1 年間、あなたのご家庭では、ごみ減量・リサイクル（3 R）の取り組みはどうか。あてはまるものを 1 つ選び、番号に○をつけてください。（○は 1 つだけ）

N = 2, 572

- |                    |       |                     |       |
|--------------------|-------|---------------------|-------|
| 1. 取り組んでいる         | 14. 3 | 3. どちらかといえば取り組んでいない | 26. 2 |
| 2. どちらかといえば取り組んでいる | 44. 6 | 4. 取り組んでいない         | 5. 8  |
|                    |       | 5. わからない            | 6. 2  |

付問 15-1. 【問 15 で 1, 2 と答えた方へ】あなたのご家庭が 3 R に取り組む理由は何ですか。あてはまるものを すべて選び、番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

n = 1, 515

- |                             |       |
|-----------------------------|-------|
| 1. 限りある資源の有効利用につながるから       | 69. 2 |
| 2. 二酸化炭素の削減など環境負荷の低減につながるから | 54. 2 |
| 3. ごみ袋代の節約になるから             | 55. 0 |
| 4. 行政（国・県・市）が取り組みを推奨しているから  | 12. 9 |
| 5. 子どもの教育に良いことだから           | 13. 2 |
| 6. 周りの人が取り組んでいるから           | 4. 0  |
| 7. その他                      | 3. 4  |
| 8. 特に理由はない                  | 3. 8  |

問 16. あなたのご家庭では、ごみ減量・リサイクル（3 R）のために実践していることは何ですか。あてはまるものを すべて選び、番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

n = 2, 189

- |                                      |       |
|--------------------------------------|-------|
| 1. 過剰包装を断ったり、簡易包装の商品を購入したりしている       | 57. 9 |
| 2. 計画的な買い物で、必要以上の商品は買わない             | 42. 8 |
| 3. 食料品は量り売りで購入している（買いすぎない）           | 6. 1  |
| 4. 食べ残しをしないなど、できるだけ生ごみを出さないようにしている   | 56. 6 |
| 5. 使い捨てとなるようなものは、もらわないようにしている        | 18. 5 |
| 6. マイボトルを持ち歩いている                     | 45. 5 |
| 7. 詰め替え商品・再生品を購入している                 | 55. 6 |
| 8. リサイクルショップで売ったり、フリーマーケットに出品したりしている | 23. 1 |
| 9. フリマアプリを活用している                     | 10. 8 |
| 10. 不用品を知り合いに譲ったり、バザーに提供している         | 20. 8 |
| 11. 古紙や空きびん・ペットボトル等の資源物は分別しリサイクルしている | 66. 7 |
| 12. その他                              | 2. 2  |
| 13. 特に何もしていない                        | 1. 2  |

※調査結果は、問 15 で 1, 2, 3 と回答した人 (2,189 人) を対象に集計

問 17. あなたは、現在、買い物をするときレジ袋を断っていますか。あてはまるものを 1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

N=2,572

- |                  |      |
|------------------|------|
| 1. ほとんど毎回断っている   | 41.0 |
| 2. 半分以上断っている     | 29.9 |
| 3. 半分以上受け取っている   | 14.9 |
| 4. ほとんど毎回受け取っている | 12.5 |

付問 17-1. 【問 17 で 1, 2 と答えた方へ】レジ袋を断る理由は何ですか。あてはまるものを すべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

n=1,824

- |                           |      |
|---------------------------|------|
| 1. ごみ減量につながるから            | 56.3 |
| 2. レジでの値引きやポイントなどの特典があるから | 46.2 |
| 3. レジ袋は環境によくないから          | 31.3 |
| 4. レジ袋が有料だから              | 62.8 |
| 5. マイバッグの方が使いやすいから        | 38.8 |
| 6. その他                    | 1.5  |

付問 17-2. 【問 17 で 3, 4 と答えた方へ】レジ袋を受け取る理由は何ですか。あてはまるものを すべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

n=704

- |                               |      |
|-------------------------------|------|
| 1. レジ袋が無料だから                  | 25.9 |
| 2. 生ごみやおむつなどを捨てるときなどに使用しているから | 71.2 |
| 3. マイバッグを持ち歩くのが面倒だから          | 23.6 |
| 4. その他                        | 9.8  |
| 5. 特に理由はない                    | 6.5  |

問 18. あなたは、レジ袋の削減のためにどのような取り組みが必要だと思いますか。あてはまるものを すべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=2,572

- |  |      |
|--|------|
| 1. 行政が、消費者（市民）に対してもっと啓発を行っていく              | 24.2 |
| 2. 行政が、販売店と共同で店頭キャンペーンを行うなど消費者に行動を促す       | 25.9 |
| 3. レジ袋を無償で提供している販売店が、有料化やポイント還元等で消費者に行動を促す | 51.6 |
| 4. 販売店が、有料販売しているレジ袋の金額を更に上げる               | 21.4 |
| 5. 消費者が、レジ袋を断ることを意識する                      | 41.1 |
| 6. その他                                     | 3.8  |
| 7. レジ袋は必要なので現状のままでよい                       | 9.1  |

問 19. 現在、海洋プラスチックごみが世界的な課題となっていますが、あなたは、プラスチックごみの海への流出を減らすために実践していることはありますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=2,572

- |  |      |
|--|------|
| 1. ごみのポイ捨てをしない                         | 91.1 |
| 2. 地域や河川、海岸での清掃活動に参加する                 | 9.9  |
| 3. マイバッグやマイボトルを持ち、レジ袋やペットボトルをできるだけ使わない | 56.4 |
| 4. その他                                 | 0.8  |
| 5. 特に何もしていない                           | 2.6  |

問 20. 今年の10月に施行された「食品ロスの削減の推進に関する法律」で、国は、まだ食べることができる食品が廃棄されないようにするための社会的な取り組みを進めていくことを打ち出しました。あなたは、「食品ロス」という言葉を知っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

N=2,572

- |                          |      |
|--------------------------|------|
| 1. 知っている                 | 79.5 |
| 2. 聞いたことはあるがどういうものかは知らない | 11.5 |
| 3. 知らない                  | 7.4  |

問 21. あなたのご家庭では、まだ食べられる食品や本来は食べられたはずの食品を捨ててしまうことがありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つだけ)

N=2,572

- |   |           |      |           |      |
|---|-----------|------|-----------|------|
| ↓ | 1. よくある   | 2.9  | 3. あまりない  | 33.9 |
|   | 2. ときどきある | 33.3 | 4. ほとんどない | 28.0 |

**付問 21-1. 【問 21 で 1, 2 と答えた方へ】**あなたのご家庭では、まだ食べられる食品や本来は食べられたはずの食品を捨ててしまう理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

n=931

- |                              |      |
|------------------------------|------|
| 1. 買い過ぎてしまったから               | 13.2 |
| 2. 作り過ぎて余ったから                | 24.2 |
| 3. 消費期限 <sup>*2</sup> を過ぎたから | 66.9 |
| 4. 賞味期限 <sup>*2</sup> を過ぎたから | 37.6 |
| 5. 保管中に傷んでしまったから             | 58.6 |
| 6. 好みではない物をもらったから            | 11.2 |
| 7. おいしくなかったから                | 17.4 |
| 8. 家に在庫があるのを忘れて、さらに買ってしまったから | 11.5 |
| 9. その他                       | 2.6  |

**※2 【消費期限と賞味期限】**

「消費期限」とは安全に食べられる期限のことで、消費期限を過ぎたら食べない方が良くとされています。一方、「賞味期限」は品質が変わらずにおいしく食べられる期限を示したものです。記載された保存方法を守っていれば、賞味期限を過ぎてもすぐに食べられなくなるというわけではありません。

問 22. あなたのご家庭では、「食品ロス」を減らすためにどのような工夫をしていますか。特にあてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。(○は3つまで)

N=2,572

- |                            |      |
|----------------------------|------|
| 1. 買い物の前に家にある食材を確認している     | 51.6 |
| 2. 買い物リストを作っている            | 24.3 |
| 3. 買い過ぎないようにしている           | 45.5 |
| 4. 量り売りやばら売りを利用している        | 3.3  |
| 5. 必要な分だけ作るようにしている         | 27.6 |
| 6. 食材を使い切るようにしている          | 42.8 |
| 7. 食べ残しをしないようにしている         | 39.2 |
| 8. 作り過ぎた物は冷凍保存している         | 36.4 |
| 9. 食べない物は人にあげるようにしている      | 5.0  |
| 10. 賞味期限を過ぎても、風味を確認して食べている | 33.5 |
| 11. 生ごみコンポストなどで堆肥にしている     | 1.4  |
| 12. その他                    | 0.4  |
| 13. 特に工夫していない              | 1.7  |

問 23. 福岡市では、飲食店での食べ残しをなくすために、「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」を展開しており、宴会や外食時に実践していただきたい3項目を飲食店等で呼びかけています。あなたは、この運動を知っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

N=2,572

- |                          |      |
|--------------------------|------|
| 1. 知っている                 | 22.0 |
| 2. 聞いたことはあるがどういうものかは知らない | 19.2 |
| 3. 知らない                  | 56.8 |

## 食品ロス

「食品ロス」とは、食べられるのに捨てられてしまう食品をいいます。日本で発生する食品ロスは、国民一人あたり毎日お茶碗1杯分のご飯を捨てていることに相当します。また、宴会で出された料理のうち食べ残しの量は14%にもものぼります。そこで、福岡市では、もったいない食べ残しをなくすため「福岡エコ3項目」の実践を呼びかけています。



福岡エコ運動  
啓発キャラクター  
ごちそうクマ

### 福岡エコ3項目にチャレンジ！

- 1 **かしこい  
選択  
適量注文**
- 2 **美味しく  
味わう  
はじめの  
30分間**
- 3 **終わりの  
10分前は  
完食タイム**

食べきれぬ量  
だけ注文して  
美味しく食べ  
ましょう！

宴会の最初の  
30分間は、席  
を立たずに料  
理を楽しみま  
しょう！

宴会の最後は  
元の席に戻っ  
て料理を美味  
しくいただき  
ましょう！

外食では福岡エコ3項目の1に、宴会では福岡エコ3項目の1・2・3にチャレンジしましょう。

問 24. あなたは、「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」実践3項目について、それぞれの程度実践していますか。次の(1)～(3)の項目ごとにあてはまるものを 1つずつ選び、番号に○を付けてください。(○は各々1つずつ)

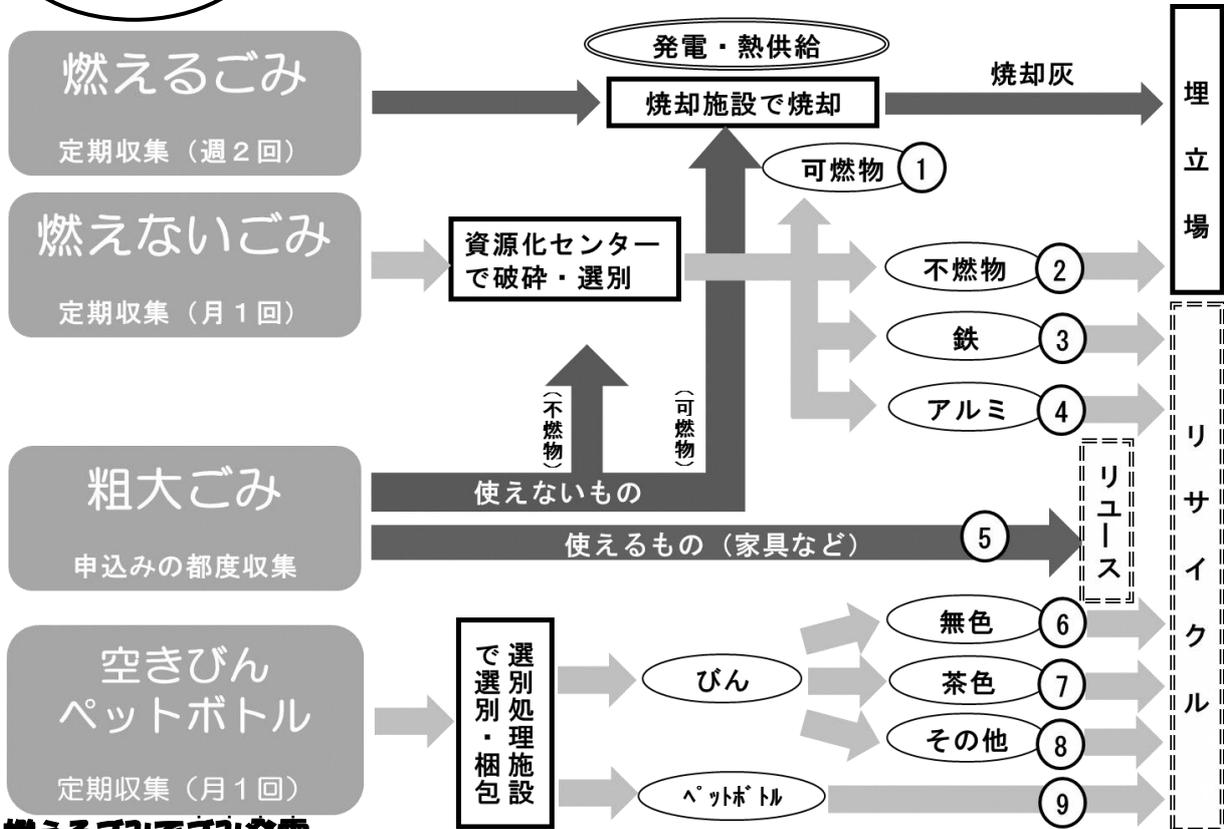
N=2,572

	実施している	実施している ときどき	あまり 実施していない	実施していない
(1) かしこい選択適量注文	64.3	14.7	5.9	7.7
(2) 美味しく味わうはじめの30分間	44.2	16.6	13.4	15.8
(3) おわりの10分前は完食タイム	38.5	16.9	16.7	17.8

## 福岡市のごみ処理の流れ

最終的には  
9区分

福岡市では4分別で収集した家庭ごみを、最終的には下図①～⑨の9区分にして、リサイクルや処理をしています。



### 燃えるごみでごみ発電

「燃えるごみ」は、焼却施設で焼却し、その熱を利用した発電（熱回収：サーマルリサイクル）を行っています。こうして得られた電気は焼却施設などで使うほか、電力会社へ売電し、4工場合計で38,639世帯の1年分の電力\*になっています。

また、熱（蒸気）を余熱利用施設等へ供給しています。

※クリーン・エネ・パーク南部の実績を含む、平成29年度の売電実績。1世帯あたりの年間電力消費量を4,359kWhとして算出。

### 燃えないごみから鉄・アルミを回収

「燃えないごみ」のうち空き缶などの金属製品、家電製品などの金属とプラスチックの複合製品などは収集後、資源化センターで破碎・選別処理して鉄とアルミを回収し、再資源化業者に引き渡しリサイクルしています。

### 空きびんはさらに3分別

「空きびん・ペットボトル」については選別処理施設でそれぞれ分別し、空きびんはさらに色で3種類に分別後、それぞれ再資源化業者に引き渡しリサイクルをしています。

### 地球にやさしい「福岡方式」の埋立技術で最終処分

焼却施設で焼却した後に出てくる灰などは、地球温暖化の原因となるメタンガスの発生を抑えるなど、環境への負荷が少ない「福岡方式」の技術で埋立っています。

## V 分別方法への意向や、ご高齢の方のごみ出しについてお尋ねします。

問 25. ごみを4分別で収集することについて、あなたはどのように考えますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

N=2,572

- |               |      |
|---------------|------|
| 1. 分別は今のままでよい | 80.6 |
| 2. 分別を増やすべきだ  | 12.6 |
| 3. 分別を減らすべきだ  | 2.9  |
| 4. その他        | 0.2  |

付問 25-1. 【問 25 で 2 と答えた方へ】分別を増やすとすれば、何を分別収集すべきと考えますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

n=324

- |                     |      |
|---------------------|------|
| 1. 古紙               | 41.0 |
| 2. 生ごみ              | 9.3  |
| 3. プラスチック（ペットボトル以外） | 57.1 |
| 4. 空き缶（アルミ缶，スチール缶）  | 35.8 |
| 5. その他              | 8.3  |

付問 25-2. 【問 25-1 で 1 と答えた方へ】古紙の分別を増やした方が良い理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

n=133

- |  |      |
|--|------|
| 1. 近くで地域集団回収が行われていない，または行われていても頻度が低いから | 24.8 |
| 2. 資源物の回収ボックスまで持っていくのが重いから             | 55.6 |
| 3. 資源物の回収ボックスによって回収品目が異なり，わかりにくいから     | 15.8 |
| 4. 資源物の回収ボックスが近くにないから                  | 27.8 |
| 5. 資源物の回収ボックスが利用したいときに開いていないから         | 20.3 |
| 6. 気軽に資源回収できるから                        | 58.6 |
| 7. 市が回収すべきだと思うから                       | 12.8 |
| 8. その他                                 | 7.5  |

問 26. ご高齢の方のごみ出しや資源物の持ち出しについて、あなたはどのように感じていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=2,572

- |                                  |      |
|----------------------------------|------|
| 1. 指定のごみ出し日時にごみを出すのが難しい          | 14.7 |
| 2. ごみ置き場まで持っていくのが大変              | 36.4 |
| 3. ごみ出しは問題ないが，資源物の回収拠点への持ち出しは難しい | 44.4 |
| 4. その他                           | 2.4  |
| 5. 特に問題とは思わない                    | 23.7 |

## VI ごみ減量・リサイクルの施策や施設の認知度等についてお尋ねします。

問 27. 福岡市では、ごみ減量・リサイクル啓発や活動支援のために、さまざまな施設や制度などを設けています。次にあげるもののうち、あなたが知っているものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=2,572

1. 3Rステーション（臨海・西部）	44.8
2. 保健環境学習室 まもる一む福岡	10.9
3. 地域集団回収等報奨制度（資源物回収量に応じた報奨金の交付）	16.4
4. エコ発する事業	3.7
5. 出前講座（3R・食品ロス削減講座）	6.1
6. F u k u o k a いとプロジェクト（家庭から出る食品ロスの削減）	3.3
7. 福岡市環境行動賞	1.8
8. 福岡市環境局ホームページでの情報提供	18.5
9. ごみ出しメール	11.7
10. L I N E（ライン）（ごみの日の通知，粗大ごみ収集の申込，ごみ・資源物の分別検索）	22.9
11. どれも知らない	25.2

問 28. あなたは、「ごみ」について知りたい情報を何から得ることが多いですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=2,572

1. テレビ	38.0
2. 新聞	21.1
3. ラジオ	5.6
4. 市政だより	66.0
5. ホームページ	34.8
6. L I N E（ライン）	13.4
7. F a c e b o o k（フェイスブック）	0.9
8. T w i t t e r（ツイッター）	1.8
9. 情報誌	8.5
10. フリーペーパー	6.3
11. ダイレクトメール	0.5
12. メールマガジン	0.3
13. 口コミ	12.1
14. その他	3.7

ご多忙のところ調査にご協力いただき、本当にありがとうございました。

いま一度記入もれや記入間違いがないかお確かめのうえ、  
同封しております返送用封筒にて返送してください。

福岡市

# ごみ減量・リサイクルに関する 事業所調査

令和元年11月  
調査主体 福岡市

..... <ご記入のお願い> .....

- \* 本調査は、市内に事業所を持つ事業者の皆様に、ごみ減量・リサイクルについてお尋ねするものです。
- \* 回答するにあたって、事業所名を書いていただく必要はございません。また、回答の内容は「このようなご意見が全体の何パーセント」など、すべて統計的に処理をしますので、ご意見を事業所が特定されるような形で公表することはありません。
- \* 記入は、黒・青のボールペンまたは鉛筆などをお願いします。
- \* 各質問の回答は、特に説明がないかぎり、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。質問文に「1つ」「すべて」などの指定がある場合は、その指定に従ってください。
- \* 質問によっては回答する方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。また、問 22 以降は、業種別に質問しています。貴事業所が該当する質問にお答えください。
- \* 「その他」を選ばれたときは、その内容を（ ）の中に具体的に記入してください。
- \* ご記入いただいた調査票は **11月29日（金）まで**に、同封の返信用封筒に入れて返送してください。（切手は不要です。）

..... <お問い合わせ先> .....

福岡市環境局 循環型社会推進部 計画課  
〒810-8620 福岡市中央区天神 1-8-1  
TEL 092-711-4308 FAX 092-733-5907

## I まずは、貴事業所のことについてお尋ねします。

※調査結果を統計的に整理するために必要ですので、必ずご記入をお願いします。

### F 1. 貴事業所の業種は何ですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。 (○は1つだけ)

N=1,548

1. 農業、林業	0.3	12. 不動産業・物品賃貸業	1.7
2. 漁業	0.5	13. 学術研究・専門・技術サービス業	2.1
3. 鉱業・採石業・砂利採取業	0.1	14. 宿泊業	4.3
4. 建設業	4.8	15. 飲食サービス業	3.9
5. 製造業	8.4	16. 生活関連サービス業・娯楽業	0.9
6. 電気・ガス・熱供給・水道業	2.3	17. 学校教育	10.6
7. 情報通信業	1.7	18. その他の教育・学習支援業	2.3
8. 運輸業・郵便業	3.0	19. 医療	11.4
9. 卸売業	7.6	20. 福祉	9.3
10. 小売業	7.3	21. 複合サービス事業	1.1
11. 金融業・保険業	5.1	22. サービス業（他に分類されないもの）	9.6

### F 2. 貴事業所の主たる事業形態は何ですか。(○は1つだけ)

N=1,548

1. 飲食店・レストラン	3.5	9. 倉庫・配送センター	1.5
2. 食料品小売業	1.9	10. ホテル・旅館	4.7
3. 食料品以外の小売業（日用品等物品販売店）	3.4	11. 学校・保育所	14.3
4. スーパー	0.7	12. 病院	10.3
5. 百貨店	0.5	13. 福祉施設	7.8
6. コンビニエンスストア	1.1	14. 会館・娯楽施設	1.0
7. 事務所・営業所	39.1	15. その他	1.5
8. 工場・作業所	7.0		

### F 3. 貴事業所で働く人（パート・役員を含む人数）は何人ですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

N=1,548

1. 1～4人	7.8	4. 20～29人	11.6	7. 100～199人	3.6
2. 5～9人	29.3	5. 30～49人	10.8	8. 200～299人	1.2
3. 10～19人	23.5	6. 50～99人	8.1	9. 300人以上	2.8

### F 4. 貴事業所は、特定事業用建築物※に該当していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

※「福岡市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」において、事業の用途に供される部分の床面積が合計1,000平方メートルを超える建築物を「特定事業用建築物」と定めています。特定事業用建築物の所有者等は、廃棄物の減量等に関する計画書の作成・提出・計画に基づく減量等が義務付けられています。

N=1,548

1. 該当している	16.3	2. 該当していない	54.8	3. わからない	24.6
-----------	------	------------	------	----------	------

## II ごみや資源物の排出と処理状況などについてお尋ねします。

問1. 貴事業所のごみの分別状況について、あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。(産業廃棄物を除く) (○は1つだけ)

N=1,548

- |  |      |
|--|------|
| 1. 「燃えるごみ」, 「燃えないごみ」の他に, 古紙や食品廃棄物等「資源物」に分別 | 78.6 |
| 2. 「燃えるごみ」, 「燃えないごみ」の2分別のみ                 | 20.8 |

付問1-1. 【問1で1と答えた方へ】「資源物」として分別しているものについて、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

n=1,217

- |                |      |             |     |
|----------------|------|-------------|-----|
| 1. 古紙 (機密書類含む) | 97.4 | 3. せん定枝・木くず | 7.4 |
| 2. 食品廃棄物       | 13.0 | 4. その他      | 9.2 |

付問1-2. 【問1で2と答えた方へ】「資源物」を分別していない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

n=322

- |                             |      |
|-----------------------------|------|
| 1. 資源物が少ない                  | 39.4 |
| 2. 保管場所がない                  | 12.7 |
| 3. 何が資源化できるかわからない           | 13.0 |
| 4. 依頼できる業者がいるのかわからない        | 8.1  |
| 5. 社員・テナントへの周知が難しい          | 4.3  |
| 6. 手間がかかる                   | 13.0 |
| 7. ごみとして収集してくれる             | 53.7 |
| 8. 分別しても費用が安くないなど経済的メリットがない | 10.9 |
| 9. その他                      | 11.2 |

問2. 貴事業所のごみや資源物の排出量について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

N=1,548

1. 把握している 24.0  
 (全体量 年間 平均 79.8 t, 日量 平均 92.9 ㎏ ごみ袋 (換算) 平均 181.0 袋程度)  
 2. 把握していない 73.2

付問2-1. 【問2で1と答えた方へ】以下の(1)から(6)について、1年間のおおよその排出量をご記入いただくとともに、処理方法についてあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

n=372

	①排出量 (t/年)	②処理方法 <u>(○は各々いくつでも)</u>
(1) 燃えるごみ	平均 25.4t/年	1. 一般廃棄物収集運搬許可業者へ委託 79.8 2. 清掃工場へ自己搬入 9.1 3. その他 4.8
(2) 燃えないごみ	平均 4.2 t/年	1. 一般廃棄物収集運搬許可業者へ委託 69.1 2. 資源化センター・埋立場へ自己搬入 6.2 3. その他 5.6
(3) 古紙	平均 24.6 t/年	1. 古紙回収業者が回収 44.6 2. 一般廃棄物収集運搬許可業者へ福岡市リサイクルベースへの運搬を委託 13.2 3. 古紙回収業者・福岡市リサイクルベースへ持ち込み 13.7 4. その他 8.9
(4) 食品廃棄物	平均 26.0 t/年	1. 事業所内に生ごみ処理機を設置し資源化 2.7 2. 食品リサイクル業者が回収 7.8 3. 食品リサイクル施設へ持ち込み 0.0 4. フードバンクへ提供 0.3 5. その他 15.6
(5) せん定枝・木くず	平均 9.5 t/年	1. 資源化施設へ持ち込み 7.3 2. その他 10.2

※「その他の資源物」が4種類以上ある場合は、資源化量の多い3つについてご記入ください  
n=372

		①資源物の種類 ※具体的に ご記入ください	②排出量 (t/年)	③処理方法 <u>(○は各々いくつでも)</u>
(6) その他の 資源物	1		平均 26.6t/年	1. 納入業者が回収 11.6 2. 資源化業者が回収 12.6 3. その他 7.3

問3. 貴事業所のごみ処理（資源物を除く）にかかる費用の負担感はどの程度ですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

N=1,548

- |              |            |              |
|--------------|------------|--------------|
| 1. かなり高い 8.5 | 3. 妥当 59.8 | 4. やや安い 1.5  |
| 2. やや高い 20.7 |            | 5. かなり安い 2.7 |

問4. 貴事業所から出るごみ（資源物を除く）の排出量は、10年前と比較すると、どのように変化していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つだけ)

※事業開始10年未満の方は、事業開始時と比較してお答えください。

また、事業開始からの年数をご記入ください。

n=216

- |             |              |              |               |
|-------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 1年未満 0.5 | 4. 4年未満 13.9 | 7. 7年未満 10.2 | 10. 10年未満 9.3 |
| 2. 2年未満 5.6 | 5. 5年未満 9.7  | 8. 8年未満 11.6 |               |
| 3. 3年未満 7.4 | 6. 6年未満 15.7 | 9. 9年未満 16.2 |               |

N=1,548

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. かなり増えた 5.4 | 4. やや減った 14.7 |
| 2. やや増えた 17.9 | 5. かなり減った 9.3 |
| 3. 変わらない 31.4 | 6. わからない 17.8 |

---

### Ⅲ ごみの減量やリサイクルの取組状況についてお尋ねします。

---

問5. 貴事業所では、ごみ減量・リサイクルに関して、どのような取り組みを行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=1,548

- |   |      |
|---|------|
| 1. 「ISO14001」, 「エコアクション21」等の認証を取得                 | 4.5  |
| 2. ごみ減量・リサイクルに関する独自の方針を策定                         | 6.7  |
| 3. ごみ減量・リサイクルを推進するための組織を設置                        | 2.2  |
| 4. ごみ減量・リサイクルに関する具体的な取組マニュアルを作成                   | 3.5  |
| 5. 社員等事業所内での呼びかけ<br>(朝礼やメールでの声掛け, チラシ回覧, ポスター掲示等) | 29.8 |
| 6. ペーパーレス化を推進                                     | 38.5 |
| 7. その他  | 5.5  |
| 8. 特に取り組んでいない                                     | 36.5 |

問6. ごみ減量・リサイクルに関する情報は、どこで収集していますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=1,548

- |                              |      |
|------------------------------|------|
| 1. 福岡市のホームページ, Facebook等     | 18.3 |
| 2. 福岡市作成の広報紙, パンフレット等        | 30.7 |
| 3. ビル管理会社からの広報               | 11.8 |
| 4. 福岡市事業系一般廃棄物収集運搬許可業者からの広報  | 14.2 |
| 5. 資源回収業者や資源化施設からの広報         | 13.4 |
| 6. 同業組合, 業界団体等からの広報や研修会      | 3.3  |
| 7. 新聞, テレビ, ラジオ              | 15.4 |
| 8. インターネットの関連サイト(環境省ホームページ等) | 11.1 |
| 9. その他                       | 1.6  |
| 10. 特に参考としているものはない           | 29.0 |

問7. 従業員向けのごみ減量・リサイクルに関する研修会(eラーニング含む)を実施していますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=1,548

- |                     |      |
|---------------------|------|
| 1. 自社で定期的に実施        | 3.6  |
| 2. 自社で必要に応じ(不定期に)実施 | 9.7  |
| 3. 外部研修・シンポジウムに参加   | 0.7  |
| 4. その他              | 0.4  |
| 5. 特に実施していない        | 84.0 |

問 8. 貴事業所は、地域の清掃活動やごみ減量活動に取り組んでいますか。あてはまるものを1つ  
選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

N=1,548

- |                  |      |
|------------------|------|
| 1. 取り組んでいる       | 31.4 |
| 2. 今後取り組む予定      | 7.6  |
| 3. 今後も取り組むつもりはない | 7.3  |
| 4. 後はわからない       | 51.2 |

付問 8-1. 【問 8 で 1, 2 と答えた方へ】具体的な活動（検討中を含む）は何ですか。あて  
はまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

(○はいくつでも)

n=603

- |  |      |
|--|------|
| 1. 事業所周辺の清掃活動（地域主催の清掃活動への参加を含む）          | 78.9 |
| 2. 資源物回収への協力（店頭回収の実施、紙リサイクルボックスの設置場所提供等） | 27.9 |
| 3. ごみ減量イベントに対する施設開放                      | 1.7  |
| 4. ごみ減量に関するイベントや講習会の開催                   | 2.2  |
| 5. 地域ごみ減量活動への協賛など財政的支援                   | 1.8  |
| 6. レジ袋有料化など収益による地域還元                     | 5.1  |
| 7. その他                                   | 0.3  |

付問 8-2. 【問 8 で 3, 4 と答えた方へ】その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選  
び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

n=905

- |                                    |      |
|------------------------------------|------|
| 1. 地域活動に参加する人的余裕がない                | 36.8 |
| 2. 地域団体とのつながりがなく、地域団体と連携する必要性を感じない | 9.1  |
| 3. これまで検討したことがないため、わからない           | 52.4 |
| 4. その他                             | 2.2  |

## IV 古紙のリサイクルについてお尋ねします。

問9. 貴事業所では、古紙を分別してリサイクルしていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

N=1,548

- |                                  |      |
|----------------------------------|------|
| 1. リサイクルしている (一部、リサイクルしている場合も含む) | 72.2 |
| 2. リサイクルしていない                    | 19.7 |
| 3. わからない                         | 5.3  |

→ 付問9-1. 【問9で1と答えた方へ】分別している古紙の種類は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

n=1,117

- |  |      |
|--|------|
| 1. 新聞  | 63.0 |
| 2. 雑誌  | 60.0 |
| 3. ダンボール   | 87.4 |
| 4. 機密書類  | 28.9 |
| 5. 雑がみ類 (チラシ・カタログ, 紙箱, 封筒・はがき, 紙製包装紙, 紙袋, コピー用紙, シュレッダーくず, 紙芯, ふせん, メモ用紙等) | 52.2 |
| 6. 1つの袋にまとめて紙ごみとして排出 (燃えるごみとは分けて資源化)                                       | 0.6  |
| 7. その他   | 0.0  |

問10へ ←

→ 付問9-2. 【付問9-1で5を選ばなかった方へ】「雑がみ類」をリサイクルしていない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

n=533

- |   |      |
|---|------|
| 1. 分別して保管するスペースが無い                      | 21.6 |
| 2. リサイクルできると知らなかった                      | 21.4 |
| 3. 社員やテナント従業員への周知徹底が難しい                 | 8.4  |
| 4. 「雑がみ類」をリサイクルする義務はないから                | 1.9  |
| 5. 管理費や共益費にごみ処理料金が含まれており、分別する経済的メリットが無い | 6.0  |
| 6. 分別作業が面倒だから                           | 13.1 |
| 7. 自社が努力しなくても、ごみの減量には影響がないと思うから         | 0.4  |
| 8. その他                                  | 5.1  |

問 10. 事業所から出る「雑がみ類」のリサイクルを進めるには、何が必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=1,548

- |   |      |
|---|------|
| 1. 「雑がみ類」分別マニュアル等の提示                                  | 50.9 |
| 2. 「雑がみ類」に関するPR動画による啓発                                | 16.1 |
| 3. 「雑がみ類」に関する説明会・講習会の開催                               | 8.1  |
| 4. 市職員の事業所訪問<br>(事業所での分別状況を確認した上での相談対応・各事業所での研修講師派遣等) | 4.5  |
| 5. 公共施設等に事業所向けの「雑がみ類」回収ボックスの設置                        | 32.8 |
| 6. 古紙分別ボックスの購入や古紙置場の整備に係る経費に対する補助                     | 20.1 |
| 7. 排出量及び資源化量の計量機器・システムの導入、改修に係る補助                     | 3.0  |
| 8. 効果的な「雑がみ類」の減量・リサイクル事例の広報や、その事業者の表彰                 | 7.7  |
| 9. その他  | 3.0  |
| 10. 特に必要はない   | 10.0 |

問 11. 令和2年10月1日から、事業系ごみの分別が、「燃えるごみ」・「燃えないごみ」・「古紙」の3分別に変わります。そこで、貴事業所では、古紙分別義務化に向けて、今後どのような準備が必要と考えますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

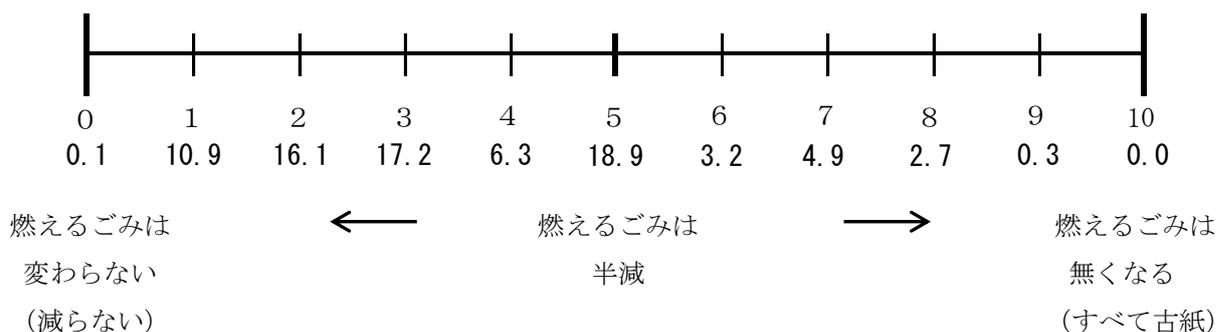
(○はいくつでも)

N=1,548

- |                                   |      |
|-----------------------------------|------|
| 1. 従業員・テナントへの周知徹底                 | 61.0 |
| 2. 分別用古紙回収ボックスの準備                 | 45.2 |
| 3. ごみ置き場が狭いため、古紙を分けて保管するスペースの確保   | 27.1 |
| 4. 排出量及び資源化量管理のための計量機器・システムの導入、改修 | 1.6  |
| 5. 分別に要する人員の確保                    | 4.3  |
| 6. その他                            | 0.8  |
| 7. 既に分別しているため準備の必要はない             | 17.4 |

問 12. 貴事業所から出る「燃えるごみ」は、古紙分別義務化により、どの程度減ると思いますか。  
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

N=1,548



## V 食品廃棄物のリサイクルについてお尋ねします。

問 13. 貴事業所では、食品廃棄物を分別してリサイクルしていますか。あてはまるものを 1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

N=1,548

- |               |      |                |      |
|---------------|------|----------------|------|
| 1. リサイクルしている  | 4.5  | 3. 食品廃棄物は発生しない | 48.1 |
| 2. リサイクルしていない | 34.6 | 4. わからない       | 7.7  |

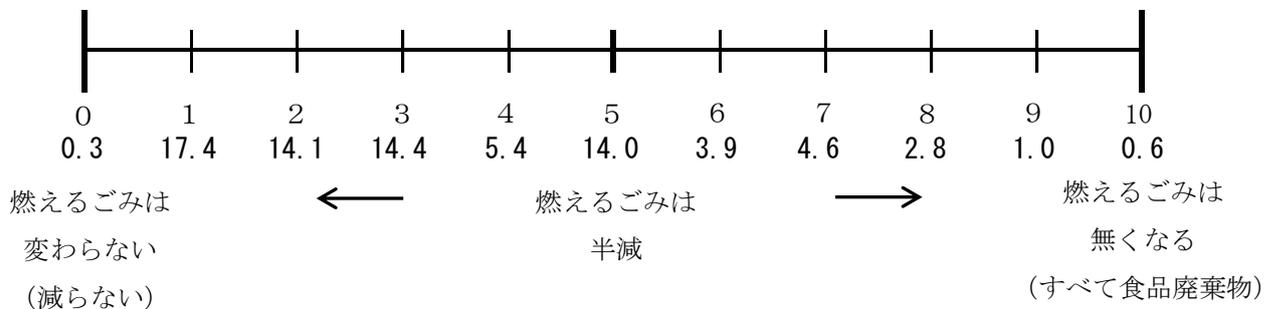
問 14. 事業所から出る「食品廃棄物」のリサイクルを進めるには、何が重要だと思いますか。あてはまるものを すべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=1,548

- |  |      |
|--|------|
| 1. 「食品廃棄物」のリサイクルに関するPR動画による啓発                        | 22.3 |
| 2. 「食品廃棄物」分別マニュアル等の提示                                | 39.9 |
| 3. 「食品廃棄物」や「食品ロス」に関する説明会・講習会の開催                      | 15.8 |
| 4. 市職員の事業所訪問（事業所での排出・分別状況を確認した上での相談対応、各事業所での研修講師派遣等） | 4.2  |
| 5. 食品廃棄物の保管冷蔵庫購入経費への補助                               | 8.2  |
| 6. 食品廃棄物資源化処理費への補助                                   | 14.3 |
| 7. 生ごみ処理機設置経費への補助                                    | 16.8 |
| 8. 食品廃棄物資源化施設の充実                                     | 11.2 |
| 9. 効果的な「食品廃棄物」の減量・リサイクル事例の紹介・その事業者の表彰                | 7.8  |
| 10. その他  | 0.7  |
| 11. 特に必要はない  | 16.7 |

問 15. 貴事業所から出る「食品廃棄物」をすべてリサイクルできるとすると、「燃えるごみ」はどの程度減ると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

n=724



※調査結果は、問 13 で 1, 2, 4 と回答した事業所 (724 社) を対象に集計

---

## Ⅵ プラスチックごみの削減についてお尋ねします。

---

問 16. 近年の「海洋プラスチックごみ」が世界的な課題となっていますが、プラスチックごみ削減に向けて、貴事業所で取り組んでいることはありますか。今後の予定を含め、あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=1,548

- |  |      |
|--|------|
| 1. 1度しか使用されないプラスチック容器包装・製品の見直し、削減                  | 13.3 |
| 2. プラスチック製容器包装・製品を、再生材や再生可能資源（紙・バイオマスプラスチック等）へ切り替え | 11.7 |
| 3. 事務用品等におけるグリーン購入                                 | 10.2 |
| 4. 環境省が推進する「プラスチック・スマート」キャンペーンへの参加                 | 1.0  |
| 5. 従業員に対するマイバッグ・マイボトルの推奨                           | 18.0 |
| 6. 取り組みを予定しているが、具体的な活動内容は検討中である                    | 5.2  |
| 7. その他   | 1.4  |
| 8. 特に取り組んでいない                                      | 55.3 |

---

## Ⅶ 福岡市における事業系ごみの処理、ごみ減量・リサイクルへの取り組み及び今後の施策についてお尋ねします。

---

問 17. 事業所から出るごみ（産業廃棄物を除く）を処理するための運搬方法は、排出者自らが清掃工場等へ搬入する方法（自己搬入）と収集運搬の許可を得た業者（許可業者）に委託する方法があることをご存知ですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

N=1,548

- |                       |      |
|-----------------------|------|
| 1. 自己搬入と許可業者の両方を知っている | 57.7 |
| 2. 自己搬入のみ知っている        | 5.4  |
| 3. 許可業者のみ知っている        | 19.4 |
| 4. いずれも知らない           | 13.8 |

↓  
付問 17-1. 【問 17 で 1, 3 と答えた方へ】許可業者との委託契約金額には「収集運搬経費」と「処分経費」が含まれていることをご存知ですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

n=1,193

- |           |      |
|-----------|------|
| 1. 知っている  | 57.8 |
| 2. 知らなかった | 39.7 |

問 18. 福岡市が実施する主な事業系ごみの減量・リサイクル推進施策について、ご存知のものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=1,548

- |  |      |
|--|------|
| 1. 事業系一般廃棄物処理ルールブック（パンフレット）                            | 33.9 |
| 2. 福岡市事業系ごみ資源化情報発信サイト<br>（古紙・機密書類回収業者をみつけるマッチングサイト）    | 15.9 |
| 3. もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動<br>（飲食店からの食品廃棄物削減を目的とした啓発事業） | 21.0 |
| 4. 優良事業所表彰制度   | 4.9  |
| 5. 紙ごみの選別施設や食品廃棄物のリサイクル施設の設置支援                         | 4.3  |
| 6. どれも知らない   | 43.1 |

問 19. 福岡市が発信する情報は、どのような方法が受け取りやすいですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=1,548

- |                  |      |                       |      |
|------------------|------|-----------------------|------|
| 1. メールマガジンの配信    | 18.2 | 5. 事業所への出前研修会や相談員等の派遣 | 8.5  |
| 2. ホームページの拡充, 改良 | 32.0 | 6. SNSでの発信            | 14.5 |
| 3. 資料の郵送         | 60.9 | 7. その他                | 3.3  |
| 4. 講習会の開催        | 10.1 |                       |      |

問 20. 今後、事業系ごみの減量・リサイクルを推進するために、必要な情報は何か。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=1,548

- |                                 |      |
|---------------------------------|------|
| 1. 関係する法律や条例等の解説や改正について         | 35.7 |
| 2. 事業系ごみに関係する事業者（収集業者や処理業者）について | 33.5 |
| 3. 古紙, 食品廃棄物等資源物のリサイクルルートについて   | 35.1 |
| 4. 分別マニュアルやテナント・社員向け啓発資料の配布     | 47.4 |
| 5. 市内事業者が実践している先進的な取組みなど優良事例の紹介 | 23.6 |
| 6. その他                          | 0.3  |

問 21. 今後、事業系ごみの減量・リサイクルを推進するために、福岡市で導入すべきと考える施策はどのようなものですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

N=1,548

- |                                     |      |
|-------------------------------------|------|
| 1. 優良事業者認定制度（市ホームページでの優良事業者のPR等）    | 34.9 |
| 2. 事業者と収集業者が参加する話し合いの場の設置（ワークショップ等） | 13.7 |
| 3. 清掃工場での禁止搬入物規制の徹底                 | 20.2 |
| 4. 収集運搬及び処理手数料の値上げ                  | 9.9  |
| 5. 清掃工場等への多量搬入事業者に対する手数料の上乗せ        | 10.3 |
| 6. 古紙・食品廃棄物以外のリサイクル推進のための補助制度       | 22.1 |
| 7. その他                              | 3.7  |

## ※貴事業所の業種別に質問します。

### Ⅷ 【小売業】食品ロス削減の取組みや商品搬入時の梱包材の再利用状況等についてお尋ねします。

問 22. 貴事業所では、食品を取り扱っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

n = 113

- |             |      |
|-------------|------|
| 1. 取り扱っている  | 40.7 |
| 2. 取り扱っていない | 59.3 |

付問 22-1. 【問 22 で 1 と 答えた方へ】貴事業所では、まだ食べられるのに廃棄される、いわゆる「食品ロス」削減のために、どのような工夫をしていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

n = 46

- |  |      |
|--|------|
| 1. 食材の消費期限を「見える化」して管理するなど、食材の廃棄を減らす工夫をしている               | 39.1 |
| 2. 消費期限のうちに使いきれない食材については、フードバンク等に提供している                  | 0.0  |
| 3. 過去の販売実績等を活用し、調達量・調達時期を最適化することで、売れ残りが減るよう工夫をしている       | 60.9 |
| 4. クリスマスケーキなど期間の短い商品は、予約特典等を設け、予約販売を推奨し、売れ残りが減るよう工夫をしている | 28.3 |
| 5. その他   | 4.3  |
| 6. 特に工夫はしていない  | 19.6 |

問 23. 貴事業所では、商品搬入時に使用されている梱包材の素材で、最も多いものは何ですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

n = 113

- |                 |      |
|-----------------|------|
| 1. 紙（段ボール、包装紙等） | 77.9 |
| 2. プラスチック（緩衝材等） | 6.2  |
| 3. その他          | 0.9  |
| 4. 梱包材は使用していない  | 8.0  |

付問 23-1. 【問 23 で 1～3 と 答えた方へ】梱包材は繰り返し使用していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

n = 96

- |                       |      |
|-----------------------|------|
| 1. 繰り返し使用している         | 40.6 |
| 2. 1回しか使用しないが、資源化している | 33.3 |
| 3. その他                | 4.2  |
| 4. ごみとして処分している        | 15.6 |

**IX 【宿泊業】 客室から出るごみの分別や利用客へ環境へ配慮した行動を促す工夫についてお尋ねします。**

問 24. 貴事業所では、客室のごみを分別し、資源物のリサイクルを行っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

n = 67

- |                                |      |
|--------------------------------|------|
| 1. 客が分別して廃棄できるよう、ごみ箱を分けて設置している | 4.5  |
| 2. 客室清掃員が新聞・雑誌等を分けて回収している      | 52.2 |
| 3. その他                         | 3.0  |
| 4. 客室のごみは資源化していない              | 29.9 |

問 25. 貴事業所では、利用客に対して、環境へ配慮した行動を促す工夫を行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

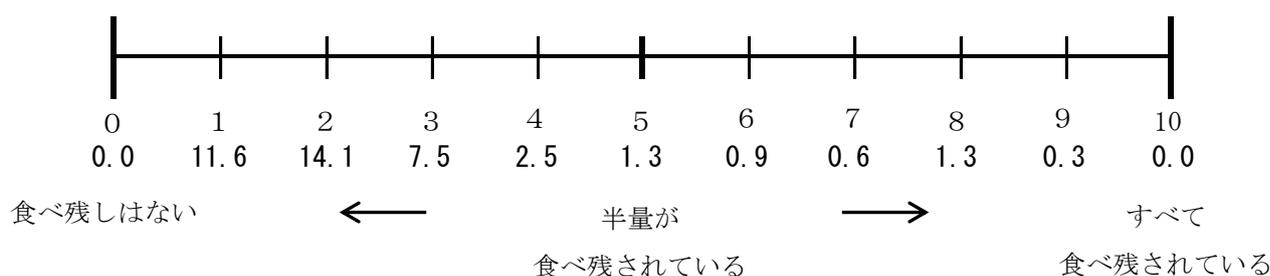
n = 67

- |  |      |
|--|------|
| 1. アメニティは、チェックイン時に必要なもののみを渡している          | 20.9 |
| 2. 連泊の利用客へ、タオルやシーツ交換が不要な場合、特典がある旨を案内している | 29.9 |
| 3. その他                                   | 10.4 |
| 4. 特に工夫はしていない                            | 43.3 |

**X 【医療・福祉】 食品廃棄物・使用済み紙おむつ削減の取組みについてお尋ねします。**

問 26. 貴事業所では、入院患者や入居者、施設利用者等（以下「利用者等」という。）に提供する食事について、どの程度食べ残しがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

n = 320



問 27. 貴事業所では、利用者等の食べ残しを減らすために、どのような工夫をしていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

n = 128

- |   |      |
|---|------|
| 1. 食事の嗜好を確認している                         | 50.0 |
| 2. 主食や主菜を選べるようにしている                     | 7.0  |
| 3. 食べ残しが続く場合は、聴き取りし、量を減らすなどの可能な調整を行っている | 62.5 |
| 4. その他                                  | 6.3  |
| 5. 特に工夫はしていない                           | 14.8 |

※調査結果は、問 26 で 0～10 と回答した事業所（128 社）を対象に集計

問 28. 貴事業所では、紙おむつの発生量を把握していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

n = 320

- |            |      |
|------------|------|
| 1. 把握している  | 30.6 |
| 2. 把握していない | 23.8 |

問 29. 貴事業所では、紙おむつの処理について、「燃えるごみ」として排出する以外の方法を検討していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つだけ)

n = 320

- |                  |      |
|------------------|------|
| 1. 検討し、実施している    | 6.6  |
| 2. 現在検討している      | 3.1  |
| 3. 検討したが、実施していない | 1.3  |
| 4. 検討したことはない     | 41.6 |

付問 29-1. 【問 29 で 3 と 答えた方へ】実施しなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

n = 4

- |                  |       |                     |      |
|------------------|-------|---------------------|------|
| 1. 人手不足で分別できなかつた | 50.0  | 4. 費用が高かつた          | 25.0 |
| 2. 保管場所を確保できなかつた | 100.0 | 5. リサイクル業者がみつからなかつた | 0.0  |
| 3. 回収頻度が低い       | 25.0  | 6. その他              | 0.0  |

付問 29-2. 【問 29 で 2 ~ 4 と 答えた方へ】国土交通省は、紙おむつの処理に関する実証実験を検討していますが、このことを知っていましたか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

n = 147

- |           |      |
|-----------|------|
| 1. 知っていた  | 4.8  |
| 2. 知らなかつた | 57.8 |

付問 29-3. 【問 29 で 2 ~ 4 と 答えた方へ】今後、紙おむつのリサイクルが、一般に導入できるようになった場合、貴事業所では、導入したいと考えますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つだけ)

n = 147

- |                                      |      |
|--------------------------------------|------|
| 1. 積極的に導入したい                         | 6.1  |
| 2. 現在のごみ処理と比べて手間や費用が変わらないようであれば導入したい | 34.0 |
| 3. 導入しない                             | 11.6 |
| 4. 現段階ではわからない                        | 34.0 |

## X I 【飲食サービス業】食品ロス削減の取組みについてお尋ねします。

問 30. 貴事業所では、まだ食べられるのに廃棄される、いわゆる「食品ロス」削減のために、どのような工夫をしていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

n = 60

1. 過去の実績により、調達量・調達時期を最適化することで、廃棄量が減るよう工夫をしている 60.0
2. 食材の期限表示を「見える化」して管理するなど、食材の廃棄を減らす工夫をしている 36.7
3. 食材を使いきる工夫をしている（余った食材をまかないに利用等） 61.7
4. 使いきれない食材のうち、まだ十分食べられるものについては、フードバンク等に提供している 1.7
5. その他 3.3
6. 特に工夫はしていない 8.3

問 31. 福岡市では、飲食店での食べ残しをなくすために、「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」を展開しており、その趣旨に賛同し、食べ残しの削減などに取り組まれる市内の飲食店及び宿泊施設を「福岡エコ運動協力店」として登録し紹介していますが、このことを知っていましたか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(○は1つだけ)

n = 60

1. 知っている 16.7
2. 聞いたことはあるがどういうものかは知らない 23.3
3. 知らない 50.0

問 32. 貴事業所では、利用客の食べ残しをなくすために、どのような工夫をしていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

n = 60

1. ご飯の小盛対応やハーフサイズのメニューを導入している 38.3
2. 提供する料理の量がお客様にわかるよう、メニューに料理の写真を掲載するなど工夫している 25.0
3. ポスター、メニュー、箸入れ等に食べ残しをなくす呼びかけを掲示している 3.3
4. 予約受付時に、人数だけでなく、男女比、年齢層、嫌いなもの・苦手なもの、食べ物の消費量などの情報をできる限り把握している 13.3
5. 注文時や宴会等で食べきりの呼びかけを行っている 3.3
6. 注文時に注文数が多いと感じる時は、注文メニューの削減や後での追加注文を提案している 16.7
7. 持ち帰りを希望する利用客へ持ち帰り容器（ドギーバッグ）の提供等を行っている 28.3
8. その他 0.0
9. 特に工夫はしていない 20.0

ご多忙のところ調査にご協力いただき、本当にありがとうございました。

いま一度記入もれや記入間違いがないかお確かめのうえ、  
同封しております返送用封筒にて返送してください。